

同盟旬報

第 一 卷 第 五 號 (No. 5)

(昭和十二年八月八日號)

主 要 目 次

北支事變

天津治安維持會成立	二
汪精衛抗敵聲明	三
通州叛亂詳報	五
北苑部隊武裝解除	六
宋美齡婦女子激勵	七
平綏線輸送軍爆擊	八
我軍戰死傷數	三
支那軍損害數	四
張自忠辭職	六
冀察參議制設定	六
支那全體國防會議	七
衆議院政府鞭撻決議	八
何應欽軍政部長辭職	九
皇軍北平入城	三
冀東首腦部決定	三
長江筋邦人引揚	四
大山中尉射殺事件	五
支那側挑戰體勢	六
外紙論調	九
南京政府戰時經濟對策	三

第七十回帝國議會

北支事件特別稅法	五
十二年度追加豫算成立	五
北支事件追加豫算成立	四
成立豫算	四
通過法律	四
政府政策實現に邁進	四
ソ聯の抗議一覽	四
地方制度調查會開設	四
暴利取締令公布	五
滿拓公社協定	五
陸軍定期異動	五
上旬對外貿易	六
世界教育會議	六
英伊接近問題	七
佛支特別借款成立	七
英獨新聞記者追放	七
不干涉妥協案葬らる	七
ソ聯主力艦注文說	六
米ソ通商協定成立	六
ハル平和聲明の反響	六
附同盟報道陣の活躍	六

部門目次

宮廷	一
北支事變	二
特別議會	三
一般政治	四
外交	四
內政	四
財政	四
國防	四
教育	四
産業行政	四
交通・通信・航空	五
殖産	五
政黨	五
人黨	五
經濟	五
社會	五
オリビツク	五
滿洲國	六
海外日本人	六
英國・英帝國	六
フランス	六
ドイツ	六
イタリア	六
スペイン	六
ソ聯邦	六
アフリカ	六
中南米諸國	六
アジア	六
國際平和工作	六
國際雜錄	六
航空	六

昭和十二年
八月上旬

重要日誌

八月一日

- ◇秩父宮同妃兩殿下アムステルダム御到着
- ◇天津治安維持會成立す。
- ◇國民政府中央政治會議主席汪精衛「犧牲抗日」を聲明す。
- ◇米國上院「勞働法案」可決。

同 二日

- ◇陸軍定期大異動發令さる。
- ◇東久邇宮裕彥王殿下航空本部長に御就任遊ばさる。
- ◇陸軍憲兵學校令公布。
- ◇日滿兩國「滿洲殖産公社」設立に關する協定に調印す。

- ◇第七回世界教育會議、東京帝大安出講室に開會。
- ◇宗教各派聯合「精神報國大同聯盟」結成さる。

- ◇英伊兩首相、兩國關係調整の親書を交換す。

同 三日

- ◇地方制度調査會開設。
- ◇暴利取締令公布。
- ◇ソ聯日系露人の天津領事館侵入事件に關する抗議を提出、我外務省これを一蹴す。
- ◇我軍平綏綏遠中の支那軍隊を爆撃す。
- ◇フランス銀行利下斷行。

同 四日

- ◇帝國練習艦隊イスタンブールに到着。

同 五日

- ◇北支事變發生以來の我軍戦死三百四十四名、戦傷死十九名、戦傷八百七十五名と發表さる。
- ◇第三十三回萬國議員總會出席代表出發。

同 六日

- ◇昭和十二年度一般追加豫算成立。
- ◇衆議院北支事變に對する政府鞭撻決議案を通過一致可決す。
- ◇支那全體將領國防會議を開議。
- ◇米ソ新通商協定成立。
- ◇不干渉委員會妥協案採擇に失敗す。
- ◇スペイン軍用機英佛伊商船を爆撃す。

同 七日

- ◇秩父宮兩殿下御微恙にて歐洲御旅程を變更遊ばさる。
- ◇北支事變特別稅法案及び北支事變第二次追加豫算四億二千萬圓成立す。
- ◇中支の抗日情勢惡化し、長江筋の在留邦人多年培養の商權を棄て、引揚ぐ。
- ◇海軍武官服役令改正公布。
- ◇陸軍中堅將校百卅一名、空軍充實のため航空兵科に轉科。

同 十日

- ◇ヘレン・ケラー女史歸國。
- ◇獨逸報復手段として、タイムス支局長の退去を要求す。
- ◇サルバドル國、國際聯盟を脱退。
- ◇支那財政部長孔祥熙ベルリンに入る。

同 九日

- ◇上海越界路モニュメントに於て我陸戰隊第一中隊長大山勇夫中尉、及び一等水兵寶藤要藏、支那保安隊のために射殺さる。
- ◇北平在留邦人籠城解散。
- ◇大日本青年航空團結團式を行ふ。
- ◇大日本航空婦人會クライダー部會發會。
- ◇佛支特別借款成立。
- ◇米國アジア艦隊訪日延期。

同 八日

- ◇大島正徳氏、世界聯合教育會副會長に就任す。
- ◇米ハル國務長官の平和聲明に對し、四十餘箇國より賛意を表せる旨發表せらる。
- ◇米國上院「下級裁判所改革案」を可決す。
- ◇英國、ドイツ記者の國外退去を要求す。

宮 廷

東久通宮航空本部長御就任

【△】「空の宮様」軍事参謀官東久通宮裕彦王殿下には二日の陸軍定期大異動で帝國空軍の總帥航空本部長に御就任遊ばされた。金枝玉葉の御身で航空關係の重職に就かせられるのは殿下が御最初のことである。

各皇族方から御慰問品

【△】高松宮同妃兩殿下をはじめ各皇族方並に目下御外遊中の秩父宮兩殿下には融熱の北支に奮戦しつゝある忠勇な皇軍の勞苦を思召めされこれら將兵に對し畏くも御慰問品を下賜せられる旨四日御沙汰あらせられた。有難き思召しを拜した陸軍では幸倉副官が隨相代理として四日午後高松の高松宮御殿に伺候し御沙汰を拜受したが御下賜品は禮詰、手拭、扇子等と承る。恐感感激した陸軍當局では直ちに香月軍司令官に對しこの思召を傳達すると共に恤兵部員をして御下賜の品々を速かに現地に急送するやう處置を命じた。

皇后陛下綢帶御下賜

【△】北支に活躍する皇軍の勞苦を畏くも日夜察しさせ給ふ皇后陛下には五日午後三時杉山陸相を宮中に御召あり大典に對し御手づから巻かせられた綢帶並に義肢、義眼を下賜せられ更に皇軍將兵の勞苦を痛はせ給ふ有難き御言葉をもつた。

た、杉山陸相は恐感感激して宮中を退下直ちに香月支那駐屯軍司令官を経て各戰傷の將兵に傳達の手續きを執つた。

綢帶御下賜

天津【△】畏きあたりでは北支に活躍する皇軍第一線部隊の勞苦を思召され今回綢帶を下賜あらせられたので十一日木下中佐は之を捧持して天津に到着十二日香月司令官に傳達する事となつた。

近衛首相に清酒御下賜

【△】畏き邊りでは第七十一特別議會も愈々八日開院式を行はせられたが此の日近衛首相に對し御慰勞の思召に依り清酒一樽並に交魚二折を下賜せられた。

閣僚議員等拜謁

【△】天皇陛下には九日午前十一時五十分宮中正殿に出御廣田外相以下各閣僚、松平、小山貴衆兩院議長以下兩院議員及び内閣、兩院關係官、各省政府委員等約九百五十名に對し拜謁仰付け終つて一同に對し御慰勞の思召に依り豐明殿にて酒饌を賜つた。



秩父宮兩殿下御動靜

同 妃

【△】秩父宮同妃兩殿下には一日スイスのグリンデルワルトからアムステルダムに御到濱遊ばされた。

世界少年國大會御成

アムステルダム【△】秩父宮同妃兩殿下には二日アムステルダム郊外ホーレンザンク海岸に開催中の第五回世界少年國大會に御成り日本少年國聯盟理事長三荒芳徳伯以下世界卅三ヶ國代表に親しく御言葉を賜つた。兩殿下の台端は轟に兩殿下がロンドン御滞在中英國少年國國際事務局常務理事長ヒューバート・マーチン氏より松平式部長官を通じて奏請された所で一同兩殿下の畏き御思召に感激した。

兩殿下御微恙

【△】秩父宮同妃兩殿下には數日來再び御微恙に耳せられ目下オランダ、ハーグにて御休養中であらせられるが側近では兩殿下とも再度の御病氣のことと御心配申しあげ六日兩殿下の御容態並に今後の御豫定に關し首席隨員松平式部長官から宮内省に入電があつた。よつて兩殿下御容態に就いては直ちに三陛下に言上したが更に松平宮相は六日午前白根次官、木戸宗秩奏議、野口宗秩奏事務官など、宮内省に於いて種々協議の結果目下ドイツに滞在中の高橋侍醫を急遽ハーグに出向せしめることに決した。

御旅程變更

【△】秩父宮同妃兩殿下この度の御發病並に今後の御豫定に關し七日午後二時廿分宮内省から左の如く正式發表があつた。宮内省發表は秩父宮兩殿下にはロンドンに於ける御任務御終了の後流行性感冒により肺炎の御症狀を拜するに至れり、その後幸に順調なる御経過を見た

るも尙充分御静養を要し奉るを以て北歐諸國の御旅行は御中止の上瑞西に於て約二週間の御靜養あらせられたり、去る七日卅一日瑞西御出發オランダに赴かせられそれよりベルギー、フランス、瑞西を経てドイツ御訪問の御豫定なりし處去る三日オランダ御滞在の中兩殿下共に御發熱再び流行性感冒の御症狀を拜するに至れり、學上に於かせられても御診察あらせられドイツ出張中の高橋侍醫に御差遣の命ありたり、今回は目下の處御輕病に拜せらるゝも前回の御恢復充分ならざる虞もあるを以て醫師の切なる意見に基き今後の大陸御旅行は全部を取止め充分に御静養の上御旅行お差支へなきまで御恢復を待ち御歸朝の事に決定せられたり、御歸朝の経路及び時機は目下の處全然未定なり。

松平式部長官謹語

ロンドン【△】秩父宮同妃兩殿下の御容態につき松平式部長官は七日ハーグから電話で次の通り謹語した。殿下には本日御平熱で御起床遊ばせられた。妃殿下には卅七度別後、御經過宜しく一兩日中には御床拂ひの御豫定であります。來週半は遅くも週末には充分御旅行に御差支ない程度に御恢復の趣で一旦スイスのグリンデルワルトへ御歸還長途の御旅行にいさゝかの御懸念もないよう今度は充分の上にも充分御静養遊ばされる御豫定で學上陛下におかせられても御旅行御變更の御裁可ありました。中村軍醫少將、高橋侍醫と共に慎重御治療遊ばされるやう言上した次第です。

御經過良好

ハーグ【△】秩父宮殿下にはその後引續き御經過宜しく妃殿下も八日以来平熱に御復遊ばされ十日頃には御起床遊ばされ得る由である。兩殿下には十四日頃スイスへ御歸還の豫定で既に御準備も完了してゐるが天皇陛下が御震機を憐れ給へるを恐懼遊ばされ慎重御療養の御決意と拜される。

オランダ皇帝へ御禮電

【△】天皇陛下には御外遊中の秩父宮同妃兩殿下がオランダ國に於て厚遇を受けさせられ且つ同國皇帝陛下より秩父宮殿下に獅子大綬章を贈與せられたるにつき四日同國皇帝陛下へ御鄭重なる御禮電を御發送あらせられた。

十六氏に紺綬褒賞

【△】畏き邊りでは社會公共の爲多額の私財を寄附した左の十六名に對し二日紺綬章を下賜せられた。

井上貞治郎(西宮市) 加藤榮一郎(東京市) 崔相鉉(光州府) 崔善眞(同) 池昌宣(同) 韓棟鉉(朝鮮) 閔泳殷(同) 金元根(同) 川島由三郎(同) 李煥俊(同) 上田滋次郎(同) 木積一雄(大阪府) 住友元夫(兵庫縣) 小野塚喜平次(東京府) 栗林カス(室蘭市) 竹内馨子(京都市)

北支事變



現地

北平情勢

市街靜穩に歸す

北平(ハ) 龍城六日目の一日朝は雨も上つて快晴である、北平城内の不安は大體に於て去り殆んど平常通り、狀態にかへつた、たゞ東交民巷の出入だけは萬一を慮つて依然嚴重を極めて居る、通州の現狀は今なほ充分な連絡がつかぬ詳細は不明であるがその慘狀は第二の尼港事件を想像せしめてをり居留邦人は救護班派遣の悲壯な決意を固めてゐる

城門開かる

北平(ハ) 南苑の戰闘に偉功を樹てた某部隊の一部は北平廣安門外に到着一日朝以來城外警備に就き地方農民達の城内出入の保護に當つてゐる、日本兵の警備下に久し振りで城門が開かれたので野榮その他物資を市場に運ぶ車が引續き農民の顔にも喜びの色が見られる

交通復舊工事

北平(ハ) 廿六日朝北平始發列車から還轉中止となつた北寧線は北平地方治安維持會の成立と共に極力北平天津間の復舊につとめてゐるが茲(ハ) 三月中に開通の運びとなる模様である、尙電信線の復舊は

鐵道より稍々遅れ今後五六日を要する見込である

治安維持會初會議

北平(ハ) 地方治安維持會の初會議は一日午後四時中南海公園學藝園に於て開催左の二件を決定した
一 避難民傷亡者の救済
一 交通の可及的速なる回復

通州後報

叛亂保安隊潰滅

天津(ハ) 叛亂と共に我が通州部隊を攻撃した冀東第一第二保安總隊は其の後我が討伐隊の猛撃を蒙り多大の損害を出したがその殘餘の部隊は北平附近に於て我軍のため武器を解除され同保安隊は事實上全く潰滅した

生存確實八十五名

天津(ハ) 情報によれば通州在留民約三百八十名中生存確實なるものは八十五名何れも目下我が守備隊内に保護されてゐる

同盟軍特派員生還

北平(ハ) 通州事變勃發後北平より同地に急行通信報道の第一線にあつた同盟通信社特派員安藤利男氏は廿九日の冀東保安隊の叛亂以來全く消息を絶ちその生存は殆んど絶望視されてゐたが一日午後三時通州街道の北平朝陽門外陸軍墓前に辿り付き我が警備兵のための收容され無事生還した、同氏は保安隊の叛亂直後安藤服に變裝して死に街通州を脱出し凡ゆる危險を突破して事變後四日にして漸く北平城外に辿り付き奮闘的に救助されたものである

通州戰機犠牲者氏名

天津(ハ) (安那駐屯軍司令部一日午後八時發表)
七月廿九日通州附近の戰闘に及ける戰死者次の如し

步兵上等兵	相原 朝男
同 一等兵	小谷 春男
同	藤原 雪夫
同	大久保 龍夫
步兵二等兵	鈴木 利三郎
同	野本 將勝
同	松田 平八
同	高山 幸三郎
同	千秋 菊男
計九名	

特務機關二顧問戰死

天津(ハ) 天津情報によれば通州特務機關長細木中佐は保安總隊の反亂に際會して敵彈命中したと言はれてゐるが目下行方不明、特務機關顧問今岡逸治(豫備騎兵准尉)は戰死し死體を收容された、尙冀東教導隊渡邊顧問戰死、第一保安總隊小宮顧問は頭部に負傷と判明した

天津情勢

清掃略ぼ一段落

天津(ハ) 激烈な市街戦の後天津市内外の清掃は卅一日中に大體完了した模様で住民はやつと戰慄より遠れることとなつたが天津支那街方面は一日も早く治安の恢復を希望して居り政界、財界各方面の

有力者によつて天津治安維持會成立の協議中であるが委員長に決定した高凌霨氏は冀東大總統時代國務總理として令名あり治安維持會の成立と共に同氏は日本側と協力して支那側の治安善後處置に迅速適切な實行にうつるものと期待されてゐる

治安維持會成立

天津(ハ) 天津治安維持會は戰火の餘燼尙消去らぬ一日市政府社會局に於て成立初顔會を行ひ今後の善後處置に就き大略方針を決定した、委員の顔面左の如し

▲天津治安維持會

委員長	高 凌
秘書長	劉 紹
委員	王 曉
同	王 竹
同	邱 玉
同	趙 紹
同	劉 玉
同	鈕 潤
同	方 傳
同	沈 月

治安維持會布告

天津(ハ) 天津市治安維持會は一日成立と同時に左の如く布告した

冀察當局が輕々しく聲端を穿き禍變擴大し遂に天津が無政府狀態に陥り人民の痛苦また何んぞ云ふに堪えん、本會は座視するに忍びず、急に起つて維持會を組織し即日成立し以て事變に應じ市政府に代つて政務を執行し治安維持秩序回復、人心安定を計らんとす、市民は速かに歸來し安居樂業直ちに當處に復し市政の基礎を固めよ、本會は市民の福祉を促進するに在り、決して諸軍閥の如く一切を顧みざるものに非ず

故老紳士等顧くば指導を給ひその及ぼざるところを助け本市の政治を軌道に乗らしめ一般民衆は特に本會の趣旨に應じ目前の困難に堪え軍大使命の完成の爲め相共に戒心せよ、切々こゝに布告す

天津治安維持會委員長 高 凌

再生運動開始

天津(ハ) 天津在住の元國務總理高凌霨氏を首魁とする天津維持會は一日天津に於て發會式を舉行した、同會は既に復活した公安局を實行班として之に世界紅十字會が協力し先づその第一着手として罹災民に衣類の給與、施粥を爲すと共に延焼されたる市街の消防並びに各所に放置されてゐる敗殘兵の屍體の始末、流言蜚語の取締り、公有財産の管理、郵便局の復活等各段に亘つて目覺しき建設的活動を開始することとなつた、一方交通の回復も卅一日日本軍、滿鐵鐵道連、北寧鐵路幹部の三者協議の結果北寧線の鐵橋、電信の修理を早速に實施することになり一日午前九時より天津東站、山海關間の列車運轉を見ることとなつた、斯くて戰火の餘燼未だ消えやらぬ天津には早くも復活の氣運が勃興しつゝある

保安總隊に感謝狀

天津(ハ) 冀東第三、第四兩保安總隊は日本軍と協力治安維持並に我軍の後方聯絡確保に努めてゐるが第四總隊勇敢にもは我方の大沽攻撃に参加し其の功勞大なるものゝあるので我が省司令官は一日午前十時第三、第四兩總隊に對し感謝狀を贈つた

天津山海關列車開通

天津(ハ) 線路不通となつてゐた天津、

者は極めて容易に大多數人民と土地を手に入るを得たり、吾人は今日傀儡たらんと欲するか、傀儡たらざらんと欲すれば唯權性あるのみ、吾人は自己の權性なれば自己同胞が權性となることを欲せざれば同胞を強制して一戰權性に供し一個の傀儡の種をも留めざるようにせねばならぬ、大都市、小都市の論無く之を灰燼に歸せしめねばならぬ、吾人は敵の侵略を防ぎし得ぬと雖も敵の侵略し來れる後一も得ることならしめねばならぬ

▲吾人は數年來の苦心の結果團結を設き統一を講じ組織訓練を行ひ最後の關頭に於てよく全國、全民族の精神的力量を發動せしめ日に積み月に重ねた物質的建設を以て全國全民族を擧げて侵略者に抵抗せしめば天下既に弱者無く強者も無かるべし、然らば吾人の權性は遂に完成し抵抗の目的は達せらる、吾々は遂に高く最後の關頭の一句を叫び更に高く權性の一句を叫ぶ

汪精衛は二石二鳥

上海(ハ)汪精衛が「最後の關頭の意義」と題して開陳した國民政府の態度は「時既に最後の關頭に立至り敵に對して舉國一致抵抗し焦土とするも一物をも敵に與へず」と主張すると同時に一面「未だ最後の關頭に直面してゐるのではなく其の時機到らば敢然立つべし」と言ふ意味にもとられる單なる「最後の關頭」の概念的説明に終つてゐるが之は國民政府の態度と聲明との間に支那一流の伸縮の餘地を残してゐることが明らかでその意圖する所は蔣介石の今次事變に對する妥協的態度に嫌らず早くも蔣介石不信の態度をあげ始めた民衆の抗日意識を放任し得なくなり蔣介石と國民政府の威信保持の爲めに民衆に對して「國民政府は何時にても起つ覺悟あり」との決意を示す事により

背反しつゝある民衆を引留め逆を蔣介石支持に導かんとする國內的効果を狙ふ一石二鳥の意圖より出されたものと解せらる

韓蔣重要會談

南京(ハ)韓復榘は津浦線を經由し一日午前八時南京に到着同十一時軍官學校官邸に蔣介石を訪問懇談を遂げた、韓復榘の南京入りは蔣介石の招電によるものと云はれ事變擴大して山東に波及した場合の對策の打合せにあることは云ふまでも無く既に韓蔣兩者の間には津浦線沿線に中央軍が、それ以後を韓の第六路軍が擔當するといふ作戰申合せが遂げられてゐる模様である、尙韓の南下と期を同じくして山西閻錫山も今日中に南京入りをする事となつて居り蔣介石の飛行機は閻を迎ふべく既に太原に送られた

中央黨部抗日に乗り出す

南京(ハ)國民政府は國家總動員の見地から目下各地に設立されつゝある抗敵後援會を組織化し中央黨部の指導下に打つて一九とすべく八月一日を期して全國抗敵後援會を組織し大々的に前線部隊慰問後援、義捐金募集傷病兵救済の國民運動に乗り出した

中央軍三十日より參戰

南京(ハ)中央軍最前線部隊は卅日から既に參戰せること明白となつた、孫連仲麾下の第卅一、卅三の各師は卅一日涿州定國に集結し一部は琉璃河の第一線にあつて第廿九軍と協力し我軍空襲に應戰し保定以北には更に中央軍の大部隊が集結中で逐次平漢線を中心に左右兩翼に展開し涿水の南岸に陣地を構築中

北支六省國防計畫

南京(ハ)軍事委員會は河北、綏遠、山東、河南、山西、察哈爾の北支六省國防策を定め徐州の軍事會議で同方策に基く平漢、滹海、津浦、膠濟の四鐵道を中心とする河北山東、河南三省の具體的共同作戰計畫を定めたが更に一日閻錫山に山西、綏遠、察哈爾三省國防計畫を提議し恩賜伯以下の中央軍を以て東部綏遠を、又趙承毅軍を以て北部綏遠の守備を擔當せしめ山西軍の主力を平綏沿線に集結即日自動車準備を完了すべき事を命じた

南京の空氣依然惡化

南京(ハ)卅一日發表された汪精衛の時局に對する意見は露に蔣介石が發表した談話と共に民衆の抗日意識に拍車をかけた結果となり一般民衆の反日感情は急激に惡化の兆が見え今日迄比較的平靜を保つて來た南京も何時如何なる不祥事勃發するやも知れずと豫感され憂慮すべき情勢を醸成しつゝある、即ち首都各界抗敵後援會を中心として各種民衆抗日團體の活動は漸次活潑となり加ふるに各界代表約二百名は卅一日南京學生界抗敵後援會なるものを組織し「日本帝國主義打倒」「蔣介石擁護」「日貨排斥」等の呼聲の下に學生に働きかけ街頭演説、映畫、演藝等を以て民衆の抗日氣勢を擡、前線將士慰問金募集に大々的に乗り出す事となつたがため日本商品の取引は數日前より全く不可能となり既に契約受渡しを終了する商品も契約破棄、商品の引取を要求し來る外邦人使用支那人も何者かに壓迫されて逃亡するなど事態は刻一刻甚だしき不安狀態に導かれつゝある

上海日貨排斥深刻

上海(ハ)今回の日貨排斥が從來の夫と異なる點はその範圍が殆ど日本品全般に

亘り而も極めて強制よく行はれてゐるに拘らず運動の背後にあつて之が指揮に當つてゐるものゝ正體が判然せぬことである、即ち從來日支間の紛争を生じた際には當地支那人團體は争つて日貨不買を決議し之を公表して以て日本牽制策としたが之は必ず外交機關を通じての抗議に達し且つ上海事變を惹起した様な苦い経験もあるのて今回は小麥、麥粉、麵粉等の輸出禁止に於て見らるゝ如く對日不買は公然と行つてゐるが日貨排斥の申合せ乃至指令は全然公表せず専ら潛行的に其の普及を計るといふ極めて巧妙なる戰術を用ひてゐる、本日傳へられる所によると支那人運業者は本八月一日より日貨の運搬を取扱はぬことに決議したと云はれるが若し之が事實とすれば之まで約定品引渡の爲め多少動いてゐた邦人の奥地積出まで杜絶する譯で此の上更に一步進んで銀行間の取引が停止するに至れば當地の情勢は上海事變直前と同様の極めて險惡な事態を再現すべく邦人商社では成行を深く憂慮してゐる

國民支援

いて協議の結果 事變のため應召し主なる收入を失へる家族の生活を救済する方法を講ずるため各省の事務當局においてそれら協議を開始せしめることを申し合せた

統帥の連絡統一會議

北支事變の進展に鑑み東京府では「二十日午前十一時より〇〇並に〇〇部隊の管下である東京、千葉、神奈川、埼玉、山梨各府縣の兵事及社會課長の聯合協議會を府學務部長室に開催應召將士の統帥の後援方法に關し協議の結果

- 一 應召家族に對する臨時相談部を開設して留守隊の連絡を期すること
- 一 理役たんと否とを問はず各出征家族に酒肴料を贈呈すること
- 一 出征將士の歡送には遺憾なきを期すること
- 一 慰問袋の統制をはかり繼續的送付に萬遺憾なきを期すること

を申合せ午後四時過散會した

警視廳衛生部獻金

警視廳衛生部關係の醫師約百名が組織する同人會では今秋の懇親會を廢止して積立金現在高の三百圓を陸海軍に獻納するため去る卅一日陸海軍兩省と相談したところ現在卅一日陸海軍兩省に僅かに一機海軍には皆無の有様であるので二日午前十一時患者輸送機獻納の基金として陸軍に二百圓、海軍に百圓を夫々獻金した

應召家族扶助立案

政府は一日衆議院議員總會に散會後午後四時院內大臣室に近衛首相以下各閣僚參集北支事變に應召した兵士の家族に對する生活保障につ

帝國政府

戰死者追悼會 北支動亂の陣中病歿した前支那駐屯軍司令官田代統一郎中將を以てしめ事變に名譽

の戦死を遂げた東京關係將士の追悼會は一日午後二時半から築地本願寺で営まれ陸軍、海軍、文部、拓務大臣、東京府知事、東京市長の各代理の燒香の後約四百名の來會者一同から皇軍慰問資金を募集市内の西本願寺派各寺院からの獻金と合して陸海軍省に獻金した

陸軍獻金

陸軍への獻金、獻品は其後も絶えず續いて二日陸軍省に寄せられた恤兵金は、二八六件八萬六千四百二十六圓六錢、慰問袋が三、六一六個、千人針卅五枚、御守二萬四千三百六十一個、銀紙八萬五千卅七枚、其他心盡しの品が四千六百八十點に及びまた國防獻金は一七九件八千八百五十六圓八十二錢、エ學術技藝獎勵費が九百件六千四百九十九圓六十七錢となつた

海外動向

米人飛行家北支出動説

ロサンジェルス(ハ)北支の形勢緊張と共に在米支那人は自國側に有利なニュースを捏造し宣傳工作に大奮だが今度は又米國の飛行家百八十二名が大舉南京政府應援に乘出すとの眞しやかな報道が流布された、ロサンジェルス・タイムス紙の一日紙上には故張作霖の軍事顧問で陸軍中將の肩書を持つラッセル・ハーンの談として次の記事が載つてゐる

北支の風雲急なるに際し米國の飛行家百八十二名は各自機關車を同伴支那に赴くことを志願した、南京政府には操縦しない飛行機が三百八十二臺あるがこれらの米國飛行家はこの飛行機を操縦することゝならう、米國の法律は米國內での募兵を禁止してゐるが各自支那に渡つた上自發的に南京政府の軍

務に服するのは一向差支へない



北平情勢

現地

郊外集結支那軍を殲滅
北平(ハ)二日午前北平郊外徐家巷に支那兵約百五十名、趙里屯に數百名集結せるを發見した我が神崎部隊は同地の爆撃を敢行敵に損害を與へた、同時に大原及び佐々木部隊は同敵に對して砲撃を行ひ又後藤、宮本部隊は續いて攻撃を行ひ之を殲滅した

陸部隊武裝解除終了

北平(ハ)北苑駐屯の陸元武の獨立卅九旅は豫ねてより我が方に降伏を申出で來り既に約一千名の武裝を解除したが二日朝特務機關寺平補佐官が折衝委員となり參謀長代理張祿卿の間に折衝の結果殘餘の兵約一千五百名の武裝解除を終り正午中島中佐は武器彈藥等を受取りトラツク廿數輛に満載して引揚げた、これで陸元武部隊全部の武裝解除を終つたわけである

地方維持會活動開始

北平(ハ)北平地方治安維持會協議會は二日午後五時より開催され左の事項を決定愈々積極的活動を開始した
一 治安維持會が中心となり紅十字會、各慈善團體等と協力して死者の收容及び傷病兵の救護を開始する
二 治安維持會の保證により事變動機以來通商を停止してゐた河北省及び察哈爾省兩銀行も兌換に應ずる

三 治安維持會成立經過並に目的方針につき三日市民に對し通告文を發する
四 支那側新聞記者團を招待成立經過を傳へ今後の方針につき意見を交換する

地方維持會宣言發表

北平(ハ)北平地方維持會は二日附で成立宣言を發表北平各機關に通過すると共に市内要處に宣言を布告した、要旨左の通り
◆北平市地方維持會成立宣言
蘆溝橋事件發生以來正に一ヶ月之が解決は遲延決せず爲に情勢擴大して影響の及ぶところ百業停頓し金融滯滯、交通杜絶し糧食騰貴、死傷者途に横はるこれら種々の情況は地方を不安に陥れ人民恐怖に閉ざる、救済の緊要な一日として設置するを許さず茲に環境に適應し速かに善後處置を講せんが爲當市警署及び諸團體共に協力して北平市地方維持會を組織せる事を發表せり、その趣旨は地方の治安を維持し人民の福利を保持するにあり、同人等智識淺深其の任に堪えざる事を慮るも和平精神を以て心とし公益を計り努めて艱苦を避けず深厚努力して我がこれ我等民に寄するところにんとす、此我等民に寄するところに於て亦本會の負ふ可き宿命なり大局好轉し地方平和を得、目的完成せば即ち本會の任務終了、冀くは同邦君子教言を賜らば幸甚なり

北平豐臺間列車復舊

北平(ハ)二日午前九時半北平驛を發した北寧線特快列車は同十一時五十分豐臺に到着午後三時豐臺發折返し運轉を行ひ北平驛に歸來した北平豐臺間は一兵の敵影もない模様である、尙豐臺天津間は目下鐵路工事を急いでゐるので二、三日中に全線開通の見込

天津情勢

天津掃蕩完了

天津(ハ)支那駐屯軍司令部午後四時發表
天津市内の掃蕩は本日の特別區第一區の掃蕩を以て全部完了せり、押収兵器左の如し
小銃 約四千挺
重機關銃 百挺
小銃彈 卅萬發
手榴彈 五噸(二噸積トラツク五臺)
其他在庫品無數

敗殘兵外國租界遁入

天津(ハ)我軍の反撃に會つて潰走した廿九軍敗殘兵は英佛租界に便衣隊となつて潛入するもの相當あるものゝ如く佛租界では既に廿名近く逮捕し居り更に特別一區にも相當逃込んで何事か畫策してゐる模様で在留外人は頗る不安に襲はれ之が退去方を希望してゐる

萬國避難民救濟會活動

天津(ハ)一九一七年天津にて成立せる萬國避難民救濟協會は一日緊急總會を開きチャータード・バンク支配人トーマス氏を委員長に米國居留民會長ラスカー氏を副委員長に各國領事等を委員とし、即日活動を開始し取り敢へず特別第一區(舊獨逸租界)に避難せる約四萬人の食糧その他供給に着手した、同時に英米其他各國赤十字社、慈善團體等と呼び掛け全市の救済に乗り出す事となつた

支那機天津に飛來

天津(ハ)二日朝敵飛行機一機南方より飛來直ちに飛び去つたが果して中央軍飛行機なるや否や調査中である

敗殘部隊馬廠集結

天津(ハ)我が軍の猛射に天津より潰走退却せる第卅八師百十三旅(旅長劉振三)部隊は一日馬廠に集結せる事判明した

天津各機關の抗日

天津(ハ)潰滅した支那側各機關を調査の結果左の如き新事實を發見した
▲天津造幣廠
貨幣鑄造の設備は一もなく工場内は組立中の小銃及彈丸等充満數知れず倉庫内は火藥で一杯となつて居り純然たる兵器廠となつてゐる
▲天津警察局
此處には輕機關銃十五挺、小銃二千、彈丸廿萬發、手榴彈八百、その他多數の武器が貯藏しあり長い間に亘つて抗日暴動を準備してゐた事が判明した
▲又敵がその軍事行動の根據地として猛烈に抵抗した南開大學には抗日宣傳に使用された書物及各種の命令書が發見されてゐる、かくて各機關とも抗日の巢窟であり支那兵がこれ等各機關を根據地として日本租界の攻撃を行つてゐた事が明瞭である

通州後報

通州叛亂詳報

天津(ハ)天津軍司令部軍事幕僚は二日聯絡成つた通州に赴きつづき城内外を視察の上歸津したが廢墟通州の模様につき左の如き實見談をなした
保安隊が叛亂を起したは廿九日午前三時頃でその關係は守備隊、特務機關、日

本旅館近水樓の三ヶ所を一齊に狙つたもので全く計畫的なものだ、最初守備隊の方は歩哨が警報する暇もなくやられ衛兵の急報で守備兵は、齊に防禦についたが叛亂兵は兵營の南側から猛射を浴び守備兵に應戦して一夜を明かした、夜が明けるに叛亂兵は城壁の上から機關銃追撃砲等を營内に打込んで来た、同營内には北平行のトラック十五臺がガソリン彈等を満載して待機してゐたが砲撃を受けて火災を起し彈藥が爆発して破片が飛ぶので支那兵も近づいて来る者はなかつた午後二時頃になって飛行機が來援したので支那兵の攻撃も鈍つたが火は仲々鎮火しなかつた、廿一日は雨で飛行機が來援し難くなった、敵は遂に圍を解いて北方に退却した、午後四時過ぎに救援軍島部隊の主力が到着城門五ヶ所を確保して敗殘兵の掃蕩を敢行したので全く鎮定した、一方特務機關の方では襲撃と共に甲斐少佐が先頭に立ち應戦したが何分少人数であり敵はガソリンを投げ火を放つたので大部分は力盡きて戦死し五六名のみ脱出守備隊に入つた、その室は焼け落ちて見る影もなかつたが秘密文書は安全であつた、特務機關長細木中佐は保安隊の叛亂と同時に冀東政府に赴き鎮壓方を要求せんとしたところ敵の亂射を浴びて戦死した、城外北側の池で邦人屍體〇〇個を發見したがどの屍體も殘忍な手が加へられ判別するに困難を覺えた、近水樓は隨一の日本人旅館だがこれ又滅茶々にやられ女中部屋には鮮血飛び散り目を蔽はしむるものがあつた、在留日本人は内鮮人併せて三百八十名であつたが中には城内支那人の保護で助かつた者もある、叛亂兵は第廿九軍の一部と惡質な保安隊員の合流によるもので保安隊の營内で日本人を殺殺せよ等の宣傳ビラが發見された、冀東銀行や政府は全く灰燼に

歸して見る影もない
血に狂つた保安隊
北平(六二)通州事件の真相は九死に一生を得て通州を脱し北平に生還した人々の談話を綜合するに次の如きものである
廿八日午後九時半頃より市内保安隊に動搖の色現はれたので此空氣を察知した通州日本警察分署では時を移さず特務機關守備隊など關係方面に報告し暫くは何のこともなかつたが廿九日午前三時頃俄然保安隊約三箇中隊が西方に向つて移動を開始した、日本側では最初廿九軍の敗殘兵が此の方面に潰走して來たので保安隊が出動した位に考へてゐたが時既に遅く慘劇事件發生の第一歩を踏み出した、叛亂を起した部隊は第一總隊、第二總隊の保安隊らしく先づ我が守備隊前の急進派が學校跡を陣地として守備隊に向け追撃砲、機關銃の猛射を浴びかけたが我が軍は直ちに適切な措置に出でこれに應戦しつゝある時敵の一彈がトラックに横撃してあつたガソリンに命中し一大音響と共に爆發した、その音響に驚いて保安隊は一齊に退却を開始し守備隊襲撃を斷念した彼等は其の足で冀東政府を襲ふて要人連を片つ端から襲殺更に近水樓、特務機關等を破壊し血に狂つた彼等は更に日本警察並に民家に放火し甚だにも亦幾多の人が犠牲に擧げられた、而してその次に行はれたものは支那一流の掠奪戰で一物も残す所なくトラックに満載して行く彼等の姿は人類の世界に在るものとは思はれなかつた、修羅の巷と化した通州にやがて黎明が訪れた頃我軍飛行機が飛來して偵察を始めた、俄かに生殘つた邦人は一齊に救はれた氣持になつたが又城外に機影を沒した、この隙に乘じて敵は午前八時頃再び襲撃を始め軒並に邦人を探索

して幾多の慘事が展開されたのだ
警察署員四名殉職
北平(六二)通州事變により通州日本警察署員左の四名は壯烈な殉職を遂げた
愛媛縣松山市柳井町七一
巡查部長 日野 誠真(三)
北海通福田郡大野村宇市渡字新町三
巡查 石島戸三郎(三)
長崎市惠美須町廿八
巡查 濱田 末喜(三)
朝鮮咸鏡北道長城郡北山雲谷洞
巡查 金 東 旭(四)
警察署員通州に急行
北平(六二)通州事變勃發以來城外の敗殘兵横行の爲め連絡を絶たれて居たが二日午前十一時半日本警察署では決死隊七名をトラックにのせ通州に急行せしめた
通州守備隊收容者
天津(六二)天津駐屯軍午後四時發表の八月一日夜までに通州守備隊に收容されたる生存者左の如し
内地人總計 六十九名
男 四十二名
女 廿七名
北苑部隊武裝解除
天津(六二)駐屯軍司令部午後二時發表の鈴木部隊は昨日午後八時頃より北苑に在る陸光武の獨立第廿九旅(兵員三千二百)の武裝解除を實施せり、同所に於ける押収武器左の如し
小銃 三千二百挺
輕機 二百廿挺
迫撃砲 十一門
山砲 四門

彈藥 無數
二南苑の戦闘に於ける敵の遺棄死體は二千名を下らず、支那軍の發表に據れば五千といふ
捕虜 百名
同戦闘に於ける我軍の回復せる兵器左の如し
野砲 四門
飛行機 二機
軍馬 一千頭
その他兵器彈藥無數
即坊支那兵營破壞
天津(六二)支那駐屯軍司令部二日午前九時發表の七月廿五日以來數回に亘る支那軍不法不信行為の根源地として利用せられたる郎坊の支那兵營は昨日我が加藤部隊により根本的に破壊せられ且つ敗殘の便衣隊凡そ卅名を掃蕩せり
中央軍保定に陣地構築
天津(六二)柴田部隊が一日午後半漢、津浦兩線の敵狀視察の結果中央軍は續々北上保定附近に集結陣地構築中である
中央軍滄州着
天津(六二)中央軍三個列車は一日津浦線を北上滄州に到着した、彼ら北上中央軍の挑戰的態度は愈々露骨となつた
劉汝明の態度急變
天津(六二)豫平地泉大同附近に集結陣を窺つてゐた中央軍第十三軍長湯恩伯軍の大部隊は一日夕刻より遂に張家口に侵入した、これが爲今日まで洞ヶ峠をきめ込んでゐた察哈爾省主席劉汝明の態度俄然急變抗日の色彩濃化したと言はれる

天津(六二)南苑攻撃に参加し親しくその攻撃戦を見た堀毛〇〇參謀は二日午後二時別線から歸來したがこの激戦に皇軍將士が發揮した戰場美談をもたらし、廿九日早朝南苑、鯉登兩部隊は高梁畑を利用して南苑の支那兵營を南より西北にかけて包圍を開始し午前八時卅分西北角に到着するや敵の猛烈な十字砲火を浴び早くも敵戦となつた、敵は廿尺にも達する城壁に據つて地上を進む我軍をねらつて釣瓶撃ちを放つて城壁近く追つた我軍ものに阻まれて非常な苦戦に陥つたこのとき伊藤、千葉兩部隊長は機體を身につけて十字火に曝らされてゐる城壁外の塹壕を跳越え城壁に爆藥を裝置點火した、途端に兩勇士は倒れたが轟然たる音響と共に城壁は爆破され突撃路が開かれた、茨木部隊は機を逸せず敵兵營に突入して遂にこれを占領したのである
馮・段の子弟戰死
北平(六二)南苑の激戦において第卅師二師長趙登禹、第廿九軍副軍長修德等最高指揮官が戦死したのは既報の如くであるが更にその後の調査により馮玉祥の子の馮維國(六)や段祺瑞の孫の段某等名士の子弟が戦死したこと判明した、馮維國は日本士官學校留學生中抗日學生リーダー格で歸國を命ぜられたといふ親譲の抗日分子で學生訓練機關教育として第卅八師に屬してゐたものである
支那中央
蔣介石廬山へ
上海(六二)蔣介石は二日早朝廣西派の總帥白崇禧と會見の爲め飛行機で廬山に向け出發した
上海(六二)一日急遽飛行機で南京出發廬山に向つた蔣介石の行動は表面廬山訓練學校の卒業式出席のため

對支問題有志代議士會よりの參加勸誘に關して社會大衆黨では二日午後四時代議

士會を開き種々協議の結果政府の方針と衆議院の方針との齟齬を来たさざる様各派立法院に於て慎重に協議を統一すべきであると決定し此重大時局に際し飽くまで輕舉を避け眞に舉國一致の實を擧ぐべく努力することゝなつた

海外動向

米國の態度冷靜

ワシントン【ハ・ロ】北支からの新聞電報は依然事態の險惡を傳へ全面的戦争の危機未だ去らずと報じてゐるが米國々務省當局では北支の事態は漸次平靜化し今後事態の發展は一に蔣介石の態度如何にありと觀測してゐる模様である、一時騒がれた中立法發動の問題も殆んど影を洩するに至り二日正午ハル國務長官の記者團定例會見の際も一週間振りに始めて北支事態は諸國の中心を離れ殆んど問題にならなかつた

米人映畫技師逮捕説

ニューヨーク【ハ・ロ】フォックス映畫會社は同社極東支配人ボニー・パウエル氏夫妻並に子供二人が北平に於て逮捕されたとの報道に接し眞相調査方を國務省に依頼した旨二日發表した

飛行家渡支説調査開始

ロサンゼルス【ハ・ロ】米國の飛行家百八十二名が夫々機關士と共に南京政府の募集に應じて北支の戦線に参加することゝなつたとの新聞報道は全米にセンセーションを起してゐるが米國政府は日米關係に面目からぬ影響を及ぼすものとして司法當局に調査を命じ適當の處置を講ずることゝなつた、調査を命ぜられた聯邦檢事ピアソン・ホール氏は語る

新聞に報ぜられる様に米國の飛行家が外國義勇軍應募禁止令に背いて支那へ行くといふのが事實かどうか正式調査を開始することゝなつた、外國の戦争に義勇兵として参加する者は自動的に市民権を喪失する、尤も宣戰が布告されてない場合は別の解釋も成り立つ譯だが何れにしても眞相を調査して見ねばならぬ

川越大使會見談

ニューヨーク【ハ・ロ】ニューヨーク・タイムズ紙は二日の紙上に同紙特派員と川越大使との會見談を掲げ左の如く報じてゐる

記者は一日朝一時間に亘り川越大使とインタヴューを行つたが大使は河北省南部に於ける廿萬の中央軍の存在は梅津何應欽協定の違反なるのみならず北支平和安定に對する脅威だとして一九三五年協定の履行を強調した、大使は更に若し南京政府が自發的に撤退しなければ日本軍は現在の活動を續け協定地帯より中央軍を驅逐せざるを得まいと述べた、日本は北支に於ける自治政府樹立に援助を與へるだらうとの東京よりの報道に關し記者は種々の角度から質問したが大使は用心深く言明を避け日本は從來通り支那主權領土尊重の態度を執るが北支に於ける政權の將來は全く軍事情勢の將來の發展如何に依存すると語つた

ソ聯重光大使に抗議

モスクワ【ハ・ロ】ソヴェト外務人民委員部は白系露人の天津ソヴェト領事館侵入事件に關しデイトマン駐日代理大使に對し日本政府へ抗議方訓令すると共に二日重光大使の來訪を求め同機抗議を提出した、重光大使はこれに對し左の理由を

舉げてソヴェト政府の侵入犯人處罰要求を一蹴したと言はれる
一 侵入事件は日本軍の統制下にない天津の舊ロシア租界に起つたものである
一 侵入者は全部ロシア人である
一 戦國で混亂状態に陥つたのに乘じ白系露人が勝手に行動したものらしい
一 當時に於ても日本軍は専ら秩序の回復を目標として努力した
外務人民委員部辭去に際し重光大使は新聞記者團に左の如く語つた
事件が日本の號稱機關の計畫したものだといふのは全く日本を誣ふるデマに過ぎず純然たる赤白ロシア人間の闘争である、日本はロシア人同志の紛争には無關心である



張自忠電報離脫

現地

北平【ハ・ロ】張自忠は第卅八師長を辭任し軍籍を離脱した、第卅八師長後任には李文田が任命された

冀察不在委員免職

北平【ハ・ロ】冀察政務委員會代理委員長張自忠は委員中北平に在らざるもの多く議事進行に支障を來たすとして秦德純、戈定遠、劉哲、門致中、周作民、蕭振瀛、石友三、石敬亭の不在委員八名を免職した

冀東政府北平で執務

北平【ハ・ロ】冀東政府は通州事件發生の爲め一時北平に臨時辦事處を設け一切の公務を執る事となり

△總務組

張仁鑫

△財政組

張志遠

△交通組

江華

△治安組

王厦材

劉宗紀

通州事件生存者

北平【ハ・ロ】通州叛亂事件に際し鬼畜の如き叛亂隊安隊の魔手から危ふく逃れた人々で今日まで判明したところは内地人男子四十一名、女子廿四名、子供十二名の七十七名、半島人男子十五名、女子廿三名、子供廿名の五十八名で合計百卅五名である

天津治維會活動開始

天津【ハ・ロ】天津治安維持會は二日午後高慶爵、王曉岩、王竹林等七名出席の下に委員會を開き次の宣言決議を行つた
一本會の成立を各國當局に通告する事
一 各國租界の交通回復を要請する事
一 電燈電話の回復を圖る事
一 銀行公會を通じ十萬元を慈善聯合會に與へ避難民救済に當てる事
一 本決議は委員長責任を以て之を實行に移す事

一區不逞分子掃蕩完了

天津【ハ・ロ】特別第一區方面の不逞分子掃蕩が二日完了したので同區城内の緝緝職員從業員の中男子のみは三日朝夫々自宅に歸還した

平綏線輸送軍爆擊

天津【ハ・ロ】安那駐屯軍午後三時半發表中央軍第八十四師は張家口より南口方面に汽車輸送中なる我が中富部隊は本日午前七時頃下花園附近に於て輸送中の列車を、又午前十時頃谷道城附近に於て支那軍裝甲列車を次いで橋樑に於て軍用

列車を爆撃せり、列車中には顛覆せるもの多からず、多大の損害を與へたるものゝ如し、尙ほ秋田部隊は進行中の支那軍を搭載せる無蓋貨車を、又新保安に於て下車中の敵を攻撃し敵に多大の損害を與へたり

張家口領事館員引揚

天津【ハ・ロ】中央軍の張家口進出以來同地の排日風潮は漸次惡化の傾向があるの爲め領事館員及び在留邦人は平綏線不通のため去る一日多倫經由引揚げを完了近く承德に到着する

香月司令官窮民救済

天津【ハ・ロ】支那駐屯軍司令官香月中將は今次事態による平津地方の窮民救済の爲め三日天津治安維持會に銀十萬元を寄贈した

川越大使來連

大連【ハ・ロ】天津に滞在中の川越駐支大使は清水通譯官星田書記生を帶同三日午前九時天津より飛行機で大連に到着直ちに遼東ホテルに投宿したが大使は四日正午出帆の青島丸で上海に歸へる

我方損害總數

三日正午陸軍省に達した報告によれば七月廿七日より八月一日迄に於ける我が方の損害の概數は左の如くである

△川岸部隊

戰死 一四五

戰傷 三九三

合計 五三八

△酒井部隊

戰死 一七

戰傷 三六

合計 六三

△鈴木部隊

支那中央

戰死	四九
戰傷	二八
合計	一七七
△河邊部隊	
戰死	五四
戰傷	二八
合計	一八二
△その他の部隊	
戰死	一三
戰傷	三九
合計	五二
△右全部隊の總計	
戰死	二八八
戰傷	七二四
合計	一、〇一二

兩廣代表盧山行

廣東「△」 廣東經綏主任余漢謀は二日蔣介石よりの召集に接したので三日午前天津飛行場より自家用ダグラス機に搭乗盧山に向つた

又廣西側代表張任民は白崇禧、李宗仁を代表して桂林出發廣東側とは別個に盧山に向ふ旨を言明した

李宗仁盧山へ

廣東「△」 確かなる筋への情報によると廣西派の總帥李宗仁は蔣介石の招電に接し二日後廣東に到着、極秘裡に三日朝余漢謀と共に飛行機で同道盧山に向ふに決した、李宗仁の北上は廣西と中央との妥協成立の結果と見られる

共產軍熱河進出計畫

上海「△」 支那側情報によれば中國共產黨は豫てより抗日即時開戦を主張し周思來は數次南京に來り蔣介石と協議して居たが中央は北支事變の惡化に伴ひ共產黨の進言を容れ軍費五百萬元を支給し共

産軍を山西、綏遠兩方面より熱河に進軍せしめ日本軍の後方擾亂に當らしめるに決し彭德懷外一名の共產軍幹部は南京に赴き中央と作戰計畫に付き具體的打合せを行ふ事となつたと言はれる、尙共產黨では右作戰の統帥機關として抗日軍事委員會を組織すべく準備を進めて居る模様

上海租界と徴兵令
上海「△」 國民政府が徴兵令施行に決した結果上海にも近く徴兵令が實施され支那市民の強制服務が開始されんとし居るが工部局及び上海領事團の一部では右は停戰協定の違反なりとし左の見解を保持し事態の推移を注視して居る

一 法定によらずして租界より支那人を強制的に徴發するは租界の慣習に違反す
一 租界のみならず大上海市に於ても徴兵令を施行する事は上海停戰協定違反となる

各地邦人續々引揚
△各地居留民引揚げ 上海「△」 わが在支居留民引揚げ状況は鄭州は去る十九日漢口へ、濟南は卅一日青島へ、杭州は同卅日上海へ夫々居留民婦女子を引揚げたが潮州（廣東省）に於ては支那義民が廿八日夜邦人宅に押し寄せ投石亂暴した事件發生し不安になつたので臺灣籍民は廿九日汕頭に引揚げた

△三市邦人漢口に引揚 上海「△」 重慶、宜昌及び沙市の三都市に不測の事件發生することあれば距離遙隔の關係上わが在留民の保護は到底萬全を期し難いので右三市に駐在のわが領事は三日居留民を率いて原地を引揚げ漢口に向つた、當分同地に滞在の筈

△宜昌・沙市邦人引揚 漢口「△」 宜昌の田中領事以下八十一名、沙市の小森領事代理以下十一名の避難民は三日午前十一時着の長陽丸で漢口到着領事員並に關係人のみ下船しその他の人々は四日午前十一時發下航上海經由歸國する筈

△漢口商權潰滅 漢口「△」 當地の商取引は全く杜絶し且つ支那側のモータリヤムの爲め邦商は莫大な損害を蒙つて居り店を閉ぢて上海に引き揚げたものもある

△日本租界の支那人は殆んど全部支那街に避難しボーイや女中も逃亡し出するなど全く灯の消えた如き有様で重慶、宜昌沙市等の商權潰滅と共に長江沿岸の邦人は今や商權潰滅の形勢となつた

佛大使館謝意
南京「△」 二日正午南京駐劄フランス大使は書記官を日高參事官の許に派し天津に於ける今次の事變に關する日本側の諸種の配慮に對し感謝の意を表した

ソ聯大使抗議
南京「△」 駐支ソ聯大使ボゴロフ氏は二日午前十時我が大使館に日高參事官を訪問し白系露人の天津領事館侵入事件に關し口頭を以て左の如き抗議を行つた

一 即ち事件は白系露人の赤系露人に對する反感に關するものであつてソ國人間の紛争に關しては我が方の全然關知するところのものではない、従つて我が方に對して責任呼ばれりをするは筋違ひも甚しい

一 ソ聯側は日本軍が同事件と關係あるかの如く宣傳してゐるが、事實は絕對にあり得ず我が方を認ふるも甚しい

帝國政府

ソ聯の抗議を一蹴
「△」 駐日ソ聯代理大使デーイチマン氏は三日午前十一時分外務省に廂内次官を訪問本國外務人民委員部の訓令に基き白系露人の天津

ソ聯領事館侵入事件に關する抗議を提出して在北支ソ聯人民の保護方を申入れ來つた、之に對し廂内次官は我が方としては固より外國人の生命財產を充分尊重して居り天津に於ける事變發生に際しても固くこの趣旨を守つて居る従つて傳へられるが如き事件ありとしても右は全く帝國政府の關知する所ではない

たがその際日本兵は近くの道路にあつたにかゝらず救助されなかつたと述べて我が方に抗議し甚しきに至つては被掠奪品の返還方を要求した一方南京日高參事官の外務省への報告によれば在南京ソ聯領事スミルノフ氏は該事件に多寡少佐その他他服日本人が加はつてゐたと報告して來てゐる

旨を述べ、日高參事官に對し我方の善處方を要求したのでいづれもこの不當なる要求を一蹴した

從軍記者規則適用
北支事變の重大性に鑑み陸軍では三日附官報を以て正式に北支事變從軍記者に關する告示を公布した從軍記者規則が適用されるのは大正三、四年の日獨戰役以來初めての事でこの規則の施行により現地にあつて皇軍の動靜を報道する新聞通信記者、寫眞班、航空關係者等は正式に身分を保護され軍衛、軍隊の事情の許す限り相當の待遇と便宜が與へられ第一線にある場合などは糧食も供給、また汽車、汽船、自動車等にも便乗を許されるなど報道戦に力強い支持が十分與へられる譯である

▲陸軍省告示
北支に於て軍事に關する報道に任する從軍通信記者（寫眞、映畫、航空關係者を含む）に對しては明治卅七年陸軍省告示第三號陸軍從軍新聞記者心得を準用す
昭和十二年八月五日
陸軍大臣 杉山元

國民支援

對支問題有志幹事會
對支問題有志幹事會幹事會は三日午後

三時衆議院議長應接室に開會民政より豊田、最上、賀嶋、岡野、岡田、政友より宮澤、山本(勝)、第一より赤松、筒井、窪井、青木、濱瀬、第二より小山、道家東方より三浦、田中の各氏出席山本氏を座長に對支問題に關し具體案を協議した結果

一 政府機關、國民の緊張を求むる決議案を各派幹部を激勵して速かに提出せしむること

一 出征軍人の家族に對し迅速適切な手段を取り後顧の憂ひなからしむること並に右に要する豫算は政府をして今期議會に提出せしむること

等を決定し議會會期中は毎日午後三時議長應接室で幹事會を開き閉會後は議長官舎で事務を取ることとし午後五時散會した

東京府會慰問協議

東京府會では三日午前十一時より府會議長室に緊急各派代表協議會を開き東京府より佐々木總務多胡學務兩部長、府會より正副議長外各派交渉員參集應召將士の慰問並に統後援に關し協議の結果

一 統後援に關する協議會設置の件
一 府會議員一同一名十圓を國防費として献出すること

一 統後協議會は隨時之を開催し府當局と府會との連絡の緊密をはかつて時局對處に遺憾なきを期すること
に意見一致し十二時半散會

半島人にも徴兵制を

本派本願等の布教に従つてゐる本派眞宗朝鮮協會の幹事長李元錫氏外十七名の委員は三日午前九時築地本願寺に集合して「半島人にも徴兵令を施行されたし、若しその實現困難なれば志願兵制度を採用されたし」との決議文をつくり朴齊壽代

議士を通じて貴衆兩院に陳情した

通州事件後獻金殺到

通州に於ける居留邦人虐殺は一報いたる毎に殘虐飽くなき支那軍の惡覺ぶりを暴露し統後國民の火の如き憤激を呼んで居るがこの憤激は直ちに陸軍激闘の獻金に現はれ三日陸軍省には各階級各層の人々が朝から夜まで潮のやうに殺到恤兵金は五百廿七件、五萬九千二百四十四圓八十三錢、慰問袋は一千五百五十個、千人針百四十一枚、御守五千八百廿五體、銀紙十八圓百六十六圓七十九錢、學術技藝獎勵費百廿三件、二萬一千七百八十二圓十六錢と合計廿三萬一千六百六十三圓十八錢の巨額に及んだ此中には太平洋一萬哩の波瀾を起してゐる北支在留邦人一同から電報爲替で送られた四百五十二圓卅四錢、三菱コンツェルン東京在勤者一同から一萬七千三百七十八圓五錢、第一銀行重役行員一同五萬圓、丸の内杉山金太郎氏は個人で一萬圓を出征兵士家族の慰恤金に獻納、國防獻金の方ではドイツユンケル飛行機會社日本支社のエルビンフオン・コッホ氏から國境を越えた真心をこめて百圓、鶴見製鐵造船から五萬圓、株式會社共濟會から同じく五萬圓、大倉重七郎男より一萬五千圓等あり事變以來の獻品獻金累計は品物換算額約七萬三千圓と獻金三百五十七萬三千六百九十五圓四十九錢と云ふ數字を示してゐる

海軍恤兵國防獻金

海軍に對する國民の獻金は三日大口では横河電機製作所横河河橋製作所から一萬圓、株式會社共濟會から五萬圓、淺野セメント系の鶴見製鐵株式會社から五萬圓、東京市立の中等學校小學校その他教育關係者が節約實行によつて得た四萬圓、株

海外動向

倫敦財界の觀測

ロンドン【ハ・ロンドン】財界は北支の情勢に深甚な關心を以て注目してゐるが結局支那側には日本と決戦を行ふ意思はないから全面的衝突は避けられるだらうと樂觀的觀察を下してゐる、財界方面の觀測を綜合すれば次の通り

一 南京政府の首腦部及び支那財界方面では日本と決戦を行ふことは全然勝味なき冒險で支那が最近築き上げた各方面の建設復興を悉く根底から覆するものだし、これを熟知してゐる従つて日支の全面的衝突は回避されるだらう

一 蔣介石及び南京政府は頗る困難な立場にある彼等の抑制的態度は廿九軍の對日挑戰により裏切られたが南京政府首腦部のこの抑制的態度は、概に非難すべきでない、蓋し日本との全面的衝突は支那の敗退を意味するからだ

一 結局南京政府は日本軍がどこ迄南下するか又北支の新事態が支那國民の容認し得るものかどうかを見守つてゐるのだ

米人義勇兵阻止を要求

ワシントン【ハ・米人失業飛行家百餘名が支那の募集に應じて北支戰線へ参加するとの噂が傳へられる折柄ニューヨーク州選出共和黨下院議員ハミルトン・フイツシュ氏並にコネチカッツ州選出民主黨下院議員アルフレッド・フイリツプス氏は三日政府に對し米國民が義勇兵として支那及びスペインに赴くことを阻止する機案を請した、フイツシュ議員は更に米國駐屯軍の引揚を要求して曰く

米國政府は現に支那に對し砲艦十隻並に武裝陸軍兵五千五百名を派遣してゐるがこれに要する費用は年々一千萬弗の巨額に達する政府は有害無益にして單に國際の浪費に過ぎないこれら砲艦並に駐屯軍を支那から撤收すべきである

須磨國務省訪問

ワシントン【ハ・帝國大使館須磨參事官は三日午後國務省を訪問北支事態に關する最近の情報を交換して種々懇談を遂げた、會談後須磨參事官は新聞記者團に左の如く語つた

今日は日露露人の天津ノ領事館侵入事件にも觸れたが日本政府はこの事件は全く赤糸白糸兩ロシア人の紛争と見てゐる、日本が事件に何等關係のないことは無論である、山東省内の米國居留民の安全保護のため居留民を省内の特定市區に避難させる計畫についても話が出たがこれは全く米國政府自身の問題で我が方としては單に情報交換したに過ぎぬ、尙支那中央軍の北上に關し日本側には種々情報が入つてゐるが別に詳細を米國政府に通過する意向は無い

天津情勢

天津の秩序回復進行

天津【ハ・天津市内は我軍の敗殘便衣隊の掃蕩と治安維持會の成立により頗る平穩となり避難民の食料配給等も各種慈善團體の奔走で漸次圓滑となつた、更に治安維持會は社會局を除く外各行政責任者の任命を終つて實務を開始漸々市政の恢復に努めてをり特に警察機關については四日より配置される特別第三區管内の巡警を最後に特別區全部に警察機關再建を終了するはずで第一區に殘留してゐる避難民一萬人も各國租界の警戒解除と共に漸次歸還するものと見られる、かくして天津市の復興は目覚ましい勢ひで進捗してゐる

北平情勢

皇軍堂々北平入城

北平【ハ・四日午前九時半皇軍某部隊が堂々北平城内に入城した、此の日北平一帯は日本晴れの青空で皇軍は日章旗を先頭にトラック數十臺を連ねて前門を通

現地

便衣隊を一網打盡

天津【ハ・我軍の支那街確保により便衣隊も殆んど掃蕩されたがなほ殘黨が多少蠢動を續けて居り三日夜も東馬路附近

過し長安街を経て更に前進を續けた

北平【ハ・皇軍某部隊は四日午前堂々晴の入城を行つた、皇軍の北平入城を迎へるのは交響曲の幕開け以來始めてのことであり居留民は狂喜感激の涙を以て迎へたかくて部隊は居留民の歡呼に答へ慰問の水を受ける間もなく直ちに出發勇躍前進を續けた

冀察八委員補充

北平【ハ・冀察政務委員會は既報の如く秦德純以下不在委員八名を免職したが新に三日付を以て左の八名を委員に補充した

張允榮、張鑑、楊兆庚、潘毓桂、江宇澄、冷家驊、鄭景謀、陳中孚

に於て三十名の便衣隊が逮捕された、その際敵は小銃拳銃を亂射し抵抗したが我が軍警は猛烈に之に應戦して一掃打盡となし手榴彈八十三個を始め武器彈藥を多數押収して彼等の再録起計畫を未然に防止した

租界警備平常に戻る

天津【六〇】各租界の中立解除により四日より各國租界の警備も平常化され萬國通過も許され支那街との交通も日佛兩軍當局並に總領事の通行證明書を所持する者は自由に通行を許される事となり天津の交通は著しく順調に改善されるに至つた

大公報等上海引揚

天津【六〇】創刊卅六年北支最古の歴史を誇る支那紙大公報は四日限り停刊することに決定四日の紙上「環境の關係により明日より天津版を暫く停刊し上海本社に於て合併發行する」旨を社告した、なほ中央通信社天津支社及びイヴニング・ポスト紙も發行を停止し天津より姿を消すこととなつた

平津線開通

天津【六〇】天津、北平地方治安確保と共に兩地間列車運行は漸次恢復しつつあるが四日午前八時半變後最初の列車が天津發北平に向つた

一般情勢

平綏線列車三度爆撃

天津【六〇】數日來平綏線により北平方面に向け南下中であつた中央軍の第八十四師は張口家だけでも五個列車を算へ張口以西にも軍用列車が續々東進中であるとの情報を得た我が軍飛行機は三日午前午後二回に亘り敵の軍用列車に對し爆撃を敢行之大損害を與へ全く混亂に陥れたが四日午前更に三日の爆撃を免れて辛くも懷來下花園兩驛に逃げ込んだ變甲二個列車に對し〇〇〇、〇〇〇兩部隊は三回目の爆撃を敢行した、此攻撃により第八十四師の前進部隊は變甲列車諸共大損害を蒙つた模様である

天津【六〇】平綏線にて張口より南口方面に輸送中の中央軍第八十四師は我が飛行機の爆撃により南進を中止せるものゝ如く下花園以南には目下列車の前進してゐる模様がない

空軍敗殘兵を爆撃

北平【六〇】三日朝我が飛行機は通州東方約二里の燕郊鎮に集結せる多數の第九軍兵並に冀東保安隊の敗殘兵を變見爆撃を加へた、敵は廿の死體を遺棄して四散した

中央軍濟南通過北平

天津【六〇】情報に據れば中央軍第八十五師の第百五十五、二百五十五兩團は二箇列車に搭載され三日濟南通過泊頭鎮（滄州南方約六十里）に向つたと

北苑占領押収武器

天津【六〇】支那駐屯軍司令部午前十時發表）北苑に於て武裝解除せる獨立第卅九旅の押収兵器は二日北平警備隊に收容せり、押収兵器左の如し

小銃 一、五〇〇挺
山砲 四門
輕迫擊砲 八門
電迫擊砲 三門
擲彈筒 五〇

チエツコ式重機關銃 二〇〇
拳銃 一〇〇
青龍刀 一、五〇〇

通州後報

生存者百卅五名
通州【六〇】通州慘虐事件に於て鬼畜の如き叛亂隊の雙手をのがれた幸、人は今日まで判明せる處百卅五名で内譯左の如くである

△内地人
男子 四一名
女子 二四名
小兒 二二名
計 七七名
△半島人
男子 一五名
女子 二三名
小兒 二〇名
計 五八名

死亡、行方不明二百十五名

通州【六〇】事件勃發から今日で恰度七日目後から後からと掘り出される死體の発見はいつになつた終るか見當もつかない、今日は北門外の泥沼の中から卅四屍體が引き上げられた、昨日迄の発見屍體は百廿五でこれと總計百五十九屍體となつたわけだ、生存者百卅五人、死亡を確定されたものが百五十九名で合計二百九十四人の行方が明確となつたわけであるが全居留民三百五十名から見ると未だあと五十六人の生死不明者が殘されてゐる今となつては誰れしも此の五十六人の中一人でも生きて居るとは思つてゐないが果してその屍體が発見されるかどうか不明である、今日北門で発見された屍體の假埋葬式は午後三時から保安隊警衛養成所の前庭で行はれた、櫛め掘られた土は八月の上陽の下で乾燥して白茶け無念の魂が眠る地上には名も知れぬ野の花を手向けられた

特務機關戰死者

北平【七〇】通州兵變における特務機關の戰死者左の通り
細木中佐、甲斐少佐、村尾第一總隊顧問、渡邊教導總隊顧問、田中一英、今田逸作、島田不杉郎外四名
なほ生存者は五名である

支那中央

中央の保定作戰計畫

上海【六〇】北支の戰雲漸く切迫するに従ひ南京軍界は何應欽、程潛、顧祝同等を中心し連日作戰會議を開き保定を第一線とする反擊作戰を進められてゐる模様で某方面に達した支那の保定作戰は左の如くである

一 冀山東方面は韓復榘との協定により中央直系胡宗南軍を逐次海岸線、津浦線の兩路より山東に進入せしめ韓復榘の第三路軍を第一線に、中央軍を後方援隊として配備する

一 保定以南平漢線に沿ふ石家莊、順德には乙種師團ではあるが過半数が機械化部隊なる孫連中軍を配し防備に當らしむる

一 西安事變に際し勇名を馳せた樊鍾珪は山西軍と協力して遠く山西、綏遠を迂回し既に察哈爾省にある湯恩伯軍と合流して西北方より日本軍の後方を脅威する

鄒魯、蔡廷楷南京へ

南京【六〇】南京に於ける抗日運動の最高リーダー中山大學校長鄒魯は香港、廣東間を往復し頻りに民衆の抗日意識を煽

つてゐたが近く出帆のエムプレス・ジャパン號で舊十九路軍長蔡廷楷と共に北上南京に來ることとなつた、蔣介石及び北上中の李宗仁等とも會見、南支の抗日問題につき協議するものと見られる

廣東邦人婦女引揚決定

廣東【六〇】中村總領事は四日居留民に對し婦女女子の引揚を勧告した、よつて在留婦女女子百五十餘名は最近の便船により香港經由それへ日本へ引揚げるに決した

廣東稅關員轉勤命令

廣東【六〇】廣東稅關勸務邦人官吏山角吉田、兒玉、柴村の四氏は四日何等の理由なくして突如南京よりの命令として夫々上海、青島、天津等に轉勤即日赴任を命ぜられた、右は抗日派の示唆により廣東稅關が邦人壓迫に出でたものである

重慶居留民漢口引揚

漢口【六〇】重慶の邦人居留民約四十名は糧谷領事引率の下に四日午後四時宜昌九で漢口に引揚げた

韓復榘、有野總領事會見

青島【六〇】南京に於て蔣介石と重要懇談を遂げ韓復榘は二日濟南に歸着したが四日有野總領事に會見を求め

余が右露軍總指揮に任命された等といふことは絶対になく蔣伯誠が當地方面に來るとか中央軍の參謀が派遣されるとか傳へられるが右は事實無根である、余としては依然山東の治安維持の全責任を持つ覺悟であるから日本居留民等については勿論絶対に安心された

と我が方の諒解を求めた

帝國政府

應召家族救護漏網

内務省社會局では北支事變の重大化に鑑み過般出征應召軍人並遺族の軍事扶助につき通牒したが更に軍事扶助關係團體を總動員して積極的に軍事救護の徹底を圖ることに決し四日大村社會局長官の名で全國の地方長官に宛左の通り緊急依命通牒を發し軍事扶助の周知徹底、遺族に對する援手授給、生産資金の融通、營業の保護斡旋等に全力を傾注せしめ餘後の後援を強化することとなつた

記

一 關係家族遺族中事實生活困難に陥れるに不拘軍事扶助の方途あるを知らざるに因り又は扶助方法の積極的組織的ならざること等の事由に因り扶助に漏るゝが如き者無きを期すること最も緊要なりと思料せらるゝを以て市役所、町村役場、區役所、方面事務所、町會事務所等に於て成る可く出勤又は應召軍人家族遺族に對する相談所又は世話係等を設け當時積極的な活動に依り之が慰藉保護の上に遺憾なきを期すると共に方面委員、在郷軍人會、町會役員等の活動を促し軍事扶助法又は其の他の方法に依る軍事扶助の方途を周知徹底せしむること、尙道府縣廳に於て軍事扶助の方途一般に關し簡易なる手引書の如きものを印刷し、右相談所世話係等に備置かしむると共に扶助關係者並に關係家族遺族に配付すること

二 關係家族遺族の後援に付ては此の際特に隣保扶助の精神を發揮すべき義と存せらるゝを以て近隣者は勿論在郷軍人會、男女青年團、婦人會等各種民間團體員をして最寄の關係家族遺族に對し當時慰問に努めしむると共に特に必要

に應じ家事農事その他に關する努力援助を行はしむること

三 關係家族遺族に對しては家庭の狀況に應じ授産授職の普及徹底を圖り營業の保護斡旋指導を爲し或は生産資金融通の方途を講ずる等其の生計の維持に不安ならしむるに努むること

四 軍人援護資金は今次事變に附し出勤又は應召せる軍人の家族遺族の扶助に要する費用に限り必要な場合は明治卅九年八月十四日地甲第一五八號通牒に不拘其の支出額が昭和十二年度當初同資金元本現在額の二分の一を超えざる範圍に於て特に稟請に及ばず支出し差支なきを以て右御含の上一層之が活用を圖ること

從業員應召者は現職扱

全國廿四萬の從事員を擁する逋信省は今回の事變で應召者がある場合後顧の憂なからしめるため文官技術官、雇傭人(三等局從事員をも含む)を問はず免官、解雇、解傭又は休職の手續をとらず現職のままとする事になつた、從つて俸給は應召前のそれに對し軍隊支給の分を差引いて給與し更に共済組合員の資格を繼續せしめ應召期間中は組合よりの借金に對して辨済を猶豫し利子を免除することになつた、野戰郵便從軍者にもこれに準じて行はれる、なほ慰問品は部内應召者に對して特別にやることは他との關係もあるもので一時見合せ野戰郵便從軍者に贈ることになつた

國民支援

獻金總額四百萬圓

四日夕刻迄に陸軍省恤兵部に集まつた恤

兵金は四八一件、二十四萬九千八十圓八錢、慰問袋一千三百三十五個

國防獻金二九六件廿五萬六千三百一圓五錢でこの中赤い思想轉向者の帝國更新會思想部有志の人々から差出された五十圓がある、四日だけの合計五十萬五千三百八十一圓十三錢は正に今までの記録破り、累計も四百萬圓臺を突破して四百七萬九千七百六十六圓六十二錢と言ふ數字となつた

原田積善會五十萬圓獻金

原田積善會では時局獻金として陸海内務の三省に對し總額五十萬圓を寄附することになり四日午前同會の佐伯、久田兩理事が三省を訪れ陸軍省に對しては恤兵及國防教育研究費として金二十萬圓、海軍省に對しては恤兵費として二十萬圓、内務省に軍事扶助事業費(遺族家族扶助費)として十萬圓をそれぞれ獻納した

支那人も獻金

淺草區新吉原町二の一六番間櫻川の弟子で中華民國人の華玉川(まぎ)さんは四日朝日本堤壘を訪れて北支派遣將士慰問金として百圓の獻金を申出た、同人は中國廣東省光塔街生れ明治卅三年日本に渡り爾來卅餘年間寄席藝人から暫間をつとめ半生を日本に暮してゐる

愛婦天津へ弔慰金

愛國婦人會では通州及天津に於て暴漢なる支那兵のため虐殺された殉難者を弔慰し遺族救護並に第一線に活躍する將士慰問のため金三千圓を獻金、その使途について駐屯軍司令部と相談された旨を申し添へて四日天津の愛婦委員會に電報爲替で贈つた

リマでも獻金運動

リマ(ペ・ロ) 北支に於ける皇軍の奮闘は痛く南米各地の同胞を感動せしめて居るが四日(ペ・ロ)市のペル市報、リマ日報の兩邦字新聞は共同して在留同胞から北支事變恤兵獻金を募集する旨發表した

海外動向

米國駐屯軍引揚を主張

ワシントン(米) イリノイ州選出民主黨上院議員ハミルトン・ルイス氏は四日午後上院に於て米國駐屯軍の天津よりの撤退を主張して次の如く述べた
米國軍隊が天津に駐屯する限りフランス兵の場合と同様何時日本軍と衝突するかも知計り難い、米國が軍隊を支那に駐屯させる理由は最早消滅して居りこれ以上駐屯させる事は米國に危險を齎らす許りである



現地

北平各城門を占據

北平(ペ・ロ) 日本軍は五日北の平各城門を占據すると共に平常通り開門したが城門出入者に對しては巡警並に日本憲兵が監視に當つてゐる

北平及び天津

冀察政權制度改正

北平(ペ・ロ) 張自忠辭職後の冀察政務委員會は委員長制を廢止し委員中より常務委員を選出合議制により善處措置に當らんとする意向のごとくであるが目下の形勢

では冀察政務委員會自身にも徹底的な成案はない模様である、冀察政權の動向は今後の北支の治安回復乃至事變の完全なる明朗化に多大の關係があるのでその出方如何が各方面から注目されてゐる

天津の治安恢復進行

天津(ペ・ロ) 各租界境界線の鐵門は支那軍便衣隊の掃蕩により漸く開かれバリケードも取除かれ治安維持會の活動と共に市内の交通は復活し邦人事業も漸く復興し鐘紡公大第六工場も全員工場に歸還第七工場も破損箇所を修理近く操業の筈である

天津(ペ・ロ) 天津治安維持會は四日各部局の配置を決定し六日中に各科長の人選を完了し愈々實務開始の段取りとなる豫定である

支那避難民に分配給

天津(ペ・ロ) 舊獨逸領界たる特別區域には未だ五千名以上の支那人避難民が收容されてゐるのでそれ等に對しては天津慈善聯合會、米國慈濟團隊が救済に當つて居り五日には日本軍當局より多量の米を配給した

天津國防婦人會活動

天津(ペ・ロ) 事變勃發以來の戦傷者總數七百九十九名中の大部分は天津に後送され軍病院は趙清員の爲め天津共立學校と共に醫院の舊病舎に收容されて居るが軍醫手不足の爲め日本人醫學會は總動員して治療に奉仕し更に看護には少數の志志看護婦の外國防婦人會員が毎日五十名宛詰切り心からなる温い手を差のべ餘後の活動を續けて居る

通州後報

通州連絡尚不完全

天津へ 通州への聯絡は現在尙殘兵出沒する通州街道を通行する冒險自動車聯絡と並行しての惡天候を肩しての天津からの飛行機聯絡に限られてゐる。通州城内は我軍によつて確保されてゐるものと通州への各街道は尙危險去らず一日僅か一機か二機の通州天津間の飛行機聯絡は重傷者の輸送のみに充てられて居り一般聯絡は未だ完全に復舊してゐない。

通州遺難者屍體收容

天津へ 五日までに発見處置された通州居留民の遺難屍體は警察官を含して總數 百八十四體

男 九十三體
女 五十七體
性別不明 卅四體

である、收容された居留民は百卅一名中内地人七十三名、半島人五十八名でこの他重傷の爲天津に空輸された者五名である。

池長官代理弔慰

天津へ 冀東政府長官代理池宗墨氏は通州事件遭難に對し既に五千元を贈つたが更に死亡邦人に一萬元、生存邦人に一萬元、遺難支那人に一萬元合計三萬元を贈つて弔慰した。

冀東政府唐山で執務

天津へ 冀東政府長官代理池宗墨氏は臨時天津に於て冀東政府の政務を處理してゐるが一兩日中に唐山に臨時政府機關を移轉し同時に政府首腦者を任命更に通

州市街の整理一段落を俟つて正式に政府各機關を移轉し萬般の政務を執ることゝなつた。

一般情勢

中央軍雨で悩む

天津へ 確實な筋への情報によれば山西省方面は連日の大雨で中央軍の軍事輸送に妨からぬ支障を來し前進部隊との連絡も困難な状態にある。

冀察の中央軍配備

天津へ 河北、察哈爾兩省に於ける中央軍の配備状況は左の如くである。
一 懷來、宣化間に第八十四師(師長高桂滋)及び第八十九師(王仲廉)總兵力約二萬
一 張家口附近に第四百十三師(劉汝明)約一萬五千
一 馬廠附近に第卅八師(張自忠)約一萬
一定興附近に第卅七師(馮治安)及び第百卅二師(代理師長李文田)合計二萬以上

一 保定附近に第五十三軍(軍長萬福麟)麾下の百十六師(總領流)第百廿九師(周福成)第百卅師(朱鴻勳)
此外第十師(李默庵)騎兵第十師を含せ總兵力約三萬五千
一 鄭州より正定の間に第卅師(孫連仲)第卅一師(池峰城)獨立第四十四旅(張華堂)第卅九師(盧炳勳)合計約三萬
一 東鹿より趙州間に第十一師馮占海の約五萬
一 高邑より順德、磁州間には第百四十一師(李鴻文)第百四十二師(呂濟)第百卅九師(黃光華)の二萬

で總兵力廿萬餘の大軍となつてゐる、尙

修繕中央軍は津浦線、平綏線を北上、陸續輸送されつゝある、前記進出中の中央軍は陣地を構築、戰備に汲々たる状態である。此外濟南、順德、登州、正定其他の既設飛行隊の擴張、飛行場の新設を努めてゐる。

廿九軍兵力激減

天津へ 北支援亂の不逞を擲にし遂に皇軍の爲難送された第廿九軍は蘆溝橋事件發生當時その兵力は第卅七師第卅八師並に獨立部隊特科隊等を含して約八萬と稱せられてゐたが平綏線、北寧線一帶各地の戰闘に於て全面的敗北を喫して以來四日迄に馬廠、保定方面に集結を了した同軍兵數は僅かに三萬といはれ併も敗殘兵中から無數の逃亡兵を出してゐる。

獨流鎮に敗殘兵集結

天津へ 七月廿九日天津日本租界を襲撃し我軍の猛烈な反撃に堪へ兼ねて敗走した第卅八師獨立第廿六旅の第六七八團の支那軍及び抗日保安隊は獨流鎮以南に潰退したが右敗殘兵は性慾もなく再起を計り目下獨流鎮南方に於て四散せる兵力の集中に努めてゐる。

中共黨態々移動開始

天津へ 徹底抗日を決定せる南京政府は中央軍を大舉北上せしむると共に陝西の共產黨と妥協し軍費五十萬元を支給抗日戦に参加せしむるに決した、共產黨の領袖彭德懷は目下南京に在つて國民政府主席蔣と協議中であるが陝西の共產黨は愈々近日中に移動を開始すべく中國共產黨も北方支部に機を飛ばし平津地方の後方擾亂工作に活潑なる動きを示すものと見られる。

宋哲元通電內容

天津へ 天津益世報の報道によれば保定にある宋哲元は三日付を以て左の如き戰闘報告の通電を發してゐる。

宋哲元は中央を擁護し平津地方を確保して來たが七月七日蘆溝橋事件發生以來日本に抗して戰ふこと廿日餘り、我が吉星を團長は傷者卅七師の死傷者千名以上に達し更に廿六日郎坊事件起り五百餘名の死傷者を出す、同日廣安門に於て敵の襲撃を撃退廿七日通州及び團河村に於て敵の襲撃のため莫大の損害を受く、廿八日には南苑、北苑、沙河鎮を攻撃され南苑の第卅八師三ヶ團が極力防戦したるも死傷者千名以上に達し我軍師長趙登禹等は遂に身をもつて國に殉ず、楊幹三、阮芝武兩軍も死傷千名を下らず、廿九日天津に戰端を開き之復死傷千餘を出せり、之等戰闘の損害を含すれば實に五千餘の兵を喪失しこの他軍需品の損失莫算以上は今次作戦の概況にて敵の周到なる計畫のため哲元の措置當を失するものあり、國家の嚴重なる處分に値す、仍て茲に廿九軍長の職を馮治安に委ね中央の決を俟つ、哲元、近日精神振はす休養の上再び國に報ひ、國人の真相不明を廣く取敢へずこゝに報告す。

良鄉附近の敵兵潰走

天津へ 支那駐屯軍司令部午前十時發表。
四日正午頃良鄉附近において岡崎部隊は機關銃を有する七、八十名の敵兵と遭遇し之を南方に潰走せしめた、敵の遺棄屍體約廿、鹵獲兵器小銃卅挺、手榴彈二百個、我方に損傷なし。

戰死傷者數表
天津へ (支那駐屯軍司令部午後五時發表)

發表)
今次北支事變に於ける四日までの戦死傷者數左の如し
△川岸部隊
戰死 將校二准士官六下士官一
九兵一三三
戰傷 下士官一兵六
戰死 將校三三准士官八下士官二
三兵三八三

△河邊部隊
戰死 將校四准士官三下士官一〇
兵六四
戰傷 五
戰死 將校一九准士官三下士官二
七兵一五五

△鈴木部隊
戰死 將校一兵四一
戰傷 將校二兵三
戰死 將校七兵二二七

△酒井部隊
戰死 將校二准士官一下士官七兵
三〇
戰傷 將校九准士官一下士官一〇
兵一九

△其の他
戰死 將校三下士官二兵六
戰傷 准士官一下士官三兵七
△合計
戰死 將校三准士官一〇下士官三八
兵二七四計三四四
戰傷 將校二下士官一兵一六合計一
九

戰傷 將校六〇准士官一三下士官六三
兵七三九計八七五
戰死傷總數
計 一、二三八

郎坊、南苑戰の結果
天津へ 七月廿五日より廿九日に至る郎坊及び南苑に於ける戰闘は猛烈を極め

宋哲元の南京政府に對する交戦經過通電によると支那軍の損害は二千人に達すると報告されて居るが我軍も將士だけで戦死九、戦傷十六(下士兵の戦死傷數調査未了)で今次事變に於ける最激戦であつたことを物語つてゐる

支那軍に與へた損害

陸軍省電によれば事變勃發以來我が軍の支那軍に與へた損害の概略は左の如くであるがその數字の外に尙多大の損害がある模様である

△遺棄死傷數見數

南苑行宮附近

北平西方地區

△武裝解除數

北苑

北平西方地區

通州

△捕虜

南苑行宮附近

△國獲兵器

野砲

山砲

重迫撃砲

輕迫撃砲

チエツコ式機關銃

小銃

拳銃

青龍刀

(第卅八師及第卅二師) 一〇〇

四門

四門

三門

八門

二百數十挺

約五千

百數十挺

一千五百

白崇禧南京入

上海へ。中央通信社南京電に依れば白崇禧は蔣介石の招電に依り中央差し廻し

の飛行機で四日午前十一時桂平發午後四時半南京着中央要人多數の出迎へを受け午後六時半官學校の官邸に蔣介石を訪問北伐以來八年振りで劇的握手を交換晚餐を共にしつゝ對日抗戰全國々防戰統一に關し協議した

宋子文南京に飛ぶ

上海へ。宋子文は蔣介石の招電により五日朝南京に到着直ちに蔣介石並に白崇禧を應訪し廣西と中央との全面的合作の前提たる金融財政上の諸問題につき協議する處あり更に全面的衝突の重大危機に瀕しつゝある日支關係につき重要意見の交換を行つた

何成濬南京着

南京へ。湖北綏靖主任何成濬は本日午後四時半漢口より南京に飛來直ちに蔣介石と見し漢口方面の軍情及び平漢線による軍隊輸送状況について詳細報告引き續き主要指令を受けた

全國軍事統一促進

上海へ。五日の何成濬の入京に引續き蔡廷鍇は八日、雲南の龍雲、四川の劉湘は九日夫々入京する旨南京政府に公電が達し張學良も近く入京すると言はれ既に入京した閻錫山、白崇禧、何應欽を始め地方軍界の領袖は續々首都に參集しつゝあり、蔣介石は之等將領に對し抗日戰線統一、國家非常時期體制の建前から各地將領の中央と連絡緊密化を求めざるを得ない、此の爲め之等將領に對しては軍資金の名目の下に既に巨額の豫案費を提供されつゝあり、今日迄に交付済みのもの廣西一千萬元、山東、山西、四川各三百萬元等ありと傳へられる、中央の軍事的統一は抗日意識の昂揚を利用し一段と強化促進されつゝあるものゝ如くである

張學良にも召電説

上海へ。西安事件以後浙江省奉化縣の溪口に監禁されてゐた張學良は蔣介石よりの召電により近く南京に赴き全國將領國防會議に列席するに決したと謂はれるが學良は蔣介石と會見の上は豫ての持論たる抗日戰線論を振りかざして時局の舞臺に乗り出し以つて過激の西安事件によつて失はれた地位と人望との回復を圖らんとするものと見られる、學良が若し今回の抗日戰線強化擴大を機會に復活するとせば舊東北軍を統率して北平部隊に參加することと豫想に雖からずその出處進退は注目されてゐる

國民黨内に相剋

上海へ。近々極秘裡に開催される國防會議擴大會議に續いて十月中旬開催豫定の四中全會の開幕期を早めて今月中旬召集せしとの傳説が蔣介石側近者の間に唱へられ或は急速に召集期日の決定發表を見るかも知れない情勢となつた、積極交戦と下野要求との板挟みに遭ひ進退に窮しつゝある蔣介石一派が對日政策に關する責任の轉嫁を圖らんとしつゝあるもので反蔣派に寧ろ四中全會の繰上召集に反對の氣勢を示してをり舉國一致對日抗戰の裏面には文字通りの國內相剋の醜態が續けられてゐる

抗日を國內統一に利用

南京政府は廿九軍の敗退以來對日抗戰に對する積極的意志を露骨に表明し中央軍をして續々北支進軍を開始し戰團體形の整備を急ぎつゝあると傳へられるが我方に於ける最も權威ある筋の見解に依れば南京政府最近の態度は口に徹底的對日抗戰を唱へ乍らその裏面に於ては自ら精銳と稱する中央軍と日本軍との衝突を回避難軍をして當らしめんとするが如き奇怪なる行動が表面化して來て居ることである、即ち北上せる支那軍の配置を具體的に見るとすべし對日作戰に對する第一線は維軍又は偽系軍を以てし蔣介石直系の中央軍は離海線沿線の第二線地帯に集結してゐる現状であるこれは蔣介石が北支事變を利用して維軍、偽系軍等の一掃を意圖してゐることの表れであり山東の韓復榘山西の閻錫山の如きは南京側のこの一石二鳥の工作を見抜いて輕率に對日抗戰に參加することを躊躇してゐる有様である、蔣介石が支那空軍の威力を豪語しながら今日まで戰線に飛行機を使用せざることも南京政府の作戰意圖が必ずしも積極的なものでなく寧ろ國內政策に北支事變を利用することにより國內統一の野望を遂げんとするものと見るべきである、かゝる状態にあつて南京政府内部には頗る硬軟兩派の對立論争が激化するに至り蔣介石もこれが收拾に大いに苦慮して居り漸く政府内部の對立抗爭が表面化しやうとしてゐることは大いに注目すべき現象である

上海支那街混雜

上海へ。北支形勢の重大化に伴ひ上海に於ても不穏なデマが亂れ飛ひ關北一帶の支那人を刺戟し三日夜來の暴風雨の中を人力車に家財を積込み我れ先きにと佛租界及び南市方面に避難する支那人の群れが町に溢れ支那人家は殆んど軒並空家となつてゐる、一方北停車場附近は北支の戰禍を逃れて殺到した支那人の群れでゴツタ返してゐる

日本紡績三割繰短

上海へ。租界外の保安隊集結點蘆溝橋等對日戰備擴大につれ支那人間の不安感各種流言に著し動搖を來してゐるが、これが爲當當地日本紡績職工五萬の中約一萬は出勤せず事實上三割繰の繰短を行つてゐる、青島よりの情報に據れば給料支拂ひ毎に職工數減少し現在の作業率僅かに二割五分に過ぎず中には殆んど工場閉鎖に近きものすらある状態である

漢口排日益々激化

漢口へ。漢口の排日運動は非常な深刻さをもつて急激に擴大し居留邦人は防備財産の拋棄、日常の食糧入手さへ困難な状態に陥つた、出先官憲並に居留民團側は邦人全部の引揚げ時機を考慮してゐるが最悪の場合も考慮して來る八日邦人婦女子四百餘名を取扱へず下航避難せしむる事となつた

青島の空氣惡化
青島へ。青島市長沈鴻烈がわが大鷹總領事に對し如何なる理由を問はずわが陸軍隊の上陸せんとする場合支那側に於て武力を以て阻止する旨明確に言明して以來青島の空氣は俄然一變し陰鬱、霧圍氣に包まれるに至つたが五十萬市民をこの不安の底に投げ込まんとする沈市長の態度に對し各國民は齊しく憤慨、早くも沈市長排撃運動が起りつゝありこれが原因となつて不祥事に進展する可能性も多

方針と傳へられてゐる
抗日を國內統一に利用
南京政府は廿九軍の敗退以來對日抗戰に對する積極的意志を露骨に表明し中央軍をして續々北支進軍を開始し戰團體形の整備を急ぎつゝあると傳へられるが我方に於ける最も權威ある筋の見解に依れば南京政府最近の態度は口に徹底的對日抗戰を唱へ乍らその裏面に於ては自ら精銳と稱する中央軍と日本軍との衝突を回避難軍をして當らしめんとするが如き奇怪なる行動が表面化して來て居ることである、即ち北上せる支那軍の配置を具體的に見るとすべし對日作戰に對する第一線は維軍又は偽系軍を以てし蔣介石直系の中央軍は離海線沿線の第二線地帯に集結してゐる現状であるこれは蔣介石が北支事變を利用して維軍、偽系軍等の一掃を意圖してゐることの表れであり山東の韓復榘山西の閻錫山の如きは南京側のこの一石二鳥の工作を見抜いて輕率に對日抗戰に參加することを躊躇してゐる有様である、蔣介石が支那空軍の威力を豪語しながら今日まで戰線に飛行機を使用せざることも南京政府の作戰意圖が必ずしも積極的なものでなく寧ろ國內政策に北支事變を利用することにより國內統一の野望を遂げんとするものと見るべきである、かゝる状態にあつて南京政府内部には頗る硬軟兩派の對立論争が激化するに至り蔣介石もこれが收拾に大いに苦慮して居り漸く政府内部の對立抗爭が表面化しやうとしてゐることは大いに注目すべき現象である

上海支那街混雜
上海へ。北支形勢の重大化に伴ひ上海に於ても不穏なデマが亂れ飛ひ關北一帶の支那人を刺戟し三日夜來の暴風雨の中を人力車に家財を積込み我れ先きにと佛租界及び南市方面に避難する支那人の群れが町に溢れ支那人家は殆んど軒並空家となつてゐる、一方北停車場附近は北支の戰禍を逃れて殺到した支那人の群れでゴツタ返してゐる

日本紡績三割繰短
上海へ。租界外の保安隊集結點蘆溝橋等對日戰備擴大につれ支那人間の不安感各種流言に著し動搖を來してゐるが、これが爲當當地日本紡績職工五萬の中約一萬は出勤せず事實上三割繰の繰短を行つてゐる、青島よりの情報に據れば給料支拂ひ毎に職工數減少し現在の作業率僅かに二割五分に過ぎず中には殆んど工場閉鎖に近きものすらある状態である

漢口排日益々激化
漢口へ。漢口の排日運動は非常な深刻さをもつて急激に擴大し居留邦人は防備財産の拋棄、日常の食糧入手さへ困難な状態に陥つた、出先官憲並に居留民團側は邦人全部の引揚げ時機を考慮してゐるが最悪の場合も考慮して來る八日邦人婦女子四百餘名を取扱へず下航避難せしむる事となつた

青島の空氣惡化
青島へ。青島市長沈鴻烈がわが大鷹總領事に對し如何なる理由を問はずわが陸軍隊の上陸せんとする場合支那側に於て武力を以て阻止する旨明確に言明して以來青島の空氣は俄然一變し陰鬱、霧圍氣に包まれるに至つたが五十萬市民をこの不安の底に投げ込まんとする沈市長の態度に對し各國民は齊しく憤慨、早くも沈市長排撃運動が起りつゝありこれが原因となつて不祥事に進展する可能性も多

分に見受けられ事態急變の危険が愈々痛感するに至つた

帝國政府

首相奏上

〔ハ〕近衛首相は五日午後二時宮中に参内天皇陛下に拜謁仰付けられ北支事變第二次追加豫算並に北支狀勢を奏上種々御下問に奉答して退下した

首相内府侍從長會議

〔ハ〕近衛首相は五日天皇陛下に拜謁仰付けられ後内大臣府に於て湯淺内府と會見更に内府侍從長とも會見時局に關して種々協議懇談の後同四時十一分宮中を退出した

首相海相協議

近衛首相は五日午後宮中より退下後同四時卅分より一時間に亘り院內大臣室に於て米内海相と重要協議を遂げた

軍事救護對策

定例事務次官會議は五日午前十一時より院內に於て開會、院內務次官其他から縣召兵士の遺家族扶助に就て夫れ々各省の對策を報告、種々協議の結果今後各省共一層軍事救護の徹底を期し諸施設を考究實施することとして同午後一時散會した

農林省の應召家族對策

農林省では今次事變に當り農山漁村應召兵士に對し後顧の憂なからしむる諸方策を講ずる爲め五日午後七時より農相官邸に有馬農相、高橋、戸田兩次官以下首腦部出席して省議を開き次の如き「事變に對する農山漁村對策要綱」を決定し同八時散會したが農林當局では差當り之を各

地方廳及び各縣團體に通達すると共に各局に於て更に具體策を練つた上中央農林協議會と協力して之が實現を期することとなつた

△事變の爲め應召者を出したる農山漁村に對する方策要綱

一 町村長、經濟更生委員會を中心として學校、各種産業團體、社會團體協力の下に相談所の如きものを設け、應召農山漁家の産業經營、家政經濟一切の相談に應じ積極的に指導をなすこと

二 應召に依り生ずべき人馬の勞力不足に關する措置

(イ) 部省團體の共同勞作獎勵

(ロ) 各種産業團體を通じ農具、家畜等の共同利用の徹底及び役畜、動力農具、運車等の迅速なる補給

(ハ) 除早、害蟲驅除等簡易作業に對し學童等に學生校生徒の協力

(ニ) 國有林施業の季節的、地域的調整による勞力不足緩和

三 信用組合の積極的活動に依る産業經濟資金の潤滑なる供給

四 各種産業團體を通じ農林水產物販賣に對する積極的指導及び肥料、飼料等産業用品の適切なる配給

五 應召農山漁家の家畜、漁船、漁具に對する關係團體の適切な管理

六 應召農家の小作關係の安定、特に小作紛糾に對する各種團體の協力的調停斡旋

七 應召自作農家が自作地を失ふことなき爲め關係産業團體の經濟援助、必要なる場合の一時的耕作化

八 應召農山漁家の食糧不足防止のための政府米の可及的拂下げ及び迅速なる配給

九 應召農山漁家に對する社會的施設

(イ) 傷病に對する醫療利用組合の無料診療又は診療費低下

(ロ) 結婚葬祭、出征、傷病等出發に對する各種經濟施設の活用

(ハ) 漁業組合の漁業、自營或いは共同經營指導に依る利益の應召漁家への配當

(ニ) 關係産業團體の活動による生活必需品の適切な配給

(ホ) 授産施設、託兒所、共同農場、職業紹介等の社會施設設置

(ロ) 國有林の管理利用、耕地整理事業開發事業、林道、治水事業等の工事施行の場合の優先的就勢

(ト) 團體費その他手費料、使用料等の減免

(チ) 負債償還に就て負債整理委員會はじめ各種の團體協力援助

十 産業組合未加入の應召農山漁家に對する組合加入の簡易化

尙右の他農林省では應召農山漁家に對して政府低利資金産業組合資金を優先的に貸付け又は融通資金の償還緩和につき大國當局、產組方面と折衝する

國民支援

政民兩黨決議案打合

衆議院の北支事變に對する政府機關、學國協力の關する決議案の取扱につき民政黨の櫻内院內主任總務、小泉幹事長、政友會の安藤院內總務、松野幹事長の四氏は五日午後四時半院內議長廳接室に於て會見し協議の結果

一 内容は東洋の恒久的平和を確立することを目標とし支那の反省を求むるために政府を擁護し學國協力を時限打開、邁進すべきであるとの趣旨に基

き更に兩黨に於て案文を練り六日午前十時院內に於て四氏が更に會合すること

と

一 右決定の後各派に交渉の上各派の共同提案として同日午後の本會議に於て豫算増稅案等を議した直後之を上程全院一致を以て可決すること

に一致し同五時半散會した、尙ほ提案理由の説明には第一黨たる民政黨の櫻内主任總務が當る筈である

陸軍獻金

五日も宅坂の陸軍省では朝から獻金の人波絶えず未知れぬ銃後の赤誠に當局を感激せしめてゐる、恤兵金は八百七十八件卅六萬二千七百一圓廿一錢、慰問袋は一千五百廿八個、千人針八十三枚、お守八萬一千八百十個、銀紙十二萬百廿五枚その他九百九十八點の慰問品があり、國防獻金は三百廿七件四萬四千三百三十四錢、その他學術技術獎勵費は數萬圓に上つてゐるが夕刻迄、決算出來ず、判明した方だけで五日は獻金總額四十萬六千八百十四圓卅五錢、事件以來の累計四百四十八萬五千八百九十圓九十七錢、他に品物の換算額約七萬八千圓といふ巨額に達した、五日の主なるものは東京靜觀士會より會長大橋誠一氏が代表で恤兵金二千圓帝國生命から社長朝吹常吉氏が一萬圓を小石川の女高師附屬高女同窓會が樂會は石川、豊島區高田町二ノ六九〇杉山しむさんは前に恤兵金として千圓を寄附したが今回は更に慰問袋五百個を獻納又兜町二ノ三〇山崎種二氏は學術技術獎勵費として一萬圓、澁谷區代々木初臺町七一三宮維信氏は毎日十錢以上を非常時國防費として預金した七ヶ月分十圓を國防獻金に送附して來た

海軍獻金

各方面から海軍省へ届けられる獻金、慰問袋は五日も朝來非常な數にのほり銃後

の熱誠に當局保育は感激してゐるが五日の獻金は計廿一萬一千六百九圓四十二錢でそのうち國防費十二萬二千六百五十圓四十五錢、將兵慰問金八萬八千九百五十八圓九十七錢その他慰問品が一萬四千三百五十七點あつた、尙去月十九日からの累計は百九十二萬二千二百一圓廿六錢で慰問品の總計は八萬六千廿三點である

半島に溢る熱誠

今次事變を契機として半島人間には果然愛國熱高まり義勇軍組織其他銃後の各種愛國運動が捲き起されてゐるが朝鮮最大の宗教團體たる天道教ではいち早く武運長久祈禱、獻金等信徒を總動員して愛國運動に入りその他朝鮮佛教中央教務委員キリスト教青年會、救世軍朝鮮本營等何れも京城軍事後援聯盟に加入して銃後の活動を開始し、更に之についで待天教も五日軍事後援會に加盟朝鮮における内鮮官民は今や完全に一致協力愛國の熱誠に燃えてゐる

ベルリンから獻金

ベルリンへ北支に於ける皇軍の奮闘はベルリン在留邦人を痛く感動させてゐたが歐洲旅行の途次偶々ベルリンに立寄つた若松重太郎氏は五日午前帝國大使館に武蔵小路大使を訪問恤兵獻金として一千圓を附託陸軍省へ傳達方を申出でた

海外動向

米人義勇兵七千名志願説

ロサンゼルスへ北支故張作霖の軍事顧問でラッセル・ハーンといふ男が發表した一篤志飛行家百八十二名支那行志願のニュースは時節柄センセーションを起

してゐるがUP通信社報道によれば同人は五日更に次の如く豪語したといはれる

支那政府の對日抵抗を援助するため飛行家歩兵砲兵を網羅する米人部隊を組織する計畫を立てたところ早くも前出征軍人が七千人も参加を志願して来たこれらの志願兵は今後六週間以内に編成を終り大舉して支那へ遠征する筈である

ドイツ人教官召喚か

ベルリン(ハフ)日支紛争の激化と共に現在支那軍の指導に當つてゐる多數ドイツ人教官が問題となつてゐるがドイツ政府筋ではこれらドイツ人を依然支那に在留させておくことは對日關係上面白からずとし紛争長引く場合はその引揚を命ずべく目下考慮中であるといはれる、右ドイツ人教官はすべて個人の資格で在支してゐるがドイツ市民たることに變りはないので日支紛争に對し當初から發正中立の方針を堅持してゐたドイツ政府としてはこれが引揚を妥當とするに至つたと解される

孔祥熙パリで語る

パリ(ハフ)國民政府財政部長孔祥熙氏は五日パリ新聞記者團との會見に於て日支紛争に言及西歐諸國が戦争防止のため歐起する機望を左の如く述べた

余は歐米各國を歴訪して各國輿論の大勢が支那に同情を寄せてゐることを知り欣快に堪えない、日支紛争は愈々險惡化しつゝあるが歐米諸國の態度如何によつては未だ極東に於ける戦争を防止することが出来る、余は世界の輿論の力によつて日支兩國は勿論全世界各國もこの恐るべき紛争から免かれ得ると確信するものである

六

北平情勢

現地

張自忠委員長辭職

北平(ハフ)去る廿八日夜宋哲元の北平逃出と共に冀察政務委員會主席代理に就任し爾來冀察政務委員會内に於ける第廿九軍系要人の隨一として收權噴下りに百方努力を續けて來た張自忠は各方面の反軍閥的空氣緩慢の爲め自發的に第廿八師長の軍職を去り一方事變後時局收拾の爲成立した北平治安維持會に對し多額の資金を提供して抱込みに腐心して居たが地方各界の第廿九軍に對する反感は豫想外に強いので張自忠は四日最後の切札として冷家驥以下治安維持會代表者を冀察政務委員會に任命して算廿九軍系委員に代へ冀察政務委員會の色彩を稀薄にし以て民間側との妥協を圖らんとしたのが周囲の情勢益々不利となり且つ今次の事變を機として天津一帶を軍閥の擯取から解放せんとする要望愈々高まつて來たので張自忠も政權維持の到底不可能なるを察知し愈々辭職の肚を決め五日深更に至り正式に冀察政務委員會代理委員長職任の手續をとつた

張自忠辭職 北平(ハフ)

張自忠は辭職に際し各常務委員に左の所感を寄せた
宋哲元の命により去る廿九日代理委員長に就任以來國家の爲民衆の爲挺身時局を擔當して來た、現在北平附近の軍事行動は既に停止し秩序は恢復和平の念願も著々實現しつゝあり今後は政治的に一切を解決し得る事態に至つた、余が月餘に亘り病氣なりしは諸子の知るところで最近ば身心共に益々不可時

局重大の際若し施政に遺憾あつては地方民衆にも申譯なし再三熱慮の上大局を觀望せらるゝが爲此の際有能の士に會務を譲るに決した

北平市長を辭任 北平(ハフ)冀察政務委員會委員長を辭した張自忠は更に近日中に北平市長をも辭職する筈

廿九軍系に大打撃

張自忠の辭職は單に冀察政務委員會委員長代理を辭して當面の責任者たる地位を退くのみで表面的には何等變らぬが天津の地盤保持に執拗な執着を以て居居はり工作に大重の廿九軍系政客は何れも張自忠の後退によつて大打撃を受けるは必然である、而して今次の事變を契機に北支の肅清工作は漸次軌道に乗らんとしつゝある

冀察は五名の會議制

北平(ハフ)張自忠の辭職後冀察政務委員會は委員長制を廢止し常務委員齊燮元、賈德麟、李思浩、張允榮、張繼の五名の會議制に依り負責處理することとなつた、齊燮元と賈德麟の兩名は以前より常務委員、李思浩は經濟委員會主席より新たに選出、張允榮、張繼の兩名は去る四日委員に選出されたばかりである

冀察參議制設定

北平(ハフ)支那側消息によれば廿九軍系の總退却の後を承け冀察新政權は北支時局收拾の爲め新たに冀察地方參議會を召集するに決定した、同會は冀察内各縣より夫々代表を選出し民間の總意を直接北支行政に反映せしめる一方冀察政權が將來再び軍閥的變態政權に復歸し民衆の利益に逆行すべき危険性を未然に防止せんとする意圖の下に創設されたもので參議會の結成により來るべき北支新政局は混亂の中より漸く自治的色彩の強い新政權の確立が期待されるにいたつた

齊燮元と一問一答

北平(ハフ)冀察政務委員會は依然として改組と解消の兩論の間を彷徨しつゝあるが六日記者は五常務委員の筆頭齊燮元を東八條の自邸に訪問左の如き一問一答を試みた

問 委員會の現狀如何

答 目下のところ遺憾乍ら何等の活動もしてゐない、今日も五常務委員が集つたがたゞ目前の事につき懇談したのみで根本的意見は出なかつた

問 北平治安維持會との關係如何

答 出來るだけ緊密な聯絡をとり度いと思ふ兩者の對立云々といふ向もあるが治安維持會は單なる地方的治安の援助機關で委員會は政治を處理するのだから問題はないと思ふ

問 將來の方針はあるか

答 殘念ながら如何なる機構が生れるか申し上げられる、我々は環境の推移を注視してゐるのだ

問 意見はあるだらう

答 然り、從來の委員會執行機關は非常に不完全で緊密な聯絡を缺いてゐる、自分は實行機關として少くとも外交、内治、財政、交通、法制、教育、實業の七處を置かなければならぬと思ふ

問 日本との關係は如何に考へるか

答 東亞の安定は日本との提携以外にないことは萬人の知るところである、自分は前清光緒三十三年北京陸軍學堂の教官時代宋哲元を教へた關係から招聘されて冀察常務委員となつたものだが今回の失敗は冀察政權が南京側との間に未だ十分の三丁の交渉を持つてゐたことにあると思ふ、自分は親日倒蔣及び國民黨反對を根本方針としてゐる今後委員會が斷然南京と關係を絶つて始めて北支の民衆が救はれるものと信じ

參議會の指導目標

北平(ハフ)冀察地方參議會は遂てより民衆の要望を斟酌して召集の議が進められてゐたが冀察委員會改組と共に急速に代表を選出近く第一回參議會が召集されるものと見られる、新參議會の指導目標は一 南軍の北來反對 二 陸隣自存 三 戦争の禍福から北支を護るといふに在り召集の曉は宣言等の形に於て明瞭に中外に闡明される模様である

冀察新政權の動向

北平(ハフ)冀察政權の改組と冀察地方參議會の召集により北支時局收拾の態勢は漸く整はんとしつゝあるが廿九軍政客の總退却によつて中心を失つた冀察政權が何處まで時局に善處し得るか建直後の冀察政權の動きは北支新政局の動向を示す可き指標として最も注目される、この際冀察が民意機關として地方參議會を創設し民衆との密接な合作によつて時局を打開し從來の軍閥政治を排斥し政權の基礎を民衆に置かんとする冀察としては全く新しい方向を指示するもので我出先當局も新機構の構成とその運用に對し深甚な關心を以て推移を注視してゐる

北平(ハフ)地方參議會は事變を契機に冀察北平津兩市の有力者が當局を擁護召集に決したもので召集の後時局に關する重大決議をなす等だが決議の骨子は大體左の如きものと観らる

南京政府がこの時期に廿九軍を動員しで北上せしめんとするは事實上河北を擯滅し冀察三千萬の民衆をして逃れ難き深淵に陥れ人と地を同時に灰燼に歸せしめんとする毒計に外ならず、北方民衆は南軍の北上に絶對反對の決意を

表明す、同時に隣邦との交誼を厚うし
北支をして悲愴な禍より免れしめ永
遠の平和郷たらしめん事を期す

天津情勢

天津治安維持委員會異動

天津ハ・天津治安委員の趙樹卿は病氣
のため委員を解任して張子柳(譯音)
が新任され市政局長に就任した、又社會
更生施設の重要性を鑑み社會局内の更生
科を衛生局に昇格高承(譯音)が局長に
選任され特別第二區にある市立第一病院
に開設された

天津治安維持會決定

天津ハ・天津治安維持會の六日決定せ
る陣容は次の如くである

- △委員長 高俊卿
- △委員 王竹村 王曉岩 張炳兆(譯音)
張子柳(譯音)劉玉書 孫潤宇 方若
沈月午 鍾傳善 邱玉堂
- △秘書長 劉紹珪
- △總務局長 孫潤宇
- △公安局長 劉玉書
- △財政局長 張子柳(譯音)
- △會務局長 王竹村
- △衛生局長 高正文(譯音)

需給調停機關設置

天津ハ・治安維持會では事變により變
態化した支那側金融の安定調停を圖る
ため各金融組合を以て同會内に金融調
停委員會を設立金融聯合會副會長王
曉岩が委員長に就任した、更に市内に於
ける食料燃料の需給の調停を圖るため各
種同業組合長を以て同會内に物資調停委
員會を組織王竹村を委員長に任命した

香月司令官一萬元寄贈

天津ハ・香月司令官は天津市内の治安
維持に當る支那側巡警慰問のため六日警
察當局に銀一萬元を贈與した、天津治安
維持會では巡警の食糧調に鑑みこれをも
つて食糧を購入配給の豫定である

市内警備復舊

天津ハ・市内各警察の警察官配備状況
は治安工作の最も遅れた特別第三區を除
く外六日を以て大方舊態に復した

平津同列車開通

天津ハ・天津警備事件以後不通となつ
てゐた天津北平間鐵道は六日開通し正午
發の客貨混合列車天津から北平に向つた

天津紡績業開始

天津ハ・天津市内各方面とも力強い復
興氣分漲つてゐるが公大第六廠 鍾錦裕
豐紡績(東洋紡)天津紡の三工場は六日よ
り營業を開始した、右により三工場職工
約六千人とその家族約二萬人の生活は保
障されるに至り治安維持上にも好影響を
齎してゐる

天津支那側の死傷

天津ハ・支那軍の天津襲撃事件に於け
る支那側市民の死傷は今F迄に判明せる
もの左の通り

第一分局管内	死者	三百名
	負傷者	百名
第四分局管内	死者	廿名
	負傷者	不明

通州後報

叛亂部隊は五千八百名

北平ハ・通州慘劇事件を惹起した冀東
保安隊の反亂隊は教導總隊幹部養成所員
一千三百名、第一總隊二千名、第二總隊
二千名、警備大隊五百名で總計五千八百名
と謂はれ驚くべき數字に上つてゐる

警官補綴關係懸注者

天津ハ・天津總領事館警察部の調査に
據れば通州事變による滿鐵並に通州警察
分署關係懸注者左の如し

- △警察分署
巡查部長 日野誠直
同夫人
巡查 石島三郎 同夫人、長男(行
方不明)長女(行方不明)

- 巡查 濱田米吉 同夫人(重傷目下天
津で入院中)長男、長女

- 巡查 金東旭(半島人) 同岳父
巡查 千葉貞吉

- △滿鐵關係者
高田金盛、岩崎元次、小山清代、今井
芳一、小川信行

戒嚴寺攻撃

天津ハ・(支那駐屯軍司令部午前十時
発表)
南雲部隊は八月四日夕刻戒嚴寺(長辛店
南方三里)を攻撃し敗殘兵士を捕獲せり

支那中央

△中央側 蔣介石 何應欽 馮玉祥 程
者ハ
南京ハ・全國々防會議は
六日午後二時より蔣介石司
會の下に軍事委員會に於て
第一次會議を開いた、出席

△地方側 閻錫山 白崇禧 余漢謀 何
成濬 朱紹良 黃綏雄 饒平輝
外に汪精衛、王寵惠も出席の上何應欽よ
り北支の支兩軍開戦につき、次で汪精
衛より國際情勢につき、夫、詳細なる報
告あり、國府の採るべき最後の態度につ
き協議したが此結果「支那は既に最後の
關頭に立ち對し抗戦は不可避なり」とい
ふに意見の一致を見た、次に戰略、問題
に入るや白崇禧と共に積極的主戰論者た
る馮玉祥は

北支五省は危殆に瀕し事態は最早獨断
を許さず死生存亡の關頭に立つて闘は
ねば斷じて生存を求むる所以ではない
と日支全面開戦論を主張し馮治安、劉
汝明等廿九軍諸將領より到着した多敵の
危殆電を讀み上ぐれば余漢謀、孫科等
が馮玉祥の主戰論を支持したが之に對し
何應欽、何成濬等
應戦正む得ずとするも開戦は機を見
てなすべきである
と自重論を述べ蔣介石直系と馮玉祥及び
地方派との間に意見対立を見せた云は
れる、而してこの間蔣介石は一言半句も
發言せず終始悲痛な面持で沈黙し午後六時
過ぎ散會となつた

胡漢民の顧問に

上海ハ・北京大學及復道は蔣介石の
懇請により蔣介石の個人特別顧問となり
北支に歸らず南京に止まる事に決した

經濟總動員計畫

上海ハ・國民政府立法院は六日の臨時
會議に於て戰時財、維持法案を議決する
こととなつたが同法案内容其左の如し
一 國內銀行錢莊等金融機關一切を國家
の管理に移し政府の完全な統制下に置
き貸出及び預金拂戻等に極端な制限を

加ふ
二 各清算市場を閉鎖し一切の恩惠實
を停止す
三 物價水準を制定し其の配給を限定統
制す

なほ國民政府は事變以來鐵嶺、主要食糧
品の輸出を禁止して抗日作戰準備を整へ
ると共に爲替の統制、公債相場場の最低限
度設定等に依り財界の動搖防止に至ると
なつてゐるが今や時局愈々重化し徹底
的非常手段の必要に迫られるに至りこゝ
に財界の戰時體制の編成を決定右立法を
行つたものである

財政部金融対策

上海ハ・時局の重大化につれ財界の警
戒頗る嚴重となり殊に支那人間の金融緊
しく便益を公債其他證券類の値下りには
一層拍車をかけてパニック招來の虞れ
さへ見られるので財政部は本日中央、中
國、交通の三政府系銀行に命じて付手
形割引に對する特別職員委員會を設置し
て金融緩和の道を講ぜしめる一方公債の
擔保價値を従来の七割から九割に、地券
(土地債券)を六割から八割に引上げる機
一設支那銀行及錢莊全部に命じ財界救済
を計るに決定した

支那軍事家族引揚

長崎支那領事任家豐氏は國民政府より何
等引揚、指令に接して居ない否を認し乍
ら六日早朝から家財道具等を搬移め午後
一時出帆の長崎丸に積込んだが同時に長
女任永良(廿三女)任永水(廿二女)任永
任永儉(廿四女)同女學校二年生任永讓
の三麗は同船で母の待つ上海に引揚げ
た

邦人引揚狀況

南京抗敵活躍

南京(六) 南京各界抗敵救護會は市政府と計り向ふ三ヶ月間旅館、飲食店、映畫館等の收入に對し別敵將士慰問附加税を課するに決定又過般成立した南京學生抗敵救護會は昨日より街頭に進出し民衆の抗日感情を煽動してゐる

南京市民續々避難

南京(六) 南京を後に各地に避難する民衆は六朝も陸續として續いて居り停車場各汽船待合所等は之等避難民で大混雜を呈して居る、一般市民動亂の原因は數日前國民政府が憲兵と巡警を戸毎に派して飛行機襲來の場合の注意を與へ且つ赤瓦や白瓦を黒色に塗、トラックは全部微聲に應じ得る様様又は灰色に塗替を命じた外政府要人がその家族を故郷に避難せしめてゐるので一般市民は「政府は愈々日本と決戦する決意を固めた」との感を深からしめた爲めである

南京在留邦人引揚

南京(六) 南京在留邦人は時局に鑑み既に婦女子を引き揚げさせたが此の數日來市内の排日空氣は愈々惡化するのみで邦人の商取引も杜絶し昨日から今日にかけては殘餘の男子も續々引き揚げ残るは大使館員陸海軍關係者と新聞記者等特殊な人々のみである

上海學校暑假延長

上海(六) 上海日本人各學校生徒、小學兒童等四千名は目下暑中休暇中であるが上海の事態は漸次急迫しつゝあるので上海居留民團では六日正午より緊急民會を開催八月廿一日休暇明けの豫定を變更し一と先づ今月末まで休暇を延長今後の事態の推移を見て更に開校日を決定するに決した

上海邦人保護活躍

上海(六) 漢口よりの最初の大量引揚邦人合計約二百名は日清汽船の大員九及び襄陽丸で六日午後上海に到着六日夜は船中一夜を明かし七日發の聯絡船長崎丸で内地へ引揚げることとなつた、尙漢口引揚者は續々上海に到着するので上海時局委員會では市内各日本諸學校、寺院、旅館等一應收容所を設けることとなり又司委員會が資部は此事引揚居留民への焚、等に萬全の策を講じてゐる

支那軍漢口包圍

漢口(六) 支那側は豫めてより日本租界包圍の勢をとつて居るが五日夜邊かに戒嚴令を布き夜明けまで交通を遮斷し支那側「不穩の空氣濃化したので日本側に於て我軍進攻、在郷軍人を以て萬一に備へ嚴重警戒に當つてゐる

漢口(六) 日本租界の周圍は引續き鐵條網、土囊で嚴重な防備が施され我陸戰隊警備隊は夫々警備配置につき非常警戒が行はれてゐる、一方支那側の要所々々に構築されたトーチカを據點に約一萬に上る支那兵が蟻這ひ出る隙もない程に租界の外郭を取圍みつゝあるが租界内殘留邦人は夫々自宅に送つて午後八時現在無氣味の中にも極めて平靜である

支那機漢口飛翔

漢口(六) 支那戰機は三機編隊で六日朝十時半租界上空を飛翔偵察を行つた

漢口居留民全部避難

漢口(六) 約一萬の支那軍に包圍された漢口日本租界は依然無氣味な緊張裡に夜に入り我陸戰隊は非常警戒を敷くに租界の警備と殘留邦人の保護に萬全を期してゐる、尙婦女子全部四百名及男子の一部百名は信陽丸で七日早朝出帆上海に向ひ残りの邦人五百名は九日出帆の岳陽丸で避難する事になつた

漢口居留民引揚

漢口(六) 漢口居留民邦人男女約一千名は市内の情勢惡化に鑑み愈々引揚げに決定した、婦女子約五百名は信陽丸、鳳陽丸で六日漢口出發、下航するが男子四百名も午後九時日清汽船ハルクまで引揚ぐるに決定した

福州は比較的平靜

福州(六) 廣東方面の排日惡化に反し當地方面は表面比較的平靜を保つてゐる、然し支那紙は依然として誇大な宣傳を續けて居り市内には諸君盛んに行はれ飛行場、軍隊、駐屯地附近では避難してゐる者もある

川越大使上海へ

青島(六) 川越大使は六日午前十一時青島丸で上海に向つた

漢口方面情勢(海軍省公報)

漢口方面の情勢に就て六日海軍省に左の如き公電が到達した
一 昨日(五日)來當地の情勢頗に緊張を加へ陸戰隊は萬端の準備を進めつゝあり本日(六日)夕刻迄に右準備完了する見込みである
一 日本租界を包圍せる態勢にある支那側は五日夜半より其の勢力を増加陣地の構築を進めつゝあり
一 五日夜支那側は日本租界との交通を遮斷し且つ市内電話を不通とせり

帝國政府

軍令部總長宮御參内
伏見軍令部總長宮殿下は六日午後四時半宮中に御參内天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項に關して御奏上種々御下問に奉答御退下遊ばされた

海軍參議官に報告

海軍では六日午後二時霞ヶ關海相官邸に軍事參議官大角、末次、高橋、藤田各六將の參集を求め本省側より山本次官軍令部より野村第三部長出席北支事變その後の情勢を約一時間に亘つて報告諒解を求めた

國民支援

衆議院政府鞭撻決議

衆議院は六日午後の本會議に北支事變に關する政府鞭撻案を上程し滿場一致で可決した、決議及び提案理由左の如し
▲決議
國際信義を無視する支那の抗日勢力を排除し以て東亞永遠の平和を確立すべし
右決議す
▲理由書
北支の事變勃發以來我が國の公明自量の態度に對し支那に反省協同の誠意なく恣に協定を破り約諾を蹂躪し國際信義を無視して暴戾底止する所を知らずしかのみならず頻りに戰備を整へ全支に抗日の體制を布く若し在再現狀を以て推移せんか國威國權は損傷せられ東亞の形勢は破局に陥らん、惟ふに我國の支那に求むる所は領土にあらずして提攜にありとは議會に於ける政府の言明にして全國民の支持する我國の對支方針なり、今や時局極め

て重大劇論勃然として起る、須らく政府は中外に聲明せる帝國の方針に基き斷乎不動の決意を以て抗し侮日な事とする一切の努力を排除し以て一日も速に東亞永遠平和の基礎を確立せんことを期すべし是れ本決議案を提出する所以なり

衆議院慰問使派遣決定

衆議院は南北支將兵慰問使派遣の件に關し六日の各派の議會に於ては山口書記官長より當局と打合せの經過、報告し協議の結果
一 北支に於ける我將兵慰問使として大體十人以内を派遣すること
一 在滿將兵並に海軍に對しては上海を中心とせる我將兵に對しても慰問使を派遣すること
に決定した

軍事扶助資金獻金

北支事變に出勤してゐる軍人家族又は遺族の生活扶助、慰安に内務省では應命の努力を拂つてゐるが内務省の活躍に對して民間篤志家や社會事業家は續々寄附を出して五日迄に既に廿一件累計廿一萬八千四百九十九圓の巨額に達した、その主なるものは原田實善會の十萬圓、日本勸業銀行軍役會三萬五千圓、鈴木商店三萬圓、東信電氣、石井鐵工所、吾備製鋼の各一萬圓であるが六日午更に三井報恩會山口常務理事が同省を訪問金卅萬圓の寄附を出したので同省では感激軍事扶助資金に加へることとなつた

海外同胞も獻金

六日陸軍省には昨日にも増した獻金で印度ボンベイの在留邦人一同は慰問金四百五十二圓卅四錢、南米アルゼンチン在留同胞は同じく六百三十三圓九十八錢を送つて來た

在留支那人の獻金

福建省福清縣白鶴鄉生れ中國人平塚市平塚町三四一四吳服商林守鳳^{（四）}氏は平塚市を通じて丹國、平塚藩を通じて五國との獻金を申出た、係官が事實を訊ねると、自國同胞が多數の日本人を虐殺したと聞き日頃限らない恩恵に浴してゐる日本人のための罪亡ぼしと分り無智な保安隊に此事を知らせてやりたいと係官に洩したた

海外動向

義勇軍參加は違法

ワシントン【六】故張作霖の軍事顧問ラ
ツセル・ハーンが支那軍援助の爲米人部
隊の編成に着手し既に七千名の志願者が
あつたとの新聞報道に關聯し六日ハル國
務長官と新聞記者團の會見に於て記者團
から

政府は米國市民が義勇兵として日支戰爭に参加するのを阻止する手段を講じてゐるか

との質問が出たがハル長官は之に對し外國義勇軍參加禁止に關する法律は現在北支に於ける日支紛争に關聯して起ることあるべき如何なる事態にも一貫して適用される

と答へた。ハル國務長官はこれ以上の言明を避けたが國務省筋では七千名懸募云々の新聞記事につき次の如く語つた

あの報道がハーン自身の口から出たと
しても實際に調査して見れば果して本
當かどうか不明である、若し事實とし
ても米國の法律は外國の紛争に米國市
民が義勇兵として参加することを禁止
し義勇兵として外國軍隊へ入つた者又
は其の募集を行つた者に對し罰金又は
禁錮を課することになつてゐる、廣出

外相が議會に於て米國政府は米國飛行家の支那空軍参加を阻止するだらうと述べたのは米國の法律を知つてゐられたからだらう、尤も今度の事變について右法律に基き未だ何等の手續がとられた譯ではなぐとられるとしても司法省の所管事項である、今迄の所右の法律によつて實際に處罰された者は未だ一人もない、現在のスペイン革命戦に義勇兵として参加した數名の米國飛行家が歸國した時司法當局の取調を受けたが一人も處罰されなかつた

美國駐屯軍引揚論

ウィッソン・トントン、イリノイ州選出民黨
王院議員ハミルトン・ルイス氏は北支事
變動發以來米國駐屯軍の北支引揚論を熱
心に主張して居るが六日上院に次の決議
案を提出した

北平並に天津に米國軍隊を依然駐屯せしめるに足る理由ありや否や、差支へなき限りウツドリング陸軍長官の説明を求む

現 地

張自忠總て辭任

北平〔六・七〕張自忠は七日更に北平市長及綏靖主任代理をも辭職した、綏靖主任の後任は綏靖公署參謀長富占魁が暫定的に處理するに決

委員會解體

天津〔八・七〕冀察政務委員會は宋哲元の保定逃走後張自忠が委員長代理となつてゐる。

たが張は病氣と稱してロッキンフェラー病院に入院代理を辭任したので委員會は齊變元、張允榮、張壁、賈德誦、李思治の五委員で處理してゐるが近く解體され北平治安維持會の顧問或は諮問機關となるる模様である

北平慈善團體活動

華團は既に下死死者の埋葬傷病者の收容に當てる他遼北民の收容に糧品の配給に當つてゐる、尙ほ北平附近は市民の食糧約三ヶ月を乏ふるに足る難穀類があるが米麥粉が不足を告げてゐるの同會より來涉の結果近く北寧鐵路で天津より輸送することゝなつた

天津治維委員全部就任

天津(七) 治安維持會委員警察局長劉玉書は六日夜北平から着任七日警察局を特別第二區内に開設執務を開始した、又委員孫潤宇も六日津津委員に就任北平で病氣靜養中の鈕傳善を除く他委員全部就任した

天津租界通行解除

天津(七) 英佛伊租界の通行警戒は全部解除七日より平常通り通行自由となつた。唯夜間は巡警の立哨行はれず幾分不安視される。又電車は五日より既に支那街の還轉を開始し七日迄に佛伊兩租界内の還轉を開始し大部分舊狀に復した。

天津食糧品配給圓滑

天津へは、事變以來天津市内では英、佛兩租界内よりの食糧の搬出を制限せられたため食糧の缺乏を告げたが我が總領事館の努力により右制限が解除され七日英租界より小麥粉一千袋、佛租界より西貢米

四千二百俵を得たため食糧難も大體緩和された

天津醫師會巡回診療

天津穴七支那駐屯軍は極力支那窮民救済に當つてゐるが之と相俟つて天津市目本醫師會でも七日午後より支那人窮民の巡回診療を開始した

窮民救済に深謝

天津【六・七】事件發生以來我が駐屯軍は市内民衆の生命財産保護に就ては最善の努力を拂ふ

いた兵士の日本軍隊に絶對的信用を寄せ、
と諷刺し、支那兵や保安隊、暴行掠奪に泣
いてる我々の支那兵民救済の温き手！漸次更生
生應に、香月司令官は、十萬元を治安維持會
に寄贈し、次で六日には、堀内總領事も一萬
元を寄附したのを、はじめ、其他一箇人又は
團體で、弱兵收容に當つて居る特志家も、日
本本側之の好意を感服愛の發揮に、市民は、日
本の眞意と之等善識の志を高めてつゝ、あ
り治安維持會幹部等は、支那兵民に對し、更
に之を徹底せしむべく、努力し、同奮の活動
は、日を追つて實績を擧げて居る。

良郷襲撃の敵を撃退

天津へ、(駐屯軍司令部午後五時發表)
六日午前四時卅分機關銃を有する三十三
の敵が良郷に向ひ攻撃し來れるを以て我
方は直ちに之れを撃退せり、敵の遺棄死
體五名、我方に損害なし

朱德の共産軍進出

天津へは、國民政府共產黨合作方針に基き朱德を軍長とし南京政府派遣の黃琪翔を政治指導訓練所長とする。共產軍は、去る三日甘肅省の根據地より行動を起し果敢なる行軍を以て陝西、山西省境に進出

寺郡中央

國防會議續行

南京(六七)第二次國防會議は前日のメモバに西安行營主任顧祝同を交へ蒋介石司會の下に七日午前十時より開會され先づ軍政部長何委員會作成の

地方を通ずるの戰時體制
 抗戰の方針と長期作戰方略と
 討敵の一時間の後十一時
 定し會戰の實施によつて中央
 にも本案の實施によつて中央
 機體は著るしく擴大強化
 海、空軍總司令以下各方
 各路線指揮等戰時職別の成
 である

集決定

那側外交筋の請報によれば、
 防實議を召集して最後の且
 戦備を整ふると共に政府の
 員の總意に問ふべく近く四
 日召集することとなり五日
 國會に於て正式に決定し昨
 日にある中央執監委員に對
 令を發した

政部長何應欽は豫て辭表提
中央は七日之れを受理し其
次長陳誠を軍政部長代理に

何應欽辭職事情

上海(ハルビン) 何應欽が突如軍政部長を辭職した直接原因は去る三日中央軍官學校講堂に於て蔣介石と共に北支(ハルビン)に就て講演中一梅津何應欽協定の責任を問ふといきり立つた青年將校に駁れたので直ちに中央に軍政部長の辭職を申出たのである

重大地位に就任か

上海(ハルビン) 何應欽の辭職は突如發表された爲内外各方面に多大の衝動を與へてゐるが辭職の直接原因といはれる軍官學校に於ける何應欽の訓示の要旨は

蔣備充實せる日本軍を刺戟する如き行動をなすことは支那軍として作戦上不利であるから充分行動を止むべしと云ふにあつたといはれ何應欽のこの訓示が主戰論に燃える青年將校連を憤激せしめたものと傳へられる、然し一説によれば蔣介石の政策に對する部内將校の猛烈な反對を鎮撫する爲自ら進んで責を負ひ軍政部長の職を去つたものといはれてゐる、なほ某方面の消息通は

如何なる事情あるにもせよ中央が一度の慰留も爲さず何應欽の辭職を聽取した裏面には軍略家として支那軍といはれる何應欽の爲に時局に對處する或種の軍略椅子が準備されてゐると見るべきである

として何應欽の辭職を以て支那側戰事體形上の一進展と見てゐる

劉湘蔣と重慶協議

南京(ハルビン) 四川の劉湘は七日午後四時半飛行機で南京着直ちに軍官學校官邸に蔣介石を訪問北支時局問題を中心に重要協議を遂げた

李濟探南京

廣東(ハルビン) 李濟探は六日午後五時廣西の

桂林より廣東を経て香港に向つた、七日香港發の外國汽船で南京に向ふ筈、右は蔣介石より南京國防會議に列席せよとの招電に應じたものである

蕭振瀛上海歸着

上海(ハルビン) 外遊中だつた天津市長蕭振瀛は六日午後四時半飛行機で香港より上海着、宅に入った、兩三日中に保定に赴き宋哲元と會見の筈

抗敵後援の合作成る

上海(ハルビン) 過日釋放された沈鈞儒、章乃器等七名の人民戰線派領袖は數日來南京に在り陳立夫その他の黨部幹部と數次會見の結果時局を背景とする抗日救國理論と黨部統一の救國理論とは完全に意見一致し六日午後人民戰線派領袖は正式に陳立夫を訪問國民黨と人民戰線との妥協合作を基礎とする抗敵後援の一大運動を起す具體案に關し協議を遂げた

龍口の支那兵激増

龍口(ハルビン) 天津襲撃事件以來山東省龍口の支那兵は激増約三倍の二千名に達し兵器彈藥も多量に持込み龍口碼頭に壘營を構築高射砲も据え付け夜間は消燈して午後一時以後の通行を禁止するなど防空體勢を擧つてゐる、又龍口郊外の招遠、玲瓏等郊にある日本人五十名は市内との電話連絡を絶たれ不安は日一日と募つて來るので萬一を慮り避難の爲め日本汽船一隻を交際艇泊せしめてゐる

川越大使上海着

上海(ハルビン) 川越大使は七日午後五時青島丸で上海着、多摩、本田海軍兩武官、岡本總領事等日支官民多數の出迎を受け大使官邸に入つた、時節桐埠には工部局警察、領事館警察の警戒嚴重を極めた

川越大使は大使官邸に於て岡本總領事田尻、曾根兩書記官を招致、南京上海方面に於ける情勢を聽取した

邦人引揚狀況

上海(ハルビン) 川越大使は七日午後三時上海に歸着したが支那側では川越大使がそのまゝ上海に止るか又は南京に歸任するかの一點に非常な關心を抱き注視してゐる

蕪湖邦人引揚げ決定

南京(ハルビン) 蕪湖に留邦人約五十名も全部明日八日蕪湖丸で引揚下航するに決した

南京邦人引揚げ

南京(ハルビン) 在南京大使館總領事館、陸海軍武官軍公務員を除く南京在留同胞二十餘名は八日出帆の蕪湖丸で上海に引揚げるに決定した

大使館員は止る

南京(ハルビン) 事態の緊迫に鑑み南京總領事館當局では六日夜日高參事官を中心に時局對策に就き協議の結果最悪の危急に直面せざる限り日高參事官を始め大使館員は全員飽くまで南京に留み止まることに決定した

漢口不安に明く

漢口(ハルビン) 支那軍一萬の包圍の裡に不安の一夜を過した我が漢口租界邦人居留民は今朝はホットト一息の形であるが支那軍は第一線の軍備を益々嚴重に租界と二十メートル隔たる家屋に機關銃を据付け依然挑戰的態度を執つて居る

漢口(ハルビン) 今朝十時過ぎ支那軍機十機は翼を運んで日本租界上空に飛來し約一時間に亘り威嚇飛行を行つた

漢口邦人全部引揚げ完了

漢口(ハルビン) 邦人居留民は全部引揚げに決し男子五百名も七日午後四時過ぎに鳳陽丸に乗船を完了、既に婦女子を乗せた信陽丸と共に午後五時當り出發帝國軍艦護衛の下に下航した

租界内財産委託

漢口(ハルビン) 在留邦人全部の引揚げを見た漢口日本租界は漢口に於ける我が國有財産公有財産と共に支那側當局に保管を委託されたる筈で我が居留民團倉庫に集められた居留民の財産等と共に支那側に保管の責任を委ねる事となつた

泰安紡績閉鎖

漢口(ハルビン) 日本棉花系の泰安紡績(二萬五千鍾)は六日夜操業を停止七日正午支那官憲立會の下に工場封印を行ひ市政府に管理を委託邦人職員約廿名は八日漢口發の岳陽丸で引揚に決定した

領事館員も引揚げ決定

漢口(ハルビン) 當地總領事館員は上海から引揚げて永た重慶、沙市、宜昌、長沙各領事館員と共に居残り殘務整理の上九日の岳陽丸で下航するに決した

帝國政府

海軍省電上海狀況
〔ハルビン〕七日早朝海軍省に到着せる上海方面に於ける一般狀況左の如し
一 開北、虹口方面よりフランス租界方面への避難者益々多く工部局の調査によれば一日約一萬五千人に達す、殊に東部工場地

帶の者の避難は上海事變前には見ざりし現象にして真茹江灣方面の支那人は既に大部分避難せりといふ

二 在留邦人の大部分婦女女子の歸國を考慮しつゝあつて既に内地行便船は十九日まで豫約満員の狀況なり

三 邦人使用の支那人にして逃亡するもの生じ又虹口方面の支那人商人は食料品の掛賣をなさず現銀にあらざれば賣らずとの態度を示すに至れり

四 現地海軍指揮官よりの來電に依れば漢口在留邦人は本七日午後五時迄にその全部約千名、鳳陽丸及び信陽丸に收容し第十一戰隊の一部兵を以て護衛し上海に下航することとなつた

國民支援

三紡績の獻金

天津(ハルビン) 東洋紡、鐘紡、天津紡の三紡績會社は七日陸軍部隊に三萬圓海軍部隊に六千圓を將兵慰問金として獻金した

彈除け地蔵のお守り

〔ハルビン〕七日前九時過ぎ海軍省を訪れた白髯の老人と息子さんが上海事變當時有名になつた彈除け地蔵の尊像を畫刺しお守りとして千體を獻納した、この老人は甌町區土手三番町一七番地齊藤實則氏でこの地像尊は上海事變の激戦地寶山路の一角に安置されてあつたが敵味方の接戦百メートルの近き間で彈丸が亂れてゐたにかゝらず一發の銃彈も當らずかくて海軍將士から尊拜されるに至つたものである

カルカッタの獻金

カルカッタ(ハルビン) カルカッタ在留同胞は北支事變動勢するや燃ゆる祖國愛から獻

金積出六日現在既に日本人俱樂部に於ける積金一千五百七十一圓七十三錢に達した

ブラジルでも獻金

リオデジャネーロ(ハセ)ブラジル同胞は個人或は團體の名を以て續々自發的に軍費獻金をサンパウロ駐在帝國總領事館に申込んでおり金額既に數千圓に達したがサン・パウロ市日本人會でも愈々近く募金規定を發表して大々的に獻金運動に乗り出すことになつた、他方朝日新聞社の愛國機納運動も應募規定發表後一週間にして早くも應募額八千圓を突破する勢で八月中に各方面から集る獻金額は四五萬圓の巨額に達する見込みである

海外動向

再び米國義勇軍問題

ワシントン(ハセ)米國失業市民の對義勇兵應募問題は七日午後ハル國務長官の新聞記者團との定例會見に於て再び問題となり記者團より

本問題に付き日本政府より應募禁止の確言を求められたか

と質問した、之に對しハル長官は六日の言明を繰返したの如く答へた

本問題に付いては日本政府から何等の申入れに接してゐない、然し外國義勇軍参加禁止に關する法律は現在日支紛争に關聯して起ることあるべき如何なる事態にも一貫して適用せられよう

米國版「抗日義勇軍」

ロサンゼルス(ハセ)故張作霖の軍事顧問ラッセル・ハーンなる男の抗日援華義勇軍募集報では可成り眉唾ものだ、が事を好む米國人社會では次から次へと話

題を提供し相變らず黃色紙を賑はして居る、七日もハーンの側近者が洩らしたとしてUP通信社の傳へる所では義勇軍申込は續々と絶えず主として中西部出身の失業在郷軍人から數千名の應募がありその中には一千餘名の飛行家が含まれてゐるといふ、ふるつてゐるのはイリノイ州カイロの男でその配下飛行隊四十名を引具して義勇軍参加を申出で又カンサスシティやシカゴからも數百名の申込があつたとのことだ



現地

皇軍北平入城

〇〇部隊北平歸還

北平(ハセ)〇〇部隊は八日正午廣安門より北平に入城午後一時日本練兵場に集結を終つた、〇〇部隊は去月七日蘆溝橋に於て暴戾なる支那兵の挑戰に應戰して以來南苑、長辛店と轉戦し今日で恰度一ヶ月戰場を馳驅して原駐地北平に歸つて來たのである、黒々と日焦けた同部隊長は平常と變らぬ笑顔で左の如く語つた

皇軍は八日の縁起がよいので今日入城した、滿洲事變の九一八と謂ひ今度の事變も七日夜半だから本格的には八日だ、また西苑、南苑の總攻撃も廿八日だ、我將兵は滿一ヶ月あちこち休む暇なくよく戦つた、殊に南苑で敵を殲滅的に叩きつけたのは快心の戦ひであつた、暫く我家である北平で戦塵を洗ひ落し乍らかの戦に備へる、去月半ば演習に出てから始めて居留民の人達との顔合せで嬉しいがそれに付けても戦

死して入城出来ない者が可哀相でならぬ

各部隊北平入城

北平(ハセ)〇〇部隊は八日正午永定門より入城前門大街に於て廣安門より入城の〇〇部隊主力と合體して東長安街に出で東單牌樓の練兵場に集結した、〇〇部隊も同じく正午より歩武堂々朝陽門より入城練兵場に集結後我部隊長より訓辭があつた、之より先き沿道一帶及び練兵場に集つた邦人、鮮人二千餘名は何れも日章旗を打振りつゝ熱狂的歡迎を行つた

〇〇隊長居留民に挨拶

北平(ハセ)八日北平入城と共に〇〇部隊長は居留民に對し左の如き挨拶を行つた、我軍は露に不法支那軍に對して止むなく戰闘行動に出でたが爾來北平居留民各位より直接間接に寄せられた御後援に對しては隨下將下一同を代表して深甚の謝意を表する、當部隊も友軍の奮闘に伍して永定左岸の敵を掃蕩し本日北平に入城したるが何時この地を去るやもしれぬ、たゞ北平に駐留してゐる間その治安維持に關しては及ぼす乍ら全力を盡すことは申すまでもなく過去卅日間居留民各位の節制ある進退により事故もなく今日あることは御同慶に堪へぬ、これに反し隣接せる通州の慘劇に至つては全く言語に絶し神人共に許さぬところである、斯くして時局の進展は益々重大を加ふるものと推惟す今後居留民各位の御自重を祈つて止まぬ、尙我軍は平和なる支那民衆及び我が軍行動の本旨を眞に諒解し忠實に協力する支那各種機關に對しては何等他意なく當然慰撫指導に努むるものなるを以て各位亦此の趣旨を衡み言動を慎重にせられん事を望む

入城司令治安聲明

北平(ハセ)〇〇部隊長は八日北平に入城と共に日本軍入城司令の名を以て北平支那市民に對し治安維持に關し左の如き聲明を發表した

一 今日日本軍入城し市内の治安を維持し安寧を確保することとなつた、各界人士は一致我軍を信頼されたい、若し猜疑心を起し巷談に迷ひ輕率動して我軍の正義觀念を諒解せざれば共同治安維持の責を認めざるべし

二 日本軍は平和なる民衆並びに我軍の眞意を理解して誠意協力する各機關に對しては決して他意なく慰撫指導の勞を惜まず、若し愚昧の徒にして我が軍の作戰行動に對し抵抗又は故意に妨害するの舉動に出づるものに對しては個人たるを圍爐たるを論ぜず假令なく公法に從つて處置する、之に反し我が軍の行動を援助するものに對しては夫々功績によつて賞するであらう

三 我が軍は専ら作戰上直接必要な行動施設を爲すものにして政治事項に關しては別に日本軍機關(即ち北平特務機關)が責任を以て擔當して居る、右事項に關し折衝の時上述の區別を知悉されたい

四 要するに我が軍が敵と認めるものは無道義なる中國軍隊にして之を屈するは東亞永遠の和平安樂の促進を庶幾し、ためである各界人士は我が軍の眞意を諒解し一時の不安を忍び努めて鎮靜を持せん事を希望する、茲に以上聲明す

昭和十二年八月八日
日本軍入城司令

月餘にして北平明朗

北平(ハセ)暴支膺懲の聖戰勃發してより既に月餘皇軍無敵の武威を示して平津地

方は全く安定を見るに至つたが八日〇〇部隊は蕭條たる雨を衝いて廣安門、永定門及び朝陽門から入城し北平未嘗有る壯觀を呈した、汗に滲み果てた軍帽、泥士に塗れた軍服だ、打續く惡戰苦闘にも拘らず意氣壯なる將兵の力強い入城に在る居留民は感激に胸躍らせつゝ熱狂的に日章旗を打ち振り外人等も之に参加し支那側地方維持會の全員も出迎へた、午後一時に至り朝來の雨は全く霽れた頃〇〇部隊長は幕僚を從へて馬上豊かに東交民巷に到着日本側及び支那側代表に對して、「北平の治安維持のため入城した」旨を述べ北平の治安に完しし感を與へ暴戾九軍のため不安と脅威に苦しまれた北平にも漸く明るい日が訪れた、同部隊長は次で安正門から東長安街を経て哈達門に至る大道に整列した部隊の閱兵式を行ひ午後四時を終了した後進德社に入り各部隊も夫々宿舎に入り北平の全市民は一ヶ月振りに安らかな眠りを迎へたのだつた

通州犠牲者歸還

北平(ハセ)通州に於て壯烈な殉職を遂げた同地特務機關、細木中佐以下機關員及び冀東政府顧問の遺骨、柱は我が駐屯軍より派遣された吉田通譯官以下數名の人々に發見され八日午後二時四十分着の列車で北平に到着同三時北平出發天津に向つた

長谷川部隊戦死者凱旋

天津(ハセ)順義方面に於ける長谷川部隊戦死者大尉土山九郎氏、中尉吉田太三郎氏以下四十柱は八日午前十時天津發原隊への悲しい凱旋の途に就いた

冀東首腦部決定

天津(ハ) 冀東防共自治政府長官に就任した池宗墨は政府首腦者數名を帶同し本日午後三時支那駐屯軍司令部を訪問正式に就任の挨拶を述べ、池長官は九日朝天津錦州山に赴き同地に於て臨時に新政府を樹立する筈であるが新政府首腦者は左の如く決定した

總務廳長 王 潤 貞
民政廳長 王 季 章
財政廳長 李 景 治
建設廳長 任 官 傑
教育廳長 武 學 昌

向池宗墨は新政府の組織に際し政府内部に改革を加へ最高首腦者たる政務長官の諮問機關として新に自治參議會を設け冀東地區内廿二縣より代表者一名宛を選出してこれに充て又長官直屬の審計處を新設して會計検査を行はしめ更に官吏聘任委員會及び官吏懲戒委員會を設けて官吏登用試験を行ふと共に懲戒規定を定める事となつた、地方政務長官の下に從來の如く顧問、參議、參事、秘書と教育、民政、總務、財政、建設の各廳並に駐滿代表公署と駐天津辦公處を設ける事に決定した

冀東池長官談

天津(ハ) 新冀東政府長官池宗墨は九日午前唐山に赴くが出發に先立ち八日次の如く語つた

飽く迄新政策實現の爲め邁進する覺悟である、各機關の補正を圖り經費を節約し運用迅速をモットーに新建設に邁進する、速かに治安回復を圖り日、滿支の親善、東洋平和の確立に努め度い

冀東特使日本側顧問

北平(ハ) 冀東政府通州顧問使王潤貞は七日夕刻北平着八日午前七時半發自動車で通州に赴き日本側軍憲を慰問した

綏遠に中央軍移動

天津(ハ) 綏に大同に在つた中央軍第廿一師は目下平地泉へ向け進軍中で兵力約一萬五千、更に綏遠には第七十七師が移駐しつゝある

中央軍冀東攻撃體形

天津(ハ) 支那側は日本軍の膠着作戰開始以來の敗退に懲りず今や土肥原、秦德純協定を蹂躪し續々大部隊を察北に進出せしめ極めて露骨なる挑動的態度に出てゐる、永寧、延慶、懷來地區には中央軍第八十九師(王仲廉)の大部隊を集中第八十四師(高桂滋)は赤城龍關に第四十三師(周祥初)を張家口宜化に、第八十六師(高雙成)第廿一師(李仙洲)は目下大同附近に集結しつゝあり、又下花園沙城地區には第四師(王萬福)が陣地を構築中である外共產黨員八十名が去る三日先行部隊として張家口に侵入したと言はれ更に南京政府は傅作義を前敵總司令に任命し第八十九師(王仲廉)の一部を南口に進出せしめ陣地を構築集中掩護を行つてゐる

安藤同盟記者放逐

天津(ハ) 通州に於て萬死に一生を得た同盟通信社特派員安藤利男氏は八日午後一時より廿分間天津放逐局を通じ冀東政府保安隊の叛亂と慘憺なるなき邦人虐殺事件の真相並に自身の奇蹟的脱走經過を放逐した

支那中央

將領會議の收穫

南京(ハ) 蔣介石は目下南京に集合して居る地方各將領と過日來個別的に會見し忌憚無き意見を聴取中とのところ大體一段落を聴取中の八日之等將領並に中央軍事當局たる馮玉

祥、何應欽、程潛等を勵志社に招待午餐を共にし中央、地方聯合の一大親親會を開催した、然して地方各將領は中央將領との會見及び數回に亘る會議の結果中央の時局對策方針も明瞭したので數日中に夫々歸還するに決定したが今回の將領會議では

一 蔣介石は將來日支間に起り得べき重大事態に對する責任を各地方將領に分担せしめ以て自己の責任を軽減する
二 國難を理由に中央はその統一懷柔に成功した
三 軍費及び兵器補充の約束で地方將領の願望を満足せしめた

等々の結果日支關係緊張を機會に蔣介石の打つた一石二鳥の大芝居は見事大成功を収めたわけである

蔣廷樞上海着

上海(ハ) 上海事變で抗日英雄に祭り上げられた元九路軍長蔣廷樞は廣東排日派の巨頭鄭警と同道エンプレス・オブ・ジ・ヤンキー號で八日午後二時十分香港より上海に到着した、直ちに南京に赴く予定であるが蔣は上陸に際し即時對日開戦すべしとの氣概を擧げた

支那財界逼迫

上海(ハ) 國民政府は財界の混亂、信用の崩壊を極度に恐れ之が防止に全力を注ぎ既にあらゆる手段を施し盡したが財界の惡化は依然深刻の度を深める一方で金融は極度に逼迫し支那人商社中には破産に瀕する者續出し二三流銀行及錢莊中には休業したもの多數あり、外國商社方面でも投下資本の引上げを急いでゐる模様でこの上は局面が急轉回し和平解決の曙光が見えざる限り最惡の事態に達する可きと見らるゝに至りモラトリアムの懸念頗る濃厚である、然して國民政府は六日

より緊急立法院會議を召集して非常時立法の起草を急がせて居り政府、財界とも最早財界の惡化回避手段より轉じてパニツク到來の場合の非常對策の準備に入つた

南京(ハ) 國民政府がモラトリアム施行に決定したとの噂に財界關係方面では一時緊張したが當地官邊では右風説を根強く否定した

長江筋邦人引揚完了

上海(ハ) 九江に在留邦人全員は七日午後十一時九江發の日清汽船陽九に乘船し上海に引揚げた、之で漢口、沙市、南京、蕪湖等揚子江沿岸に在留邦人は領事館員其他特殊の者を除く外全部引揚げを終了したわけである

漢口邦人引揚完了

漢口(ハ) 引揚げ最後の邦人五十餘名は八日午前二時出帆の軍艦(〇)に便せ下航の途についた、あとは總領事館員數名日清汽船陽九に掛り二三名が残つてゐる丈でこれ等も今明日中には残務整理の上引揚げを管

漢口租界管理辦法取極

漢口(ハ) 松平總領事代理は七日漢口市長吳國楨と會居居留邦人引揚げ後に於ける日本租界の管理その他につき提議し次の辦法を取極めた

一 日本陸軍隊の撤收に際しては漢口支那當局は日本租界の周圍の交通を遮斷し事端の發生を防止する
一 日本總領事館員、同警察署員及び重慶、長沙、宜昌、沙市各地領事館員約百名はなほ殘存する
一 日清汽船陽九はなほ漢口に停泊し殘存人員の引揚げに備へる

一 日本陸軍隊の引揚げ後支那警察は警官名を日本租界に派し日本總領事館警察と協力治安維持に當る
一 總領事館員は本省より最後の訓令あるまでは引揚げない、引揚げの時は松平總領事代理が漢口市政府に通告し日本租界の管理を委託する

南京邦人引揚完了

南京(ハ) 南京引揚げの在留邦人は八日午後三時日清汽船陽九に乘込み軍艦衛の下に上海に向け下航した、依然南京に殘留してゐる邦人は大使館員、陸海軍武官、新聞通信記者のみとなつた

上海邦人に米不賣

上海(ハ) 上海に於ける支那人の對日感情は次第に惡化し日本人に對する食糧品の不賣、日貨のボイコット等漸く露骨となり虹口方面日本人街の支那人米穀商は日本人に對して米の取引中止又は値上げ賣り惜み等を始めた爲め米價は百封底に付一非二三千仙方暴騰した、よつて邦人白米商では居留民團を通じ日本より米の大量供給を仰ぐ事となり之に關する手配をなした

帝國現地全盟部協議

上海(ハ) 喜多陸軍、本田海軍兩武官は八日午前十一時大使官邸に川越大使を訪問し現地情勢特に中央軍が依然北上體勢を續ける爲め危局は漸次近づきつゝある現状を報告の上三者鼎座し今後の對策につき協議した、尙右に先立ち長谷川第三艦隊司令長官も川越大使を訪問し中南支に於ける我軍の警備狀況を報告した

帝國政府

九日より連日閉鎖

政府は十日の定例閣議に於て議會の後始末並に對支問題に就て議會後初の打合せを遂げることになったが時局に鑑み關係の禁足命令は當分の爲を解かず九日以降連日正午より閣會議を開催して情報の交換をなすことになつてゐる

海軍省副官談

海軍省は八日正午左の如く海軍省副官談を發表した

漢口方面所在海軍指揮官よりの來電によれば某方面在留那人全部の引揚も七日午後無事完了を見たので警備艦船及び陸戰隊は漢口下流各地の居留民を收容の上これ等居留民の護衛に任じつゝ上海方面所在部隊に合同することゝなつた

國民支援

衆院臨時開議決定

衆議院各派交渉會は八日午後二時院內議長應接室に於て開會慰問團派遣の件に關し協議の結果左の如く決定午後三時散會した

一、北支、天津、北平方面、海軍の上海、青島旅順並に京城、新京、露滿國境方面の三慰問團を派遣すること

一、北支並に海軍は来る十五日、露滿國境は来る廿日より廿五日迄の間に夫々東京出發

一、人數の割當は各團共十名宛とし内譯は

△北支民三、政三、第一、社大、第二

東方一窺

△海軍民四、政四、第一、社大、第一宛
△露滿民四、政四、第一、社大、第一宛
一人選は迫つて決定すること

海外動向

駐屯軍引揚に英米密約説

ワシントン（ハ）北支事變に關聯して米國議會の一部では在支駐屯軍引揚の聲が昂まつてゐるがマサチューセツツ州選出共和黨下院議員ジョージ・ティンカム氏はこの問題に對する米國政府の態度を所謂「英米密約説」に結びつけ真相調査を議會に要求すべく決議案を提出することゝなつた、同氏の決議案要旨左の通り

ルーズヴェルト大統領が在支駐屯軍の引揚を斷行し得ぬのは去る一月ランシマン英國前首相訪米の際に結ばれたと傳へらるゝ英米密約が存在するためなりや否や、議會は調査すべし

右決議案提出につきティンカム議員は八日次の如く語つた

米國參謀本部は既に大統領に對し繰返して在支駐屯軍の引揚を勸告したが大統領は今日に至るも之に對する態度を明らかにして居ない米國が駐屯軍引揚を斷行出来ない理由が果して英國の極東政策援助を約する密約にあるかどうか米國國民は知る權利がある、英國は一九〇一年以來極東に於て自國の都合のため米國を仲間に引入れやうと努力してゐる、英國は自國の權益擁護のため必要とあらば米國を誘ひ米國の權益擁護のための戦と稱し米國を極東の戰爭に引摺り込む恐れが多分にある、又萬一米國駐屯軍の將兵が支那において被害される様なことが起れば米國內の英國系新聞宣傳機關は之を大々的に報

道し米國の名譽と權益擁護を理由として對日宣戰を煽動する危険がある

杉村大使對孔祥熙

パリ（ハ）右翼系エポック紙は八日の紙上に杉村大使と目下パリ訪問中の國民政府財政部長孔祥熙氏の時局談を並べて掲載し時局注目目を惹いてゐる、杉村大使の談話要旨次の通り

日本は支那に對し從來親善を求めて來た、然し支那は常に惡意を以てこれに酬ひた日本が一步譲歩すれば支那は日本は弱いといふ風に解釋した、日本は兩國通商の正常な發展のために日支親善を欲してゐる、然し支那を征服しやうなどいふ野心は些も無いのみならず尙大なる對支權益の保護のために支那に秩序ある政府の建設される事に多分の同情を持つてゐる、然しながら北支は中南支とは人種言語を異にする特殊地位にあり此の點は明確に認識されねばならぬ、更に支那に對するソヴエトの勢力は有害でありソヴエトの宣傳工作は是非阻止せねばならぬ、これに對し孔祥熙氏は支那側の言分を強調して左の如く述べてゐる

余は歐米各國を巡遊し此等諸國の支那に與へられた同情と理解に對し感謝を禁じ得ない、今回の北支事變は日本の膨脹政策の新局面に他ならぬ、日本はアジアに覇權を樹立せんことを企圖し最後には全世界に覇を稱へんことを夢想して居る、然しながら支那は日本の武力に對し飽く迄も抗爭する決心であり今回の事件の責任は全く日本側にあり

北平龍城解散

現地

北平（ハ）二週間に亘る北平龍城も愈々九日午前八時を以て解散され、二日間と言ふものはそは降る雨に閉ざされて居た北平もこの日はカラリと晴れ上つた日本晴れで午前八時解散と言ふに避難の人々は久しぶりに苦しかつた生活から解放される喜びに黎明と共に目を覺し各自の荷物をまとめて日夜二千餘の邦人の生命を護つてくれた歩哨の兵隊さんに眞心こめた感謝の言葉を殘し乍ら大使館、正金その他の避難所から十四日振りにそれぐ懐しい我が家に歸つて行つた

北京常態に復す

北平（ハ）不安と焦燥に戦ひた龍城生活二週間から解放された二千餘名の日鮮人は今朝嬉々として何れも我が家へと歸つたが日本人の最も多い東單牌樓のあたりは市場に賣出しに行く日本婦人の姿も見られて漸く平常の北平を取り返した、事件以來廿九軍の露骨な抗日態度や又其の撤退後も保安隊や公安員だけでは何となく頼りなく思はれた支那街治安も昨八日の日本軍入城と安民佈告で漸く落つき規律正しい皇軍の面目は隨所に發揮されて多少免れなかつた支那人の恐怖感も今は全く全面的な日本軍信頼、聲援に加ふるに今亦この龍城解除は精神的にも何事も起らないとの安全感を與へて支那大商店の櫛を前門大街や西城一帶の人通りも事變前の常態に立返つた

第二補充隊武裝解除

天津（ハ）（支那駐屯軍司令部九日午前十時發表）

松浦部隊は昨八日午前七時頃開平北方の馬家溝にありし第二補充隊（兵員約千八百名）を武裝解除し小銃五百、彈藥五萬發を押收せり

越境支那軍を擊退

天津（ハ）（支那駐屯軍司令部午後五時發表）

八日午後三時約一百名の支那部隊は永寧城南方約十軒の地點に二度び越境せるを以て該附近の我軍は交戦約一時間にして之を國境外に擊退せり

池泉鑛唐山へ

天津（ハ）新冀東政府長官池泉鑛は冀東要人十數名を帶同し九日朝八時廿分天津發新政府所在地唐山に向つた

細木大佐以下遺骨天津着

天津（ハ）通州特務機關長細木大佐甲斐中佐以下特務機關員、滿鐵社員、通州棉花研究所員等卅一名の遺骨は九日午前三時、卅分天津着日本租界伏見街觀音等に安置された

中央第三次動員に入る

南京（ハ）全國軍首腦部を網羅する八日の國防會議で南京の空氣は彌が上にも緊張してゐるが大體體線配備を完了し南

京側は愈々第三次動員に入り八日夕刻當
地以待機中の中央軍精銳を誇る機械化部
隊は今朝にかけ裝甲車、戰車、野砲、山砲、
機關銃を満載し津浦線北上を開始した
尙南京を中心とする長江下流部隊も、兩
三日來熾んに移動中で鎮江、蘇州等の滬
寧沿線各地は之等移動部隊で充満して居
り抗日軍の大本營たる南京城は教導師以
下步兵學校生五千、軍官學校訓練班二千
舊訓練班一千五百、步兵學校生徒隊四千
其他騎兵、工兵、輜重兵等の特科隊五千
計三萬の勢力と野砲五十門、山砲四十門
迫撃砲約百門をもつて固められ列に憲兵
二ヶ團と武裝保安隊三千は戰時戒嚴令下
に各城門と市内外の要所に配置され水も
漏らさぬ警戒振りである。

國府防空陣強化

南京【六・六】南京軍事當局は日本軍の空
襲に怯え兩三日來前線又は地方より續々
飛行機の微集を行つてゐるが今やその數
百餘機に達し五十機を以つて五個大隊
を編成、殘餘五十餘機を以つて豫備隊と
なし晝夜を分たず猛訓練中である。又江
寧寧甯、獅子山、清凉山、宮後山等には
夫々多數の要藥砲高射砲を配備し首都の
防衛に充て更に軍官學校、軍事委員會、
國民政府等の主要官衙及び大建築物の屋
上にも同時に高射砲を備へる等防空陣の
強化に大奮となつてゐる、更に下流鎮江
江陰兩要塞も軍事配備下に置かれ就中要
害を誘ふ江陰の新砲臺は要兵一個團と
飛行機十五基が配せられ上記防空陣及び
蘇州駐屯軍と呼應水陸空の第一防禦陣を
形成し鎮江を第二南京を第三防禦線とし
てゐる。

全居留民引揚げに國府衝動

南京【六・六】長江沿岸居住邦人は八日迄
に全部引揚を完了し第○艦隊所屬各艦も

之を護衛して下航上海に到着しつゝある
が今回の如く居留民全部が長江流域より
殆ど一人残らず引揚げたことは全く前例
無き事で滿洲事變の際にも見られなかつ
た事として南京政府も時局の重大性を知り
日本政府の決意に今更の如く驚き次で來
るべき結果に悚々異常な衝動と恐怖に蔽
はれてゐる。

支那米輸出禁止

上海【六・六】上海海關は財政部の命によ
り九日以後海外及び大連を含む滿洲國へ
の米の輸出を禁止した、同時に關の輸出
税を百キロに就き廿八元より四十二元
に引上げ十一日より實施することとなつた

高司長川越大使訪問

上海【六・六】國民政府副司長高宗武は
國民政府最高幹部の命を受け九日朝南京
より來滬午後六時わが川越大使を官邸に
訪問し會見一時間半にして辭去した

日高參事官上海へ

南京【六・六】日高參事官は川越大使に諸
般の情勢を報告するため九日午後三時半
南京發の列車で上海に向つた

邦人引揚狀況

長沙邦人上海着

上海【六・六】長沙からの引揚邦人六十五
名廿五家族を乗せた沅江丸は九日午前
六時上海に入港した、一行中の居留民國
長岡仁醫院院長岡田重彦氏は語る

長沙は省主席何健が日本人に理解があ
り邦人保護には全力を竭すと表明して
居り空氣は割によかつたが黨部の暗躍
が猛烈で邦人と交際する支那人に對す
る壓迫は相當ひどく領事館通譯を糾

年間勤め最近某新聞社の通信員をし
てゐた李某は漢奸として拉致され邦人
の間に出入する支那人墨屋某が飛行場
附近に赴いた所行方不明となつたなど
拉致された支那人の數は廿餘名に上る
と言はれてゐる

九江邦人上海着

上海【六・六】九江よりの引揚居留民廿
五名は瑞陽丸で九日午前六時上海に着い
た、引率者たる居留民長岡良勝二氏
は語る

引揚げ後の財産管理に關し支那側と折
衝のため居残りた白井領事、松村警察
部長以外全居留民は引揚けて來た、元
來九江は人氣の温順しいところで事變
後も特に邦人に對する壓迫も見えず又
邦人使用支那人間にも大した動搖はな
かつたが時間を経るに従つて何となく
空氣が緊張して來たので先づ婦女子
引揚げ次で漢口空氣緊張により全員
引揚げに決し七日午後十時廿分九江發
下航したものである

蕪湖其他邦人上海着

上海【六・六】楊子江沿岸の邦人居留民の
正式引揚げの第一船蕪陽丸は蕪湖十六名
大治十一名、鎮江二名、合計廿九名の居
留邦人は我が軍艦護衛の下に九日午前七
時上海に到着した、蕪湖領事岡田計二氏
は語る

蕪湖は最近まで安穩だったが邦人居留
民引揚げ騒ぎと一部中央軍の入市から
急に形勢悪化し領事館を始め邦人使用
支那人を漢奸なりと拉致し七日夜は邦
人に對する食料品不賣を始めたので七
日正式引揚げに決定し日清汽船ハルクに
邦人全部集合し市政府に邦人の遺留財
産の管理方を依頼したがハルクに引揚
げと同時に一部支那人の掠奪が始まつ

たやうだつた、今月初め頃より不安の
空氣が濃厚となり邦人への食料品の販
賣、住宅を貸すことも漢奸と云はれて
脅迫される有様で直接邦人への壓迫は
なかつたが上流の事とて萬一を慮つて
引揚けて來た、殘して來た財は全部
封印して省政府に管理を委任して來た

漢口邦人上海着

上海【六・六】漢口引揚居留民一千餘名
は九日午前十一時鳳陽丸及び信陽丸で上
海に到着した

鳳陽丸船上【六・六】八日午後一時鳳陽丸
船上で開かれた漢口居留民團體會は左
の如き決議文を決定し帝國政府に之を傳
達對支問題の根本且つ全面的解決を要望
した

決議

我等漢口に在留民は政府の命を奉じ全戸
私有財産を遺留し並に全在留民は引揚
げを斷行せり、仍つて帝國政府は全支
に張れる排日毎日徹底的に根絶し權
益の安定を期せられたし
右決議す

鳳陽丸船上【六・六】

我が出先當局は政府
の不擴大方針を堅持して最後の瞬間まで
居留民引揚げを控へてゐたが支那側の峻
烈なる壓迫により遂に事態は最悪の場合
に押し詰り居留民は總領、館の避難命
令を受け取るものも取り敢へず徹夜家財
の整理に忙殺されたが到底間に合はず泰
安紡績の數百萬元の損失を蒙りに總計見
積り四千五百萬元の遺留備蓄財産は何時
喪失するやも計られぬ危険に曝されるに
至つた、斯くて殆んど無一物となつた居
留邦人は生活の根據を失ひ困惑の淵に沈
んでゐる

鳳陽丸船上【六・六】約一千名の引揚邦人
を載せた信陽、鳳陽兩船は甲板と謂はず

廊下と謂はる足踏場もない程に充満し
皆が男も女も子供も疲れ切つて死んだや
うに轉がつてゐる、不氣味な揚子江を軍
艦一隻護衛の下に下航する悲壯極まる選
難船同景だ、十數名の殘留者の叫ぶ聲を
決するやうなサヨナラの聲に送られて涙
の別れを告げたのだ、突然の引揚の事と
てパケツや洗面器で飯を食へて貰つたお茶
を飲む有様だ、引揚命令が出てから出帆
迄に僅かに廿時間しか與へられなかつた
ので家財道具も殆んど置き去りの儘身體
一つで逃れて來た人達だ、數十年の年月
を費し心魂を傾けて築き上げた財産も地
盤も信用も皆放棄して引揚ける人達は明
日からの生活不安に戦いてゐる

鳳陽丸船上【六・六】

軍艦〇〇、〇〇は〇
〇隊員を乗せて八日午前五時漢口出發九
日午前一時頃在留民乗組の鳳陽丸に追
いて危險脱されてゐた江陰砲臺通過を
斷行し、更に先行した信陽丸は午前三
時頃追ひついて護衛同航した

上海【六・六】

漢口居留民三百九十名は信
陽丸で九日正午上海に到着した、居留民
團幹事林良治氏は悲壯な面持で左の如く
語つた

松平總領事代理から七月廿日頃「情勢
悪化の模様があるので引揚げの準備を
進めて待機せよ」との指示があつたが
居留民一同は「今回の一變は一週間か
二週間で終るだらう」と考へ大して氣
にも懸けてゐなかつた所七月末頃から
漢口市内の情勢が漸次險惡化し邦人使
用支那人を漢奸なりと脅迫するので使
用支那人の逃亡する者續出した、更に
本月四日何成清は我方に不遜極まる通
告を爲して來たので我方では當然たる
決意を表示したが之に驚いた支那側で
は遽かに戒嚴令を布き日本租界の三方
に二百米を圍て土壘を築き大砲を引

き出した、又同日午後五時頃歐亞航空
公司の飛行機が租界の上空を飛翔して
示威運動を行つたり暴徒は益々募る一
方だった、一方支那市民は居留邦人に
對し食料品不買を行つたので食料の缺
乏を來し之が爲上海へ電報し又軍艦の
白米を頒じて貰つたりした、又小道切
斷に備ふる爲め各戸に酒樽を備へつけ
川の水を飲む準備をした程だ、七日朝
には三機及七機編隊の支那軍用機が租
界上空に飛來した、當時漢口には支那
軍用機升機一萬が駐屯してゐると謂
はれてゐた、同日正式引揚命令を受け
邦人は皆全財産を遺留して引揚げて來
たがその大半は歸國する、然し事件解
決次第又擱つて多年心血を注いで築き
上げた第二の故郷に歸還する積りであ
る

南京邦人上海着

上海【ハルビ】九日午前八時上海入港の落
陽丸で十一名の南京在留邦人が引揚げて
來た、引率の南京總領事館警務員蔣武
猛氏は左の如く語つた

南京最後の引揚げ組です、家財道具は
各人思ひ／＼に公安局や番人等に保管
を頼んだり外人旅館に預けた、支那側
官吏の家族も一齊に避難を始めたため
南京の空氣は凄に慌だしくなつて來た
が、邦人への暴行などは未だないが漢
奸の名の下に日本側と連絡あるものを
壓迫逮捕して居る事は何處でも同じ様
だ

司令官護衛任務完了報告

上海【ハルビ】谷本〇〇〇司令官は九
日午後二時久我參謀長を從へ軍艦〇〇に
長谷川司令官長官を訪問邦人引揚げ護衛の
任務完了を報告引續き今後の中南支警備
につき協議した

上海【ハルビ】長江上流邦人引揚げ護衛の
重任を終へて九日上海に到着した〇〇艦
長は次の如く語つた

漢口租界を取巻く一萬の支那軍に對し
寡兵を以て對峙し一觸即發の危機を孕
み乍ら居留邦人の引揚げの途は一發も擧
つてはならぬとの我々の命令をよく守
り隱忍自重した部下の苦勞を察して貰
ひたい、四日四晩一睡もせず豪雨の中
をビシヨ濡れとなつて居留邦人保護の重
任に當つた兵は非常に疲れてゐると思
ふが緊張の故か未だ一人の病人も出て
ゐない、最近支那兵の我軍に對する侮
辱は益々募るばかりで湖江の際には南
京附近で中央軍飛行機が本艦に對し爆
撃並に甲板掃射の姿勢をとるなど威嚇
的態度に出た、又下航の際にはサチ
ライトで本艦を照らすなどの行動に出
たが吾人は隱忍自重無事引揚げ居留
民護送の大任を果し重荷を卸した

漢口租界に掠奪

上海【ハルビ】我が居留邦人引揚げ後の漢口
租界の治安維持は相當憂慮されてゐたが
本日上海總領事館への入電によれば六日
我が陸隊が巡邏を停止して間もなく租
界東北部に隣接せる地域居住の支那人細
民が邦人の引揚げた留守宅三軒に侵入
財を持ち出した事件が発生したが我輩官
に依つて直ちに制止されその後所から事
件の發生を見守る租界内の秩序は良好に保
たれてゐる

漢口商工會議所決議

上海【ハルビ】漢口日本商工會議所は九日
左記の決議文を近衛首相以下閣僚各大臣
並に日本商工會議所宛打電すると共に同
所顧問安藝勲事務近衛參政官は来る十
二日上海發上海丸で上京し關係當局に邦
商壓迫の實情及邦商の悲壯なる覺悟を傳

へ帝國政府の斷乎たる決意を促す事とな
つた

▲決議

漢口在留邦人は北支事變の影響により
生命財産の脅威を受け遂に我が政府の
命により莫大なる犠牲を遺留引揚げ
を敢行するの餘儀なきに至れり
之れ素より我が國策上將來の建設に對
する一時的犠牲と認め我々在留邦人は
之れが犠牲を忍ぶに吝かかならざるも
此際我が政府は揚子江流域に於ける帝
國國權の確固進展上將來の建設に對し
斷乎抜本塞源的措施に出でられん事を
望む

上海【ハルビ】漢口引揚げによる經濟上の

打撃は頗る甚大なものあり河南、湖北、
湖南、四川に對する物資の集散地として
邦商の經濟的活動頗る活潑を極めその取
扱商品の主なもの輸出入に於て桐油、棉
花、雜穀等、輸入に於て綿糸布、砂糖、
海產物、雜貨等で年額五六千萬元に達し
てゐた、この外投資總額約四千萬元あり
數十年の粒々辛苦による之等資産の地盤
全部を遺留して來たのであるが本月九日
鳳陽丸で避難して來た武勝正金、村山臺
銀谷漢口支店長は交々語る

七月中旬頃から支那側は綿糸布を始め
その他商品取引を拒絶しこちから賣
るものは掛金とし買ふものは現金でな
ければ取引せぬ仕來り、邦商と取引關
係の深い支那商は抗日分子の非常な壓
迫を受け殆んど經濟絶交の状態に陥つ
た、その上今月初めからは食糧品の供
給さへ絶たれ全く孤立状態であつた、
我々が引揚げると間もなく掠奪が始ま
つたといふ話であるが各商賈の倉庫は
商品が充満し店頭に商品は陳列した
まふたから之等の被害だけでも莫大な
ものだ、再び歸る日が何時になるかを

れによつて損害の程度も違ふが事變が
急速に解決してもその犠牲は實に大き
く此の上は政府の斷乎たる強硬態度を
切望するのみである

上海情勢

引揚邦人悲憤に暮る

上海【ハルビ】揚子江上流よりの引揚げ邦
人はその盡船中に留まる者或は上海の身
寄りに一時の宿をとる者外は上海居留
民國で設置した臨時宿泊所たる東西兩本
願寺や旅館に落付き内地への便船を待つ
てゐるが第二の故郷に悲壯な訣別を告げ
て來た此等の邦人達は攜帶手荷物も僅か
に或者は乳呑子を抱き或者は支那側の
暴戾を語り悲憤に暮れてゐる

邦人に白米不賣

上海【ハルビ】邦人の生活には一日も缺か
せぬ白米が數日來支那人方面から買ひ得
ない状態となつたので上海時局委員會糧
食供給部では九日正午より中部日本人小
學校で邦人に限り白米の實價供給を開始
した

上海抗日風潮激化

上海【ハルビ】九日午後に至り共同租界内日
拔の南京路等の大通りに抗日ビラが現は
れ始め南京路各商店のショーウィンドに
は一齊に既に最後の關頭に至れりとの
激怒な煽動ビラが貼られ市民の抗日空氣
を煽つて居る、之は市黨部の指導する抗
日團體が意々積極的組織活動に乗り出し
た證左と見られるが一方市内には「日支
軍衝突」とか、日本人が殺されたとか各
種不穩のデマが盛んに流布されて支那人
市民を動かしめつゝあり上海の抗日風
潮は頗る濃厚となつて來た

上海の一部半戒嚴狀態

上海【ハルビ】上海の空氣は益々緊迫を加
へ市政府を中心とする江灣關北方一帶に
は盛んに土壘壕溝を構築し保安隊の正服
に身を扮した正規兵は今や公然武裝を開
始した、保安隊公安局員を含すれば約一
萬の多數に上り連夜演習を行つた、あり
最近その中へ入混んで來た正規兵は最も
抗日意識が熾烈で夜間は租界より市政府
方面に至る江灣路は一齊に交通を禁止し
て全く半戒嚴狀態を示してゐる、之に脅
え日夜を分たぬ支那人の避難は彌が上にも
上海の空氣を無氣味に緊張せしめてゐ
る

日清汽船運行停止

上海【ハルビ】長江沿岸の在留民引揚げは
特殊關係を除き九日を以て完了したが日
本船による貨物の輸送も皆無となつた
ので日清汽船では九日より天津廣東行の
沿岸航路を除き長江筋の運行を停止する
事になつた

大山中尉射殺事件

陸戰隊發表

上海【ハルビ】(日本海軍特別陸戰隊午後九
時四十五分發表)
陸戰隊第一中隊長海軍中尉大山勇夫は一
等小兵隊要職の運轉せる自動車により
本日午後五時上海共同租界外租界路のモ
ニユメント路通行中道路路にて多數の保
安隊に包圍せられ次いで機銃小銃等の射
撃を受け無念にも數下發の彈丸を受けて
即死した、現場を檢視するに頭部、腹部
には鐵槌の如くに彈痕があり自動車は
前輪が破壊せられ車體は數十發の機銃

彈振あり無法鬼畜の如き保安隊の行爲を物語つてゐる、右のモニュメント路は共同租界のエキステンションであり各國人の通行の自由のある所であるに拘らず支那側は最近上海の周圍に公然と土襲、地雷火、鹿砲等の防禦施設を構築し夜間には兵力を以て勝手に通行を禁止し晝間にも通行人に一々拳銃を突付けて身體検査するなどは明かなる停戦協定無視なるのみならず共同租界居住各國人に對する侮辱である、支那側の無法なる抗日の公然たる挑戦行爲である、尙同自動車の運轉員一等水兵警に要職は坐席に多量の血漬を残せる儘の處に拉致されたものゝ如くである、帝國海軍陸戰隊は嚴重に支那側の不法に對する責任を問ふと共に嚴正なる態度を以て徹底的解決を期せんとす

大山中尉略歴

上海へ、九日夕刻モニュメント路(牌坊路)で保安隊の銃彈を浴び無念の最後を遂げた大山勇夫中尉は本年廿七歳、前途有爲の青年將校で原籍は福海縣朝倉郡安川村字下淵九八〇番地、昭和四年海軍兵學校に入學同年九月少尉任官、同年十一月中尉に進級十一月上海特別陸戰隊を命ぜられ赴任以來第一中隊長として部下から慕はれてゐた
△行方不明となつた齋藤一等水兵は本年廿四歳福井縣出身である

共同調査に決す

上海へ、上海市長俞鴻鈞は九日十時十五分我總領事館に岡本領事を訪問兩者折衝の結果モニュメント路事件解決の爲め日支共同調査をなすことに決定した

帝國政府

參謀總長宮御上

開院參謀總長宮殿下には九日午後五時廿二分宮中に御參内天皇陛下に拜謁仰付けられ御所管事項に關して奏上種々御下問に御奉答同六時四十分御退下遊された

支那軍集中を重視

中央軍は梅津河應欽協定を蹂躪し津浦、平漢兩線沿線に集中中であるが更に昨今は察哈爾熱河省境方面に續々兵力を移動集中してゐる、この支那軍の企圖は熱河及張北方面に侵入せんとするものゝ如く高桂滋(中央傍系劉汝明(宋哲元の部下)湯恩伯(中央軍)等の部隊は漸次熱河省境及南口より大同、平地泉、張家口に至る平綏綫一帯に集中中である、その兵力は少くも步兵約五箇師、騎兵約二箇師にして兵力約七萬と稱せられてゐる、斯くして如く支那側が局地における諸協定を無視し土匪匪、秦德純協定を蹂躪するの態度を示しつゝあるは全く彼等の挑戦的企圖の實證であつて關係當局はこれが成行を極めて重大視してゐる

杉山陸相談

杉山陸相は九日午後四時議會終了後初めて記者團と會見し左の如き談話を試みた

我が方が隱忍に隱忍を重ねて今日に至つたことは今更申すまでもないことである、然し支那側は數回に亘つて約諾に背反するばかりでなく梅津、何應欽協定の如き當然たる協約を無視して兵を河北に進めつゝあり、最近土肥原、秦德純協定に違反して平綏綫に兵力を集中してゐる、かゝる事實に直面しては隱忍の限度も自ら定まり斷乎この不信、不義を膺懲する

決意をなさざるを得ない、我方は堂々國際正義に基き軍の行動をなすのみである外交交渉の如きも我國は幾度か支那側の反省を求めて事件不擴大、局地解決の方針を堅持しつゝその時期の一日も早くんことを望んでゐた次第であるがこの我方の誠意は全く彼の背信行爲に蹂躪されてゐる、今日非は明かに支那側にあるのであつて彼が自らその非を悟るのでなければ我方としては進んで交渉に應ずる譯には行かないであらう、事發動後後官民一如時局に處するの態度を決定して軍國一致の和を以て沉着に各々の責務を果しつゝあることはまことに欣びに堪へない次第であつて斯くてこそ東亞の安定勢力としての日本の威力がますます發揮出来るのであると信ずる、支那側も我國のかゝる舉國一致の狀態を知つて初めて日本の眞の姿を見たことであらう、事變は支那側の非違に對する反省なき限りますます危局を招來するに至るのであるから今後ますます舉國の和を以て時難を克服する覺悟を持続されんことを希望してやまない

上海一般狀況(海軍省公電)

上海方面の一般狀況に關し上海駐在海軍武官より九日朝上の如き公電が海軍省に達した

一 開北江灣虹口北四川路方面支那人は既に大半避難を完了したるが從來の避難と異り家に一物をも残さず全くの空家となれるもの多し、支那側各種防禦工事とは公然と行はれ江灣市政府方面は晝夜警戒中に陣地を構築しつゝあり
二 保安隊巡警類似の服裝を爲せる武装壯丁の多數が演習を行ふの狀況にて從來避難せざりし楊樹浦方面の住民も續々避難中、租界外人租界内に引揚げつゝあり

海相奏上

米内海相は九日午後三時宮中に參内天皇陛下に拜謁仰付けられ所管事項につき奏曲奏上御下問に奉答して退下した

海軍參議官に説明

海軍では九日午後二時半饒ヶ岡海相官邸に大角、末次、高橋、藤田四軍事參議官の參集を求め、本省側より米内海相、山本次官、豐田軍務局長、軍令部側より島田次長、近藤第一部長等出席北支事件其後の経過につき説明する所であつた

邦人引揚完了(副官談)

海軍省は九日午後五時三十分副官談の形式を以て居留民引揚げ状況を左の如く發表した

楊子江流域の在留邦人は本日(九日)午後一時を以て全部上海までの引揚げを完了した

海軍當局我權益監視

海軍では今度の北支事變勃發以來帝國政府の事件不擴大の方針に基いて事變の推移を監視し支那沿岸は勿論長江筋所在の我が海軍は帝國領事官意と協力し不祥事件の起らぬ様極めて慎重なる態度を以て在留邦人の保護と帝國の各種權益擁護に遺憾なきを期してゐた、然し乍ら支那側の排日行爲は日を追つて熾烈且つ陰險となりつゝありこれが甚いては長江筋特にその上流遠く活躍する邦人の生命をも

大山中尉事件海軍省発表

海軍省は大山中尉射殺事件に就いて十日午前一時左の如く副官談を發表した
第三艦隊參謀長よりの來電に依れば一九日午後六時半頃上海特別陸戰隊付海軍中尉大山勇夫は一等水兵齋藤要藏の運轉する陸戰隊自動車にて上海西部

憂慮せしむべき事態を生むに至つた、仍つて我が方としては在留邦人の安全を期す見地より之が引揚げを決定することゝなつたのである、即ち八月一日重慶、宜昌、沙市の邦人は警備總監衛の下に同地發漢口に經由上海に下航同五日長沙在留邦人は砲艦衛の下に一旦漢口に引揚げ同六日漢口居留民も引揚げを開始し翌七日午後五時それぞ鳳陽丸、信陽丸に全員乗船警備艦三隻にて護衛して上海に向つて下航同八日九江、蕪湖、大冶、南京鎮江居留民は上海に向け引揚げた、上は重慶より下は上海に至る千數百哩に亘つて約二千八百名の居留民を護衛する我が艦艇がある時は江岸の砲臺より大砲を撃せられ或は夜間襲撃探照燈の照射を受けつゝ何等の事故もなく海軍の第一使命たる居留民保護の重責を遂に無事完了したのである、斯くして居留民引揚げの我が權益に關しては支那當局に於いて責任を以て保管することに當つて居り事態は平靜後再び舊の如く動き得るものであり帝國海軍としては今日まで自重に自重を含め居留民の保護引揚げを第一義として最も苦心をして來たが今や上海を除く長江流域に亘る直接警備の大任は一應全うしたので後若し支那側が居留民引揚げ後の我が權益を侵害するか又は上海に於ける我が居留民の安全を脅すか如き事あらば我が海軍は最も公正嚴肅なる態度をもつて海軍本來の使命に向つて邁進するものである

虹橋飛行場東方約界路たる碑坊路上（飛行場東南隅の正門の北約百米）に於て支那保安隊員の爲射撃殺害せられ齋藤一等水兵は目下行方不明なり

二 上海市長及び滬甯警備司令より日支兵交戦中の報により午後七時頃現場に至り調査せる冲野武官の報告に依れば該自動車は道路東側に逸出停止し前後左右に數十發の小銃彈痕及び數箇大型破孔あり、大山中尉は身に數彈を受け且つ顔半面を破砕され車外に倒れあり、轉臺附近に多量の流血あり附近保安隊及び支那兵密集し警戒嚴重なり

恤兵金で銃後の憂を絶つ

銃後の至誠はいよ／＼燃えて軍變勃發以來陸軍に寄せられた獻金總額は五百萬圓を突破して居るが陸軍ではこれ等國民の赤誠に對ぶべくその使途につき萬金の具體策研究を開始した、獻金のうち國庫金と學術獎勵金は獻金の希望を參酌され、飛行機、戰車、自動車、機關銃其他の近代兵器の製作研究費に充てられるが恤兵金は内務、陸軍、海軍三省協議の上なるべく速かに使途を決定する方針である、而して出動將兵の慰問に完備を期する事は勿論であるが當局が特に重點を置くのは出動將兵銃後の家庭生活と名譽の戦死傷病兵及び其の遺族の向後の生活保護のためには恤兵金の一部を地方廳に送附し地方廳をして國家扶助施設を一〇パーセントに運用せしめまた各地の民間扶助團體と連繫せしめそれぞれ實情に應じた救恤を行ふように計畫される外更に事變戦時にあつては稍々もすれば諸言語が巷間に流布されるに鑑み出動將兵の遺家族及び一般の人々を安心させるため山間僻地の寒村に至るまで正確なる情報を得るを失せず送るやう必要の機關設備が考慮されてゐる、此の結果近く

具體案決定の暇には内地、朝鮮、北海道臺灣の各僻村にまでラヂオ受信機が設けられ又毎日の新聞速達等の處置を講ずる計畫で恤兵金の使用により文化生活の進歩が促されるといふ思はぬ副産物が生ずる譯である

國民支援

昂る献金熱

九日の陸軍省には深川職業紹介所の登録労働者有志二百九十四名の汗の結晶卅七圓四十三錢、丸の内のシメンス・シュツケルト會社代表ドイツ人ベルン（ヘルド・モア）氏は會社社員一同として千六百四圓五十錢、また代々木山谷一六の山崎多ひさんは七十三になる百日の老體を運んで廿圓を差出し係官の感涙をほらせた、また海軍省には小笠原友島、關村袋澤村世話係福本福藏氏及び扇村防組頭金兒伊助は非常時局を痛感しかねて組員五十名が努力によつて得た基金のうちから五十圓を獻金、淺草區菊屋橋の一（一）東京線日露店商關東宇佐美一家多田二代目中村睦會代表中村一郎氏は九日午後二時海軍省を訪れて「地方へ出張中の者から送つて來たものを取纏めて持つて來ました」と卅一圓を差出した、藤布霞町四蔵布小學校六年生新島みつ子さん（三）可愛い小學校の女生徒二名は二圓廿五錢と千人針腹帶二枚を出して「この千人針は五日程かゝつて作つたものです、海軍の兵隊さんに送つて下さい、お金は僅かですがお小遣をためたものです」とのべて係官を感激させた

滿洲國から皇軍慰問金

九日夕刻陸軍省恤兵部に在滿の岡村部隊

から一通の封書が届けられた、展いて見ると同部隊に宛てられた滿洲國軍混成〇〇〇旅長王作震氏及び麾下將校團一同からの皇軍慰問狀と金百圓の爲替が封入されて在つた、慰問狀には

南加同胞から獻金

ロサンゼルス（ハル）南加中央日本人會では九日ロサンゼルス同會事務所各地日本人會代表者會を開催し國防獻金募集を決議した

海外動向

支那ガソリン大量購入説

ロサンゼルス（ハル）ロサンゼルスハースト系エクザミナー紙は九日の紙上に支那が對日抗議のため米國で航空機用ガソリンを大量購入したといふセンセーショナルな記事を掲げた如く報道してゐる

支那政府は當地業者との間に航空機用ガソリン約二萬ガロンの購入契約を結んだ、右契約は從來嘗て見ざる記録的大量契約だが最近の便船で上海向け搬出される筈である

但しロサンゼルス石油業者は右の報道につき一切言明を避けてゐる

現地

宋哲元河間に落延ぶ

天津（ハル）宋哲元は昨日保定より更に保定東南方の河間に落延びた

高桂滋を十七軍長に任命

天津（ハル）第八十四師長高桂滋は此の程將介石より第十七軍長に任命され第八十四師及び第四師を指揮する事となつた

因に第八十四師、第四師は目下左の方面に進出してゐる

第四師 懷柔、沙城、
第八十四師 龍岡、青溝口、黃龍潭、赤城、東山廟

大山射殺事件

現地當局徹宵協議

上海（ハル）岡本總領事、田尻、吉岡、曾根各書記官、本川海軍武官、日高參事官、第三艦隊參謀等は事件發生と共に總領事館に參集事件善後措置について協議し徹宵協議が續けられた

特別市に戒嚴令布かる

上海（ハル）松滬警備司令部は時局以來支那街一帯に戒嚴令を施行してゐるが九日のモニメント路事件發生後は特別市に戒嚴令を布き上海支那街一帯は夜十一時限り一般の通行を禁止する旨今朝通告を發した

上海（ハル）事件發生の現場と見られる

虹橋飛行場北方約百米附近は虹橋ゴルフリンク附近より飛行場に至る上海西郊一帯は忽ち武裝保安隊による嚴戒が加へられて居る

齋藤水兵の死體發見

上海（ハル）（陸軍省發表）齋藤一等水兵の死體は大山中尉死體遺棄現場より東南約一キロの畑中に遺棄ありたり

兪市長領事館訪問

上海（ハル）上海市長兪鴻鈞は九日午後十時十五分總領事館に岡本總領事及び本川海軍武官を訪問同十一時廿分辭去した兪市長は

一 大山中尉、齋藤水兵の兩氏の屍體は既に現場より某々所に移されてあること

一 右兩氏の屍體は九日夜中に日本側に引渡す用意あること

を申入れ且つ屍體引渡しのため支那側は市政府參事一名及び保安隊參謀長並に參謀一名を日本側に派遣し同行せしむべき事を約した、然し兪鴻鈞市長辭去後四十分を經るも未だ支那側の右立會一人も來らず支那側の誠意顯る疑はしきものあり更に右會に於て支那側は共同調査隊派遣案を拒絶した模様である

山内參謀等現場に急行

上海（ハル）大山中尉、齋藤水兵の遺體引取の爲め十日午前零時廿分山内陸軍參謀、冲野武官、重村大尉、有馬軍醫、服部副領事、齋藤書記官が支那側保安隊參謀一名を同行現場に向つた

遺骸軍病院に安置

上海（ハル）大山中尉、齋藤一等水兵の遺體は約十二時間放置された後十日午前

五時四十五分現場より陸戰隊病院に到着
病院の一室に安置された

支那側機屍害に署名

上海(二) 大山中尉、齋藤一等水兵の
機屍は十日午前十時より陸戰隊病院に於
て市政府の醫務係長、秘書長張廷榮立會
の下に開始された結果、張兩名共我が
方作成の機屍害に署名を了し同十時四十
分機屍終了に立會つた陸戰隊係の言
によれば

兩名共致傷傷は唯一發の顔面貫通銃創
の他全身(主に頭と腸)に約十數發の小
銃彈を受けて居り大山中尉の如きは頭
蓋骨を半碎する刀傷を受けてゐる、之
は何れも死後の加害と判斷せられ例の
事ながら支那兵の飽くなき殘忍には立
會者一同思はず眼をそむけさせられた

陸戰隊發表

上海(二) (午後二時陸戰隊發表)
大山中尉、齋藤一等水兵の死體に關する
我が方の檢案書は本日午前十一時半(日
本時間)市政府秘書張廷榮、市政府醫師
孫達方は全部承認正式調印せり

上海(二) (陸戰隊司令部午後二時發表)
支那側は大山中尉、齋藤一等水兵より發
砲せり、又保安隊員一名射殺せられ且飛
行場に侵入せんとしたるに依り之れを誰
何せり等と稱し居れるも

一 大山中尉は調査の結果拳銃を所持せ
ず

一 齋藤一等水兵は拳銃を所持したるも
自動車運轉中なる爲め發砲は全く不可
能なり、事件發生直後沖野武耳現場に
赴きたる際保安隊員の死體なく後で運
び來れる事明瞭なり

一 事件發生地は飛行場を去る三百米
の地點にて飛行場に赴く意思全くなし
等の事實より見て支那側の主張は全く虚
謂はれて居る

機に外ならざるのみならず市政府官廳部
は死體の引渡延遲を計り我方の著しかな
機屍を怖れたる歴然たる事實あり

本田海軍武官談

上海(二) 本田海軍武官は大山事件に
就き十日午後二時左の談話を發表した

八月九日發生の大山事件は現下帝國官
民の隱忍、事件不擴大に努めつゝある
誠意を無視せる中國側の明らかなる不
法行為にして中國側當局に平和維持に
對する誠意無き事を顯示せるものなり
我が海軍は本事件を極めて重大視し此
の機性をして無意義ならしめる事無き
やう極めて堅固なる決意を有するも暫
らく中國當局の態度を靜觀しその善處
を督促し以て満足なる解決に到達せん
事を期しあり、この際在留同胞はその
傳統的完全なる統制を堅持し我が善意
の善處に信頼し冷靜自重せられん事を
期待す

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

上海(二) (上海陸戰隊發表)
大山中尉は全身大小十八個所の銃創、刀
創を蒙つてゐるが第一發の右胸貫通銃創
によつて車中に俯伏せになつたところ銃
の臺尻で後頭部を亂射され車外に引摺り
出され死體を仰向けにして刀で頭部を突
刺し盲腸露出心臓に拳太の穴を明ける
など鬼畜と雖も爲し能はざるの暴行をな
し同中尉所持の軍刀、靴、腕時計、シー
ス等をも取つた、又齋藤一等水兵は後
頭部貫通銃創の致命傷を受けて即死せる
を車外に引摺り出 額面右頭部に即死銃
の臺尻で頭打更に左右腹部に貫通銃創を
加へた上犯行を晦す爲死體をクリークで
洗つた形跡あり、所持品は全部掠奪され
たり、保安隊使用の彈丸はダムダム彈と
謂はれて居る

實地檢證

上海(二) (二) モニメント路事件に對す
る正式の實地檢證は十日朝改めて行ふこ
ととなり工部局側總領事館、總領事館か
ら古岡領事及び福井書記、海軍武官室
から田尻中佐、陸戰隊から山内、松永兩
參謀、支那側は松岡醫務司令、保安隊兩
責任者、市政府より張秘書長の各代表者
は十日午前九時總領事館に參集の上現場
に赴き工部局が中心となり實地檢證を開
始した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

上海(二) (二) 虹橋事件現場の正式實地檢
證は十日午前九時より總領事館、海軍
工部局、支那側各代表に依つて行はれ
後約十時間の長きを要し午後六時半過ぎ
漸く終了した

ふ作爲手段が暴露した、更に彼等はダム
ダム彈を使用してゐるが之等に對し支那
側は言を左右にして事實を認めず却つて
日本側の責任を云々して支那側の責任を
回避するその態度はあくまで不誠意に終
始してゐる

碑坊路事件は作爲的

上海(二) (二) 支那保安隊より突如射撃さ
れた大山中尉は同夜上海西部にあるわが
豐田紡内外綿等各工場警備のため常置さ
れてゐる西部派遣隊の隊長であつて午後
五時頃から附近の地層賦並に連絡の爲
め陸戰隊本部に向ふ途中保安隊の亂射を
浴びたもので當時同中佐は軍裝してゐた
従つて支那保安隊の射撃は租界と同一性
質なるエキステンションの路上に於て正
服を着た公務施行中の帝國軍人に對して
なされたもので全く作爲的意圖に出でた
不法蠻行なることは明白である

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

上海(二) (二) 陸戰隊本部に於て調査の結
果

意を喚起した、之れに對し事務總長フェ
ンセンデン氏は「事件の發生は眞に遺憾
であるが虹橋路の一部及びモニメント
路に共に工部局としては既に支那側によ
り武力をもつて警備備、撤去せしめられ
た處である故問題は極めて複雑である」
と述べ會見廿分で辭去した

事件突發を蔣介石に報告

上海(二) (二) 事件突發するや上海市府
警察局長及び巡邏警備司令楊虎は直ち
に部下の警察隊、保安隊及び保衛團に支
那側の散放を命ずると共に蔣介石に事件
を急報し又電話を以て刻々情報に國民政
府軍政部當局に報告し非常な緊張を示し
て居る

上海(二) (二) 虹橋事件に關する報告は九日
夜より十日朝にかけて餘鴻鈞上海市長より
外交部に到着したので王寵惠外交部長は
右報告に基き十日午前九時より開催され
た行政院會議に事件の經過を報告し慎重
協議を重ねた結果國民政府は之を地方的
事件として解決するに方針を決定直ちに
餘鴻鈞市長に右方針を電命した

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

上海(二) (二) 支那側が事件を殊更擴大せ
しめんとする意圖ありと推察される點は
左の如くで上海四周に於て挑戰的體勢を
とりつゝある

一 北岸市場に結集しつゝある支那難民を危険區域なりとして驅逐しつゝあり

一 事件現場附近に土襲を蒙る警察保安隊及び手榴弾を有する警官を救援待機せしめてゐる

一 バスを集結して戦闘擴大の場合の兵力集中輸送に備へてゐる

一 虹橋附近に一ヶ中隊の正規兵が駐屯し之等正規兵が日本軍人を射殺せりと確言宣傳してゐること

抗日風潮に在留民協議

上海【二】日本人各路聯合會は大山事件發生により頓に悪化し來つた上海の抗日風潮に鑑み十日午後四時半より日本人俱樂部に各委員參集緊急會議を開議在留民の保護に關し協議を遂げた

◇

◇

◇

南京の防空設備

南京【一】南京軍事當局は省部の防備特に防空設備に萬全を期し去る二日各軍政機關、各學校を始め一般家屋の屋根の塗りかへ、地下室の増設、機關銃、高射砲配置地點選定等を十日迄に完了すべしと命令した十日早朝より陸隊は市内外防空設備の整頓なる檢閲を開始した

支那民間銀行救済

上海【二】上海の金融状態は益々窮迫し各支那銀行は預金の大部分を引出され何れも危険瀕しつゝあるので政府銀行は之が救済に乗り出すこととなり十日朝中央銀行に中央、中國、交通、農民四行の首腦者參集緊急會議を開議次の緊急救済法を決定した

一 上記四行は民間銀行の申請により前日附のキヤッシュ・オーダーを提出し之が割引に應ずる

二 糯米、布のデリヴァリ・オーダーに對し市價の八割の貸出を行ふ

三 公債に對し公定價額の九割の貸出を行ふ

四 土地證券に對する融資方法は追つて決定する

在留民に引揚勧告

汕頭【二】當地に於ける支那側の抗日聲浪益々露骨にし前途憂慮すべきものがあるのて山崎領事は十日居留民に對し引揚勧告を行つたが現在の事態より見れば何時引揚命令を發するの餘儀なきに至るやも知れず我在留官民は異常に緊張してゐる

帝國政府

閣僚會議

【一】十日の閣僚會議は午前四時四十分より首相官邸に開會近衛首相を除き各閣僚出席まず米内海相より九日上海に於ける大山事件について詳細報告をなし

同事件は頗る重大な問題であるので海軍當局としては慎重な態度を持し一兩日事件の取調及び情勢を見た上で善處する方針である

旨を述べ更に杉山陸相より北支方面の一般状況を報告十一時五十分散會した

陸相參内

【二】杉山陸相は十日午後五時官邸に參内北支事變その後の情勢その他所管事項に關して奏曲奏上種々御下問に奉答の後退下した

海軍省部聯合會

【二】海軍では上海に於ける大山中尉等射殺事件に關し十日午前八時卅分より省部聯合會幹部會議を約一時間半に亘り省內大臣室に開會

海軍省側より米内海相、山本大次官、豊田軍務局長、軍令部側より島田次長、近藤第一、高橋第二各部長等出席

長谷川第三艦隊司令長官より公電並に各方面より到達せる情報を中心に重要協議を遂げこれが對處策を決定した

海軍省副官談

【二】海軍では大山中尉射殺事件に關し十日午前十一時副官談の形式を以て左の如く發表した

▲海軍省副官談

その後の報告によれば大山中尉は西部派遣隊長として上海西部に在る邦人經營紡績會社その他所在在留邦人の警備に任じ九日午後五時頃正規の軍裝にて甯波水兵協隊の陸隊自動車に乗じ水月クラブ(内外婦クラブ)を出發し附近地區巡察の上陸隊本部に連絡に向ひたる途上午後六時半頃「ニキステンシヨ」路に於ける牌坊路上において不法極まる支那側保安隊の包圍襲撃を蒙りたるものであつて我が方としては事件の性質に鑑み嚴重且つ慎重なる態度を持し直ちに支那側に對し實地檢證を要求せるが支那側は言を左右にして時間遷延を圖り僅かに死體引取りに同意せるに過ぎず今朝(十日)に至り漸く檢證に同意せる状況にして事態の進展は容易に豫測を許されな

海軍省發表

【二】海軍省では十日午後三時廿分副官談の形式を以て左の如く發表した

上海特別陸戰隊の調査に依れば事件當時大山中尉は拳銃を服用し拳銃を携行しありしこと明かなるも肩よりかけたるまゝ、轉しつゝありたると認めらるゝを以て支那側の我方より保安隊或

は警察署を射撃しつゝ疾走せることを以て事件の發端なりと稱し居れることは確かなること疑ひなし

國民支援

東京市會救援統一協議

【二】東京市會の出動將士家族救援會は十日午後一時半より市會控室に理事會を開議し市理事者側より澤田會局長その他關係吏員出席救護事業範圍及今後の活動方針等に關して審議した結果現在各自任意の後援事業を爲して居る府、市、警視廳、商工會議所、軍人扶助七團體、社會事業團體等を打つて一九とする出動將士救援協議會を設置して救護事業の統制をはかることに協議一致を以て可決し委員長森富太氏より各方面に交渉することとし次で各種團體の計畫、事業費募集、並に共同救援計畫の調整等の細目に互る協議の結果

一 救援費募集の件

一 要保護者並家族慰問救援の件

一 一般出動將士家族慰問の件

一 警に關する積極的方策を講じ萬遺漏なきを期すべきことを申し合せ同四時散會した

海外動向

ガソリン注文説UP報道

ロサンゼルス【二】南京政府は對日抗戰のため米國に於て飛行機用ガソリン大量購入契約を締結したといはれるが十日UP通信社の報道によれば當該契約は、太平洋石油會社社長ロバート・アラン氏との間に締結されたもので購入ガソリンは二千萬ガロン金額は二百七十七萬

八千七百八十ドル正にカリフォルニア油田始まつて以來の最大註文であり上海向け輸送には十二隻のタンカーを要すると傳へられる

外紙論調

英國

形勢注視を要す

ロンドン【二】保守黨系デリー・テングラフ紙は一日の論説で英國政府は今後も引續き遠東の情勢を警戒すべきだとし次の如く述べて居る

議會は休會に入つたがイデン外相は引續き極東の情勢を注視、日支兩國間紛争に對する平和的解決の賢明なる旨の申入れを續くべきであらう、世界は北支の紛争に無関心を養ふことは出来ぬ、歐洲とアジアの一部に戰雲が低く垂れこめる時英國政府は休戦中と雖も形勢注視を怠つてはならぬ

軍艦擴大不可避

ロンドン【二】ロンドン各紙は連日北支の情勢を詳細報道し事態の推移に深甚の注意を拂つてゐるが日本政府が近々大なる事變第二次追加案を提出するとの報に日本は乾坤一擲北支に對する既定計畫を遂行する決意なりとして事變の擴大は不可避と觀測してゐる

ロンドン・タイムズ

ロンドン【二】タイムズ紙は六日の紙上に北支事變の今後の日邊につき左の如き社説を掲げてゐる

今次の日支事變に依り日本は北平を含む河北省の大部分と恐らく山東省の一部を

表向き自治とし自國の勢力範圍とする。然らうから一、二世紀間は少くとも北支の原狀は回復されまい北支經營に伴ふ人的、材的要素の他必要なのは行政的手腕であるが日本人は想像力と被統治者を自國に心服せしめる能力に缺けて居りこの缺陷こそアジア大陸に於ける日本の最大困難であらう、何れにせよ日本にとり北支に於ける眞の困難は停戦と共に始まるだらう、最近日支兩國とも益々戦備を整へており今度の紛争が大戦争になる可能性は皆無とはいへないが蔣介石氏は最も支那人らしい支那人だから飽迄も妥協を排するといふ様なことはあるまい、世界は憂慮を以て事態の進展を見守つてゐる、英米兩國は平和のため日本政府に申入れをなしたが日本政府は干渉を好まぬ旨を明かにした、然し日本が最近の行動及び政策により世界に印象を興へたと思つたら間違ひである、敵を作るは易く友人を得るは難い、日本も他國の敬意を減する一歩を退つてゐる様に見える。

米



日本は進軍す

ニューヨーク〔ハ・ニ〕 ニューヨーク・タイムス紙は八月一日の紙上「日本は進軍す」と題する社説を掲げ次の如く論じてゐる。

中央軍が北上せば日本軍が平津地方を一掃することは豫期されるところで既に聰明なる日本軍部は同地方にも大衆の自發的な獨立政權樹立運動が發生したことを發見してゐる、蔣介石が民衆の抗日輿望に應ぜぬ意圖を明かにしない内に日本は第二の段階の準備をしてゐるがこれは單なる既得利益の強化にとどまるか或は杉山陸相の所謂軍事行動による根本懸案

解決にまで進むのか目下不明である、然し全世界が日本の戦争に非ざる戦争を抑へるところか抗議もしないで傍觀してゐるのだから日本は變に自分の進路が選べる譯である。

支那の悲劇的チレンマ

ニューヨーク〔ハ・ニ〕 ニューヨーク・タイムス紙三日論説「支那の悲劇的チレンマ」

支那は今や日本の侵略に服するか、充分準備した侵略者に準備の不足した劣勢軍隊を以て戦争するか二つの一つを選ばなければならぬ、蔣介石は事變發生以來口でこそ激烈な舉國一致抗戦を叫んでゐるが實際には何にもしてゐない、蓋し蔣介石の立場は辛いだらう、歇起して對日宣傳をすれば愛國者として人氣を集めるが日本軍隊に對して勝味は無い、若し戦争に負けたり戦争が永ひば地方軍閥は地方的に日本軍と和解してしまふに違ひない、といつて従軍通り面すを保つてゐるが實際上日本に譲るが如き協定を結んだら叛逆者の烙印を押され國內的に威嚇を失墜する、若し蔣介石が後者の妥協戰術に出たらそれは日本の黃河以北獲得を獎勵する様なものである。

歐洲と日支時局

ニューヨーク〔ハ・ニ〕 ニューヨーク・タイムス紙ベルリン特派員フレデリック・バーチヤル氏は五日の紙上日支紛争に對する歐洲各國政府の動向を指摘し左の如く述べてゐる。

歐洲各國政府は日支紛争を關心と不安との混交した感情で注視してゐる、然し關心も不安も共に外交的軍事的に積極的干渉に出る原因とはならぬ。

一 先づ英國政府は歐洲の危機打開に大軍であり尠大な再軍備計畫に着手した

ばかりの所で更にこの上極端の事態に對し何等か軍事的義務を負担することはないと可能な事情にある。

一 ドイツ政府は對支市場の喪失を欲せず厳正中立を守つて居る、尤も戦争が永引けば日本の側へ就くことゝならう日本が終局に於て戦争に勝利を博することは何人も絶対に確信してゐる。

一 ソヴェト政府は國內多事の折柄支那を援助することはなからうと言ふのが一般的印象だ。

フランス

コミンテルンの使囑

パリ〔ハ・ニ〕 極右系エモ・ド・バリ紙二日の紙上ルジャンドル氏は北支事變に關聯しコミンテルン使囑につき曰く。

今度の日支衝突は日本の行動に對する支那の抵抗だといふ解讀があるがそれは間違ひだ、事實はコミンテルンが玉碎を願立て、厭がる蔣介石を引ずりながら日本に挑戦させるものだ。

ドイツ

東亞の闘争

ベルリン〔ハ・ニ〕 ベルリナー・ペルゼン・ツァイトウング紙は五日夕刊紙上に「東亞の闘争」と題する極東通ワルナー・アールゼンドルフ氏署名の論説を掲げて曰く。

滿洲國成立以來一種新型の大陸的日本人が發生した、彼等は百里の長城を越え戈壁沙漠の彼方更にバイカル湖へ燭々たる眼光を向けてゐるが一は滿鐵に依る資本主義的傾向の一團であり、他は關東軍が

牛耳を執る建國派の一團である、前者は世界經濟に於ける日本の地位を有利に導かんとして後者は北支自治國家の建設に懸命であらうが凡そ日本の興隆を念願する人々の意見は決して支那を自治國家に分裂せしめんとする程狭量では無い「東亞を東亞人の手に」をスローガンとして日本と大陸を打つて一丸とする經濟ブロックを形成しようといふのがその目的だ、只日本が何處迄も覇權を掌握し支那に第二義的役割を課せんとする點が特徴的である、併し支那も日本の出方に依つて民族的獨立國家への自覺を大いに促進された今日極東の將來に對し適確なる豫言は困難である、支那が意外に強いが、北支に新自治國家が成立するかは兎も角モスクワ政府は手に唾して漁夫の利を得んと凝視してゐる、けれども全歐の豫期せぬ基礎の上に日支兩國が近き將來に俄然一致提携しないといふ誰が保證出來やう、日支經濟ブロックは何時かは現實となるであらう。

ソヴェト

ソ紙書き

モスクワ〔ハ・ニ〕 北支事變發生以來ソヴェト各紙は連日紙面の大部分を割いて支那電報、ロンドン、パリ、ワシントン各地電報を掲げ支那の抗日態度強硬と英米佛三國の對日動向を傳へてゐるが餘り生彩無く今回の事變に對するソヴェト政府とコミンテルンの意圖なるもの未だに公式に明確にされてゐない、天竺の「ソヴェト領事館事件」では各紙とも大に日本に拮据してゐるが之も單に新聞の意見としてである、二日タスのロンドン電

報は英國政界の絶對的に信すべき筋から特種たと稱して次の如く報した。

支那

英極東通の北支事變評

上野〔ハ・ニ〕 シヤンハイ・イーヴニング・ポスト紙は三日の紙上に於て英國極東通ウツド・ヘッド氏の「現實對感情」と題する論説を掲げ左の如く論じてゐる。

日本軍は僅々一週間の内に僅少の部隊を以つて北平天津兩都市を初め河北省の北部山海關以北地帯及び平綏綏綏地帯を占據し目下同地域に總動する支那收復兵の清掃工作を進行地歩を固めつゝある、これら軍事的成功は主として空爆によつて得られたもので日本軍歩兵隊が比較的急速且つ容易に前進することが出来たのも全く空軍のこの掩護工作によると言へやう日本空軍は更に前進を企圖し既に保定其他平漢鐵道沿線軍を爆撃したと報ぜられる、然し日本軍當局の公式聲明に徴しても明かな通り日本軍は特別の必要の起らぬ限り北平綏綏綏綏北平天津間地域南方甘肅以南の線に戰線を増大することはない、然し以上日本軍の占領により支那全土の抗日氣勢はいやが上にも燃え上り國民政府に對し効果的軍事行動に出る機を要求する聲は益々強くなつた、これら抗日分子中には國民政府内の蔣介石一派を窮地に陥れるため特に策動してゐる者もあるがその大部分は眞剣且つ自發的に起つたものと見てよい、蔣介石は過日ステートメントを發表し支那は忍ぶだけ忍

んで来た、今や北支に於ける日本軍の行動によりこの忍耐の限界は破れたと聲明したが幾多支那國民は蒋介石が失地回復の爲め中央軍を動員する機期待してゐる。未だ國民政府から中央軍總動員の命令が下つた模様は見えないが中央軍が保定集結の命令を受け平漢鐵道を北上しつゝあることは殆んど疑ひない、更に山東省を通過し平漢線と平行する津浦線において同時に軍隊動員が行はれるか否かは明かでないが山東省主席韓復榘は戦闘が山東に波及するのを避けるためか、動員計畫には反對の意向と傳へられてゐる、尤も韓復榘は最近南京を訪問蒋介石と重要協議を遂げた事實があるから或は態度を約變するかも知れずその場合には中央軍は平漢鐵道沿線の要衝保定並に津浦鐵道沿線の要衝滄州の双方から軍を進めることになるかも知れぬ、然しこれが實現すればこれこそ支那にとって葉餘の暴挙と言はねばなるまい、平漢津浦兩鐵道は黄河以北に於て連絡せず何れも單線で黄河に架けられた兩線鐵道は共に貧弱だ、然も黄河上の其他の橋梁も多數軍需品の輸送に適してゐない、従つて一旦橋梁が破損した場合鐵道連絡を頼みとする支那軍は非常な困難に遭遇し絶望的状態に陥らう、軍事的見地よりすれば支那軍として以上兩鐵道の何れかに沿ひ黄河以北に進出する事は黄河の架橋確保に就き十二分の實力を備へねば危険である、一度日本軍が北平地區の僅か南方に地歩を固めさせれば北平地區以内に平線鐵道を確保し遼洲國とは北寧線で聯絡し塘沽に於て海路と通し更に北平承德間は陸路相通し斯くて日本軍が帯は縱横に聯絡が確保されることになる假に支那軍が克く日本軍に對抗し得るとしても以上の聯絡を斷つことは至難の業である、若し支那軍の實力が日本軍に及ばぬとすれば望み

ないと考へられる。

申報の主戦論

上海【四】上海の漢字紙申報は四日の社説に於て左の要旨の主戦論を掲げてゐる。

一體川越大使は何をなすために南京に來るものであるか、川越大使來京の目的が國民政府と和平交渉をなす爲であるならばそれは既に時期を失してゐるといはねばならぬ、日本は支那から最後の忍耐を奪つてしまつた、今や日支間の紛争解決の武器は唯劍であるのみ外交上の折衝に努力をなす時期は既に過ぎ去つた我々は日本との平和を齎さるゝが爲に和平交渉を開くよりも寧ろ全國民死地に就き支那全土を焦土と化すことを望むものである。

南京政府の臨時經濟對策

日支事變勃發以來南京政府は幣制の維持公債價格の暴落防止、資源確保の爲の貿易統制等に各種の手段を講じつゝあるが今次事變に伴ふ南京政府の臨時經濟對策の概要を示せば左の如くである。

通貨對策

一 紙幣の準備 七月十三日南京政府は萬一の場合に備ふる爲政府系銀行をして軍資金として法幣九億元の發送方準備せしめたが其内廿千萬元は長江上流に送られた。

二 妨害國幣懲治暫行條令の公布 七月廿六日本條令を公布し左の各項の罪を犯したる者は其罪狀に應じ有期、無期乃至死刑に處することとした。

△銀銅貨、銀條、銀幣類を密輸せる者

△銀銅貨、銀條を熔解せる者 △銀條を變造せる者 △銀行券を變造せる者

爲替對策

一 外貨買入對する實應じ 中央銀行をしてキャッシュ外貨に對し無統制に實應じをなさしめて居り事變以來七月廿七日迄に實應じたる額約二百五十萬磅に達したといはる。

二 外貨買入の防止及制限 銀行預金帳簿を調査し外貨買入を目的とする預金引出の防止に努めておりまた外貨買入に對しては相當の制限を加へんとする意圖がある。

三 現銀の積出

1 七月十三日中央銀行は上海より現銀二千三百萬元をエムプレス・ルシヤ號で積出したと傳へられる。

2 七月十三日夜半より翌拂曉にかけて一千三百萬元を上海より現銀及び銀塊一十三百萬元をフレデント・クリツヂ號にて積出したと、右は則ちの分と合して三千萬元を米支協定に基き米國へ輸送し金と交換の上在外資金として存置せらるゝ。

3 七月十四日中國農民銀行は現銀二千萬元を極秘裡に國外某所に輸送したといふ。

4 七月廿四日中央銀行は金塊二百卅萬三千弗及び銀卅四萬五千弗をフレデント・ヂヤクソン號に依り香港に輸送し交通銀行同地支店に預入れた。

金融對策

一 資金貸出の制限 銀行界は資金の貸出を手控へると共に統制を更に強化すべく外貨買入に對しては相當の制限を加へつゝある。

二 政府系銀行の手持紙幣の發送 政府系銀行は手持紙幣を割き之を全國の要所に送り萬一の場合に備へてゐる。

三 銀行の移轉準備 中央銀行は七月廿日より貸出を禁止し中央信託局は萬一の場合を顧慮し一部を南昌に一部を香港に移轉したた中國交通等の重要銀行其他諸銀行會社も移轉準備を進めてゐる。

四 外貨買入を目的とする預金引出の防止 銀行預金帳簿を調査し外貨買入を目的とする預金引出の防止に努めてゐる。

公債對策

一 空賣買の禁止 各銀行の公債所有者を調査し其現在高を毎日報告せしめ市場に對しては現物の提示なき賣買を禁止し且賣買取組の内容を詳細に報告せしむる等空賣買嚴禁の方針を採るものゝやうである。

二 政府系銀行の買應じ 公債價格暴落の場合には政府系銀行をして買上げしむる方針にて其所要資金として一千萬元を準備したと傳へられる。

三 公債價格最低水準の維持 公債は額面の七割を最低水準として堅持する旨政府系銀行をして決議發表せしめ最低價格以下の取引を無効となす旨指令した。

貿易統制

一 糧食の輸出禁止又は移出制限 七月十六日小麦粉及穀物の輸出を禁止した。

二 鐵道の輸出入禁止 七月廿日鐵道、鐵片、鐵條等一切の輸出入を禁止

三 石炭の賣買に許可制 石炭の賣買は許可を要することとし資源統制に一步を踏み出した。

市場統制

一 證券交易所の立會停止 蔣介石の全面的抗戰決意發表に依り上海財界の不安と警戒は七月卅日來深刻化し商取引杜絶の状態となつたが南京政府は各市場の統制に乗り出すこととなり先づ公債の取引組織を變更する爲（一説には清算引渡の爲とも稱せらるゝ）八月二日迄三日間（一説には八月六日迄一週間）立會の停止を命じた。

二 商品交易所の立會停止 棉花、棉花取引所も亦七月卅日立會の停止を命ぜられた。

三 空賣の取締 公債、商品交易所に於ける空賣取締の爲空賣者の調査を實施した。

四 價格暴落の防止 商品相場暴落の場合政府系銀行をして買上げしめ相場暴落の防止を圖らんとし居り之が爲所要資金一千萬元公債買上資金と共に準備したといふ。

對英借款

對英借款交渉の爲漢英中の孔祥熙は七月廿日ロンドンより電話を以て蔣介石に對し北支事變に依り財政破綻の最悪の事態を惹起する惧るを以て即時戰闘行為を中止し速かに局面收拾を圖られ度旨を請したが最近のロンドン電報に依れば孔祥熙の借款交渉奏效し二百七十萬磅の廣梅鐵道借款成立を見たものゝやうである。

第七十回 帝國議會

豫算總會

衆議院

豫算總會は午前十時廿四分開始
衆議院(衆議院)
衆議院(衆議院)

- 一 政府は來議會に根本的稅制整理案並に地方財政調整交付金案を提案する考へありや
- 一 國民健康保險法を市町村に經營せしめる考へなきや
- 一 地方自治體を經濟單位として改革する考へなきや
- 一 地方吏員優遇方針如何
- 一 產業組合の指導權如何
- 一 確安その他肥料政策の方針如何

馬場内相

- 一 私の立案した稅制整理案並に地方財政調整交付金に對しては、理想として今日と雖も變らないが、財政事情の變化に伴ひ必ずしもこれを固執するわけにはゆかぬ
- 一 國民健康保險法の町村經營は同感だが保健社會省において篤と研究する
- 一 地方自治體の改革について經濟的地域の考へを採り入れることは同感である
- 一 地方吏員の優遇は充分考慮する
- 一 產業組合の健全な發達を目的としてその指導向上に努めてゐる

一 肥料の安價なる供給と自給自足主義の確立に努める
この時杉山陸相發言を求め通州兵變その後の情勢につき詳細な説明あり正午休憩午後一時廿五分再開

小串清一氏(政友) 確に公道價格引上の理由生産費割出しの根據及び稅制の根本的改革につき質し吉野商相、賀屋藏相之に答へ
三宅正一氏(社大) 當局は重要肥料統制法成立の曉には生産費を發表することが出来ると言ふたではないか、又市價が公道價格を上廻つてゐるのを何んと見るか、無施肥肥料のため土地が荒廢しつゝある事實を何んと見るか政府は統制法を改正する意思はないか

吉野商相 生産費の公表は出来かねる改正の必要があれば改正したいと思ふ
次で西尾末廣氏(社大)より労働者の災害率増加の傾向について述べ労働時間の制限並に労働組合の産業協助力方針労働組合法案に關する内相の方針を質し
馬場内相 何れも其必要は認めて居るから研究努力する
最後に西尾氏出征兵士の復職問題及び失業保險の創設につき希望意見を述べ
中原議員氏 第二拓相に對して海外移民地の實地視察を要望し
中原氏 文相は法文科大學を整理する考へはないか

安井文相 法文科大學の整理は重大な問題であるから充分考慮したい
次で大石大氏(東方)産金問題と物價との關係につき大藏當局に質したる後農産物價、農村負債整理問題を中心に農相の抱

懷する農村認識を質し更に近衛首相に對し外務省の部内刷新問題を質問すれば近衛首相 政府としては官紀の振興に努めねばならぬと思ふ
是にて質問を打ち切り同三時五十分散會

衆議院

本會議

二日の衆議院本會議は午後一時十四分開會院內閣議のため閣僚の出席なく直ちに日程に入り

- 一 橫濱正金銀行條例中改正法律案(政府提出)
を上程太田大藏政務次官の説明あり産金法案委員會に併託次いで
一 貿易及關係産業の調整に關する法律案(政府提出、貴族院送付)
一 貿易組合法案(同上)
一 工業組合法中改正法律案(同上)
一 百貨店法案(同上)

の四案を一括上程本幕閣工務政務次官の説明ありこの時杉山陸相出席して發言を求め通州事件に關し説明を爲し遺憾の意を表明する、終つて前記各案に對する質疑に入り
岡崎久次郎氏(民) 商工省の貿易統制は輸出を拘束萎縮せしめるのみだ、積極的な対策はないか
本幕政務次官 列國何れも貿易統制を實施し之と協調してゆゑ爲我國も或る程度、統制が必要と思ふ
廣田均氏(政) 具體的に如何なる輸入品を制限せんとしてゐるか貿易審議會の構想は如何
本幕政務次官 制限又は禁止する品目

は豫定して居らぬ、審議會はその性質上商工省内に設くべきものと思ふ
眞鍋誠十氏(民) 百貨店法案では既設百貨店には、指も染め得ない、何故禁止制を執らなかつたか許可に當つての諮問委員會の構想に並に諮問事項如何小賣商保護法、商店街法、小賣制限法等を制定する意思はないか
本幕政務次官 百貨店は消費者にとり或程度の効用があるので、この程度の統制で満足する他はない、中小商業の保護は本法以外に種々考慮してゐる
紅露昭氏(政友) 中小商業者の數を制限しては如何、連鎖店の流行に對する對策如何
本幕政務次官 本法が成立しても中小商業者がさう殖えるとは思はぬ、連鎖店は未だ法律を設けて統制するだけの發達を示してゐない
北勝太郎氏(第一)農林水産物は特殊の産物だから輸出制限と共にやられねばならぬ、産業組合聯合會の直接輸出を認め、産業組合聯合會の直接輸出を認める意思はないか
本幕政務次官 農林水産物の輸出について農林商工兩大臣の協議により決めるといふ事は前議會で言明してゐるから懸念はない
加藤鐵造氏(社大) 工場法を全體的に改正して工業組合の傘下にある労働者を保護する意向はないか
勝田内務政務次官は考慮してゐると答へて貿易關係法案及び工業組合法改正案は廿七名、百貨店法案は十八名の委員に夫々附託次で
一 船員法中改正法律案
を緊急上程し委員長廣田均氏(民)政友より委員會の經過並に附帶決議の趣旨を述べ委員長報告通り可決確定
一 人造石油製造事業法案(政府提出)
一 帝國燃料興業株式會社法案(同上)

委員會

- 特別委員長決定
衆議院は二日左の如く各特別委員長を決定した
一 貿易及關係産業法案 増田 義一氏
一 百貨店法案 板野 友造氏(政)
一 軍機保護法改正案 生田 和(政)
一 第一豫備金支出承諾を求むる件 坂東洋太郎氏(民)

農村負債整理案可決
二日の衆議院農村負債整理資金特種及損失補償法案委員會は午後一時五十分開始會木村武雄氏(東)の四川貞一氏(政)より簡明に質問し討論採決の結果前議會の附帶決議に更に一項目を追加した次の如き附帶決議五項目を附して政府原案通り可決午後二時四十七分散會

▲衆議院附帶決議
政府は本法に當りては農村負債整理事業の徹底促進を圖るがため左の事項を實行すべし
一 農村負債整理資金特別融通及び損失補償法案(政府提出)
一 酒造組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送附)
を上程太田大藏政務次官より提案理由の説明あり服部君吉氏(政友)より簡單なる質問あつて産金法案委員會に併託し四時十七分散會

一 本法の適用に當りては負債整理事業の本質に鑑み政府は債務者の負擔に歸すべき利子につき極力その低減に努むべし

二 市町村を經由する負債整理資金の原資の金利は他の機關經由のものと同率程度に引下ぐべし

三 負債整理の爲めにする負債の條件緩和の徹底を圖り特に融資銀行をして其の交渉に應ぜしむるも本法制定の趣旨に反するが如き結果に陥ることなきやうに監督すべし

四 政府は本法及び農林負債整理組合法の適用に關する命令等を制定又は改正するに當りては極力その簡明化に努め且その手續及進行の敏捷を期すべし(以上第七十議會附帶決議と同様)

五 負債整理組合の組織に關しては組合員の資格員數等に關する従来の形式的劃一的制限を改廢して組合の設立を容易ならしめ負債整理普及促進の目的を達するに遺憾なからしむべし

人造石油法附帶決議可決

衆議院の人造石油法附帶決議案委員會は二日午後一時四十分開會栗山博氏(民)の附帶決議(審判裁道氏第一)の希望原案付で原案可決、更に帝國燃料興業株式會社法案をも可決同二時卅五分散會

石油法附帶決議

一 本事業の成否は國防、産業並國民生活に重大關係を有するのみならず財政上からざるを擔增加すべきを以て政府は事業の遂行に付き監督上萬遺憾なきを期すべし

一 政府は鐵道内外燃料資源の開發に努め特に國內油田に付て其の調査並試掘に關し積極的方針を確立すべし

一 本事業の遂行に當り必然的に招致する市價の昂騰は悉く消費者に負擔せしめざるやう政府は特別の考慮を拂ふべし

鹽鐵法修正可決

二日の衆議院鹽鐵法委員會は午後二時開會小川謙一氏(東)より本法施行後の政府増產の目標、自治統制の内容、原鹽の南洋よりの移入問題等に就き實し吉野首相より答辭のつて討論採決の結果政民共同提案によつて左の如く修正し可決同三時廿分散會した

修正條項

第廿一條の左の一條を設け原案第廿二條以下順次繰下ぐ

第廿二條 政府は第廿條第二項又は同條の規定に依り爲したる命令に依り生じた損失に付命令の定むる所に依り補償を爲すことを得

附帶決議

一 政府は速かに時局に對應すべき積極的増產計畫を樹て鐵國策の根本確立に努むべし

一 政府は鐵道及び貨鐵の需要につき速かに適なる助成計畫を樹てこれが原料價値を確實としその使用を増大せしむるやう最善の方法を講ずべし

一 政府は鐵道網の現状に鑑み販賣機構の改正を斷行し需給の均衡を圖り且つ不當なる中間利益の獲得を阻止するやう努力すべし

一 政府が本法に依りて監督權を行使するに當りては當業者の企業心を萎縮せしむることなきを萬金の注意を拂ふべし

船員法附帶可決

二日の衆議院船員法改正法案委員會は午

前十五時五十分開會小山亮(第二)星島二郎(政)の兩氏より海運關係の質問を爲し小野警備局長より答辭あり左の如き各派共同提案の附帶決議を附して可決した

附帶決議

一 政府は海運の重要性和船員の特殊性とに鑑み刑法を改正して船員が密しくそ職務を怠りたることに因りて生じたる過失にあらざれば罰せざる様之を法文化すべし

二 政府は船員の業務上の過失に對しては審判裁判所の審判後に非ざれば刑事訴追を爲さざる方針をとるべし

三 政府は船員の業務上の過失に對しては慎重なる態度を以て臨み、輕々に處斷せざるを檢察當局に對し訓令を發すべし

四 政府は海運に際し船員の取調を爲すに當りては其の業務に支障を來さざる様充分に理解する態度を以て臨むべく檢察官に訓令を發すべし

豫算に對する各派態度

▲政友會 政友會は二日午前九時半より院内に總務會、同十時半より幹部と豫算委員、政調委員の聯合會議、午後零時半より代議士會を開き追加豫算に對する黨の態度に就き協定の結果無修正原案承認に決定した

▲社大 希望派内閣 社會大衆黨では二日正午院内に代議士會を開き政府提出の追加豫算案に對する態度に就き協定した

▲後 政府は具體的且つ計畫的な革新政策の實行を期すべし、旨の希望條件を付し賛成することに意見一致した

▲東方會 原案賛成 東方會では二日午後零時半より院内に代議士會を開き政府提出の豫算案に關し何ぞ希望條件並に附帶決議なく賛成することに決定した

貴族院

本會議

三日の貴族院本會議は午前十一時九分開會杉山陸相より通州事件に關し數字を明示しての

詳細なる報告あり次いで一程に入り

一 船員法改正法律案(政府提出、衆議院送り)

一 人造石油法附帶決議案(同上)

一 帝國燃料興業株式會社法案(同上)

一 農林負債整理資金特別融通及損失補償法案(同上)

を順次上程大々委員に附託次で廿二件の請願を委員長報告通り採擇に決し十時四十四分散會

衆議院

本會議

三日の衆議院本會議は午後一時四十四分開會(旁聴)通州事件に關し杉山陸相より報告のつて後し程を變更し同日午前の豫算總覽において可決された

一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第三號)

の追加豫算案四件を一括上程豫算委員長(熊谷直太氏)政友より豫算總覽の経過並に結果に關し報告あり討論に入り木曾三郎氏(民)砂田重政(政)春名成章(第

一)片山哲(社大)中原謙司(第二)大石大(東)の諸氏大々自席より簡明に希望意見述べ委員長報告に賛成の意を表し採決の結果全員起立委員長報告通り通過一致を以て可決した、次で日程に入り

一 製鐵事業法案(政府提出)

委員長(清瀨規矩雄氏)政友より委員會の報告あり報告通り修正可決後更に日程を變更し

一 紀元二千六百年記念萬國博覽會抽籤券回數入券券發行に關する法律案(政府提出)

を緊急上程委員長(田中萬逸氏)民の報告あり委員會決定通り可決

一 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官試補及辭職士の資格に關する件)手代木隆吉氏外三名提出

一 同上(紅露昭氏外三名提出)

を一括上程委員長(牧野芳氏)政友の報告通り可決(附帶の日程を延期して同三時四十四分散會)

豫算總會

三日の衆議院豫算總會は午前十一時五十二分開會(四)郁平氏(政友)より紀元二千六百年のオリビック大會開會費及體育團體の統制方針につき實し内閣文部政務次官より答辭のつて次で木曾三郎氏(民)政友より企畫豫算案(豫算會設置)に關し質疑あり、丹下茂十郎氏(政友)保健社會省が豫算審視の傾向なきやと問ひ菅野善四郎氏(政友)土地實價價格調査について訊し

三輪壽氏(社大)北支事變勃發によつて我が國は今や政治經濟の全面刷新政策斷行の要ありと思ふが首相の所見又重要産業國營化に對しての所見如何

近衛首相 北支事變に對しては依然として不擴大方針に變りはない、日支兩國關係の根本的調整については適なる機會に考慮せねばならぬ國內の革新政策實行について順次實行に移して行きたい。

次いで中原總司氏(第二)より外務省の官紀振興について廣田外相に訊しこれにて質疑を終つて討論に入り

勝正憲氏(民政) 政府は物價騰貴の對策を考究すると共に應召家族の生活扶助に努力すべし、又保健會設置に伴ひ保健事業の運営に留意すべし企畫費を第二籌備金より支出した事に對しては今後戒めたい。

とて民政、政友、社大三派共同の附帶決議並に民政政友共同の警告を朗讀し豫算案に賛成、次で丹下茂十郎(政友)警告成案(第一)片山哲(社大)中原總司(第二)大石六(東方)の諸氏より次々賛成論を述べ討論を終り採決に入り總員立して第二號(第二)追加豫算案を可決し附帶決議、警告も採決。決午後零時四十五分散會

▲附帶決議及び警告

追加豫算案に對する民政、政友、社大三派共同の附帶決議及政友兩派の警告左の如し

▲附帶決議

一 政府は北支事變に關する應召兵士の家族扶助に就いては軍事扶助法及軍人援助金運用法のみを以てしては充分ならざるより右兵士をして後顧の憂なからしむる爲め積極的處置を講ずべし

▲警告

二 政府は國民生活に脅威する生活必需品の價格の騰貴に對し速に對策を樹立し其の抑制調節の手段を講ずべし

企畫廳の設置は本年五月十四日にして之が經費は既に第二籌備金を以て本年

八月迄支拂することとなり居れり思ふに斯の如きは緊急にむを得ざる場合の外計されざるものにして將來再びあるに於ては勢ひ議會の豫算審議權を無視するの弊に陷るを以て特に警告す

委員 會

決算承認

三日の衆議院決算委員會は午前十時卅分開會討論採決の結果昭和十年度歳入歳出總決算 同特別會計總決算並に次の如き附帶決議を可決して午後零時十七分散會した

▲附帶決議

一 昭和十年度決算を審算するに當り不法不當のもの數十件の多きに及び金額も亦巨額に達するは監督の當を失するに因る、政府は更に一段の努力を拂ふべし

一 從來議會に於て警告を與へたる豫算の流用繰越額及び不用額等の點に關し改善し跡跡のみならず特に軍事費、特別會計並に外地に於て遺憾の點多し政府は院議を尊重し將來速かに是等諸點の改善を期すべし

簡保年金經費法案可決

三日の衆議院船員法改正委員會は午前十一時四十分開會

一通信事業特別會計に於ける簡保年金保險及郵便年金の事務取扱に要する經費に關する法律案(政府提出)

に關し山崎總二氏(社大)より未だ通關に對し三等郵便局従業員の待遇改善問題、簡保保險金額の引上げ、拂込金の引下げ等について質疑あり質問を終了し原案通り可決した

貿易百貨店法委員長

衆議院の左記法律案特別委員長は互選の結果左の如く決定した

一 貿易及關稅産業の調整に關する法案

委員長 増田 誠一(民)

一 百貨店法

委員長 星島 二郎(政)

衆議院の各派交渉會は三日午前十一時院内に開會

一 追加豫算案は本日の本會議に劈頭上程し各派代表者は自席より簡明に賛成意見を述べること

一 續いて製鐵事業法大正十二年法律第五十二號(附屬土法)萬國博覽會、關稅定率法案を順次上程すること

一 決定の後特に陸軍省中川少佐出席して二日の本會議に於ける杉山陸相の説明中一 邦人百八十名收容とあつたのは百二十四名の誤りである

一 死體を發見して收容したのは百三十三名、殘餘は猶不明である

一 邦人虐殺の状況は酸鼻の極にて全く目も當てられず殊に近外横に遊離せし婦女等は悉く暴行せられた

旨を報告訂正を申出たに對し各派交渉會では當場に於て正式に追加訂正を希望したので本日適當の機會に杉山陸相が或は政府委員より訂正することに決定した、尙ほ社會大衆黨議員一郎氏の本會議に於ける演說速記録改訂問題に關し第一議員俱樂部の青木精一氏より議長の見解を質せるに對し民政黨の武知、政友會の安藤氏等もこれを不都合なりとして適當の措置を講ずるよう主張せるを以て小山議長は正に調査の上四日の各派交渉會に報告して協議することに決し正午散會

政支増稅承認

政友會は三日午後三時より院内に總務會を開き増稅案の取扱ひ方につき意見を交換した結果

北支事變の將來に對しどの程度の見透しを付けてあるかを政府に訊し我が黨の主張を充分明かにした上で之を承認するの外ないがこれらの取扱ひについては松幹幹事長と砂田總務係總務並に大口政調會長に一任すること

に決し同四時散會した

貴族院

本 會 議

四日の貴族院本會議は午前十一時八分開會直ちにF程に入り

一 製鐵事業法案の政府提出、衆議院送附

一 紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券付回数入場券發行に關する法律案(政府提出、衆議院送附)

を順次上程置置入場券問題に關し長岡隆一郎氏(交友) 富饒は馬券とは異り全く射幸心をそそぐものであるが法相は如何に考へるか又富饒その他賭博行為に對しては内務省令に於て取締ることになつてゐるが内相の所見如何につき司法當局としては罰金債券程度に考へてゐる

馬場内相 記念博覽會は我が産業文化を國民多數に觀覽せしめる必要があり政府の適當なる監督下に入場券を發賣させるのであるから特別に取締る必要はないと思ふ

長岡氏自席より答辭に不満であるから適當の機會に重ねて質すと述べ質疑を打ち切り十五名の特別委員に附託して同四十分散會した

豫算總 會

貴族院豫算總會は四日午前十時十分開會

一 昭和十二年歳入歳出總決算追加案(第二號)

一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

一 昭和十二年歳入歳出總決算追加案(第三號)

一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

質屋職相より提案理由の説明あり林委員長の發議で分科會略直ちに質疑に入り大藏公署(公正) 近來官吏の採用人員が多過ぎる様であるが人事刷新の要はないか企畫廳總裁を專任にしては如何、北支問題に對する政府の根本方針を承りたい

質屋職相 官吏採用については左様なことはない、今日の状況において政府部内で忍び得るものは出来るだけ忍ぶつもりである

近衛首相 企畫廳の專任總裁については目下考慮中である

と答へ對支問題については秘密會に入り同十一時廿六分開會

松浦彌次郎氏(同利) 教育審議會と文教審議會の關係如何、義務教育年限延長を全體の學制改革と切離して單獨に實現を促進する意向はないか、更に岡田内閣のときつくられた教學刷新評議會の答申第二項たる國民精神文化研究所の設立はその後如何になつてゐるか

安井文相 教育審議會が出来れば文教

審議會の仕事は當然その内に含まれる義務教育年限延長については學制改革全般と一にしてやつてゆきたい、これのみを切り離して單獨にやる考へはない、國民精神文化研究所の整備亦實にについては充分考慮したい、かくて午後三時十六分散會

メートル法反對質問

貴族院の藤川義治侯、御原義光伯、千秋季隆男、内田重成、菅原通敏、土方久微の六氏は島津忠重公外二百二十二名の賛成を得て四日貴族院に度量衡制度に關する質問主意書を提出した、右は尺貫法慣用せられ歴史及文化の経緯となり國民生活の基準となつてゐるに拘らずメートル法の使用を強制することは到底その實現を期し難く又角朝鮮、臺灣は尺貫法を施行して最近漸く之が普及を見るに至つてゐるに再び變更することは帝國の威信を傷くものでありメートル法の適用期間満了切迫してゐるので次期議會に必ずこれを解決して國民の歸するところを知らしむべきであるといふにある

衆議院

本會議

四日の衆議院本會議は午後一時五十分開會直ちに日程に入り

一 通信事業特別會計における簡易生命保險及郵便年金の事務の取扱に要する經費に關する法律案(政府提出)を上程後那委員長より報告通り可決
一 昭和十年度第一種備金支出の外十二件(承諾を求むる件)
を緊急上程し坂東委員長より委員會の報告あつて承諾を與ふるに決定次に議員提出法律案

一 小作法案(杉山元治郎君外五名提出)
上程黒田壽男氏(社大)より提案理由の說明あり九名の特別委員に附託

一 労働組合法案(鈴木文治君外四名提出)
米窪彌亮氏(社大)の提案理由説明あつて小作法委員會に併託し再び日程を變更して

一 產金法案(政府提出)
一金準備評價法案(同上)
一金貨金特別會計法案(同上)
一 日本銀行金買入法廢止に關する法律案(同上)

一 朝鮮銀行法中改正法律案(同上)
一 臺灣銀行法中改正法律案(同上)
一 外國爲替管理法中改正法律案(同上)

一 横濱正金銀行條例中改正法律案(同上)
一 一括五種田務委員長の報告通り可決した後再び日程へ戻り

一 刑事補償法中改正法律案(議員提出)
一 辯護士法中改正法律案(同上)
一 交通機關調整法案(同上)

を委員附託とし次で三時五十分再開再び日程を變更して
一 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

一 昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入税の從價税率に關する件)(同上)
一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案(關東州の生産に係る物品の輸入税免除に關する件)(同上)

一 鐵の輸入税免除に關する法律案(同上)
一 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法及關稅定率法等の朝鮮

に於ける特例に關する件)(同上)
を一括緊急上程し山道委員長より審議經過の報告あり
「漁業經營費低減施設費を翌年度より百萬圓増額すべし」とする附帶決議及び希望條項を附して可決され之に對し大藏、農林兩當局より附帶決議の趣旨に添ふ豫施説明すべき旨を答へたと報告、次で賀屋藏相及有馬農相發言を求め

附帶決議の趣旨に添ふ機努力する旨の言明あり結局委員長報告通り可決確定次に

一 昭和十二年勅令第三十號(承諾を求むる件)
を上程異議なく承諾を與ふるに決定いよ

一 北支事件特別稅法案(政府提出)
を緊急上程すれば議場緊張裡に賀屋藏相より提案理由の説明あり追加豫算額は四億一千餘萬圓と言明し質疑に入り
篠原順朗氏(民政)

一 臨時所得税は増徴を忌避するため増徴を願ふ趣意ないか
一 配當課税が所期の目的を達し得るに信じてゐるか

一 貴石の密輸取締につき如何なる方法を考慮してゐるか
賀屋藏相 右課税は擔税方多き人々より直接税を徴せんとしたものであるが恒久化する考へはない
代つて砂田重政氏(政友)第四號追加豫算の内譯説明を求め藏相別項の如く其の内容論駁を説明し
砂田氏 北支の情勢は刻々變化し擴大しつつある従つて近衛首相の施政方針演説も幾分訂正すべき點が生じてゐるのではないか、政府は今何局地解決を期待し支那側の出方如何を漫然と見守つて居る心算であるか、多年に亘る支

那の抗日毎日行爲に對する我國國民の憤懣は今や爆発點に達して居る、酷害の時に奮起する我が將兵を想ひ又通州に死せる不幸な同胞を憶ふこと事茲に至つて我が國民は政府と共に擧げて戦時體制を克服せねばならぬ時期ではないか、政府は舉國一致平常時の行政財政より脱却して戦時行政財政に飛躍すべきである行政の根本革新を斷行する爲臨時議會を開く意思ありや

近衛首相 政府が局解決方針を執つたのは出来る丈け局面を擴大せしめない爲めであるが事感の推移如何に依つては臨時應變の處置を執る考へである臨時議會については今日の處境くとも開かぬとも申し上げ兼ねる
清瀬一郎氏(第) 今日的事態は多年に亘る排日、抗日の結果である、現地解決事件不擴大と言ふ首相の考へは希望であつて事態は止むなくこれ以上擴大すれば根本的解決をなす意見ありと言ふ意味と解するが如何、今回の増税は獻金の意味であると言ふがそれにしては餘りに少額過ぎる、これはは國民に緊要を求め國防獻金を合理化し得ないかと考へるが如何、出征軍人の家族、遺族の生活保障に對し政府は特別の考慮を拂ふ意思ありや

賀屋藏相 我が國民は支那の一角に起つた事件の如きに全力を擧げる程小さい國民ではない
河上丈太郎氏(社) 今回の増税は所有階級に對する課税で大家課税を避けてゐる様だが不幸にして事件が擴大した場合何處迄も此の方針を堅持して進み得るや否や、今回の特別税の底を流れる方針を見るに金融資本家に相當有利な機に見え、政府は多年問題となつてゐた綜合課税方針を總てのべきではなかつたか、政府は此の機會に金融資

本に對してもつと積極的な態度を採り愛國心の發揚を求めては如何、北支事件に關する公債發行の條件如何
賀屋藏相 事件が更に悪化したならば課税問題も更に考究する必要があるかも知れないが現在の事態では未だ全力を盡すに及ばぬと考へてゐる、今回の課税は直接税であるから生活必需品の價格騰貴を來すこととはないと考へる、公債増發については猶よく考へて經濟上の見極めをつけた上情勢判斷によるべきものと考へる

加藤十氏(第) 一 我々の見る現實は政府の希望とは反對に事件擴大への方向である、事件が擴大すれば軍事費は勢ひ増大するものと考へる、今回の特別税も恒久化されねばならぬとなつた場合に於ける藏相の意向如何
一 増税と國民負擔の均衡を如何に調和し得るか、公債支拂を爲さずして何故増税案を採つたのか
一 軍事費増大による物價騰貴と國民生活の安定とを如何に調和せんとするか
一 出征兵士の家族に對しては國民の自治的運動で充分なりと考ふるか
賀屋藏相 今後更に増税するか否やは事件の進展を見た上でなければ何とも云へぬ、大衆課税は成る可く避け度い、増税は大家に轉嫁されると云ふ點は今回の場合ないと考へる
渡邊孝邦氏(東)

一 北支の變によつて暴利を占める者の取締を考へて居るか
一 公債の擔納等の爲害しんで居る銃後の家族に對する藏相の意見如何
賀屋藏相 暴利を貪る者は充分取締る事變關係出征者の税金取立については充分慎重を期する心算である

斯きて質問を終り議長指名による卅六名の委員附託となり残餘の日程を延期し午後六時散會

委員會

事件特別稅委員會

北支事件特別稅法案委員會は四日衆議院本會開會後午後六時十分開會左の如く委員長(小川郷太郎氏、氏)連同を互選したる後賀屋屋相より法案の内容につき説明あり各委員より資料の要求ありて同四十五分散會した

準備金支可決

衆議院の昭和十年度第一準備金支出の件(承諾を求むる件)外十件委員會は四日午前七時廿分開會直に採決を行ひ原案通り可決直に散會した

産金關係可決

四日の衆議院産金委員會は午前午後に亘り

一 産金法案

一 金準備評價法案

一 金資金特別會計法案

一 日銀金買入法廢止に關する法律案

一 朝鮮銀行法中改正法律案

一 臺灣銀行法中改正法律案

一 外國爲替管理法中改正法律案

一 橫濱正金銀行條例中改正法律案

の八件につき慎重討論した結果左の如き政民共同附帶條件を付し原案通り可決した

▼政民共同附帶條件

一 政府は從來の實績に鑑み製鍊所並に選鍊場の新増設に對する獎勵金の交付は特に注意すると共に金銀關係に助成することとし採鍊に對しては一層十分

なる獎勵金支出をなすべし

二 政府は低品位の金銀礦物については特に鐵道運賃の減免をなすべし

三 政府は實績の採鍊場に對し嚴正なる監督をなし實收率買收單價の引上げ、製鍊費の引下げ並に鐵道運賃分析等の確實を期すべし

四 政府は全委員會委員の選定並に委員會の運用につき實際に即する機轉に注意せらるべし

五 政府は速かに國營採鍊場を設置せらるべし

關稅定率、保法可決

衆議院の關稅定率法改正委員會は漁業用礦油免稅撤廢に對し政友會内に強硬な反對意見あり紛糾釀したが中島相の妥協工作が效を奏し四日午前に至り政友會側の態度が繼つたので同日午後討論採決の結果關稅定率法には次の如き附帶決議を亦其他の附託案には希望事項を附し原案通り可決した

▲附帶決議

政府は漁業經營費低減施設費を昭和十三年度以降年額三百萬圓に増額して施設を擴充しその中百萬圓を下らざる金額(從價の關稅免除に依る受益者中現行豫算の機械改造補助を受けざる中小漁業者に補助金として交付すべし)

▲希望事項

一 政府は燃料國策の遂行に當り自動車營業者の受くべき負擔を輕減せしむるため自動車稅の減免、道路の改良其他事業の改善に必要な諸般の政策を急速に實施すべし

一 政府は帝國燃料興業株式會社の人造揮發油の相當多量が商品として市場に出荷せらるる迄關稅引上げに依る値上許可については深甚の考慮を拂ふべし

三 政府は砂糖關稅の引下に依り沖縄縣

糖業の蒙る打撃を緩和する爲め適切な施設方法を講ずべし

四 鐵道、港、及びその資材關稅免除に當り國內森林資源の再檢討を爲し纖維工業並に各種木材工業の資源の自給策を講じ速かにその實現を期すべし

五 新聞紙輸入關稅の除に鑑み一般印刷用紙の免除に付考慮すべし

人造石油法可決

貴族院の人造石油製造事業法案特別委員會は四日午後一時半開會

討論採決の結果次の希望事項を附して二案を一括政府原案通り可決した

▲希望決議

一 帝國燃料興業株式會社をして單に投資機關たるに止まらず宜しく指導的實機關たらしむべし

二 政府は燃料研究機關の統制を圖り充分なる助成をなすべし

三 人造石油事業に對し國內の發明考案を獎勵助すべきは勿論必要な場合には外國技術の輸入、外國技師の招聘等を考慮すべし

北支事件特別稅法

政府が四日午後衆議院に提出した北支事件特別稅法案全文左の如し

▲北支事件特別稅法

第一條 北支事件特別稅は之を左の五種とす

一 所得特別稅

二 臨時利得特別稅

三 利益配當特別稅

四 公債及社債利子特別稅

五 物品特別稅

第二條 所得特別稅は所得稅を納むる者に之を課す

第三條 第一種所得稅を納むる者の所得

特別稅は法人の本法施行後一年内に終了する各事業年度の所得(清算所得を除く)に付之を賦課し其の所得に對する第二種所得稅額(臨時利得稅額に依る増徴稅額を含む)の百分の十に相當する金額を以て其の稅額とす

第四條 第二種所得稅を納むる者の所得特別稅は本法施行後一年内に支拂を受ける第二種所得(國債の利子を除く)に付之を賦課し其の所得に對する第二種所得稅額の百分の五に相當する金額を以て其の稅額とす

第五條 第三種所得稅を納むる者の所得特別稅は昭和十二年十月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第六條 第一種所得稅を納むる者の所得特別稅は事業年度毎に之を徵收す

第七條 第二種所得稅を納むる者の所得特別稅は其の法律に依り第二種所得稅を課せられざるものには利益配當特別稅を課す

第八條 利益配當特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第九條 利益配當特別稅は配當金支拂の際支拂者に於て徵收し翌月十日迄に之を政府に納むべし

第十條 法人の臨時利得特別稅は事業年度毎に之を徵收す

第十一條 法人の臨時利得特別稅は其の稅額を三分し左の三期に於て之を徵收す

第一期 昭和十二年十月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第二期 昭和十三年一月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第三期 昭和十三年三月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第七條 臨時利得特別稅は臨時利得稅を納むる者に之を課す

第八條 法人の臨時利得特別稅は本法施行後一年内に終了する各事業年度の利得に付之を賦課し其の利得に對する臨時利得稅額、臨時利得稅徵收法に依る増徴稅額を含むの百分の十五に相當する金額を以て其の稅額とす

第九條 法人の臨時利得特別稅は事業年度毎に之を徵收す

第十條 法人の臨時利得特別稅は其の稅額を三分し左の三期に於て之を徵收す

第一期 昭和十二年十月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第二期 昭和十三年一月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第三期 昭和十三年三月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第七條 臨時利得特別稅は臨時利得稅を納むる者に之を課す

第八條 法人の臨時利得特別稅は本法施行後一年内に終了する各事業年度の利得に付之を賦課し其の利得に對する臨時利得稅額、臨時利得稅徵收法に依る増徴稅額を含むの百分の十五に相當する金額を以て其の稅額とす

第九條 法人の臨時利得特別稅は事業年度毎に之を徵收す

第十條 法人の臨時利得特別稅は其の稅額を三分し左の三期に於て之を徵收す

第一期 昭和十二年十月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第二期 昭和十三年一月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第三期 昭和十三年三月一日より卅一年三月一日迄に於て之を徵收す

第十一條 利益配當特別稅は本法施行地に本店を有する法人より利益の配當を受ける者に之を課す

第十二條 所得稅法其の他の法律に依り第二種所得稅を課せられざるものには利益配當特別稅を課す

第十三條 利益配當特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第十四條 利益配當特別稅は配當金支拂の際支拂者に於て徵收し翌月十日迄に之を政府に納むべし

第十五條 公債及社債利子特別稅は本法施行地に於て公債又は社債の利子の支拂を受ける者に之を課す

第十六條 所得稅法其の他の法律に依り第二種所得稅を課せられざるものには利益配當特別稅を課す

第十七條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第十八條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第十九條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十一條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十二條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十三條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十四條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十五條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十六條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十七條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

第二十八條 公債及社債利子特別稅は本法施行後一年内に前條の法人より支拂を受ける利益の配當に付之を賦課し配當金中配當率七分の割合を以て算出したる金額を以て其の稅額とす

規定する外貨債を除く)の利率に付之を賦課し、利率金額中國債に在りては利率年四分、國債以外の公債に在りては利率年四分五厘の割合を以て算出したる金額を超過する金額の百分の十に相當する金額を以て其の税額とす

第十六條 公債及社債、特別税は利率金額支拂の際支拂者に於て徴收し、翌月十日迄に之を政府に納むべし

第十七條 第六條第二項、第十三條又は前條の規定に依り徴收すべき税金を徴收せざるるときは又は其の徴收したる税金を納付せざるときは國稅徴收の例に依り之を支拂者より徴收す

第十八條 所得稅法第十二條及大正九年法律第十二號第三條の規定は第一種所得稅を納むる者の所得特別税及法人の臨時利得特別税に付之を準用す

第十九條 利益配當特別税を課せらるる利益の配當又は公債及社債、特別税を課せらるる公債又は社債の利率に付所得稅(第一種所得稅を除く)又は資本利子税を課する場合に於ては、その利益配當金額又は利率金額より利益配當特別税又は公債及社債、特別税相當額を控除したる殘額を以てその配當金額又は利率金額と看做す

第二十條 物品特別税は左に掲ぐる物品にして命令の定むるものに之を課す

- 一 貴石若ば半貴石又は之を用ひたる製品
- 二 眞珠又は眞珠を用ひたる製品
- 三 貴金屬製品又は貴金屬を用ひたる製品
- 四 露甲製品

五 珊瑚製品

第二種

- 一 寫眞機、寫眞引伸機、映寫機、同部分品及附屬品
- 二 寫眞用乾板、フィルム及感光紙
- 三 蓄音器及同部分品
- 四 蓄音器用レコード
- 五 樂器及同部分品

第廿一條 物品特別税の税率は價格百分の廿とす

前項の價格は第一種の商品に付ては小賣業者の販賣價格、第二種の商品に付ては製造場より移出する時の價格とす但し保税地域より引取らるる物品にしては引取人より税金を徴收するものに付ては引取人の際に於ける價格とす

第廿二條 物品特別税は第一種の商品に付ては小賣業者より、第二種の商品に付ては製造場より之を徴收す、但し保税地域より引取らるる物品に付ては命令を以て定むる場合を除くの外引取人より之を徴收す

第廿三條 第一種の商品の小賣業者は毎月其の販賣したる物品に付、第二種の商品の製造者は毎月其の製造場より移出したる物品に付其の品名毎に數量及價格を記載したる申告書(翌月十日迄に政府に提出すべし、第一種又は第二種の商品を保税地域より引取る者は命令を以て定むる場合を除くの外引取人際其の物品に付前項に準する申告書を政府に提出すべし)

第廿四條 物品特別税は毎月分を翌月末日迄に納付すべし但し第廿二條但書の場合に於ては引取の際之を納付すべし

第廿五條 左に掲ぐる物品に付ては命令の定むる所に依り物品特別税を免除す

一 輸出するもの

二 第一種又は第二種の商品の製造の用に供するもの

三 其の他命令を以て定むる用途に供するもの

第廿六條 第一種の商品の小賣業者は營まんとする者又は第二種の商品を製造せんとする者は命令の定むる所に依り政府に申告すべし其の小賣業者又は製造を廢止せんとするときは亦同し

第廿七條 第一種又は第二種の商品の製造者又は販賣者は命令の定むる所に依り其の製造、貯藏又は販賣に關する事實を帳簿に記載すべし

第一種の商品の小賣業者又は第二種の商品の製造者は命令の定むる所に依り其の製造又は販賣に關し必要な事項を政府に申告すべし

第廿八條 收稅官吏は第一種又は第二種の商品の製造者又は販賣者に對し質問を爲し又は左に掲ぐる物件に付検査を爲し若は監督上必要の處分を爲すことを得

一 第一種又は第二種の商品にして製造者又は販賣者の所持するもの

二 第一種又は第二種の商品の製造、貯藏又は販賣に關する一切の帳簿書類

三 第一種又は第二種の商品の製造、貯藏又は販賣に必要な建築、機械、器具、材料其の他の物件

第廿九條 詐偽其の他の不正の行爲に依り所得特別税、臨時利得特別税、利益配當特別税又は公債及社債、特別税を遺脱したる者は其の遺脱したる税金の三倍に相當する罰金又は料料に處し直に其の税金を徴收す但し自首したる者又は稅務署長に申出でたる者は其の罰金を減す

第三十條 詐偽其の他の不正の行爲に依り

物品特別税を遺脱し又は遺脱せんとしたる者は其の遺脱し又は遺脱せんとしたる税金の五倍に相當する罰金に處し直に其の税金を徴收す但し罰金額が廿圓に滿たざるときは之を廿圓とす

第卅一條 左の各號の一に該當する者は三百圓以下の罰金又は料料に處す

一 第廿三條の規定に依る申告を怠り又は詐りたる者

二 政府に申告せずして第一種の商品の小賣業者を營み又は第二種の商品を製造したる者

第卅二條 左の各號の一に該當する者は百圓以下の罰金又は料料に處す

一 第廿七條第一項の規定に依る帳簿の記載を怠り若は詐り又は帳簿を隱匿したる者

二 第廿七條第二項の規定に依る申告を怠り又は詐りたる者

三 第廿八條の規定に依る收稅官吏の質問に對し答辭を爲さず若は虚偽の陳述を爲し又は其の職務の執行を拒み、妨げ若は怠避したる者

第卅三條 第廿九條又は第三十條の罪を犯したる者は刑法第卅八條第三項但書第卅九條第二項、第四十條、第四十一條、第四十八條第二項、第六十三條及第六十六條の規定を適用せす

第卅四條 第一種又は第二種の商品の製造者又は販賣者の代理人、戸主、家族同居者、雇人其の他の從業者が其の業務に關し本法中物品特別税に關する規定に違反したるときは其の製造者又は販賣者を處罰す

第卅五條 北海道、府縣、市町村其の他の公共團體は北支事件特別税に付附加税を課することを不得す

第卅六條 本法に於て保税地域と稱するは關稅法の定むる所に依る

附 則

本法は公布の日より之を施行す

物品特別税に關する規定は昭和十三年三月卅一日以前に於て物品特別税を課せらるべき販賣、製造場よりの移出又は保税地域よりの引取を爲したる第一種又は第二種の商品に付之を適用す

本法施行前より引續き第一種の商品の小賣業者を營み又は第二種の商品の製造を營む者本法施行後一月内に其の旨を政府に申告するときは本法施行の日

に於て本法に依り申告したるものと看做す

△明治四十年法律第廿一號第一條第一項に左の一項を加ふ

▲北支事件特別税

明治四十四年法律第四十五號第三條中「又は骨牌稅法を、骨牌稅法又は北支事件特別稅法に改め同法第三條中、又は骨牌稅法を、骨牌稅法又は北支事件特別稅法に、又は骨牌稅法を、骨牌稅法又は北支事件特別稅法第廿九條に掲ぐる物品」に改む

大正九年法律第五十一號中「骨牌」の下に「北支事件特別稅法第二十條に掲ぐる第二種の商品」を加ふ

貴族院 本會 議

五日の貴族院本會議は午前十一時十五分開會直に日程に入り

一 通信事業特別會計に於ける簡易生命保險及郵便年金の事務の取扱に要する經費に關する法律案(政府提出、衆議院送付)

一 產金法案

一金準備評價法案

- 一 金貨金特別會計法案
- 一 日本銀行金買入法廢止に關する法律案
- 一 朝鮮銀行法中改正法律案
- 一 臺灣銀行法中改正法律案
- 一 外國爲替管理法中改正法律案
- 一 橫濱正金銀行條例中改正法律案
- (以上政府提出、衆議院送付)
- 一 一括上程委員に附託
- 一 關稅定率法中改正法律案
- 一 昭和七年法律第四號中改正法律案
- 一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案
- 一 鐵の輸入税免除に關する法律案
- 一 大正九年法律第五十三號中改正法律案

- 一 昭利十二年勅令第百三十號(承諾を求むる件)
- (以上政府提出、衆議院送付)
- 一 一括上程委員に附託更に
- 一 昭和十年度第一種備金支出の件合計十一件(承諾を求むる件、衆議院送付)
- 一 一括上程委員附託となし
- 一 人造石油製造事業法案(政府提出、衆議院送付)
- 一 帝國燃料興業株式會社法案(政府提出、衆議院送付)

- 一 上程委員長より報告あつて採決に入り希望決議を附して政府原案を可決最後に
- 一 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官候補等の資格に關する件)(衆議院提出)
- 一 一括上程委員附託とし同十二時十分散會した

豫算總會

貴族院豫算總會は五日午前十時十六分開會

前出利定(研究) 保健社會省は保健省と社會省とに分設する方がよくはないか、簡易保險事務を保健社會省に移すことは妥當でない、又生命保險事業は社會事業と考へてゐるか、或は經濟的事業と考へてゐるか、自分は生保事業は社會事業と考へない故にこれを産業に疎い保健社會省に移す理由如何、更に損害保險のみを商工省に留保した理由如何

吉野商相 國民體位の向上と保健施設を併せて考慮する事の出来る分について保健社會省に移管したのである、尙移管のために産業資金に悪影響があつては困るので保健社會省、大藏省、商工省の三省の共管といふ形をとつた、尙損害保險は現在でも主管の部署が異なるが故に現在のまゝにした

淺田良逸男(公正) 政府は自動車工業の發達助成に綜合的の一大研究機關設立の意思なきや

吉野商相 研究機關設立については目下政府において協議中である、出來れば自動車と飛行機を併せて研究したいと思つてゐる

淺田男更に航空路の開発、飛行士養成問題について質し、これに對し永井通相、安井文相、馬場内相より答辭あり午後零時十七分休會午後一時四十九分再開小林嘉平治氏(同利) 税制に對する實屋藏相の見込み如何

實屋藏相 國稅と地方税を通じその總額についてはこれを特に増すことなくやつて行きたい、負擔の公平を圖るために國稅において増加し或は減少し又地方税において或は減少することは有り得る、たゞ北支事件の將來の變化によつては税においても如何なる問題が起るかも知れぬ

大河内輝耕子(研究) 今回北支事件豫算案四個圖はいつまでのものを含むものであるか

實屋藏相 陸、海軍とも關係があるから私よりいつまでとは申上げかねる

大河内子 若し北支事變の今後の経過により其費用が一億圓以内で済んだ場合は減税される見込みであるかどうか

實屋藏相 その時はお話の趣旨を含めて適當に考へたい

大河内子 生産力の擴充は如何なるものにも重きを置き又如何なる方法でやるのか

吉野商相 その重點は國防の充實にある故に品目もそれによつて斟酌されるわけである

これにて質疑を終り討論に入り酒井忠正伯(研究)淺田良逸男(公正)大河内輝耕子(研究)の三氏より賛成意見あり採決の結果全會一致本年度第二號、第三號追加豫算案を可決四時十八分散會した

委員會

負債整理法案可決

農村負債整理資金特別融通及損失補償法案は五日の貴族院同法委員會に於て可決された

製鐵事業法可決

製鐵事業法案は五日貴族院同法委員會に於て可決された

法律五十二號改正可決

貴族院の大正十二年法律第五十二號中改正法律案(衆議院提出)委員會は五日午後二時四十八分開會農田司法參事官より改正案の説明あり質疑なく討論採決の結果左の希望決議を附して可決し同三時六分散會

▲希望決議

一 本法に定めたる期間の延長は今回を以て最終とし將來更に延長することなきを期す

一 本法實施に當つては辯護士の素質の低下を來すことなきやう特に留意せられんことを望む

衆議院

本會議

五日の衆議院本會議は午後二時卅八分開會日程を變更して

一 選出組合中改正法律案(政府提出、貴族院送附)

を緊急上程し武田委員長報告通り可決確定次第日程に戻り

一 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(坂東幸太郎君外七名提出)

を上程委員付託とし、二時五十五分休會午後四時五十分再開

一 昭和十二年法律第四十九號中改正法律案(政府提出)

一 特別會計に於ける北支事件特別稅收入に相當する金額を一般會計に繰入れる事に關する法律案(同上)

を一括上程委員附託より提案理由の説明後兩案を一括して委員付託とし同四時十二分散會

委員會

特別稅法委員會

衆議院の北支事件特別稅法案委員會は午前十時廿六分開會直ちに質疑に入り勝正憲氏(民政) 北支事件費四億一千萬圓は如何なる費途に充當するか

實屋藏相 外務省所管は在留民の引上げ保護電報料等に要する經費で陸海軍費は事應に應ずる用兵作戰費、大藏省所管は徵稅費、公債費等である

勝氏 政府は國民の増稅餘力がどの程度と考へてゐるか

實相 國民の擔稅力は平時と戰時とで異なるものでどの程度まで増稅出来るかは事應に應じて考へる外はない

板 順次氏(政友) 事件費の財源は一時公債支拂に依つて賄ひ恒久的稅制整理を俟つて根本的調整を行ふ方が妥當ではないか

實相 恒久的稅制整理とは切離して考へてゐる

中島綱次氏(民政) 次の通常議會まで今度の追加豫算で緊き得るかどうかが、海軍費は第三國に對する用意を含んでゐるか

杉山陸相 今日のところではこの豫算で充分であると思ふ、しかし事態が悪化した場合にはこの豫算では足りないから臨時議會を奏請して更に事態に應ずる方策を講ずるつもりである

米内海相 海軍としては第三國に對する何等の準備もして居らぬ

松井光三氏(政友) 國防獻金は戰時立法として各國の先例もある問題である大藏省で研究してゐるか

實相 各國の先例に見るやうな大規模なものではなく、もつと輕い意味である

北畠吉氏(民) 現下の時局に鑑み今回の物品特別稅り如き奢侈品稅を恒常化するべきである

石渡次官 技術的に頗る困難ではあるが、この非常時局には十分考慮すべきものと思ふ

河野密氏(社大) 從來の例に徴すると本稅は結局恒久化するのではないかとと思ふが如何

實相 帝國は支那の反省に依つて所期の目的を達せようとするものであるから滿洲事件費はこの際例にならぬも

のと考へてゐる

河野氏 事變を中心とする過大消費の結果近く不景氣が来るのではないか
廬相 消費の結果國際收支が變化しない限り國民生活に大した危險を與へることはないと考へる

ついで同委員會に併託された

一 昭和十二年法律第四十九號中改正法律案(北支事件費公債追加發行に關する件)

一 特別會計に於ける北支事件特別稅收入に相當する金額を一般會計に繰入れることに關する法律案

の内容につき實屋相より提案理由を説明、二三の質問ありて廬相、外相之に答へこれにて質問を打ち切り午後六時七分散會

酒造組合法改正案可決

酒造組合法中改正法律案は五日の衆議院議案委員會で原案通り可決された

政府二法律案提出

政府は五日衆議院に左の二法律案を提出した、内容左の如し

△昭和十二年法律第四十九號中改正法律案

昭和十二年法律第四十九號中左の通改正す

「九千六百萬圓を四億六千六百萬圓に改む

△特別會計に於ける北支事件特別稅收入に相當する金額を一般會計に繰入る、ことに關する法律案

關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳の各特別會計に於ける北支事件特別稅收入額より徵稅費を控除したる殘額に相當する金額は豫算の定むる所に依り之を當該特別會計より一般會計に繰入るべし

貴族院

本會議

六日の貴族院本會議は午後二時廿七分開會直ちに日程に入

一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特種第一號)

一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特種第二號)

一 一括上程林務豫算委員より報告あり採決を起立に問ひ全會一致でこれを可決茲に第二號第三號追加豫算案は成立した、次に

一 農村負債整理資金特別融通及損失補償法案

一 關稅定率法中改正法律案

一 昭和七年法律第四號中改正法律案

一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案

一 鐵の輸入稅免除に關する法律案

一 大正九年法律第五十三號中改正法律案

一 昭和十二年勅令第三百三十號(承諾を求むる件)

一 產金法案

一 金準備評價法案

一 金貨金特別會計法案

一 日本銀行金買入法廢止に關する法律案



臺灣銀行法中改正法律案

一 外國爲替管理法中改正法律案

一 橫濱正金銀行條例中改正法律案

(以上政府提出衆議院送付)

を順次上程いづれも委員長報告通り可決又は承諾を與ふ

一 紀元二千六百年記念日本萬國博覽會抽籤券附回数入場券發行に關する法律案(政府提出、衆議院送付)

を緊急上程議案委員長より報告の後討論に入り土方肇一(純無)は我國が古來博覽及賭博類似行為を禁じてあること及馬券その他の例を引いて國民精神興上惡影響を及ぼす旨を述べ又松村義一氏(公正)も卓をたゝいて反對論を述べたが結局採決の結果多數を以て委員長報告通り可決四時十八分休會、午後七時十九分再開日程を追加し同日衆議院で可決された

一 北支事件特別稅法案

一 昭和十二年法律第四十九號中改正法律案北支事件に關する經費支拂のため公債發行に關する件)

一 特別會計に於ける北支事件特別稅收入に相當する金額を一般會計に繰入ることに關する法律案

(以上政府提出衆議院送付)

を一括緊急上程し質屋廬相提案理由を説明別に質疑なく廿五名の特別委員に附託

一 大正十二年法律第五十二號中改正法律案(司法官候補及び辯護士の資格に關する件)(衆議院提出)

を上程可決し同廿六分散會した

委員會

船員法改正案可決

六日の貴族院船員法改正法案委員會は討論採決の結果左の希望決議を附し原案通り全會一致可決した

▲希望決議

一 政府は海運の重要性和海上任務の特殊性に鑑み速かに現行船員法を改正し船員をして安心しその職務に従事するを得せしむる爲め研究調査すること

一 政府は船員の業務上の過失に對しては海員審判所の審判後に非ざれば刑事訴訟を爲さざる方針を採ること

一 政府は檢察當局に對し船員の業務上の過失に對しては特にその取扱を慎重にし輕、處斷するが如き事なきやう訓令を發する事

一 政府は檢察當局に對し離に際し船員の喚問取調を爲すに當つては十分に船員の任務を理解しその業務に支障を來さざるやう注意すべき旨訓令を發する事

一 水先人に對しても船員と同様の取扱を爲す事

一 產金法案可決

產金法案外七件は六日の貴族院同法委員會に於て討論採決の結果全會一致を以て可決された

關稅關係法案可決

貴族院の關稅定率法中改正法律案特別委員會は六日午前十時九分開會討論採決の結果併託議案を一括通過一致で政府原案通り可決し同十一時四十二分散會

萬國博覽會場券法案可決

貴族院の萬國博覽會抽籤券附回数入場券發行に關する法律案特別委員會は六日午前七時廿四分開會吉野相より

今後射打行為が先例となることのない機努力する、この答辭は政府の意見と見て悉くない

と聲明し長岡、井田兩委員より反對あつたのみで多數を以て原案を可決した

豫備金委員會

貴族院の昭和十年年度第一豫備金支出の件(承諾を求むる件)特別委員會は六日午前十時卅分開會全會一致を以て承諾を與へる事に決し同十時卅四分散會

議案

本會議

六日の衆議院本會議は午後一時十九分開會

一 裁判所構成法中改正法律案

一 大正十年法律第百二號中改正法律案(停年による退職判事、檢事の恩給に關する件)

一 刑事訴訟法中改正法律案(以上衆議院提出、貴族院送付)

を一括上程、牧野委員長報告通り可決確定次で日程を變更し

一 刑事訴訟法中改正法律案(議員提出)

一 刑罰補償法中改正法律案(同上)

を一括上程、牧野委員長報告通り可決し一時卅六分休會、午後六時十分再開會各派共同提案の北支事變に關する政府輿論決議案

國際信義を無視する支那の抗日勢力を排除し以て東亞永遠の平和を確立すべし

上程し町田民政黨總幹事の拍子に送られて登壇

北支事變が勃發以來我が國の公明自重の態度に對して支那は毫も反省協調の誠意なく恣に協定を破り約諾を蹂躪し國際信義を無視して遂に今日の事態を惹起し刺つさへ我國民を虐殺し財物を掠奪し其の暴戾は全國民をして憤怒せしめ世界列國をして戰慄せしめた所謂天人共に怒る所である、加之更に進ん

で戦備を整へ全支那に抗日の體制を布きて我國に反抗せんとしつゝある有様である。若し在現狀の儘に推移致したならば我國國權は損傷せられ東亞の形勢は破局に陥る虞れあり事態頗る重大である。惟ふに我國の支那に求むる所は領土にあらずして提携である。是れ全國民の一致して支持する我國の對支方針である。元來東亞和平の維持は帝國の重大使命であつて我國國權の隆替の係る所である。支那も亦滿洲國並に我國と共に相提携して共同依存の途に進むべきであるに拘らず支那が此の大向を忘れ遂に北支の事端に釀し今日に至れるは全然支那の負ふべき責任である。斯くなつた以上政府は遂に中外に聲明せる帝國の大方針に基き斷乎として其の非違を糾し其の暴戾を膺懲し確固不動の決意を以て抗日海軍を之れ事とする一切の勢力を排除して一日も速かに東亞永遠の平和の基礎を確立すべきである。今日には方に政府も國民も共に一大覺悟を以て協心戮力して國家の大使命に奮發し以て艱難克服して國運の伸張を期せねばならぬと信ずるものである。

と提案發言を述べれば清場賑々拍手を送つて共鳴し説明を終るや

廣田外相發言を求め
近衛首相支援のため私が政府を代表して決議案に對する上府の決意を表明する。政府は本決議案の趣旨を體し舉國一致の支援を得て北支事變の解決に邁進する決心である。

旨を述べ清場再び拍手を送つてこれに應じ採決の結果全員起立清場一致を以て可決した。次で

一 昭和十二年度歳入歳出總算追加案(第四號)
一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出案(第四號)

豫算追加案(第四號)

一 豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件(追第一號)
を一括上程附台豫算委員長の報告あり全會一致を以て可決續いて

一 北支事件特別稅法案(政府提出)

一 昭和十二年法律第四十九號中改正法律案(北支事件に關する經費支辨の爲公債發行に關する件)(同上)

一 特別會計に於ける北支事件特別稅收入に相當する金額を一般會計に繰入るゝことに關する法律案(同上)

を一括上程委員長小川郷太郎氏(民政)の報告あつて討論に入り各派代表から夫々賛成意見を述べ全會一致可決確定、かくて北支事變關係の諸案は全部政府提案通り衆議院を通過し同七時五十分散會した

豫算總會

六日の衆議院豫算總會は午後一時廿五分開會

一 昭和十二年度歳入歳出總算追加案(第四號)

一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出案(第四號)

一 豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件(追第一號)

に就いて賀屋藏相より別項の通り説明あつた後更に所管大臣より夫々説明をなした

次で
東武氏(政友) 支那は續々保定に主力を集中しつゝある様であるが今回の豫算中には廣汎なる現地一帯に亘る經費を含んで計上してゐるか

杉山陸相 大體今日の處は平津地方治安の大勢は定まつたが向は敗残兵が出没するのでこれが殲滅に努力してゐる又永定河近くは敵が居ることは脅威を感ずることになるから支那軍の行動次第によつては更に今後一層これに適應する方策を講せねばならぬかも知れない、若し支那軍にして進んで我が國威を得し平津地方に脅威を與へる如きことあればその時こそ不擴大方針を放棄せねばならぬ事態に直面するかも知れぬが今日では出来るだけ不擴大方針を以て進んでゐる

東氏 通州に於ける機事を起したるにつれて派兵が遲れたとか軍の聯結に缺陷があつたとかいふことがなかつたか又その後の状況如何

杉山陸相 當時駐在武官以下不眠不休居留民の保護に努力してゐたことを確信してゐる。未だ詳細なことが判明しないのは甚だ遺憾であるが通州事件の生存者については内地人七十七名、朝鮮人五十八名、計百卅五名、死亡者百八十四名に達した旨の報告に接してゐる

と答へ次で再び川崎氏と藏相との間に増稅公債その他金融政策に關し質疑あり代つて藤本捨助氏(第一北支事變に對する政府の決意、日獨防共協定の運用方法等につき外相に質し

三輪謙三氏(社) 事變に關する外交交渉を外務當局のみに委すべきでなく國民外交に移すべき時であると思ふが如何

廣田外相 國民の支援により國民の考へる處に従つて外交工作を爲さねばならぬと思ふ

之にて質疑を終了討論に入り
工藤鐵男氏(民衆) 政守屋榮夫氏(第二西尾末廣氏(社)中原昭司氏(第二)大石大氏(東方)

の各氏所屬黨派を代表して賛成意見を述べ採決の結果清場一致第四號追加豫算案を可決午後三時五十分散會した

外務省所管に於て

居留民救護費、電信料等の増加 四百十餘萬圓

陸軍省所管に於て 軍隊の増派等に要する經費 二億五千七百餘萬圓

海軍省所管に於て 艦船、部隊の行動等に要する經費の増加 九千五百萬圓

大藏省所管に於て

北支事件第一預備金の増加 六千萬圓

北支事件公債發行に伴ふ利息等の増加 三百廿餘萬圓

北支事件特別稅徵收に要する經費 廿萬餘圓

合計 六千三百四十餘萬圓

を追加豫算に計上した、次に昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加第四號は別債整理基金、公債、關東局、通信事業、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳の各特別會計に關するものである。右の内各地特別會計に關するものは何れも北支事件特別稅創設に伴ふ歳入及之が徵收費並に一般會計への繰入金に關するものである。尙關東局特別會計に於ては右の外北支事件に關する經費を追加計上した。次に通信事業特別會計に關する分は通信官署に於ける國債の賣出募集費並に關する事務の増加に伴ふ必要な歳入歳出を計上した。尙豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する一件を提出したが右は前に申述べた借入金に關するものである

委員 會

特別稅法案可決

衆議院の北支事件特別稅法案委員會は午前十一時五十二分開會森田福田氏(政友)正憲氏(民政)は案の内容についてまた板

第二件事件費内譯

六日の豫算總會における第四次追加豫算案北支事件費(第二次追加)に關する實屋藏相の説明要旨左の如し

今回提出した昭和十二年度歳入歳出豫算追加第四號は歳入歳出共に

四億九千九百六十餘萬圓

である

而して右歳入豫算の内譯は

谷順助氏(政友)は公債政策、割増附償券等に就いて質問した後
松村光三氏(政友) 法人に對する重税課税は避けるべきであると思ふが閣相の所信如何
閣相 今後の税制改革に當つては充分考慮したい
これにて特別税法案に對する質問を終了
正午一旦休議、午後一時五十分再開
小川委員長 本委員會を通じて政府は速かに根本的税制改革案を提出すべしとの意見が有力に行はれた、政府はこの點を考へてゐるか
賀屋蔵相 政府は中央地方を通じ負擔均衡を圖る目的を以て税制の根本的改革案を提出し來るべき通常議會に提出する意思を持つてゐる

次に

一 北支事件特別税法案(政府提出)
昭和十二年法律第四十九號中改正法律案(北支事件に關する經費支拂の爲公債追加發行に關する件)(同上)

一 特別會計に於ける北支事件特別税收入に相當する金額を一般會計に繰入ることに關する法律案(同上)
を二討論に移り作田高太郎氏(民政)三善信房氏(政友)國原敏雄氏(第一)道案齊一郎氏(第一)渡邊泰邦氏(東方)等より無條件賛成の意見、片山哲氏(社大)は希望條項を附して賛成論をなし採擇の結果三案とも會一致を以て可決同二時廿三分散會した

百貨店法案可決

百貨店法案は六日午後衆議院同法案委員會に於て原案通り可決された

貿易關係法案可決

貿易及關係産業調整法案及び貿易組合法案、工業組合法中改正法律案は六日の衆議院同法案委員會に於て左の附帶決議を附し原案通り可決された

附帶決議

一 貿易及關係産業の調整法は内外共通の適用を見るにあらざれば本法本来の目的を達成すること困難なるを認め依つて政府は外に對しても本法を適用するの方途を講ずべし
一 政府は輸出入の割増に依り物價の騰貴を來さざる様特に注意すべし
一 政府は北支事變の爲對支貿易につき打撃を蒙りつゝある關係營業者に對し新販路開拓等の對策を講ずべし



本會議

最終日七日の貴族院本會議は午前十時十五分開會、岡田酒井請願委員長より委員會の審議經過並に結果の報告あつた後
一 昭和十二年度第一預備金支出の件外十件(以上承諾を求むる件)(衆議院送附)を一括上程し白川委員長報告通り全會一致承諾を與へることに決定次に
一 船員法改正法律案(政府提出、衆議院送附)
一 通信事業特別會計に於ける簡易生命保險及郵便年金の事務の取扱に要する經費に關する法律案(同上)
を一括上程し酒井委員長報告通り可決更に
一 燃料政策に關する建議案(公時島津忠重君外五名發議)
を上程し島津忠重公火囃から提案理由の説明あり全會一致を以て可決同十時卅八分一旦休議午後四時九分再開午前の豫算

總會で可決された
一 昭和十二年度歳入、歳出總豫算追加案(第四號)
一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第四號)
一 豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件(追第一號)
を一括緊急上程し林豫算委員長より審議經過並に結果の報告あつて討論に入り前田利定(研究)から賛成意見の開陳あり

日支兩國は東洋平和のため相提攜すべきであるが支那は東洋平和の確立に對する自覺なく遂に廣瀨備事件に端を發し通州事件の如く慘虐なる事件の惹起を見たことは頗る遺憾である、我が方はこれに對しあく迄も不擴大主義を以て臨んで來たのであるが佛の顔も三度といふ譯のある如くいつまでもたゞ隱忍のみ續け得ず漸平隱忍するに至つたのであるが炎熱灼くが如き北支における皇軍の活動、銃後の守を完ふするたため私は本案に賛成するものである
と結んで吟壇すれば満場拍手を送る、かくて採決に入り満場一致可決、北支事件第二次追加豫算四億一千九百六十萬圓は兩院を通過成立を見た、次で日程を追加し
一 北支事件特別税法案(政府提出、衆議院送附)
一 昭和十二年法律第四十九號中改正法律案(同上)
一 特別會計に於ける北支事件特別税收入に相當する金額を一般會計に繰入ることに關する法律案(同上)
を一括上程し酒井委員長より委員會の經過並に結果の報告し採決に入り全會一致原案を可決した、續いて
一 恩給法中改正法律案(衆議院提出)を委員附託とし最後に

豫算總會

一 函館本線金山驛横濱丹那余別村間に鐵道敷設の請願
外十四件の請願を一括して請願委員長報告通り採擇することに決し四時四十四分散會
貴族院豫算總會は午前十時十二分開會
一 昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)
一 昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第四號)
一 豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件
の三案につき賀屋蔵相より提案理由の説明あり更に杉山陸相、米内海相、大谷拓相より各所管事項について説明あつて後大河内輝幹(研究)北支事變の結果經常費、増加を來すと考へるが増税に關する將來の日邊し如何
賀屋蔵相 將來増税するや否やについて今から確言することは出来ない
菊池武夫(公正) 政府は防衛團組織をつくることに決定してゐるか
馬場内相 この點は今日尚決定してゐない、然し萬一の場合に處する途は考へてゐる
向藤(主計)氏(研究)より質問あり同五十分速記を中止し懇談の同上十一時一分速記を開始し討論に入り前田利定(研究)より賛成意見を述べ採決の結果三案とも會一致可決し同六分散會

委員會

増税法案可決
北支事件特別税法案特別委員會は午前十一時一分開會

八條隆正子(研究) 時局が長引いた場合にも一年限りの増税に止めるつもりであるか
太田大藏政務次官 不擴大主義に基いて立案したのだから大體一年限の考へであるが先方の出方如何で考慮したい
入條子 根本的に負擔の均衡を圖る意味から中央地方を通じて税制整理を圖る意思はないか、この事變による特別なる増税を一般的税制整理とは別に考慮するか
太田次官 税制整理は出來るだけ早くやりたい、事變による増税は別個に考へたい
森平兵衛氏(研究) 増税の結果招來すべき物價騰貴の對策如何
太田次官 物價對策委員會の意見に基いて考慮したい
森氏 今回發行の公債消化力に對する見透し如何
關原理財局長 政府は關係金融機關の協力を得て支障なく遂行し得ると確信してゐる

川村竹治氏(政友) 政府は北支事變に對する方針は不擴大であると言ふてあるが事件費の點から見て十日間に五倍となつてゐる、その理由如何
陸相 和平解決で済むと思つて豫算を編成したがその後實力行使の餘儀なきに至つた結果で不擴大方針には變りはない
小倉正恒氏(研究) 北支事變のために多くの公債が發行されると生産力増進資金に壓迫が加はり、相當金融が窮乏になりはせぬか
陸相 國際收支を改善して金融梗塞の無いやにしたい當面の對策としては北支事變による國債發行並に今年の米の豐作等により政府資金の放出が多くなる見込であるし又政府、日銀等で適切な

る一時的措置を講ずる考へであるから
金額を逼迫せしめることはいふと思ふ
これにて質問を終り討論に入り菅原通成
氏、深井英五氏、川村清治氏、小倉正恒
氏、森平兵衛氏より賛成意見の開陳あり
採決の結果萬場一致可決し十一時五十二
分散會

燃料國策建議案

貴族院各派では公正會の提議に基き現下
國策上最も重要な燃料問題に關し各派
一致のもとに今特別議會に建議案を提出
することに決し各派交渉委員が發議者と
なり七日の最終日の本會議に上程易津忠
重公が提案理由の説明を行ひ萬場一致可
決したが同建議案全文は左の如くである

建議案

燃料問題(は)時局に鑑み國策上一日も忽
にすること能はず政府は單り人造石油
事業の獎勵に止まらず此際更に力を天
然資源の開発に致し速に確乎たる自給
自足の燃料國策を樹立すべし
右建議す

衆議院

本會議

最終日の衆議院本會議は七日
午前十一時五十八分開會
一 昭和十年度歳入歳出總決
算

一 昭和十一年度各特別會計歳入歳出總
決算

一 昭和十年度國有財産増減總計算書
を上程菅澤委員長の報告あり二ヶ條の附
帶決議を付し委員長報告通り可決確定次
に

一 貿易及關係産業の調整に關する法律
案(政府提出貴院送附)
一 貿易組合法案(同上)

一 工業組合法中改正法律案(同上)
を一括上程増田委員長の報告あり三ヶ條
の附帶決議を附して委員長報告通り可決
確定續いて

一 百貨店法案(政府提出、貴族院送附)
を上程星島委員長の報告通り可決確定後
請願日程に移り前例によつて第一より第
百四十八に至る請願を一括上程青木委員
長の報告通り全部採擧することに決し午
後零時廿五分一旦休憩午後四時二分再開
日程を變じて

一 軍機保護法改正法律案(政府提出、
貴族院送附)
一 兵役法中改正法律案(同上)
一 恩給法中改正法律案(議員提出)
を一括緊急上程生田委員長報告の後附帶
決議に附し杉山陸相から

軍機保護法の運用には充分注意して誤
りなき事を期する
旨の言明あり可決確定次で

一 建議案百廿二件
を一括上程眞鍋委員長報告通り可決更に
一 生命保險事業團體に關する建議案
(議員提出)
の採決を行ひ少數否決となる、ついで

一 國民負擔(衡)に關する決議案を上程
全會一致可決之に對し
馬場内相 政府は國民負擔の均衡を圖る
ため、中央地方を通ずる税制改革案を次
期通常議會に提出するの意圖を有する
旨を言明後

一 司法制度改正に關する決議案を上程
全會一致可決
鹽野法相 本決議の主旨に添ふ機充分努
力する
旨を言明次で

一 關時並事變陸海軍應召者保護法制定
に關する決議案
一 電氣料金値下げに關する決議
一 出征兵士家族生活國家保障法制定に

關する決議案
一 軍需 藥劑 營化に關する決議案
を順次上程委員附託とし同五時卅五分散
會した

委員會

軍機保護法改正案可決

軍機保護法改正案は衆議院委員會で紛糾
してゐたが最終日たる七日午後に至り各
派の意見一致し左の附帶決議附きで件託
案たる兵役法中改正法律案恩給法中改正
法律案と共に原案通り可決された

附帶決議

本法に於て保護せらるべき軍事上の秘密
とは不法の手段に依るに非ざれば之を採
知收集することを得ざる高度の秘密なる
を以て政府は本法の運用に當りては須く
軍事上の秘密なることを知つて之を侵害
するものゝみに適用すべし

陸軍法改正案提議し

陸軍法中改正法律案は七日午後衆議院
同委員會が審議未了の儘散會したので同
案は遂に衆議院において擯棄となつた



特別議會開院式

第七十一特別議會は七日會期を満了した
ので皇座儀制令により八日午前十一時貴
族院において開院式が舉行された、當日
天皇陛下には親臨遊ばさるす廣田外相以
下全閣僚、近衛首相病弱用寵、松平、小山
佐々木、金光兩院正副議長以下貴衆兩院
議員は禮裝に一登院午前十一時廣田外相
は恭々しく玉座に向つて最敬禮の後川島

内閣書記官の擧ぐる勅語書を拜し
「茲、勅命を奉じまして開院式の勅語を
捧讀致しまするの光榮を擔ひます」と述
べ諸員最敬禮に僞渾なる勅語を捧讀し
次で松平貴族院議長勅語書を拜受し同五
分帶りなく式を終つた

開院式勅語

八日第七十一議會開院式に當り左の如き
僞渾なる勅語を賜つた

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告グ
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ開會ヲ命シ併
セテ卿等勵精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ
勞ヲ嘉獎ス

外相參内

近衛首相病氣引籠のため廣田外相は八日
開院式終了後午前十一時卅分宮中に參内
天皇陛下に拜謁仰付けられ
勅令を奉じて開院式の勅語を捧讀し滯
りなく式を終了せる
旨參上更に特別議會の經過並に結果に
就て種々伏奏御下問に奉答して退下した

首相議會關係を慰勞

第七十一議會も八日滞りなく開院式を舉
行したので近衛首相は恒例に依り開院式
終了後正午より貴衆兩院議員及び各省政
府委員を首相官邸に招待各閣僚出席し近
衛首相に代つて廣田外相より慰勞の挨拶
あつた後歡談裡に午餐を共にし午後一時
半散會した

特別議會成績

第七十一特別議會は會期僅に二週間であ
つたが超非常時局を反映して議事は喧滑
に進捗した、その成績を示せば左の如く
である

▲決算三件可決
▲事後承諾案二件可決
▲政府提出法律案卅五件(内卅四件可決
一件審議未了)
▲議員提出法律案十五件(内二件可決)
▲建議案
(イ)衆議院百卅六件(内可決された
もの百卅一件)
(ロ)貴族院一件可決

▲請願
(イ)衆議院三百七十七件(内採擧され
たるもの三百廿八件)
(ロ)貴族院六十五件(内採擧された
もの卅七件)
▲決議案
(イ)衆議院七件(内可決されたもの
四件)

(ロ)貴族院一件可決
以上の如く政府提出法律案卅五件中審議
未了となつたのは陸軍法中改正法律案一
件でありまた修正可決されたものは續鐵
事業法案一件で他は全部原案通り可決さ
れた、また貴族院では北支事變將兵に對
する感謝決議案燃料國策に關する建議案
を萬場一致で可決し衆議院では北支事變
將兵感謝決議案の外に政府鞭撻決議案を
萬場一致で可決した

成立豫算

特別議會において可決成立した豫算及び
決算は左の如くである

- ▲豫算案九件
一 (第一號)昭和十二年度歳入歳出豫算
追加案
二 (第二號)同上
三 (第三號)同上
四 (第四號)同上
五 (第一號)昭和十二年度歳入歳出各特
別會計歳入歳出豫算追加案
六 (第二號)同上

七 (第三號)同上
八 (第四號)

九 (第一號)豫算外國庫負擔となるべき契約をなすを要する件

▲承認案二件

一 昭和十二年勅令第百卅號 (鐵の輸入税免除に關する緊急勅令)

二 昭和十年度乃至十一年度豫備金支出に關する件

(イ)昭和十年度第一豫備金支出の件

(ロ)昭和十年度特別會計第一豫備金支出の件

(ハ)昭和十年度特別會計第一豫備金支出の件

(ニ)昭和十年度滿洲事件第一豫備金支出の件

(ホ)昭和十年度 (自昭和十一年一月至同年三月) 第二豫備金支出の件

(ヘ)同上豫備金外に於て豫算超過及豫算外支出の件

(ト)同上特別會計第二豫備金支出の件

(チ)同上特別會計豫備金外に於て豫算超過及豫算外支出の件

(リ)昭和十一年度第二豫備金支出の件

(又)同上特別會計第二豫備金支出の件

(ル)同上特別會計豫備金外に於て豫算外支出の件

▲決算一件

一 昭和十年度歳入歳出總決算、昭和十一年度各特別歳入歳出決算

二 昭和十年度國有財産増減總計算書

通過法律

特別議會を通過成立した法律は左の如くである

▲大藏省關係 (十八件)

一 北支事件に關する經費支辨のため公債發行に關する法律案

一 北支事件特別稅法案
昭和十二年法律第四十九號中改正法案

法律案 (北支事件財源公債追加發行に關する件)

一 特別會計における特別稅收入に相當する金額を一般會計に繰入るゝ事に關する法律案

▲產金法律案

一 金準備評價法律案

一 金準備特別會計法案

一 日本銀行金買入法廢止に關する法律案

一 朝鮮銀行法中改正法律案

一 臺灣銀行法中改正法律案

一 外國爲替管理法中改正法律案

一 關稅正金銀行條例中改正法律案

一 關稅正金法中改正法律案

一 昭和七年法律第四號中改正法律案 (輸入稅の從價稅率に關する件)

一 大正十四年法律第五十一號中改正法律案 (關東州の生産に係る物品の輸入稅免除に關する件)

一 鐵の輸入稅免除に關する法律案

一 大正九年法律第五十三號中改正法律案 (關稅法及び關稅定率法等の朝鮮に於ける特例に關する件)

一 酒造組合法中改正法律案

一 農林省關係 (一件)

一 農村負債整理資金特別融通及び損失補償法案

一 農工商關係八件

一 人造石油製造事業法案
一 帝國燃料興業株式會社法案
一 製鐵事業法案
一 貿易及び關係産業の調整に關する法律案

▲陸海軍省關係 (二件)

一 軍機保護法改正法律案

一 兵役法中改正法律案

▲司法省關係 (二件)

一 裁判所構成法中改正法律案

一 大正十年法律第百二號中改正法律案 (定年に因る退職列事機事の恩給に關する件)

▲刑務部關係 (一件)

一 刑務部特別會計に於ける簡便生命保險及び郵便年金の事務の取扱に要する經費に關する法律案

▲逓信省關係 (二件)

一 船員法改正案

一 逓信事業特別會計に於ける簡便生命保險及び郵便年金の事務の取扱に要する經費に關する法律案

關係方面談

近衛首相談

近衛首相は第七十一特別議會終了の七日午後左の如き談話を發表した
特別議會は二週間の短期とはいひ乍ら酷暑の中を議員諸君がよく勵精せられ澤山の議案に對し協賛を與へられたことは國家の爲慶賀の至りに堪えない、殊に今回の議會には國らずも北支に於ける事變の爲に多額の追加豫算案や特別稅法案まで提出せねばならぬ次第になつたが議員諸君に於かれても現下の重大時局をよく認識され民衆に對し協賛の實を挙げられたことは實に力強く感ずる所である、今回の議會に於て協賛を與へられた多くの法律案や豫算案の實施に當つて之を有効適切ならしむべきは固より申すまでもない、殊に昨日衆議院では東亞水運の平和確立の爲に北支事變に關する決議案が可決されたが是は實に全國國民の意思を代表する聲として政府はよくこの要望に副ひ期待に背かざる様十分の決意と努力を以て今後の事變に處せねばならぬと思つてゐる

賀屋藏相談

本議會は短期間の會期であつたにも拘らず北支事件關係その他の追加預算を始め大藏省關係の法律案としても北支事件特別稅法案、北支事件公債法案、關稅關係法案、金準備評價法案、金資金特別會計法案その他朝鮮、臺灣兩銀行法中改正案等多数の法律案が提出されたのであるが兩院に於ける審議は極めて熱心且つ迅速に取進ばれ非常時局に對する舉國一致の態勢が如實に示されたものとして意欲深いものがあると思へこれ等の追加豫算並に法律案は現下内外の狀態の下に於て何れも緊要なるものであるに鑑み今後これが實施上遺憾なきを期したいと思ふ

民政黨內總務談

今期議會は僅か二週間の會期に過ぎなかつたが頗る意義深き議會であつた、即ち普通追加預算案、千餘萬圓の外約五億一千萬圓に上る北支事變費並に一億萬圓に上る増稅案をも可決した我々は現在の時局に鑑み又財政の現狀に見て之に同意すること國民の意思なりと信じて之に協賛を與へた次第である、尙ほ其の他重要な法律案卅餘件をも成立せしめ時局匡救に翼賛した、之と同時に増稅は此際已むを得ざるものとするも負擔の公正を圖るは最も必要なるが故に政府をして此の趣旨により中央地方を通ずる稅制の改革案を次の議會に提案を約せしめた、要するに本議會は準備時議會であつて此の信念の下に議事を進め特に滿場一致を以て對支問題に就き全國國民の意思を最も率直に中外に宣明した、これ政府に協力し政府をして後顧の憂ひなからしめんとする誠意の發露であつて政府は宜しく大なる覺悟を以て實行に精進し萬遺憾なきを期すべきである

政友會松野幹事長談

今特別議會は二週間の短期間であつたが時恰も北支事變勃發し熱誠ある國論の反映を受けて事變議會の如き觀があつた、北支事件費として五億餘の追加預算を協賛し一億餘の臨時稅を可決し又各派一致の提案を以て北支事變に關する決議をなし國民の總意を表現したるが之等の審議に當りて充分に政府の決心を質し又之れを鞭撻することを得たのは好機會であつた、又現内閣の政策については檢討すべきこと必ずしも少なからざるもの概ね之れを通常議會に譲つたのであるから政府は須らく今議會に現れた論議並に附帶決議等を尊重せんことを希望する

社大藤生書記長談

今議會に於ては我黨は舉國一致の建別から近衛内閣の對支方針を支持し大體において政府の提案に賛成の意を發表した、この短期議會に力關した問題は出征兵家族扶助軍需工業の國營化、物價騰貴の抑制、電力料金値下、勞働時間制限、肥料の値下等國民生活安定に關する事項であつた、而して我々がこの非常時局を通じて看取し得ることは多年我々の主張し來つた政策が凡ゆる場面を通じて實現の一步を踏み出し來つたといふ事實であり我々は我黨の政策のみが非常時局打開の唯一の方策であるといふ見解と確信を得た

☆☆☆☆

一般政治

應召家族扶助申合

【六〇】政府は一日衆議院憲政會議散會後午後四時陸内大臣主に近衛首相以下各閣僚參集北支事變に應召した兵士の家族に對する生活保障について協議の結果本變のため應召し主なる収入を失へる家族の生活を救済する方法を講ずるため各省の事務當局においてそれぞれ協議を開始せしめることを申し合せた

首相參内奏上

近衛首相は二日午前九時五十分官中參内天皇陛下に拜謁仰付けられ北支事變その後の情勢並にこれが對策、特別議會の審議狀況その他一般政務に關し奏曲奏上種々御下問に奉答後退下した

革新政策具現に邁進

【六〇】近衛内閣が初の試練として迎へた第七十一特別議會は北支事變の緊迫せる情勢下に開かれたとは言へ稀に見る國論の統一と朝野の協力一致を名實共に具現し七日無事終了を告げるに至つたが近衛首相始め各閣僚は今期議會を通じて現れた國民の舉國支援の期待に添ふべく政府諸機關の結束を益々緊密にし北支事變の全面的解決に一路邁進すると共に北支事變を契機として一層重要性を帯びるに至つた刻下の財政經濟問題に對處すると共に各般の施設に就て時局の克服に遺憾なきを期することになつた、即ち政府としては北支事變に就ては今議會を通じて賑々言明せる如く大義名分に基く事件不擴大主義を堅持して北支治安の維持、在

支留留氏の保護並に在支權益の確保に努め支那側の反省を求める根本方針に就ては何等變る所はないが六日衆議院に於ける全會一致の決議並に廣田外相の言明に現はれたる通り支那側の非違を糾しその暴戾を膺懲し抗日毎日の根本的排除を求めことに就ては既に朝野一致の帝國不動の決意となつて居るので政府は今後一層國民の協力支援を求め東洋平和の確立に向つて事態の根本的解決を圖るべく必要に應じては更に臨時議會召集の腹も固めて居るやうである、又事件救済費を除いて今議會の商案を経た保健、社會省の設置、帝國燃料官社設立をはじめ製鐵事業法の改正、外國爲替管理法の改正、産金獎勵、熟練工養成その他各種の法律並に豫算の施行に就ても邁進なきを期して居るが殊に財政經濟政策に就ては時局の重大化に伴ひ生産力の擴充、國際收支の適合及び物資需給の調節の三大原則に基く内外地を通ずる綜合的産業五ヶ年計畫の樹立に最も意を注ぎ北支事件特別税法の制定に際して國民に公約した中央地方を通ずる税制の整理と共に政府としては財政經濟の二大眼目として企畫並に關係各省を奮勵して銳意之が具體化に邁進することになつて居る、而して之が中心となるべき企畫總裁に就ては議會に於ても廣田外相の兼任が不適當であるとして政府内外より專任總裁の任命が要望されて居るの通常議會を目標する等の革新政策樹立に當つて近衛首相が企畫總裁裁問題を如何に取扱ふかは極めて注目される所となつた

物價委員會

第二小委員會
【六〇】物價對策委員會の第二小委員會

（石炭運賃動力關保）は三日午後一時三十分首相官邸に開會開會に引續き石炭の需給關係及び増產計畫を中心に審議を進め續いて商工省商務課長より三日公布された改正暴利取締令に就て説明を聴取し四時半散會

第三小委員會

【六〇】物價對策第三小委員會（生活必需品に關する件）は二日午後二時首相官邸に開會、綿布、綿糸を中心として研究することとしたが今回の時局に鑑みて應急對策を研究するの必要はないかの議論があり又暴利取締令に關する省令に就て質疑をなした、同取締令には米穀に關する規定がないので委員會は米穀に對しても價格の暴騰抑制策を講ずる様政府に申出でることとなつた、尚ほこれと關聯して同業組合の價格協定問題にも觸れるところあり同午後五時散會

【六〇】物價對策委員會第三生活必需品小委員會は九日午後二時首相官邸に開會前日に引續き北支事變に伴ふ緊急物價對策につき意見の交換を遂げたが結局當面の事變に關聯する諸問題については一應論議を経たので次回よりは委員長の手許で審議項目を整理し審議を進めることとし同四時散會

近衛首相靜養

【六〇】近衛首相は微恙の爲六日は登院を取止め引續き永田町の私邸において靜養することとなつた

法令公布

- △二日
一 軍馬補充部令中改正の件
一 陸軍航空本部令中改正の件
一 陸軍航空隊令中改正の件
一 陸軍造兵廠令中改正の件

- △三日
一 陸軍工科學校令中改正の件
一 陸軍航空技術研究所令中改正の件
一 陸軍憲兵學校令
一 陸軍經理部令中改正の件
一 陸軍經理部條例中改正の件
一 朝鮮總督府官制中改正の件
一 朝鮮總督府部內臨時職員設置制中改正の件
一 高等官官等條例令中改正の件
一 朝鮮總督府警務官制中改正の件
一 地方制度調查會官制
一 朝鮮總督府鐵道局官制中改正の件
△六日
一 臨時海軍通譯設置の件
一 海軍練習航空隊令中改正の件
一 陸軍官制中改正の件
一 陸軍官制中改正の件
一 樺太廳通信官署官制
一 外國駐在拓務省官吏加俸令中改正の件
一 陸軍衛生部士官の補充及復役期間の臨時條例中改正の件
一 資源調查令中改正の件
一 海軍武官服役令中改正の件
△七日
一 通信省官制中改正の件
一 通信部內臨時職員設置制中改正の件
一 貯金局官制中改正の件
一 簡易保險局官制中改正の件
一 電氣試驗所官制中改正の件
一 通信局官制中改正の件
一 通信官署官制中改正の件
一 煙草局官制中改正の件
一 高等官官等條例令中改正の件
一 奏任文官特別任用令中改正の件
一 臺北帝國大學官制中改正の件
一 臺北帝國大學附屬令中改正の件
△十日

外交

- 一 昭和十二年法律四十九號中改正法律特別會議に於ける北支事件特別稅收入に相當する金額を一般會計に繰入ることに關する法律
一 帝國燃料興業株式會社法
一 酒造組合法中改正法律
一 朝鮮地方待遇職員令中改正の件
一 陸軍現役將校の校配調令及大正十四年勅令第二百四十六號の特例に關する件
一 昭和八年勅令第十二號補充上の必要に依り陸軍の軍隊、官衙又は學校に於ける各兵科士官に備補役又は後補役の士官充用の件改正の件
一 昭和十一年法律第三十七號土地賃賃價格改訂法施行に伴ふ耕地整理法の特例に關する法律施行期日の件（昭和十三年一月一日施行）

英外相警告無根回答

【六〇】去る七月廿九日ロンドン發電報によればイーデン英國外相は同日午後の下院に於て
英國は日本に對し支那の領土を分離する企圖は承認し得ない旨警告を發したとの意味を言明した如く傳へられたので照内外務次官は直ちに英國駐日代理大使ドゥズ氏に對しその真相を訊した處同代理大使は本國政府に照會の上二口堀内次官に左の如き回答を寄せイーデン外相は下院に於て日本に對し警告を發したる如き言明を爲さざりし旨を明にした
▲回答要旨
イーデン外相は廿九日下院に於て北支情勢の發展につき説明を行つたが其の際某議員より

英國は日本に對し此の際將介石の南京政權より北支數省を分離せしめんとするが如き企ては承認し得ない旨の意志を表示したか

との質問があつたのに対し
累次の答辭其他に依り明かである通り吾人は事態を極めて遺憾とする、吾人は極東關係一般の改善を待望しつゝあつた際であるから尙更である、但し現狀繼續中は右改善は不可能であるといふ意味のことを述べたに過ぎず日本政府に對し警告云々の如き言明は行はなかつた

ソ聯の抗議堀内次官一駁

「○東京駐ソ聯代理大使ティエマ氏は三日午前十一時卅分外務省に堀内次官を訪問本國外務人民委員部の訓令に基き白系露人の天津ソ聯領事館侵入事件に關する抗議を提出して在北支ソ聯人民の保護方を申入れ來つた、之に對し堀内次官は

我が方としては固より外國人の生命財産を充分尊重して居り天津に於ける事變發生に際しても固く此の趣旨を守つて居る、從つて傳へられるが如き事件ありとしても右は全く帝國政府の闕知する所ではない
となし左の如き理由を擧げてソ聯側抗議の不當を指摘これを一駁した

一 事件は天津の特別三區即ち日本軍の統制下になき地區に起つたもので同地區は從來支那保安隊が治安に當つてゐたが之が叛亂を起して逃した、混亂に乗じ白系露人が行動したものと認むるは

一 即ち事件は白系露人の赤系露人に對する反感に因るものであつてソ國人間の紛争に關しては我が方の全然闕知するところのものではない、從つて我が

方に對して責任呼ばはりをするのは筋違ひも甚しい
一 ソ聯側は日本軍が同事件と關係あるかの如く宣傳してゐるが、事實は絶対にあり得ず我が方を認めるも甚しい

ソ聯の作爲のデマ

「○天津ソ聯總領事館を白系露人が襲撃した事件に關しては別項の如くソ聯政府は事實を歪曲して我方に責任あるが如く抗議を提出してゐるが堀内天津總領事の報告によれば一日天津ソ聯副領事ミルノフ氏は

天津特別第三區にあるソ聯總領事館事務所は八月一日夜白系露人數名のため襲撃せられ書類その他を掠奪せられたがその際日本兵は近くの道路にありしにかゝらず救助されなかつた
と述べて我方に抗議し甚しきに至つては被掠奪品の返還方を要求した、一方南京日高參事官の外務省への報告によれば

在南京ソ聯大使は在天津ソ聯副領事ミルノフ氏は該事件に多量少佐その他參事官が加はつてゐたと報告して來てゐる
旨を述べ日高參事官に對し我方の善處方を要求したのであるけれどもこの不當な要求を一駁した、平津地方は從來からソ聯人の不逞分子少なからずコミンテルンの手先となつて活躍してゐるものもある、

今同ソ聯側が突如事實無根なる右問題を大袈裟に我方に申出で來つた魂膽はむしろソ聯側の仕組んだ作爲的芝居と見られべきものであり、即ち

一 ソ聯側は何を根據に我が名譽ある將校をこの事件に引き合ひに出したか、若し何等の證據もなく漫然たゞ應酬に基きかゝる言動に出でたとせばこれは單に我軍將校を誣ひその名譽を傷けるのみならず皇軍全體に耐え難き侮辱を與へるものである、殊に被掠奪品の返還を要求するに至つては奇咎十萬にしてその魂膽が察せられるか想像するに難くない

一 赤白系露人の抗争は隨時隨所に展開せられ殊に支那にありては絶えず繰返されてゐる日常茶飯事である
一 廿五日上海タス通信が同地に於ける日本情報機關が上海ソ聯總領事館襲撃を計畫準備しをれるを放送したるに對し我が上海總領事よりタス上海支局に任者ローゴフに對しその事實無根を指摘しその取消を要求したるに對しロ氏は白系露人側より得る情報なりとして陳謝したる事實がある

以上の如くソ聯側は從來も屢々この種事實無根のデマを捏造し故意に帝國の國際信義を傷つゝあるは周知の事實にして今次の後彼の所謂白系露人の總領事館襲撃の如きも若し其の事實ありたりとするも右は要するに過去に於ける赤白兩系露人の不斷的闘争がたま／＼天津の混亂狀態に陥れるに乘じ事變前後我方警備の行届かざる地域に勃發したるに過ぎない然るにソ聯政府が故意に我方に對しかゝる抗議を提出せるは今回の北支事變を利用して帝國の國際信用を傷けんとする仕業と見るの外なく我當局は嚴重監視してゐる

ソ聯我が査證拒否

「○去る五月モスクワ駐在を命ぜられた杉原千畝二等通譯官に對しソ聯政府が入國査證を拒否した問題は爾來外務省とソ聯政府との間で折衝を續けてゐるがソ聯の態度はあくまで頑硬で査證を得るに至らず外務省では遂にこれを斷念して杉原氏をラインランド國駐在に變更することとなり近く發令されることになつた又

同時にオデッサ駐在警備領事に對する入國査證拒否問題及び北洋漁業事務のため五月中に赴任する管であつたベトロフスキ駐在道正書記生の入國査證拒否問題も未だ全く停滯して居り北洋漁業の如きは既に終了期に入つてゐるの道正氏は今年には遂に赴任し得ないこととなつた

地方制度調査會開設

「○地方制度調査會官制は三日公布されたが右調査會は内務大臣の諮詢に應じて地方行政制度に關する事項を調査審議するものであつて内務大臣を會長として委員卅五名以内を以て組織し更に臨時委員を置くを得る事になつてゐる、右官制に基き會長委員は左の如く任命された

會長 內務大臣 馬場 鐵一
委員 法制局長官 瀧 正雄
企畫課次長 井野 碩哉
内務政務次官 勝田 永吉
内務次官 廣瀬 久忠
内務參事官 坂 千秋
内務省地方局長 石渡莊太郎
文部次官 伊東 延吉
農林次官 戸田 保忠
商工次官 村瀬 直義
行政裁判所評定官 澤田竹治郎
貴族院議員 岡 喜七郎
侯爵 大隈 信常
同 赤池 濃
同 松平 康春
同 子爵 紀 俊秀
衆議院議員 岡田 忠彦
同 山田 義一
同 中野 邦一
同 武田徳三郎

臨時増税法

財政對策大藏省議
「○北支事變の突發によつて我國財政は急遽に戰時體制の方向に移行しつゝあるが今議會に提出された事件費の豫算は既に成立した金額のみで九千六百萬圓、更に近く提出される第二次豫算は三億圓を超えこれに伴つて公債發行額も通計四億圓程度増發され本年度の公債發行額は實に十三億圓に上るべく豫想されるに至つたので大藏省では右情勢に即應じて現下財政を調整し公債増發によつて招來される悪性インフレを未然に防止すべく一日は質屋蔵相も特に議會を開催増税案午後には耳利蔵相官邸に省議を招増税案公債政策、爲替對策等に關し重要協働を行つた

臨時増稅決定
淺沼稻次郎
堀切善次郎
潮 惠之輔
館 啓二
酒邊宗太郎
西井 忠正
池田 宏
岡崎 勉
野村 嘉六
富田 梅吉
大岩 勇夫
田邊 七六
松尾 國松
千石興太郎
木村増太郎

【六】北支事件費は前年度第二豫備金より一千廿萬圓支出され、本年度第一號追加豫算九千六百八十萬圓が成立したが、今回更に本年度第四號追加算として四億一千萬圓を計上することとなつた結果、總額に五億一千七百三十萬圓に達した、而して今議會提出の追加算は第四號追加算を加算して通計五億二千七百萬圓となるが、同議會に於て成立した本年度總算總額は廿八億七千萬圓であるから之を合計すれば本年度算は遂に卅三億九千七百萬圓の巨額に上る

第二次費財源内譯

【六】第二次北支事件費の財源は増稅收入及び北支事件公債によつて賄ふこととなつたが之が内譯は左の通り

一 増稅による收入 六千六百萬圓
本年度實收額 六千六百萬圓
一 借入金増稅による明年度收入額 三千六百萬圓

一 北支事件公債追加發行 三億八百萬圓

尙右の結果北支事件公債は第一次發行額九千六百萬圓と合せて總額四億四百萬圓となつた

豫算總額及公債内譯

【六】北支事件費其他追加豫算の提出によつて本年度豫算總額は卅四億圓公債發行額は十三億圓へと加増した膨脹を示すに至つたが、事件費追加豫算額、豫算總額、公債發行額等の内譯を示せば左の通りである(單位千圓)

一 北支事件費 一〇,一〇〇
第二豫備金支出 九六,八〇〇
第一號追加豫算 四一九,六〇〇
第四號追加豫算 五二六,六〇〇
計 一,一七三,一五〇

前議會成立豫算 二,八七三,一三五
第一號追加豫算 九六,八〇〇
第二號追加豫算 一三,三八〇
第三號追加豫算 七,三二〇
第四號追加豫算 四一九,六〇〇
計 三,四〇九,二五〇

一 公債發行額 九六五,四五五
前議會成立豫算 九六,〇〇〇
第一號追加豫算 三三〇,一〇〇
第四號追加豫算 一,一七三,一五〇
計 一,七六五,一〇五

第二次事中費内譯

【六】第二次北支事件費支出のため十二年度第四號追加豫算案は五日の院會議を経て衆議院に提出されたが其總額は四億一千九百六十萬圓にして之が各省内譯は左の通り(單位千圓)

△一般會計
經常部 臨時部 計
外務省 一 一〇〇 一,一〇〇
大藏省 一 一〇〇 一,一〇〇
陸軍省 一 一〇〇 一,一〇〇
海軍省 一 一〇〇 一,一〇〇
計 四,四〇〇 四,四〇〇
△特別會計
國債還付基金 三,一〇〇
公債金 三,一〇〇
關東局 一〇〇
通商事業 一〇〇
朝鮮總督府 一,〇〇〇
臺灣總督府 一,〇〇〇
樺太廳 七〇

尙右計數の内譯は四月の閣議に於て決定したるものと多少の相違があるが、大藏省豫算に於て北支事件費第一豫備金の追加三千萬圓を計上したためであつてその内藏は四千五百萬圓が陸軍省に一千五百萬圓が海軍省に割當せられる豫定となつてゐる、従つて北支事件費第一豫備金

總額は第一號豫算に於ける四千萬圓と合計して一億圓となる計算である

國庫歲計

十一年度剩餘金計算

【六】大藏省發表に依る昭和十一年度歲計剩餘金計算は左の如くである(單位千圓)

歳入收入額 二,二七二,〇〇〇
歳出支出額 二,一八二,〇〇〇
差引剩餘金 八九,〇〇〇
内 昭和十一年度に
歳入の財源 五五,〇〇〇
差引 純剩餘金 三四,〇〇〇
昭和十一年度純剩餘金使用計畫 三四,〇〇〇
内 昭和十一年度追加
追加算(第二號) 一六,〇〇〇
第二、第三號の
財源に充當した
る額 一八,〇〇〇
差引 剩餘 一八,〇〇〇

一般會計歲計種類別内譯

【六】大藏省發表に依る昭和十一年度一般會計歳計の種別内譯は左の如くである(單位千圓)

皇室費 四,五〇〇
國債費 四〇六,九四七
年金及恩給 一八〇,〇三六
行政費 五三八,〇四八
内 滿洲事件費 二,九七〇
補助費 三〇七,九二〇
軍事費 一,四〇九,六八一
内 滿洲事件費 二八〇,四三九
陸軍費 七二七,〇八四
内 滿洲事件費 二六九,六二三
海軍費 六八二,五九七
内 滿洲事件費 一〇,八二五

國庫剩餘金 二五,〇〇〇
内 滿洲事件費 二,〇〇〇
合計 二,八七三,一三五
内 滿洲事件費 二八五,四〇九

五月末國庫現計

【六】大藏省發表に依る本年五月末現在昭和十一年度歳入歳出國庫現計に依れば(單位千圓△印減)

一歳入 本年五月末 前年同期比
經常部 一,一三三,〇〇〇 △一三,三三三
臨時部 七二八,〇〇〇 △一七,八〇〇
計 一,八六一,〇〇〇 一〇〇,一三三
一歳出 本年五月末 前年同期比
經常部 一,三三三,〇〇〇 △一三,三三三
臨時部 一,一三三,〇〇〇 △一七,八〇〇
計 二,四六六,〇〇〇 一〇〇,一三三
一歳出 本年五月末 前年同期比
經常部 一,三三三,〇〇〇 △一三,三三三
臨時部 一,一三三,〇〇〇 △一七,八〇〇
計 二,四六六,〇〇〇 一〇〇,一三三

一租稅

本年五月末 前年同期比
所得稅 三六,〇〇〇 三三,三三三
地租 一六,〇〇〇 一五,〇〇〇
營業收益稅 一六,〇〇〇 一五,〇〇〇
資本利子稅 一六,〇〇〇 一五,〇〇〇
相續稅 三六,〇〇〇 三三,三三三
酒稅 三六,〇〇〇 三三,三三三
酒料飲稅 三六,〇〇〇 三三,三三三
砂利消費稅 三六,〇〇〇 三三,三三三
礦物消費稅 三六,〇〇〇 三三,三三三
取引所稅 三六,〇〇〇 三三,三三三



陸軍

憲兵學校新設

【六】陸軍では軍警察官局の充實を計るため従来の憲兵練習所を廢止しに憲兵學校を新設することとなり七月三十一日付八月一日の官報を以て陸軍憲兵學校令を公布した、同校は、憲兵科將校を爲すべき學生及憲兵教官を教育し並に憲兵科下士官たる學生に憲兵の實務に必要な學術を修得せしむることを目的とし校長以下幹事副官、學校附教官、教習隊長、教習隊副官、教習中隊長、教習隊附及准士官、下士官、判任官若干名の職員が置かれることとなつた

新聞班長更迭

【△】陸軍省新聞班長泰彦三郎大佐は今回の異動で部隊長に榮轉後任には歩兵大佐原守氏が補され二日發令された

優秀將校を空軍に轉科

【△】陸軍では空軍強化のため今同歩騎、砲、工各科將校中の優秀者を選抜して航空兵科に轉科せしめることに決し七日官報を以て大佐十三名中佐廿名、少佐四十二名、大尉廿二名、中尉卅三名、少尉一名の轉科を發令した、主なるもの左の如し

歩兵大佐 桑名卓男 同 本郷義夫
歩兵大佐 吉田定男 同 山内正文
同 下山琢磨 同 藤本總郎 同 日田寛三 同 吉横正雄
砲兵大佐 中村美明 同 河邊虎四郎
同 中園盛孝
騎兵大佐 新要雄 同 小畑英良
任陸軍航空兵大佐(各通)

歩兵中佐 落合甚九郎 同 秋山豊次
同 藤塚止戈夫 同 藤澤繁三 同
白銀重二 同 中西良介 同 石川愛
同 二見秋三郎 同 有末精三 同
佐藤正一 同 佐々木省三 同 小川國吉 同 川上清志 同 勝野正之
同 日井茂樹
砲兵中佐 安部克巳 佐藤賢了、騎兵中佐 廣田豊 吉田喜八郎、輜重兵中佐 山中繁茂
任陸軍航空兵中佐(各通)

陸軍衛生陣擴大強化

【△】陸軍では滿洲事變後軍醫の不足を補ふため昭和八年一月卅一日勅令第六號を以て衛生部將校の補充特令を定め醫師法第一條第一項各號の一に該當し年齢滿卅二年未満の人々から志願によつて軍醫

候補生を召募二ヶ月間もよりの歩兵部隊に在營せしめ初級衛生部將校としての勤務と軍事學とを教育、更に其後二ヶ月間見習士官として實務をさせ軍醫少尉大學出は軍醫中尉に任じ一ヶ月義務服務をすました者は隨處豫備役に入り終身將校としての待遇を享得る制度を開いたが將來戰に於てはますます軍醫を多數必要とするのでこの特令を一層緩和して今度は軍醫候補生と見習士官の勤務期間を更に各々從來の半分の一ヶ月に短縮大量速成を期する事となり七日の官報を以て公布された

▲軍醫候補生志願要項 右改正により本年召募される軍醫候補生の數は例年よりもグツと増加して約二百七十名が採用される事となり、十日陸軍省から志願要項が公示された
△志願者資格者は明治三十八年四月一日以後の出生者で醫師法第一條第一項の何れかに該當する者
△幹部候補生出願中のもの、また在營中のものでも志願し得る
△志願者は最寄師團司令部から志願票の交付を受け戸籍謄本、學校卒業證明書、教練檢定合格者はその證明書等を添えて九月十五日までに現任地所管の師團長(軍司令官)に差出すこと
試験の結果採用された者は本年十一月一日指定の隊に軍醫候補生として入隊、一ヶ月後見習士官に進み十二月下旬には早くも軍醫少尉大學出身者は中尉に任官昭和十四年末まで現役軍醫として服務する、また任官後成績良好なる人々は志願によつて其後引續き現役を許可され、普通の衛生部將校と同じやうに、尉官、佐官、將官と腕次第順次第で軍醫中將まで進み得る途が開けて居る、なほ軍醫少尉の年俸は八百五十圓、中尉は初任給年俸二千圓である

配屬將校に後備起用

【△】去る大正十四年陸軍、文部兩當局では學校教練制度を制定、勅令を以て陸軍現役將校學校配屬令を公布し男子の中等學校以上にはそれぞれ現役將校を配屬して軍事教練を實施して來たが緊迫せる最近の情勢につれ漸く現役將校の數は不足を告げんとするに至つたので陸軍では十日の官報で勅令によりこれが緩和の特例を公布した、新特例によれば學校配屬將校は各兵科の豫、後備の佐官、尉官を以て充て得る事となつて居り將來必要に應じて現役將校の代りに逐次豫後備將校が起用される筈である、なほ此の特例は文部省所轄外の學校配屬將校にも及ぶものである

海軍

航空生採用範圍擴大

【△】海軍練習航空隊令改正の件は七日勅令を以て公布されたが改正の要點は海軍航空の人的要索擴充のため新たに航空學生の採用範圍を擴大し從來「學生」には海軍准士官以上でなければならなかつたものを下士官以上と改正すると共に高等飛行、整備、特修、專攻の五種の學生であつたものに新たに「選修科學生」を加へ海軍航空科及整備科の准士官及一等下士官に對し將來尉官に進ずる勤務に服すべき者に必要な教育を施すこととなつた

海軍武官服役令改正

【△】海軍では時局に鑑み今回海軍武官服役期間満了後も「配員上特に必要あるとき」はその期間を延長することの出来るやう海軍武官服役令を改正七日勅令を以て公布した、從來服役期間延長をなし得る場合は

一 戰時又は事變に際するとき
二 出師の準備又は守備若くは警備中なるとき
三 航海中又は外國に於て勤務中なるとき
四 重要な演習又は特別に觀艦式なるときの四つに限定されてゐたが今次の改正により新たに「配員上特に必要あるとき」と追加したものである

海軍通譯採用

【△】海軍では時局に鑑み臨時海軍通譯を設置するに決し七日勅令を以て公布された、採用人員は十一名である
各艦隊に通譯
【△】海軍では今回各艦隊に通譯を常時配置する事となり之に伴ふ艦隊令改正の件は御裁可を得たので九日左の如く公布した
▲軍令海第五號
艦隊令中左の通改正す
第八條中「准士官」の下に「判任文官」を加ふ
第四十九條を第五十條とす
等四十九條判任文官は上官の命を承け服務す

特務大中尉服役年限延長

【△】海軍では時局に鑑み各科特務大尉及び中尉の現役服役期間を二年間延長する事となり十日左の如く省令を公布した
▲海軍省令第廿一號海軍武官服役令第三條の規定に依り當分の間各科海軍特務大、中尉の現役服役期間を左の年齢に達する迄延長す
各科特務大尉 五十四年
各科特務中尉 五十二年
▲附則
二 第二部設置は左の要項に依る

教育

本令は公布の日より之を施行す

小學教員費國庫補助制當

【△】文部省では市町村立小學校教育費國庫補助法に依る昭和十二年國庫支出金百九十五萬圓を同法第三條の規定に依り其の半額を市町村立小學校の本科正教員數廿一萬三千七百八十人、他の半額を同教員五年以上同一府縣内に勤續する者十五萬二千八百四十八人に比例して各府縣に對する割當額を決定六日各地方長官宛其の旨通知を發した

工業技術者養成實施

【△】文部省所管の今特別議會に於て協賛を得た追加豫算の重要なものは生産力擴充に伴ふ工業技術者及び高等海員養成に關する應急的施設費總額五十五萬六千圓であるが文部省は之に本年度に於て機械、電氣、應用化學及び探礦冶金の四科目に就き官公私立高等工業學校及び工業學校の現在設備を活用し中學校卒業生に對して六ヶ月間の短期養成を行ひ來春三月迄に高等工業學校より約四百八十名工業學校より約一千六百名合計二千二百名の技術者を増加供給する豫定である、而して技術者養成を行ふ高等工業學校は東京及び京都兩工業を除く官立全部であるが工業學校に就ては七日文部次官より各地方長官宛臨時工業技術員養成に關する通牒を發し來る廿日迄に設置認可及び補助申請の提出を求めるとなつた、右通牒の内容は左の如し
一 公私立の甲種工業學校に於て第二部設置の場合には所要經費の一部を國庫より補助する
二 第二部設置は左の要項に依る

産業行政

農 林

機船底曳網漁業整理

【六】農林省では沿岸漁場の荒廢並に沿岸漁村の疲弊の實情に鑑み機船底曳網漁業を整理すべくかねて立案中のところ漸く成案したので來る十四日より施行することに決し九日機船底曳網漁業整理規則並に機船底曳網漁業整理轉換獎勵規則を省令を以て公布した、その要旨は左の如くである

▲機船底曳網漁業整理要綱

一 本整理計畫に依り左に該當する機船底曳網漁業に付整理を行はんとす

一 東經百三十度以東の内地近海海面にして(一)に該當するものを除く海面(全廢海面)を操業區域とするもの、全部

二 東經百廿度以東の内地近海々面中特

海 面 道府縣 道府縣 道府縣

一 東經百三十度の線と 道府縣

石川縣 磯部町より正 鳥取縣

北の線との兩線間に 兵庫縣

於ける山口縣、島根 京都府

縣、鳥取縣、兵庫縣 石川縣

京都府、福井縣、石 北海道

川縣沖合海面 青森縣

二 北海道本島沖合海面 岩手縣

三 青森縣尻矢崎より東 富山縣

南東の線と千葉縣大 茨城縣

東崎より正東の線と 福島縣

の兩線間に於ける青 千葉縣

森縣、岩手縣、宮城 千葉縣

縣、福島縣、茨城縣 千葉縣

千葉縣沖合海面

▲漁業獎勵金交付要項

一 本獎勵金は左に掲ぐる道府縣の費用に對し之を交付すること

(一)機船底曳網漁業廢業者が一本釣、延繩其の他の釣漁業、刺網漁業、流網漁業其の他の網漁業其の他農林大臣の適當と認むる漁業又は漁獲物の運搬其の他之に附帶する業務に従事する爲漁船、漁具其他の施設の新調改造購入等に要する起業費に對し交付する道府縣の補助金(起業獎勵金)

(二)前條の補助金の交付を受けた者が其の業務を營む爲に要する事業費に對し交付する道府縣の補助金(事業獎勵金)

(三)本獎勵金の交付額は左の標準に

二 (省略)

三 本獎勵金の交付額は左の標準に

定海面(一部殘存海面を操業區域とするもの)の一部

三 東經百廿度以西の海面を操業區域とするものにして船舶總噸數半噸未満の船舶を使用するもの、全部

四 東經百廿度以東及び以西の兩海面を操業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

業區域とするもの、全部

委員の顔聞れ左の如し
セメント製造業委員會會長

商工省工務局長

商工省統制局長

鐵道省經理局長

拓務省殖産局長

朝鮮總督府殖産局長

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

同總理數

手段を考究急遽に輸入制限を強化し輸出能力と金貨送の限度から大體輸入し得る金額を定め緊急を要する物品から順次に輸入を許し其の他のものは高度に制限することとなつたその結果起るべき貿易業者と生産業者間の摩擦調整の爲當局では貿易及關係産業の調整に關する法律の施行を急ぎ九月勿々實施の豫定である

法 令

暴利取締

【一】政府は二日の閣議で日常生活必需品並に北支事變による物價の昂騰に對する對策として大正六年農商務省令第廿號を左の如く改正暴利取締を行ふこととなり八月三日附で公布即日施行した

暴利取締令

第一條 暴利を得るの目的を以て左に掲ぐる物品の買占若しくは買得をなし若しくは爲さんとし又は暴利を得て左に掲ぐる物品を販賣し若しくは販賣せんとする者と認むるときは商工大臣又は地方長官は期間を定めて其の行爲を爲すべからざる旨を戒告し且必要と認むるときは同一物品の賣買に付條件を附することを得

- △金屬及其の原料 △黑鉛、硼砂、石棉及雲母 △機械器具及其の部分品
- △自動車其の他の車輛及其の部分品
- △電機及電柱 △電燈 △研磨材料
- △耐火煉瓦 △硝子 △石油及其の容器 △石灰、コークス及木炭 △棉花、羊毛、麻及ステープルファイバー △糸(生糸を除く)及織物 △被服 △紙類 △染料、顔料及塗料 △工業藥品 △醫藥其の他の衛生材料 △油脂 △肥料及飼料 △生ゴム及ゴム製品、

商 工

洋灰業改善委員會

【六】商工省では統制局が新設されて從來合理局の下に設置されてゐたセメント製造業改善委員會が解消されたので新に統制局の下にセメント製造業改善委員會を設置すべく準備を進めてゐたがこのほど入選を了へ六日付發令した

△バルブ △皮革及其の製品 △麥及小麥粉 △砂糖 △建築材料

第二條 商工大臣又は地方長官は前條の處分に關係ある事項に付報告を徴し又は前條に掲ぐる物品の販賣業者に對し其の取賣價格の表示を命ずることあるべし

第三條 第一條に掲ぐる物品中木炭、肥料、飼料、麥及建築材料たる木材に付商工業者及其の團體以外の者に對し前二條の處分を爲す場合に於ては同條中商工大臣とあるは商工大臣及農林大臣とす

第四條 第一條の戒告に違反して買占、買替若しくは販賣をなし又は戒告に附したる條件に違反したる者は三月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す

第二條の命令に違反して報告を爲さず若しくは虚偽の報告を爲し又は販賣價格の表示をなす若しくは虚偽の表示をなしたる者は拘留又は科料に處す

第五條 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人使用人其他の従業者が其の法人又は人の業務に關して前條の違反行為を爲したるときは行為者を罰するの外其の法人又は人に對し亦前條の罰金刑を科す

附則

本令は公布の日より之を施行す

兩次官談發表

政府は暴利取締に關する省令改正を行つたが右に就き農林、商工兩次官は左の如き談話を發表した

物價對策は國民生活の安定の上より見ても又國家遂行の上から考へても洵に緊要なる問題であつて政府に於ては最に臨時物價對策委員會を設置致して之が有效適切な對策を考究して居るのである、今回の北支事變に當り舉國一

致政府の方針を支持して居られるので事態を奇貨とし各種不穩當なる手段に依り暴利を得んとするが如き者の現はれて來ないとは固く信するものであるが我國現下の經濟情勢に鑑みるに買占、買替、暴利販賣行為は嚴に之を戒める必要があり大正六年農商務省令第廿號を改正して必要に應じ充分活用し得る様にしたのである、本令施行に當つては取引の實情を充分考慮し健全なる取引は毫も之を阻害することなき様致す所存であり各方面に於ても本趣旨を體し充分戒心を加へられ苟も本令の適用を受けるが如き者の一人も出でざることを衷心より切望する次第である

米穀除外理由

今回改正された暴利取締に關する商工省令中農商務省令の八品目に含まれてゐた米穀は廿六品目より除かれてゐるが之は今回の省令改正に當つて農林、商工兩省協議の結果

軍用米は政府所有米を以て供給する事となつたので此の方面の思惑は充分に防止出來るし更に米穀統制法の運用に依て米穀の價格を統制し得る

暴利取締令官民協議會

【△商工省では暴利取締令の趣旨徹底のため五日特許局に於て官民協議會を開き商工省より村瀬次官以下關保、農林省、内務省、警視廳係官其他東京、神奈川兩府縣當局以下兩府縣の代表者六十餘名出席商工省村瀬次官及本郷商政課長より暴利取締に關する省令につき改正の趣旨を説明し業者の自戒自省を求め之が趣

旨徹底につき協力方を要請した、向ひきつゞき名古屋、大阪、京都、神戸、福岡に於ても官民協議會をひらき趣旨徹底を圖つた

商組に暴利取締通牒

【△商工省では今回商業組合中央會を通じて全國の各商業組合聯合會並に聯合會なき各地方連に宛て左の如き暴利取締通牒を發した

一 各組合に於て販賣價格の協定をなせる場合は右價格の一層公正なる維持を期する事

一 各地組合に於て取引價格、需給狀態等を定期的に調査する爲物價觀察制度の如きものを設けると共に之が調査結果中重要な事項は遲滞なく當省に報告すること

一 暴利取締令第一條に該當する事實、(賣客が買占ありと認められる時は直ちに之を抑止し肯せざる時は當省又は地方廳に通知する等自治的取締の制度を確立する事

交通・通信・航空

交通

季節列車割引再引上

【△定期券値上げに次いで七月中旬から季節列車ハイキング列車等の割引率引下げを實施して來た國鐵では實施以來各方面から非難を浴びせかけられるのにたまにかね再協議を行つた結果

去月中旬から實施した季節割引、一割五分引は例年通り二割引ハイキング割引の二割引はこれ又二割五分引と前年通りに還元し更に今秋から實施の協定

だつたこれらの列車の割引率引下げは中止する
ことに決定五日から實施した

避難邦人五割引

【△在支邦人の一齊引上げに鐵道省ではこれら邦人内地避難者に對し運賃の割引を行ふに決定九日この旨告示即日實施した、割引を受ける避難者は日本領事の證明書を所持する者に限り省線一般及び省線と連帶運輸をしてゐる各私鐵及び航路は三等に限り各五割引と同様手荷物附隨小荷物も五割引である

通信

逓信職員増員

【△逓信省では昭和十二年度豫算の施行に當り、逓信行政全般に亘り諸役の組織刷新の刷新を斷行することになりこれに必要な關係官制の改正を九日付官報を以て公布したがその主なる内容左の如し

一 書記官増員

△大臣官房現業調査課長一名、△電務局調査課長一名、△パリ駐在官一名(以上新設)△經理局營業課書記官一名

一 事務官増員

△現業調査課及電務調査課その他に増員技術増員
昭和十二年度以降五ヶ年間に亘る電信電話擴張計畫實施に伴ふ増員

航空

特急旅客機特事

【△日本航線會社日清連絡特急旅客機奪取(操縦士細川儀、機關士高橋三郎)は五日前七時卅分羽田飛行場を出發せんとし滑走を開始したところ約五十米の邊で風に煽られたためか操縦を誤つたのか滑走路を西に轉じそのまゝ飛行場事務所の高さ約一尺の生垣を破壊右翼は高さ十七米の吹き流し煙塔の脚部に衝突突出してゐる階下食堂の鐵格子入り硝子窓に衝突減速茶々に破壊し煙霧も大破して漸く機體は停止したがその際北海道的定期飛行機を待つて食堂内にゐた日本橋區通二ノ六保坂ビル内機務工作所主命馬壽次氏(○)と見送りの長男壽一(○)三男昌三(○)四男達壽(○)は何れも全治二週間程度の傷を負ひ五男興壽(○)は即死した

▲事故査問委員會

奪取機の機長につき逓信省は早速航空省を派して原因調査を行ひ九日午前十時から逓信省第一會議室に査問委員會を開き逓信省側から新井技術課長以下前航空官及關檢査係長、富士東京飛行場長、航空輸送會社側から安邊運輸課長、森川機材課長、小川東京支所長、及び奪取機組の細川操縦士、高橋機關士、中島飛行機製作所からも係員が出席新井技術課長が委員長となり細川操縦士、高橋機關士から事故發生に至るまでの經過及び當日の目撃者たる富士、東京飛行場長、小川空機會社東京支所長から當時の模様を詳細に聴取したのち尾車輪、ブレーキ、前車輪發動機等機體の全般に涉り専門的に事故原因につき究明したが何れも結論に達するを得ずたが今後の調査の見通しを得たのみで午後四時閉會となつた、然し逓信省當局ではA.T.機が去る六月一日就航以來福岡、京城等で離着陸に際し同様の事故を惹起してゐるので將來に亘つて慎重調査の必要を認め航空局内に調査委員會を新設し鋭意究明することになつた

少年地上勤務員採用

〔八〕大日本飛行少年團で募集した飛行場地上勤務員は時局を反映して定員五十名に對し多數の申込みがあつたので八日午前十一時から羽田の東京航空で學科試験を行ひ五十名を選抜した

青年航空團結圖式

〔九〕去る五月五日發團式を擧げた大日本青年航空團はその後各府縣知事に對し團員選抜を依頼し結果北は北海道から南は九州まで大體一府縣三名、六大都市一、三名宛計百五十餘名の團員を決定したので、九日午前十一時から神宮外苑の青年會館に結團式を舉行、井上團長の指揮で明治神宮に進行、續いて宮城に行進、新橋の列車で霧ヶ峰に赴き十日から一ヶ月間の第一回訓練大會に移る

グライダー部發會式

〔一〇〕昨年十一月設立された大日本航空婦人會グライダー部では新婦教育を指導者とし松平和子、須田蘭子、馬淵美也枝さん他參加會員廿七名を擁するに至つたので九日千葉縣松戸飛行場で盛大な發會式を舉行次いで「發會式記念グライダー翼期講習會」を一週間の會期で開催した



關東局の爲替管理

〔一一〕關東局では外國爲替管理に關する大藏省令の改正に伴ひ關東州、滿鐵附屬地外國爲替管理規則に改正を加へ五日より實施する事となつたが今次の改正は從來のものに比して非常に強化されてゐる結果在滿各銀行並びに外國に支店

を有する會社にも少からず影響を與へる事となつた、改正要旨左の通り

爲替及び信用狀取引

一 株式配當金其の他收益の送金及び内外の法令に基き義務履行としての送金は許可を要する事、但し正常なるものは制限する趣旨に非ざる事

二 特許權其の他工業所有權の取得又は使用に伴ふ送金は特に必要のものを除き許可する方針なること

尙外國に於ける特許權其の他工業所有權に關する出願等手續をなす爲必要な送金は許可を要せざる事

三 外國旅行者が通過又は外國通過の携帶金額を除き送金爲替及び信用狀の兩者を合し五千圓を越える時は八月五日以降許可を要する事

滿拓公社協定

滿拓公社協定公布

〔一二〕二日新京において我が植民大使と張滿洲國國務總理との間に署名調印した滿洲拓殖公社の設立に關する協定並に附屬文書は四日官報條約を以て公布された

滿拓公社要綱

日滿兩國政府間に滿洲拓殖公社の設立に關する協定成立して八月二日兩國政府からそれぞれ協定内容を發表したが公社の要綱は次の如きものである

一 名稱及所在地

本社を新京に置く

二 組織

日滿兩國國籍特殊法人とす
三 資本金 滿洲國國幣五千萬圓とし日滿兩國政府は各一千五百萬圓の出資をするものとす

四 社債

拂還資本金の十倍迄發行し得るものとす

るものとし日滿兩國政府に於ては其の元利金の支拂を保證するものとす

五 監督

日滿兩國政府を監督し兩國政府に於て夫々任命する委員を以て滿洲拓殖委員會を組織せしめ之をして公社業務の監督をなすしむ

外務當局談

帝國政府は帝國の滿洲國に對する國策の基調とする所に基き日滿兩國間の緊密不可分の關係を益々鞏固ならしむる爲には日滿兩國が協力して滿洲國に於ける移住を助成し滿洲國の國土を開發し同國の産業及交通の進展に資し因て以て滿洲國に於ける五族協和の理想の實現に寄與することを最緊切の方策と認めたのである、而して帝國政府に於ては昨年夏對滿移民政策を重要國策の一として確立したのも右の趣旨によるもので爾來之が具體策に付慎重研究の結果廿ヶ年百萬戸送金目標とする移民計畫案を樹立し茲に始めて對滿移民政策は實行の第一歩を踏み出した次第である、他方滿洲國側に於ても五族協和の建國の理想に遵ひ我が移民を欣然迎へ滿洲國土開發の爲協力するの意思を明かにされたことは帝國政府の誠に欣快とする所である

滿拓公社設立委員

〔一三〕四日發令された滿洲拓殖公社日本側設立委員は五日左の如く發表された

▲滿洲拓殖公社設立委員

- 法制局參事官 森山 銳一
- 對滿事務局次長 青木 一男
- 外務省條約局長 三谷 隆信
- 大使館參事官 澤田 廉三
- 大藏省理財局長 關原 忠三
- 正五位勳四等 稻垣 征夫
- 陸軍步兵大佐 竹下 義晴
- 陸軍步兵少佐 永井八津次
- 司法省民事局長 大森 洪太
- 農林省經濟更生部長 小平 權一
- 拓務省拓務局長 安井誠一郎
- 關東局司政部長 三浦 直彦
- 從三位勳二等 生駒 高常
- 勳三等 宇佐美實爾
- 正八位勳六等 中井 雅人

政

黨

男爵議員に柴山男接應

〔一四〕過般連去した貴族院議員北河原公平男の補缺選舉は、來る九月廿五日行はれることになつてゐるが男爵議員の選舉母體たる協同會は九日豫備海軍少將柴山昌生男を推薦することに決定した

民政黨議員總會

〔一五〕民政黨は八日午後四時より丸の内中央亭に於て七十一議會納めの議員總會を開き町田總裁をはじめ所屬兩院議員二百餘名出席諸般の報告後院内外役員代表より挨拶あり次で町田丹次郎氏の發聲で「兩陛下萬歲」土屋會長の發聲で民政黨萬歲を三唱して閉會引續き議員懇親會に移り小泉幹事長の挨拶あつて同六時半散會した

▲町田總裁演說要旨

北支事變勃發以來政府は現地解決不擴大的根本方針を以て一日も速かに解決すべく努力しつゝあるにも拘らず支那の形勢は日に日に險惡となり、或は事變擴大して我國國民は更に一大決心を必要するに至るかも知れない、事變が擴大を見るに於ては各方面に新なる影響が相當協力の上各方面の相剋等は之を緩和し出陣軍人をして後顧の憂ひなからしめねばならない、之が爲め餘後の國民は擧げて北支事變にあつてもさほど大なる影響を受けないことを事實に於て世界に表はす必要がある、然らば如何にして國民の總意を表はすかと云へば我黨は勿論各黨に於ても眞に時局を認識し之に對應して政策は斯く樹つ

陸軍中將候補

補第八師團長

大阪工廠長陸軍少將

補兵器本廠長

科學研究所第二部長

補大阪工廠長

航空本部附屬中將

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

航空本部總務部長

補騎兵學校長

補經理學校長

第一師團經理部長

主計少將

補朝鮮軍經理部長

步兵第七十三聯隊長

步兵大佐

清水

規矩

補侍從武官

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

片桐

護郎

補步兵第九聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

脇坂

次郎

補步兵第六聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

加藤

守雄

補步兵第七十二聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

田中

勤

補步兵第七十六聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

上村

幹男

補步兵第七十四聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

佐野

忠義

補步兵第十六師團參謀長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

中澤

三天

補步兵第十九師團參謀長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

中村

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

青木

重誠

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

柳田

元三

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

栗林

忠道

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

山田

清一

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

土橋

勇逸

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

清水

菊三

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

大塚

彪雄

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

中嶋

晴彦

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

菅原

幸雄

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

岩下

新太郎

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

井出

鐵藏

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

小島

吉藏

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

田中

清

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

間崎

信夫

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

黑岩

義勝

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

永見

俊德

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

渡邊

右文

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

樋口

季一郎

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

安井

藤治

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

尾崎

三雄

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

吉野

榮一郎

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

木村

弘人

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

富水

信政

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

飯沼

守

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

渡邊

正夫

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

平林

盛人

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

內山

英太郎

補步兵第七聯隊長

陸軍省人事局秘書課長

步兵大佐

上野

勘次郎

濟團體では之が對策につき種々考慮中であつたが全產聯會長藤原銀次郎氏を中心として財界有志懇談會を五日九の内工業俱樂部で開催、藤原氏の外串田、井坂以上日本經濟團體、礦村(日本工業俱樂部)中野(東京商工會議所)の諸氏出席、國家非常時の折柄消費節約問題を始め上記諸問題の解決は緊急不可缺のものとして今後一致協力して之が解決に邁進すべきことを申合せ、ともにこの具體化の方法として全國的愛國運動を展開することに決定した。

商組中央會對策決定

【六〇】商業組合中央會では六日役員會を開き北支事變に對する中央會の態度につき左の如く決議し、全國の商業組合に通過した。

- 一 北支事變の經濟界に與へる影響は相當大なるものがあるが各組合では物資需給の圓滑に努め、國策の遂行に協力すること
- 二 各組合は自戒して暴利のため買占め賣惜み等をなすことなき様注意すること
- 三 國防獻金及び皇軍慰問のため應分の献出をなすこと
- 四 事變關係者の家族に對しては各組合員が營業の補助をなすこと

蠶桑業各團體感謝電

【六六】日本中央蠶桑會では六日午前九時より九の内蠶桑會館に蠶桑業團體長會議を開催、岡本中央蠶桑會副會長、今井劉米聯合會長、伊藤廣生聯合會長、上甲橫濱糸間屋組合長等出席、今次事變に活躍の陸海軍將兵に各蠶桑業團體長の名に於て左記の如く感謝文を打電した。

軍大時局に際し皇國の爲不眠不休御奮闘の閣下並將兵各位に對し全國蠶桑業者一同を代表し茲に滿腔の謝意を表し謹みて御武運の長久を祈り奉る。

保險料拂込猶豫期間延長

【六七】生保協會では今回事變關係の一般契約者に對する保險料拂込猶豫期間延長につき左の如く申合せた。

一 北支事變關係の保險契約者に對しては、その保險料拂込期間が昭和十二年十二月卅一日迄の分は普通保險約款による猶豫期間を更に六ヶ月延長す。

一 中華民國在住の一般契約者に對しては前項の拂込期間の延長を四ヶ月となす、右實施期日は大體事變勃發當時に遡及する。

金

融

七月中拂込金減少

【六八】日銀調査七月中拂込金概算調によれば國債を除く地方債、銀行債券、會社債、株式は何れも減少し前月に比し合計に於て八千五百十四萬五千圓の減少を記録して起債界の沈滞を物語つてゐる(單位千圓△印減)

七月	前日比	前年同月比
國債	〇△六五九	〇△七二六
地方債	〇△六五九	〇△六五九
銀行債券	〇△六五九	〇△六五九
會社債	〇△六五九	〇△六五九
株式	〇△六五九	〇△六五九
計	〇△六五九	〇△六五九

七月中公社債發行減退

【六九】興銀調査七月中の公社債發行額は引續く起債界の停止狀態に僅に合計六

口六百八十八萬七千圓に過ぎず前月よりも更に一層の萎縮を示した左の如し(括弧内は口數、單位千圓、△印減)

國債	〇〇〇	〇	一
地方債	〇〇〇	〇	一
銀行債	〇〇〇	一	八七
會社債	〇〇〇	一	五〇〇〇
合計	〇〇〇	一	六八七

七月中計畫資本調

【七〇】日銀調査本年七月中の銀行會社計畫資本調に依れば新設増資の合計は八十三社二億六千八百五十二萬五千圓と前月に比し四十四社、一千五百八十八萬五千圓の減少となつてゐる、内新設は五十九社一億五千五百八十八萬五千圓、増資は二十四社一億一千七百九十四萬圓で社債は起債界停頓で依然不振、詳細左の如し(單位千圓、△印減、括弧内口數)

新設	本年七月中	前月比
一、〇〇〇	△	二、八〇〇
(九)		(△一〇)
二、〇〇〇	△	七、九〇〇
(四)		(△八)
六、〇〇〇	△	二、五〇〇
(三)		(△四四)
五、〇〇〇	△	三、〇〇〇
(一)		(△一)
二、〇〇〇	△	三、五〇〇
(一)		(△一)

七月中郵貯蓄増

【七一】逓信省發表七月中に入つての郵便貯金は預入員に於て三十三萬五千四百四十五人、預金額に於て六千五百三十三萬八千三百三十二圓の著増、月末現在高は預入員五千五百五十二萬二千二百四十九人、預金額三十五億七千六百四十四萬五千二百十九圓となつた、本年は預入員も預金額

も共に其の増加振りが特に顯著であつて昨年同月の夫れに比し預入員に於て十八萬六千餘人、預金額に於て七百八十三萬餘圓も多い、これは本年は特に退職積立金及同手當法の實施に依る新しき預入人即ち工場及礦、労働者の新規貯金が多かつたため預入員の増加が特に顯著であり又本年は預入員の好況であつたこと及軍需工業が一段と活況を呈して來たこと等が特に預金額の増加を大ならしめた主因ではあるまいかと見てゐる、尚本月中の取扱高は左の通りである。

新規預入人員	七十七萬二千四百七十五人
預入金額	二億五千三百三十三萬七千圓
全拂人員	四十三萬七千三百三十人
拂戻金額	一億八千八百九十九萬八千六百六十七圓

公債、社債は優遇

【七二】北支事變發端に伴ふ臨時増稅案によれば國債は第二種所得稅の増徴を免れるほか特別稅に於ても四分以下の國債には賦課されないこととなり今次事變公債發行に備へて特別の優遇方針が執られるが地方債、社債についても第二種所得稅五分の増徴が行はれるにしても特別稅は四分五厘以下の金額には課税しないので大部分の既發地方債、社債は何れも特別稅を免れる事情にあり現在の起債市場不振に對し消極的效果を與へることは争はれない。

特別會計資金金の算定

【七三】金準備評價換算基金によつて設定される金資金特別會計資金金の算定につき大藏省では二日の衆議院產金法案委員會に左の如く發表した。

- 一 (一) 日本銀行より納付すべき金額
金準備評價法に依り納付すべき金額 六萬、三、四、六〇〇
日本銀行金買入法に依り納付すべき金額 二、九、八、六、九三
計 九、五、六、四、五三〇
 - (二) 日本銀行に償還すべき債務
日本銀行金買入法に依る債務 三、六、二、六、五七
兌換券條例に依る債務 三、〇〇、〇〇〇
計 三、六、五、九、五七〇
 - (三) 差引 七、七、四、四、九六〇
 - 二 朝鮮銀行より納付すべき利益 四、五、五、四、九
 - 三 臺灣銀行より納付すべき利益 三、五、五、三、二
 - 合計(資金總額) 七、七、四、四、九六〇
- 正金改正法案全文
【七四】二日議會に提出された橫濱正金銀行條例改正法案全文左の如し
橫濱正金銀行條例中左の通改正す
第十六條第二項但書を削り第三項を左の如く改む
大藏大臣に於て必要と思ふときはは前項の規定に依る副取取の外副取取一人を置き日本銀行理事をして之を兼ねしむることあるべし
頭取副取取及取締役の職權及責任は定款を以て定むべし
附則
本法施行の期日は勅令を以て之を定む
日本銀行條例第十七條中「四人を」を「五人」に改む
橫濱正金銀行條例第廿八條及日本銀行條例第廿五條の規定は之を本法に適用せず
日銀金融懇談會
【七五】日本銀行では三日正午結城總裁就

七月末國債現在額

大藏省發表 昭和十二年七月末現在に於ける國債額左の如し(單位千圓)

名 稱	六月末現在額	七月末現在額
五分利公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
甲種五分利公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
第一回四分利公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
第二回四分利公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
四分利公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
三分利公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
四分半利國庫債券	一、六六、九六六	一、六六、九六六
四分利國庫債券	一、六六、九六六	一、六六、九六六
三分半利國庫債券	一、六六、九六六	一、六六、九六六
內國債計	一、六六、九六六	一、六六、九六六
第一回四分利付英貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
五分利付英貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
第三回四分利付英貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
六分利付英貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
五分半利付英貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
南滿洲鐵道株式會社英貨債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
計(英貨債)	一、六六、九六六	一、六六、九六六
六分半利付米貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
五分半利付米貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
計(米貨債)	一、六六、九六六	一、六六、九六六
四分利付佛貨公債	一、六六、九六六	一、六六、九六六
外國債計	一、六六、九六六	一、六六、九六六
合計	一、六六、九六六	一、六六、九六六
外に大藏省證券	一、六六、九六六	一、六六、九六六
米穀證券	一、六六、九六六	一、六六、九六六

主要債券利廻微騰

大藏省調查 八月二日現在の主要債券平均利廻は四分二厘一毛七糸にして前

月に比し六糸方の微騰を演じたり

斯くの如く當月に於て輕微ながらも利廻の昂騰を見たるは公債債市が依然として開散不振の状態を脱せざるに如へ北支事變の勃發に因る警戒人氣を映して相場が概して軟調を呈したるためなるべし、唯國債利廻の昂騰が比較的大なりしは事變費の増徴を繰り市債の低降を來したることに因るものゝ如し

國 債	七月一日	八月二日
地方債	三、九三、四	三、九五、二
勸業債券	四、一八、一	四、一八、八
其他銀行債券	四、一八、一	四、一八、八
社 債	四、一八、一	四、一八、八
平 均	四、一八、一	四、一八、八

備考
本月調査に於ては繰上償還となりたる社債一種の差替へを行ひたり

短資市場變調

東京短資市場は越月後も強調を持續し六日に至つても翌日拂レイトは未だ始と八厘五毛一本に推移して居る狀態で目先月央を控へ乍らレイト引緩みも期待されず短資の變調は議會終了を待つて來週中に發行協定の北支事變費公債九千六百萬圓のシンデケート引受を前に重大視されるに至つた、而して此の短資市場變調の原因としては

- 一 七月末から八月初旬にかけての納税國庫移納が酒稅五千萬圓、所得稅一千三百萬圓に達して居ること
- 一 北支事變勃發に伴ひ手許準備を厚くするの必要に備へて手許準備を厚くしてゐること(五日繰越の日銀帳尻でも一般預金は昨年同日に比し一千五百萬圓増の六千五百萬圓となつてゐる)
- 一 政府支拂が特別議會會期中にあるため遲延を見せること

一生産力擴充強行の結果銀行筋の一般貸出は著しく増加してゐること(五日繰越日銀帳尻では昨年同日に比し一億八百萬圓増の一億六千八百萬圓に上つてゐる、而して本年七月十五日現在を

一月十五日現在との比に於て預金は三億一千萬圓増に對し貸出は三億八千萬圓増となり内二億五千五百萬圓は手形貨の増加で時局關係貸出の著増振りを物語つてゐる)

最近の公債市場の引締りは先月末に於ける地方流出資金の還流の滯滞となつてゐるが日銀勘定に於ても七月の月末資金支拂超過七千五百萬圓に對して八月初旬の受取勘定は四日現在で僅かに二千萬圓に過ぎずその原因が前記の如く從來と全く異つた事變關係の事情による點が特に注目されるところで事變費公債膨脹の折柄之が消化問題の上からも短資市場緩和に對する工作は最も急務とされてゐる

鮮米中當限取引停止

朝鮮取引所仁川米豆部では七日取引員組合緊急總會を開き時局の重大性に鑑み鮮米受渡の不圓滑と不穩當賣買を抑制するため自發的に當中兩限の新規取引を九日より停止することに決定、釜山米取引以下鮮内各米穀取引所でもこれに追隨する

本年度公債消化方針

本年度公債は事件公債の追加により總額十三億七千七百五十萬圓となつたが右公債消化に關し大藏省並に日銀當局の方針は大體左の如し

- 一 北支事件公債四億六千五百萬圓は國債引受シ團をはしめとし、民間の全金融機關を總動員して消化を圖ること
- 一 既定の十二年度公債九億六千五百萬圓に關しては從來通り日銀引受(二部預金部)發行とする

圓に關しては從來通り日銀引受(二部預金部)發行とする

なほ民間金融機關の協力消化に待つべき北支事件公債のうち第一回發行分九千六百萬圓は國債シ團の全額引受に決定してゐるので結局國債シ團加盟以外の生保、貯銀、普銀、信託等に對し具體的に公債消化協力を求めるものは殘餘の三億一千十萬圓である

正金コール吸收取止め

正金銀行では國債シ團引受による第一次事件公債九千六百萬圓の發行を控へ、政府並に特種方面の金融緩和に政策に順應して當分市中銀行より全然コールを吸收しない方針に決定短資緩和に協力することとなつた、即ち正金は年初來の入超累増により手許國庫資金は極めて豊富となり之を以て日銀返金はコールの返済に當てゐたもので、最近日銀借入金は勿論コール・マネーも著減を示してゐるが、それでも月央には多少年々流動物・ドルの吸收を行つてゐたところ、今後は協定物と協定外物とを問はず一切コールを取らぬことになつた

東株の市場對策

東株では九日杉野理事長外各役員參集、市場對策につき協議、今後の事態に依つて當限受株の引受シンデケートの結成等も考慮する必要があると杉野理事長、濱山短期委員長兩氏は直ちに結城日銀總裁並に實業興銀總裁を夫々訪問之日援助方を懇請した、實業興銀總裁は今後の事情の推移について充分東株側と聯絡を執り必要の場合には充分援助する旨を約した

七月末現在預金部狀況

大藏省發表 七月卅一日現在預金部狀況左の如し(單位千圓、△印減)

種 別	金 額	七月十五日現在高ニ比シ増減
郵便及振替貯金	三、六六、九六六	△
復興貯蓄債券收入金預金	一、六六、九六六	△
其他特別會計	一、六六、九六六	△
預金部總計	一、六六、九六六	△
預金部收入金	一、六六、九六六	△
預金部支出金	一、六六、九六六	△
合 計	一、六六、九六六	△
種 別	金 額	七月十五日現在高ニ比シ増減
國債證券	一、六六、九六六	△
四分利付支那債	一、六六、九六六	△
券元利補償證書	一、六六、九六六	△
外國國債證券	一、六六、九六六	△
地方債證券	一、六六、九六六	△
勸業債券	一、六六、九六六	△
其他債券	一、六六、九六六	△
貸付金	一、六六、九六六	△
在外預金	一、六六、九六六	△
預金部支出金	一、六六、九六六	△
合 計	一、六六、九六六	△
種 別	金 額	七月十五日現在高ニ比シ増減
新 設	一、六六、九六六	△
増 資	一、六六、九六六	△
社債新規	一、六六、九六六	△
社債償換	一、六六、九六六	△
減 資	一、六六、九六六	△
解 散	一、六六、九六六	△

七月中事業別資本調

大藏省調查 七月中株式會社事業別資本調左の如し(單位千圓)

東京社員銀行週報

【△】 七日現在東京手形交換所週報に於ける社員銀行諸勘定左の如し(單位千圓△印減)

△預金	
當座預金	三、五七三
別特當座預金	三、四六六
通知預金	三、四六六
定期預金	三、四六六
諸預金	三、四六六
合計	三、四六六
△貸出金	
割引手形	三、四六六
手形貸付	三、四六六
當座貸付	三、四六六
當座貸越	三、四六六
合計	三、四六六
△貸入金	
割引手形	三、四六六
手形貸付	三、四六六
當座貸付	三、四六六
當座貸越	三、四六六
合計	三、四六六

△負債の部	
資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

△資産の部	
拂込未済資本金	七、日現在
現金及地金	七、日現在
金貨及地金	七、日現在
其他	七、日現在
割引手形	七、日現在
政府法定貸金	七、日現在
政府一時貸金	七、日現在
貸付金	七、日現在
外國爲替貸金	七、日現在
代理店勘定	七、日現在
政府勘定特殊現金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
其他	七、日現在
合計	七、日現在

△負債の部	
資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

△資産の部	
拂込未済資本金	七、日現在
現金及地金	七、日現在
金貨及地金	七、日現在
其他	七、日現在
割引手形	七、日現在
政府法定貸金	七、日現在
政府一時貸金	七、日現在
貸付金	七、日現在
外國爲替貸金	七、日現在
代理店勘定	七、日現在
政府勘定特殊現金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
其他	七、日現在
合計	七、日現在

△負債の部	
資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

△資産の部	
拂込未済資本金	七、日現在
現金及地金	七、日現在
金貨及地金	七、日現在
其他	七、日現在
割引手形	七、日現在
政府法定貸金	七、日現在
政府一時貸金	七、日現在
貸付金	七、日現在
外國爲替貸金	七、日現在
代理店勘定	七、日現在
政府勘定特殊現金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
其他	七、日現在
合計	七、日現在

△負債の部

資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

資本金	七、日現在
積立金及損益金	七、日現在
發行兌換銀行券	七、日現在
政府預金	七、日現在
政府當座預金	七、日現在
其他	七、日現在
一般預金	七、日現在
小額紙幣準備	七、日現在
合計	七、日現在

爲替局に參與新設

【△】 大蔵省では輸入爲替許可制實施以來爲替取得認可等に關し貿易業者側の非難が多いのに鑑み近く爲替局に參與制を新設し日銀、正金、貿易業者等民間側の爲替實務提出者約十名を囑託、重要事項につき隨時諮問を行ひ實施の圓滑を圖ることとなつた

【△】 紡績聯合會調査日本上半年期中の紡績會社操業消費高は一一、二九四千圓、前年下半期の二〇、一四四千圓に比し九、一五〇千圓の増加を示した昨年下半年に於て貯藏特需したアフリカ棉ラジル棉減少の外は米棉、支那棉、ラングーン棉の増加が注目される、内譯左の如し(單位千圓)

上半期繰棉消費高増加	
紡績聯合會調査	日本上半年期中
紡績會社操業消費高	一一、二九四千圓
前年下半期	二〇、一四四千圓
比し	九、一五〇千圓の増加
昨年下半年に於て	貯藏特需したアフリカ棉
ラジル棉減少の外は	米棉、支那棉、ラングーン棉
の増加が注目される	内譯左の如し(單位千圓)

上半期繰棉消費高増加	
紡績聯合會調査	日本上半年期中
紡績會社操業消費高	一一、二九四千圓
前年下半期	二〇、一四四千圓
比し	九、一五〇千圓の増加
昨年下半年に於て	貯藏特需したアフリカ棉
ラジル棉減少の外は	米棉、支那棉、ラングーン棉
の増加が注目される	内譯左の如し(單位千圓)

上半期繰棉消費高増加	
紡績聯合會調査	日本上半年期中
紡績會社操業消費高	一一、二九四千圓
前年下半期	二〇、一四四千圓
比し	九、一五〇千圓の増加
昨年下半年に於て	貯藏特需したアフリカ棉
ラジル棉減少の外は	米棉、支那棉、ラングーン棉
の増加が注目される	内譯左の如し(單位千圓)

上半期繰棉消費高増加	
紡績聯合會調査	日本上半年期中
紡績會社操業消費高	一一、二九四千圓
前年下半期	二〇、一四四千圓
比し	九、一五〇千圓の増加
昨年下半年に於て	貯藏特需したアフリカ棉
ラジル棉減少の外は	米棉、支那棉、ラングーン棉
の増加が注目される	内譯左の如し(單位千圓)

海運自治強化策議決

【△】 海運界における未嘗有の船體廢止に對して政府の外船沿岸航路特許制度認可と併行し船主側海運自治聯盟並に日本船主協會においても三日夫々理事會及び海事政策委員會を開設、海運自治の強化を最緊要事項として左の項目に互り原則的方策を議決した

△海運自治聯盟
一 海運界(殊に不定期船)における運賃及び船舶料は最廉の度あり依つて聯盟七社代表者によつて組織した委員會において船舶の性能その他を考慮の上現在の料率に準據し現在以上の昂騰を來さざるやう公正なる運賃船舶料を決定す

一 船舶不足の匡救については船舶統制と併行して船積貨物の統制を要す、依つて荷主側の時局認識とその協力を求め船積の要不要急不急を決定、市場の拂拂混亂を極力回避す
△日本船主協會
一 船主側においては運賃船舶料の暴騰を避けるため自治統制に協力し港灣設備改良、税關手續簡易化など一般海事行政に關しては政府當局に陳情す
一 海運自治強化達成のため未加入會員九十社約廿三萬噸に對して加入を勸誘場合によつては強制組合の形式を採用す

△人絹バルブ統制協會要綱
【△】 人絹聯合會ステイブル・フアイバー同業會並に人絹バルブ同業會は既に合同委員會に於て決定し人絹バルブの統制機關設置案に關し三日再協議した結果最終的案を得たので當局の諒解を得た上人絹バルブ統制協會を大阪に設置することとなつた、バルブ統制協會要項左の如し

一 輸入人絹バルブの配給統制を目的とし人絹聯合會ステイブル・フアイバー同業會、人絹バルブ同業會の二團體を以て人絹バルブ統制協會を設置す
一 統制協會の委員制當はバルブ同業會四名、人絹、ス・フ同業會各三名とす
一 バルブ輸入の際に於ける信用狀發行申請には統制協會の承認を要するものとす

一 人絹、ステイブル・フアイバー生産各社への割當は人絹、ス・フ同業會の決定に基く基準により各社加盟の母體團體が之を行ふ

七月中綿糸出來高減少

【△】 紡績聯合會調査七月中の綿糸生産は三十三萬八千三百七十一個で前月に比し三千九百個を減少した、日數から言へば操業が一少くつたのと季節的關係で五、六千個の減産が豫想されてゐたが七月より操業率が二分四厘緩和された爲め減産量を此の程度に喰ひ止めた譯で、廿番手の増加は採算關係によるものである内譯左の如し(單位個△印減)

七月中綿糸出來高減少	
紡績聯合會調査	七月中
綿糸生産	三十三萬八千三百七十一個
前月	三十三萬八千三百七十一個
比し	三千九百個の減少
日數から言へば	操業が一少くつたのと季節的關係
で五、六千個の減産が豫想されてゐたが	七月より操業率が二分四厘緩和された爲め
減産量を此の程度に喰ひ止めた譯で	廿番手の増加は採算關係によるものである
内譯左の如し(單位個△印減)	

七月中綿糸出來高減少	
紡績聯合會調査	七月中
綿糸生産	三十三萬八千三百七十一個
前月	三十三萬八千三百七十一個
比し	三千九百個の減少
日數から言へば	操業が一少くつたのと季節的關係
で五、六千個の減産が豫想されてゐたが	七月より操業率が二分四厘緩和された爲め
減産量を此の程度に喰ひ止めた譯で	廿番手の増加は採算關係によるものである
内譯左の如し(單位個△印減)	

七月中綿糸出來高減少	
紡績聯合會調査	七月中
綿糸生産	三十三萬八千三百七十一個
前月	三十三萬八千三百七十一個
比し	三千九百個の減少
日數から言へば	操業が一少くつたのと季節的關係
で五、六千個の減産が豫想されてゐたが	七月より操業率が二分四厘緩和された爲め
減産量を此の程度に喰ひ止めた譯で	廿番手の増加は採算關係によるものである
内譯左の如し(單位個△印減)	

七月中綿糸出來高減少	
紡績聯合會調査	七月中
綿糸生産	三十三萬八千三百七十一個
前月	三十三萬八千三百七十一個
比し	三千九百個の減少
日數から言へば	操業が一少くつたのと季節的關係
で五、六千個の減産が豫想されてゐたが	七月より操業率が二分四厘緩和された爲め
減産量を此の程度に喰ひ止めた譯で	廿番手の増加は採算關係によるものである
内譯左の如し(單位個△印減)	

七月中綿糸出來高減少	
紡績聯合會調査	七月中
綿糸生産	三十三萬八千三百七十一個
前月	三十三萬八千三百七十一個
比し	三千九百個の減少
日數から言へば	操業が一少くつたのと季節的關係
で五、六千個の減産が豫想されてゐたが	七月より操業率が二分四厘緩和された爲め
減産量を此の程度に喰ひ止めた譯で	廿番手の増加は採算關係によるものである
内譯左の如し(單位個△印減)	

七月の人絹生産高

【△】 人絹聯合會發表七月加盟各社人絹生産高は合計二九四、六七六個で前月に比し一五、八八二個を激増し、新記録を示現するに至つたが右は七月から操業率が一分五厘緩和されたのと操業日數が前月に比し一日多かつたため市場方

【△】 人絹聯合會發表七月加盟各社人絹生産高は合計二九四、六七六個で前月に比し一五、八八二個を激増し、新記録を示現するに至つたが右は七月から操業率が一分五厘緩和されたのと操業日數が前月に比し一日多かつたため市場方

【△】 人絹聯合會發表七月加盟各社人絹生産高は合計二九四、六七六個で前月に比し一五、八八二個を激増し、新記録を示現するに至つたが右は七月から操業率が一分五厘緩和されたのと操業日數が前月に比し一日多かつたため市場方

【△】 人絹聯合會發表七月加盟各社人絹生産高は合計二九四、六七六個で前月に比し一五、八八二個を激増し、新記録を示現するに至つたが右は七月から操業率が一分五厘緩和されたのと操業日數が前月に比し一日多かつたため市場方

【△】 人絹聯合會發表七月加盟各社人絹生産高は合計二九四、六七六個で前月に比し一五、八八二個を激増し、新記録を示現するに至つたが右は七月から操業率が一分五厘緩和されたのと操業日數が前月に比し一日多かつたため市場方

【△】 人絹聯合會發表七月加盟各社人絹生産高は合計二九四、六七六個で前月に比し一五、八八二個を激増し、新記録を示現するに至つたが右は七月から操業率が一分五厘緩和されたのと操業日數が前月に比し一日多かつたため市場方

面の観測では大體卅萬噸と豫想してゐたが夏季減産期に入り右數字に達しなかつたものである(單位百封度)

普通糸	特殊糸	合計
二〇〇	六〇〇	八〇〇
以下	六〇〇	六〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇
二〇〇	六〇〇	八〇〇

前月に比し増減無し
一月以降累計
前年同期累計
月末在荷高
前月比増
月末据付繰數
前月に比し増減無し

六月中綿織物産額減少
〔六〕 商工省発表 昭和十二年六月の本邦綿織物産額概況左の如し
(單位千圓△印減)

一 總産額	本月	前月比較
總 産 額	九八・五	△
廣 幅 物	六・五	△
小 幅 物	八・四	△
特 殊 物	六・六	△

増設分羊毛割當基準
〔六〕 △羊毛工業會では七次期羊毛年産の割當に關し特別委員會を開いたが、増設分に對する割當基準を左の如く決定

一 八月に完成するものは十月より七十七パーセント、九月完成の分は十一月より六十五パーセント、十月以降十一月迄の分はそれより毎月十パーセント

づゝ累加する、なほ明年一月より廿五パーセントを割當てる
二 六月を経過毎に廿五パーセントを加増し百パーセントを以て止める
三 割當參加の機械にして届出期間に達したものは過意金として割當て羊毛一俵につき百圓を貸付協會において徴收する

日本鋼管鐵鑛山買収

〔七〕 日本鋼管のニューカレドニアに於けるロペール氏所有鐵鑛山買収交渉は七日成立新會社設立の承認を得た同鐵鑛山の埋藏量は約二千萬噸、品位は五十乃至六十パーセントと言はれる

近海運賃標準率決定

〔八〕 海運自治聯盟、日本船主協會、神戸船主會、日本海運集會所、神戸海運業組合の五團體では九日聯合協議會を開き我が海運界最初の近海運賃標準率を決定決定海運統制の第一歩に乘出した

一 近海運賃標準率
イ 北洋材、數香横内地太平洋岸場白石につき四百圓
ロ 石炭、窒素、横濱間噸當り五圓若松、横濱間噸當り五圓
二 標準船料大型船一重噸噸當り七圓五十錢

人絹織物生産割當二割減
〔九〕 人絹工聯では北支事變による需給變調に鑑みきき決定した十月分生産割當數量二百九十八萬九千反につき再檢討を加へた結果左の如く總計二百四十四萬七千反と約二割方減少することとなつた(單位千反)

第一種 (一平) 五九五
第二種 (二平) 二九三
第三種 (緩シユス) 一七四

第四種 (紋織)	一四九
第五種 (別紋)	二九三
第六種 (ボーイ)	二二二
第七種 (チリメン)	二九二
第八種 (チリメン柄)	二六七
第九種 (壁)	二二二
第十種 (先染)	二二二
第十一種 雜織	九
計	二、四四七

八月一日米穀現在高
〔一〇〕 農林省発表 本年八月一日現在米穀現在高青森外十五地方の分差の如し
(單位石△印減)

地方名	前年同期比較増減
青森	一五・八
茨城	二七・八
栃木	一五・八
新潟	二七・八
石川	二七・八
福井	二七・八
岐阜	二七・八
滋賀	二七・八
山根	二七・八
山口	二七・八
香川	二七・八
愛媛	二七・八
高知	二七・八
宮崎	二七・八
沖繩	二七・八
計	二、四四七

備考
一 新潟、石川及山根の分には米穀事務所倉庫所在のものを含む
二 本表には國有鐵道の貨車に在る米穀は之を含まず右は追て發表するものとす

盟外社次期羊毛割當

第一種 (一平) 五九五
第二種 (二平) 二九三
第三種 (緩シユス) 一七四

〔一一〕 羊毛輸入統制協會では十日甲子團ホテルにアウトサイダー(紡毛業者)との合同委員會を開催、来る九月一日より明年八月末日に至る次期年度に適用すべき羊毛輸入割當比率につき協議した結果アウトサイダーの新増設を相當承認することとなり今期に比し一割増量承認統制協會加盟社二・五%(今期九・五%)、アウトサイダー七・五%(今期六・五%)と決定した

製紙及バルブの報告を命ず
〔一二〕 商工省では供給不足による新聞紙等の暴騰に鑑み獨占對紙に對し重要産業統制法第四條の規定により新聞用紙及バルブの毎月の生産高、輸移出入高、供給高、供給契約の内容等につき報告を命じた

物 價

七月中東京卸賣物價概況
〔一三〕 日銀調査 七月の東京卸賣物價指數は北支事變の勃發に因り食料品、金屬類、燃料、肥料等が騰貴したが一方纖維類、低劣品に依り總平均指數に於ては三八・九と前月に比し三厘方の騰貴を示した
主要品目の騰落割合は左の如くである
△主要品目騰落割合(△印低減)

品名	前月比較	前年同期比較
内地米	〇・七%	二・六%
大 麥	五・〇	一五・八
小 麥	六・〇	一一・〇
滿洲大豆	三・六	四・六
大豆粕	五・三	九・七
粕 硫	一・〇	二・八

荷 安	一・〇	二・八
分 蜜	〇	二・六
生 糸	三・九	二・〇
米 糶	六・〇	六・八
綿 糸	六・六	二・〇
金 巾	九・三	二・九
天 竺	五・六	一・四
毛 糸	四・二	六・五
人造絹糸	五・八	二・六
銑 鐵	九・九	五・四
鋼 鐵	一・〇	一五・〇
石 炭	六・三	一七・四
バルブ	五・五	七・三
生 ゴム	四・二	二・一

世界四大都市卸賣物價
〔一四〕 日本銀行調査 七月中の世界四大都市卸賣物價指數左の如し
(但しパリの指數は六月分を前月に比較△印下落)

品名	七 月	前月比較
東京	八・八	〇・〇%
倫敦	三・九	〇・〇%
紐約	三・五	△〇・〇%
パリ	五・〇	〇・〇%

六月中三都市貨銀昂騰
〔一五〕 商工省調査 六月に於ける全國三都市貨銀指數(昭和九年四月乃至翌年三月の一個年平均貨銀を二・〇として純算平均の方法に依り算出せるものは總平均一〇・七・七にして之を前月の一〇・七・一に比すれば〇・六・六前年同月の一〇・〇九に比すれば〇・六・七の各昂騰に當る調

九に比すれば六・七の各昂騰に當る調

次に各産業種別に前月に比較するに被服及身廻品製造業、金工工業、機械器具工業、仙臺、廣島、東京の順位に依る三都市に於ては仙臺の〇・五%を最高とし東京の〇・一%を最低として何れも低下を示せり

【六六】日銀調査「五月分労働人員指數は」

民營工場一七・二（大正十五年基準）
 營工場二〇・六にして前月に比し天々
 〇・六、二・七の上昇を示せり今民、比
 工場重要事業十七種に就て前月との比較
 を觀るに讓讓品事業、飲食物工業外四種
 種に於て微差を有る餘餘の諸事業は孰れ
 も上昇し、就中機械製造業、船舶製造業
 器具製造業、金屬品製造業、窯業人造
 料業にありては稍々顯著なる上進を告げ

場八一・八官營工場九七・〇にして労働人員増加に拘らず昇給ありたる爲め前月に比し夫々〇・五%、〇・二%の微騰、實收賃金は民營工場九五・八にして物價騰貴に對する賃金値上又は臨時手當支給の工場増加せる爲め前月に比し〇・九%最騰せるが官營工場にありては一〇五・六にして労働人員増加と前月一部工場に於ける賃金計算期間の變調が平調に復しんとに因り前月に比し三・五%の低添を示せり、更に前年同月に比すれば定額賃金は賃金値上の爲め民營工場一・五%、官營工場〇・三%と夫々上騰し、實收賃金は民營工場にありては主として物價騰貴手當支給の爲め五・三%、官營工場にありては主として一部工場に於ける賃金計算期間變更の爲め一・三%と夫々上昇を告げたり

上旬對外貿易

【八・二〇】大藏省發表「八月上旬對外貿易概算」の如し（單位千圓）

八月上旬		前旬	
輸出	七、三三	三三、〇三	
輸入	五、四三	二八、八六	
合計	一、九〇	三〇、一六	
入超	三、五二	七、五三	

尙一月以降累計左の如し(單位千圓)

本年		前年	
輸出	三三、〇三	二八、八六	
輸入	五、四三	三〇、一六	
合計	一、九〇	三〇、一六	
入超	三、五二	七、五三	

△輸出		前旬對比増減	
生糸	三、〇六五	△	五〇
人絹織物	四、〇八五	△	二六〇
絹	一、〇〇二	△	二、〇七六
機械類	一、二五五	△	二、二六七
罐頭詰料品	一、二六九	△	四、二〇八
絹織物	一、五〇〇	△	六〇〇
メリヤス製品	一、七三三	△	七六六
毛織物	二、二六六	△	五五
植物油	六〇〇	△	一五五
陶磁器	一、〇四四	△	一、一四四
鐵製品	六五四	△	一、二六一
綿織糸	七五五	△	一、二五八
玩具	一、〇〇一	△	一、五五五
人絹糸	三三三	△	一、二七九
紙類	二五五	△	八五五
木材	七五七	△	二五五

△輸入	二、六五	△九、九六
棉花	二、四三	△三、三三
羊毛	二、四〇七	△八、四六
鐵	七、六四	△一、七五
原油及重油	二、六七	△一、〇八
機械類	一、八六	△一、四〇
豆類	二、四四	△一、五八
生ゴム	二、四四	△一、五八
バルブ	二、六六	△一、三三
計	三、八五	△四、二〇
其他	三、九六	△四、二〇
小麥粉	三、六	△四、二〇
帽子	三、二	△四、二〇
靴類	三、二	△四、二〇

小麥	二四	△	五五
揮發油	五五	△	一五五
銅	一四〇	△	四〇
麻類	二四	△	一〇五
砂糖	六九	△	二五
其他	三〇七	△	八四四
計	六八	△	四三五
尙數量在の如し單位百斤			
輸出生糸	一五、五三	△	五五
輸入棉花	二〇〇一	△	二八五
上旬地方別對外貿易			
【△△】 大藏省發表八月上旬本邦對			
貿易地方別概況左の如し(單位千圓)			
港別	輸出	輸入	入、出超
内地			
橫濱	一五、五五	二五、四四	△一〇
神戸	二六、五三	二六、四三	△一〇

大 阪	三、四〇〇	三、七〇七	△八七
長 崎	一、四〇〇	△八四	△八七
門 司	一、六〇〇	六、三三六	△四、八〇
函 館	七、四〇〇	五	△
名古屋	三、一七	二、六六	△
其ノ他(樺太含)			
旬 計	四、六九	七、三三	△三、〇
一 月 以 降 累 計	七、九七	七、八元	△三、〇
其 他	一、八六〇、〇三	三、五五、一四	△七、八
朝 鮮	二、八七	四、〇一	△一、
臺 灣	七、九	六、四	△
旬 計	三、六六	四、四四	△

前年同旬
一五五七五 一八五八四 二五九七六

人 事

日 銀 人 事

【六四】

神戶支店長 岡野 清麿
免依願神戶支店長 新木 榮吉
紐育代理店監督役 岡山支店長 小林正一郎
命歸朝 岡本 初雄
命紐育代理店監督役 文書局次長
命廣島支店長 國債局次長 石橋 義雄
命松江支店長 松江支店長 加翠 廣

命岡田支店長	廣島支店長	命神戸支店長	命國債局次長(調宣役)	命文書局次長(調宣役)
下村	井上	書記	書記	渡邊
如滑	敏求			忠雄

日本銀行理事 司城 元義
大阪商船社長 村田 省庵
株式會社日本興業銀行參與理事會 命才

世界教育會議

第七回世界教育會議

前夜を飾る歓迎音楽會

【六】世界教育會議の序曲、東京音楽學校長招待の歓迎音楽會は一日午後八時から帝劇に催された。觀世左近氏の能樂高砂ついで稲葉家四郎氏の長唄舞踊、越後獅子、宮城道雄氏の箏曲、箏協奏曲第一「樂章」が演奏され休憩後洋樂に移り橋本國彦氏指揮の序曲「レオノレ」更に三百人の混聲合唱があつた後歌劇「タンホイゼ」で豪華な幕を閉じた。

會議開幕

【七】第七回世界教育會議は二日午前十時半から東大で華々しく開會された。モンロー議長以下世界各國代表及び日本代表千餘名は今朝七時半明治神宮に参拜、意義深い開會の奉告を行つた。この會議場には參集大學專門、放送教育、學校衛生、就學前並びに幼稚園、綜合教育、地理教育、工藝教育の七部會に入り論議はすべて日本餘音株式會社の手で録音された。會議後各代表は上野府美術館に於いて開催中の現代美術展覽會及び帝室博物館の古代美術展覽會を參觀し、一部の希望者のみは京橋區木挽町六ノ六の花柳壽輔氏の稽古場を訪ねて優雅なる日本舞踊を觀賞更に全員三千五百餘名は揃つて午後四時から東大講内懷德館に於ける長與東大總長永田帝國教育會長共同主催の招待園遊會同しく四時から小石川後樂園に於ける館東京府知事、小橋東京市長共同主催の園遊會招待に臨み更に午後八時から東大

安田講堂に於いて第一總會を開催した。

【八】會議第二日は三日午前九時から開催、ジョルダン委員會を除いて第一日の八部會の外に教育養成、農業教育の二部會を加へて十分科會が一齊に開講したが最も盛況なのは初等教育部で出席者八百餘名彼等の代表交々起つて兒童教育につき熱辭を述べた。また丸の内明治生命館で行はれた近代教育の最新端をゆく放送教育部會では一般の討論の外に日本放送協會提供のトーカー「日本に於ける教育放送」と英國代表サマーマー・ビルズの攜帶してきた學校放送に關する各種レコードが非常な注目を集め午後からは生花展覽會や小學校等を見學後府知事、市長並に東大總長、帝國教育會長主催の招待園遊會に臨み午後八時から歌舞伎座に催された安井文相招待の觀劇會に集り、所作「沈黙」操三番奥の日本古典劇の粹に恍惚僅れの「カブキ」を満喫した。

國際放送

【九】三日午前六時四十五分から十五分間AKスタヂオからNBCに依り世界教育會議の講演が全米に中繼された。相村アナウンサーの英語による會議報告に次いで、世界教育會議會長ポール・モンロー氏が東京で示された日本各地方の好意と親切に謝意を表し、教育國日本の熱意を傳へ、最後に米國教育聯盟事務總長セルマ・ボーチヤート嬢が美しい聲で日本の女子教育を讃へこの會議が日米親善の楔たらんことを希望して放送を終つた。

會議第三日

【一〇】會議第三日は四日午前九時から東大、二號館に開催成人、理科、中等の

三教育部に、家庭及び學校部の新部門を加へて計七部會が開講され成人教育部會では水野文部省社會教育司とアメリカ代表ジェームス・A・モイヤー博士がこもゝ演壇に立ち華やかな日米論戰が注目を惹き又中等教育部は出席者七百名にも及ぶ盛會でドイツ代表グル博士が獨逸語でナチス治下に於ける義務教育制度に關する講演から國際間の學生交換を提唱した。初等教育部では「日本の小學校に於ける珠算」に於いて全國一の稱あつた深川區平野町明川高等小學校一、二年生從男女六十五名が展開した珠算の妙技に外人連はワンダフルを連發盛んな拍手を浴せ大成功であつた。夜は八時から安田講堂で第二總會を開催モンロー議長司會のもとに教育を通じて國際親善の促進と、演壇のもとに日本の樺山愛輔伯、ドイツのシュルツ、印度のシヌサデリ、米國のヒューストンの四代表が交々立つて平和論を高唱、同十時散會した。尙中央醫藥協會ではこの日午後一時から帝國ホテルでモンロー博士外國代表に對し縱四尺横六尺の絹綢星條旗四百五十枚を贈つた。

新理事に大島氏

【一一】世界教育會議理事會は四日午前九時より東大安田講堂に開かれモンロー會長以下各理事參集會議の結果現在十七名の理事を更に二名増員する事に決定、一人は日本側から選ばれた事となり第七回會議事務總長大島正徳氏に決定した。

代表一行議會傍聴

【一二】モンロー博士など各國代表廿餘名は四日午後三時半から約州分間第一議員俱樂部の笠井章治氏の案内で議員學を

會議第四日

【一三】會議第四日は五日午前九時から東大第一第二號館に續開教育法規、教員會映畫教育の三部門を新に加へて八分科を開催、注目したハーマン・ジョルダン委員會で立大教授根岸由太郎氏は日本は眞實に平和を愛好する國民なることを論じ外國代表を傾聴せしめた。午後零時半からは珠算の競技會を再開、外人にそろばんを興へて講習會を開演映畫教育部では明治生命館に於て各國から持ち寄られた百餘種の教育映畫を上映した。

物故教育者追悼會

【一四】五日午後六時から築地本願寺に國際佛教協會主催で世界教育會議代表が参列して數かな物故世界教育功勞者追悼會が催され同協會々長井上哲次郎博士が追悼の辭を述べ築地本願寺輪番番僧德忍師が導師となつてしめやかな法要が営まれた。

會議第五日

【一五】會議第五日は六日午前九時より東大安田講堂に於て世界聯合教育會議會を開催モンロー會長が議長となり八百餘の内外代表出席今回の會議に於いてわが帝國教育會及び新聞通信をはじめ協力諸團體諸機關の熱誠なる援助を謝し日本國民の熱意を感謝する決議は全員總起立を以て迎へられその他現下の國際不安の時局を反映して高等學府に世界平和講座設置の件が提案されこれを何らかの形に於いて設置すること、國際學生會館が世界學生の親善を促進する効果があるところからこれを世界主要都市に設けること、各國の教育映畫又は學術レコード等の資料を自由に各國が交換する目的を以てその配布のため國際交換局を設けること等

を決議正午總會を終へ午後から委員會に入り次回大會開催地決定を繞つて北米サンフランシスコ、ワシントン、ニューヨーク或は又南米、フイリッピン等候補者がそれぞれ自己推薦の辭を振つたが結局アメリカ委員會に持越しとなつた。

外人代表能樂觀賞

【一六】歡迎攻めの會議代表は六日午後四時からの霞ヶ關離宮に於ける外務大臣招待園遊會に臨んだ午後七時から華族會館で催された國際文化交流與會主催の能樂を觀賞した。

會議終幕

【一七】第七回世界教育會議は七日を以てその豪華な幕を閉じた。午前九時教育法規部以下七つのサナラ部會が開かれ理科教育部では植物學の權威三宅騏一博士の「朝顔」についてのレクチャーに卓絶した今村明恒博士の「地震の語世界に卓絶した我國地震理論は外國代表を傾聴せし更に家庭及學校部では大日本婦人聯合會三條西信子夫人が日本の母の代表として日本母性について熱辭を述べ午後二時から早大武蔵館並に講堂に弓、劍道、薙刀、柔道等の壯烈な武道が催された。

副會長に大島正徳氏

【一八】七日開催された世界聯合教育會議理事會に於て役員の改選が行はれ大島正徳氏が副會長に就任した。

教育會議新役員

【一九】世界聯合教育會議新役員は七日の理事會に於て左の通り決定した。

會長 ポール・モンロー博士(留任)

事務總長 ウェル・W・ラムキン氏(留任)

副會長 (歐洲代表)

G・R・バーカー氏

教育會議閉會式

【アメリカ代表】
セルマー・ボーチャード嬢
【アジア代表】 大島正徳氏

【本報】我が國最初の豪華な國際會議第七回世界教育會議は八日午後八時から東大安田講堂に開催された、第三總會を開會式として大成功裡に終了を告げた、此の夜の送別總會には重寶を果したモノロー會長がチエアマンとして開會の挨拶を述べ會議の成功と日本朝野の厚き援助を謝せは次いで英國代表ハントリー氏フリスツピン代表ソブレナー博士を始め紅一點アフリカ代表グラヴィス女史も交へて七ヶ國代表が交々起つて感激的スピーチを行ひ最後に我が永田帝國教育會々長は病軀を押して演壇に立ち主權國を代表して日本語で各國の會議に於ける熱意と國際親善を強調して語を結び滿場の拍手を浴びて降壇、式を閉じた

代表に日本の立場を闡明

【本報】日本國際協會では刻下の日支事變に關する日本の正當な立場を汎く世界の人士に知らせる目的から八日午後八時半華族會館に教育會議代表並に一般在留外人を招待、米國カリフォルニア大學東洋史教授中川健氏を講師として講演會を開き正しい日本の立場を闡明すると同時に現地ニュース映畫を上映外事協會で出版した事變經過の英文パンフレットを配布した

文 化

第二部審査員は十二氏

【本報】文展審査員受諾の去就を決める第二部審査總會は一日午後六時半から明治生

命ビル、マープルで開催された、辻水、中村研一、太田三郎、鈴木千久馬氏等并

來年度まで靜觀の態度をとることに決定審査員受諾は會員個人の意志に任することになった、これによつて鈴木、小林、辻中村、田邊、中野、伊原の六氏の審査員受諾は確實となつたが事實上第二部審査退の牧野、金山兩氏は受諾せずこの外第二部では藝術院會員安井曾太郎氏は受けず同南蕨道氏も一應拒否してゐるが當局は殊に南氏に對しては第二部審査主任に擧げてゐるだけに尙一縷の望みをかけ願意につとめてゐる、從つて第二部では既に審査員を受諾した林俊衛、長谷川昇、齋藤興里、鈴木千久馬、川島理一郎の五氏に受諾確實な前記六名を加へて一先づ十二氏が就任することになるわけである

宗教各派大同團結

【本報】國を擧げての餘後の赤誠に佛教、神道、基督教の宗教家達も團結して「精神親親大同聯盟」を結成二日午後六時から大阪ビル、レインボー・グリーに發會式を催した、皇典講究所主事小林十郎全國神職會江見、明治神宮權宮司、秋岡保治、日本基督教聯誼會幹事海老澤亮、日本バプテイスト教會常置委員長千葉勇五郎、大正大學長桂尾輝臣博士、眞宗本願寺派立上昭然、曹洞宗教務部長長村洞麟、印度獨立協會ボース天來等諸氏全國の宗教界各方面の代表等約百名出席會長の一條實孝公、理事長に國學院大學教授堀江秀雄氏を推挙してお坊さんも神主さんも牧師さんも「皇道日本の大義に則る精神親親」を誓つた、今後國防に關する研究調査、講演會、講習會の開催、機關紙の發行、神宮神職團體の神道、基督教佛教各派其他との密接な連絡提携を行ふ等である

萬國博承認申請

【本報】萬國博覽會日本開催に就いては巴里にある萬國博覽會國際事務局の正式承認を得なければならぬので藤原同博會長は三日外務省を通じて博覽會國際事務局長モリス・イサツク氏に宛てて申請狀を發送した

マデス氏に勳章贈與

【本報】畏き過りではベルギー國リエージュ駐在帝國名譽領事マデス氏此度退官したるにつぎ六日左の如く勳章贈與の御沙汰あつた

リエージュ駐在帝國名譽領事
ベルギー國人
アルマン・ポール・マデス
贈與勳四等瑞寶章

里見勝藏氏脱退

【本報】秋のシーズンを前に獨立美術協會の内紛問題が傳へられてゐたが山心人物の一人里見勝藏氏は六日同會を脱退した

日本文化中央聯盟結成

【本報】日本文化中央聯盟は八日午後二時大阪ビルのレインボー・グリーに結成會を開催、發案者の松本學氏、理事長小山松吉氏その他關係者約廿名出席、新聯盟の事業遂行を打合せ又會長に島津忠重公、理事に潮惠之輔氏、酒井忠正伯、監事に樺山愛輔伯等が決定、更に參與として近衛首相、廣田外相を推し總裁に皇族を奉戴して來る九月下旬盛大な發會式を舉ぐることを等を決議同四時散會した、同聯盟ではその組織の中に我が國文化藝術思想、産業其の他官廳並びに諸團體の代表者約五百名を評議員に又藝術に携はる諸名士を個人の資格で參與評議員に招じ從來個々に活動してゐた文化運動を連絡提携し

て行はうとするもので既に文部省から年額十五萬圓の補助金も交付されることになつてゐる

新彗星發見

【本報】コペンハーゲン天文臺は去る四日新彗星において光度十三度の新彗星を發見した旨七日京都花山天文臺に入電があつた、これは本年に入つて七回目の發見である

啓明會援助事業決定

【本報】特殊の學術研究調査發見に援助する財團法人啓明會は九十二年度援助事業として十一件、二萬五千七百八圓を決定したがその中興味あるものは醫學博士長與又郎同村祐之英同研究「傑出入腦の研究」で本邦人と歐米人の頭腦の優劣を比較検討し特に本邦の傑出人桂太郎、濱口雄幸、夏目漱石の諸氏の腦を歐米傑出入腦と比較本邦人の優劣を立證しやうとするものである、その他の補助事業は佐藤清一郎醫師、肺膿瘍の實驗的研究長岡平太郎理博「伊能忠敬著、測量日記の出版」、大岡實工學士「日本壁の研究」、眞野文二日本工學會理事長「工業用語統一の調査」、小野武夫農學博士「日本農民史料集解出版」、岡實富氏協會理事長「昭和農業發達史料」、村上直次郎文庫「那蘇圖日本年報研究續編」、神田正雄「湖南省調查研究」、夏秋龍「最近のロシア正史の編纂」、中村孝也文庫「故松岡靜雄著ミクロナシア語の綜合研究の出版」等である

裁判・警察

第三部會小倉氏と絶縁

【本報】松田改組の際小倉、日名子等舊帝展第三部中堅作家八氏を以つて組織された第三部會はその後終始反官展の態度を持して來たが小倉右一郎氏が今回の新文展の審査員を受諾したため同會では十日同氏と絶縁する旨聲明した

帝人事件論告

【本報】帝人事件第二百七回公判は六日午前八時五十分から東京刑事地方裁判所藤井裁判長係りで開廷懸々論告に入り先づ平田檢事起つて捜査の經過、被告人等の談話書、被告人の供述と信憑力、檢事の取調べに就ての四項目よりなる論告總論を朗讀一昨六月以來の公判に於て、被告及び辯護人が帝人事件を空中樓閣なりとし又檢事の創作なりとし主張したるに對し永野謙氏の日記等を引例して堂々反駁、更に議會に於て問題となつた例の革手錠についても檢事局に手落ちのなかつたことを説明して同十五十分閉廷した

ケラー女史歸米

【本報】訪日中の（レンケラー）女史は郵船秋丸で十日神戸出帆歸米の途に就いたが之に先立ち九日左の如きメッセージを發表した

【本報】論告第二日、枇杷田檢事の各論に入り先づ背任の事實について、増資と新株のプレミアムを含む値上りの關係所謂經濟常則より説き起し昭和七、八年當時

の我が經濟界、人絹界の狀態に言及した
後臺灣銀行がこの帝人肩臂りによつて當
然得べかりし利益の喪失額は百六十萬圓
に上ると斷じて悉く被告の辯明を辭駁し
た

【●】論告第三日、瀆職事實の論告に移
り枇杷田檢事は先づ大藏省關係の被告及
び當時の商工大臣中島久萬吉男の職務權
限を論じ問題の帝人株三百株の出所に
ついてこれが富國徴兵の金庫から出され
たか否かに多少の疑點が残されてゐるだ
けに特に詳細を極めて説明、臺灣内部に
於て分配された三百株の分配方法を一
つ／＼公判廷の被告の陳述の取るに足ら
ぬことを説いて瀆職罪を構成すると論じ
た

【●】論告第四日、各被告の瀆職事實
の説明に入り枇杷田檢事は黒田元大藏次
官、大久保元銀行局長等の犯罪事實を詳
論、次で關係者側の島田、高木、柳田、
岡崎、越藤等の臺灣關係者は何れも共同
正犯を成立する旨を強調した

◆ ◆ ◆

茂木副領事有罪
【●】一昨年春發覺した休職青島副領事
茂木副領事(氏名)本籍埼玉縣大里郡明戸
村明戸、現住所王子區赤羽町三ノ一〇八
〇にかゝる業務上横領事件は起訴以來
東京刑事地方裁判所井上豫審判事係りで
審理され、爾來二年餘取調を續けてゐ
たが二日豫審終結し有罪と認定、公判に
附された

怪文書事件發展

【●】東京憲兵隊では怪文書事件につき
嚴に代議士北谷吉氏等を召喚取調を進
めてゐたが、更に背後に福岡縣小倉市の
某團體關係が介在することをきとめ幹
部の木本榮外數名の取押へ方を小倉憲兵

分隊に移藤同分隊は直ちに木本外を逮捕
二日朝東京着で護送し特高課で取調べ
ゐる

御木教祖拘留停止

【●】邪教元ひとのみ教團初代教祖御
木德一(氏名)は昨年九月廿九日大阪市北區
刑務所に收容され不敬並に婦女暴行罪の
罪名の下に司直の裁きを受けてゐたが酷
暑の老齡のため最近極度に衰弱したので
五日正午時に拘留停止の恩典に浴せしめ
られ午後一時歸宅を許された

美濃部俊吉氏保釋

【●】東亞殖産會社元重役に絡まる背
任横領事件に連座し昨年十二月十八日商
法違反責任、有價證券虚偽記入行使、同
交付罪で起訴收容された元朝鮮銀行總裁
美濃部俊吉氏(氏名)は爾來東京刑事地方裁
判所草間豫審判事係りで審理中のところ
取調へ漸く一段落を告げたので十日午後
九ヶ月振りで保釋出所を許され芝公園の
自宅に歸つた

大田明治氏保釋出所

【●】國鐵發賣事件に連座し去る二月
廿三日再收容された元東京改良事務所長
前横濱市土木局長大田明治氏(氏名)は東京
刑事地方裁判所早野豫審判事係りで審理
中のところ取調へ一段落を告げたので九
日深更五ヶ月半振りで保釋出所を許され
た、これで同事件關係者の被告は全部出
所した

社 會 ・ 雜

神宮獻詠會賽題決定

【●】明治神宮例祭當日に奉賛される明
治神宮獻詠會の昭和十二年度賽題は「曉

露」と決定、一日發表された

白鷺丸歸還

【●】去る五月四日芝浦を出帆して北洋
方面へ漁業實習に赴いた農林省練習船白
鷺丸(一、三〇〇トン)は三ヶ月振りで千
五百哩の航程を征服して五日午前十一時
芝浦に歸港した

出征家族ラヂオ無料

【●】逓信省では今回出征軍人の家庭に
あるラヂオに對し特別の取扱を爲すこと
になり差當り軍事扶助法に依つて扶助を
受ける者、又これに該當しない場合でも
購取料の支拂を困難とする出征軍人家族
の施設するラヂオの購取料を日本放送協
會に於て免除せしめると共に又新しく申
込むときの許可料を政府に於て免除する
ことゝなつた

議員會議日本代表渡歐

【●】九月一日からパリで開催される第
卅三回列國議會同盟會議に出席するわが
國代表議員團一行七名は五日午後一時五
分東京驛發同午後三時横濱出帆の日枝丸
で米國經由渡歐した

大谷光瑞氏等歸朝

【●】六日午前十一時サイパンから横濱
に入港した郵船サイパン丸で熱帯植物の
調査の爲南洋に赴いた大谷光瑞氏、南洋
植民研究の北海道大教授上原重三郎氏
南洋興發社長松江春次氏等が歸朝した

萬國博入場券決定

【●】萬國博覽會の抽籤券同數入場券
に就ては商工省萬國博覽課に於て發賣方
法、抽籤方法等具體案につき種々研究中
であつたが六日左の如く決定した
一 賣出し單位を入場券十二枚一組十圓

とし抽籤當籤は表紙に記載して切離し
は無効とする
二 發行總額三千六百五十萬圓を二回に
分ち、第一回は本年十月一日總額二千
萬圓を發行この分は發行二ヶ月後に第
一回の抽籤をやり以後六ヶ月毎に抽籤
して博覽會開會までに六回行ふ、第二
回は明年六月頃總額一千六百五十萬
圓を發行この分は明年九月頃を第一回
として六ヶ月毎に開會まで四回の抽籤
を行ふ

三 賣出方法は三等郵便局、百貨店、ブ
レイガイド等を通じて一般に發賣する
四 抽籤による當選金は總額の一割三百
六十五萬圓では賣出し額百萬圓(十
圓券十萬冊)づつを一組とし一組につ
き一等二千圓を卅六個、二等百圓を百
六十個、三等を千二百個とする
五 當り籤配分は第一回發行の分は第一
回と第六回の抽籤では十本、第二、三
回、四、五各回は四本、第二回發行の分は
第一回と第四回の抽籤の當籤率を多くす
るといふ様に始終を高率として値下り
を防ぐ

ケンソ大統領來朝

【●】歐米の旅より歸國の途にあるケン
ソ大統領一行は七日午前六時ロサンゼ
ルスから横濱に入港したダラー汽船P・フ
ーヴァ號で來朝した

ケンソ大統領は横濱から自動車

【●】ケンソ大統領は横濱から自動車を
驅つてオロラ夫人、令息、令嬢、副官パ
ルベス少將等と共に七日午前十一時半入
京帝國ホテルに於て小禮の後外務省差廻
しの自動車でアメリカ大使館に赴き再び
使を訪問約卅分に亘つて挨拶を交し再び
ホテルに歸つて世界教育會議に來朝中の
フイリッピン代表と面接外務省石井アメ
リカ第一課長、山田フイリッピン協會理
事等とホテル會堂で懇談した後、芝公園

春袋寮で食事を共にしたが八日午前零時
横濱出帆のフーヴァ號で歸國の途につ
いた

海城丸進水

【●】日本タンカー汽船海城丸の進水式
は七日横濱ドックにおいて舉行された、
同船は昨年十二月起工されたもので總噸
數八千七百噸四千五百馬力ディーゼル・
エンジン二基(全長一四三・三米速力一
六・五ノット積載量一萬五千噸最新式オ
イルタンカーである

朝鮮各地豪雨

【●】一日夜來鮮清國境方面を襲つた豪
雨のため二日朝に至り京義線定州以北の
各河川氾濫し京義線良策批觀間の線路浸
水し土砂流失架堤が流失するなど數箇所
に故障を生じその他南市東嶺間、白馬
石下間等にも土砂崩壊等あり全く不通と
なり國際列車のダイヤ減茶々々となつた
京義線漸く開通

死者三百餘名

【●】平安北道内の水害はその後實狀の
判明するに従ひ益々増大を示したが九日
午前八時までの累計左の如し
死者三二五 行方不明一一 負傷一四
九 家屋流失一三六六 全潰一三二五
半潰一七八六 床上浸水八三三三 船
舶流失三三

社大政治學校開校

【●】社會大衆黨が次代黨幹部養成の
ため開設した中央政治學校の開校式は十
日午前九時から本郷區迫分町三三淨土宗
願行寺の庫裡大廣間を教場に行はれた、

一圓の授養料と三升の糧米を携へた各府縣黨支部から選抜された中堅分子四十六名が風呂敷やトラントをぶらさけて集つて來た、學監松本淳三氏の開會の辭、校長藤生久代博士の訓示、安部篤實、龜井實一郎代議士の挨拶等で式を終り十時半から愈々開講されたが立憲精神、綱領政策から日本社會運動史、資本主義發達史、世界思想史、農村問題に至るまで十日間に亘つて講義進行

計

花岡敏夫博士逝去

【六〇】辯論士法學博士花岡敏夫氏はかねて胃潰瘍のため中野區野方町の自宅において療養中であつたが卅一日午後十一時逝去した、享年六十四

釋日壽師遷化

【六〇】日蓮宗不受不施派管長釋日壽師は三日午後零時半岡山縣御津郡金川町金川の本山妙覺寺にて腦溢血を起し遷化した享年八十一

山元玄十郎氏逝去

【六〇】鹿兒島朝日新聞社長鹿兒島市會議長山元玄十郎氏は胃潰瘍の爲め六日午前四時逝去した、享年五十四

原善一郎氏急逝

【六〇】横濱財界の巨頭原合名會社副社長原善一郎氏は六日午後十時横濱市本牧町三ノ谷の自宅に於て腦充血の爲め逝去した、行年四十六

鷺尾同志社高商校長逝去

【六〇】同志社高商校長鷺尾健治氏は糖尿病のため九日午後二時四十分落北若倉村

の自宅で逝去した、享年五十八

塚本靖博士逝去

【六〇】東京帝大名譽教授帝國醫學院會員塚本靖氏は胃潰瘍のため九日午前四時四十八分小石川久堅町の自邸で逝去した、享年六十九

尾上松助丈死去

【六〇】六代目尾上松助丈(本名福島幸吉)は本年五月末以來胸を病み舞臺を休み大森區北千束の自宅で靜養中であつたが九日午前五時死去した、享年五十一

山口部長判事逝去

【六〇】東京民事地方裁判所部長判事山口金一郎氏は病氣療養中九日午前八時死去した、享年三十七

オリビック

副島伯メッセーチ

【六〇】平安丸上に於てワルソー會議に出席して冬季大會招致を始め數々の功績を納めた副島道正伯は歸國の途次平安丸から全國民に對し左の如きメッセーチを述べた

現今是に軍大時局だが我が國民の餘裕を世界に示すため東京大會準備に大馬力をかけて進捗せねばならない、冬季競技はラッセル伯が相當の無理をして獲得してくれたのだが日本が直ちにこれが準備に着手しなければ來年三月一日から開かれるカイロ總會に於いてオスローへの讓歩説が再燃する恐れがあり又冬季競技の成否は夏季競技に大影響を及ぼすから尙軍大である、國事多端の際だが我が國民は夏季に二千萬圓

冬季に三百萬圓投する覺悟を要し、若し大會直前に關西にてワールド・リクリエーション、コンGRESを開催するに於ては外國よりの觀客數二萬五千人を越え、我が國民に剩す觀客席は五萬に過ぎない、世界各國より約三萬の人が集つて皇紀二千六百年を祝福する事を思へば、二千萬圓は散て巨額ではなく、大會を成功せしめるのは我が國民の責任だと思はれる、時局に就ては舉國一致して政府を助け東洋平和の基礎を作り又一方に於ては大國民の餘裕を示し大會準備の爲進捗すべきである

東京大會馬術代表決定

【六〇】第十一回國際オリビック東京大會に出場す可き我が馬術代表の中、陸軍側選手は陸軍騎術委員會の手を経て決定された、その顔觸れはロサンゼルス及びベルリン兩度の大會に出場した西竹一、大尉を始めベルリン大會に出場した若橋學、大尉を含み、新舊取交せて七名である

騎兵第一聯隊 騎兵大尉 西 竹一
騎兵第十二聯隊 騎兵大尉 岩橋 學
陸軍野戰砲兵學校 砲兵大尉 佐川 武彦
騎兵第十八聯隊 騎兵中尉 後尾 季明
陸軍騎兵學校 騎兵中尉 野見 堯馬
陸軍野戰砲兵學校 砲兵中尉 横山 經二
近衛輜重兵聯隊 輜重兵少尉 萩原 國雄

組委會と市の緊密解消

【六〇】組織委員會事務委員會は五日午後二時から滿鐵ビル内事務局で開催大島副

會長、嘉納組委會委員三邊常務委員、郷競技部長、岩原、草間兩總務委員、小野市建築課長等出席、組織委員會の法人化に就き成文の字句修正の上これを承認、次回組織委員會に提出する事となつたが、同席上東京市側は起債許可の材料たる代用競技場、球技場、オリビック村、或いは室内競技場等の諸問題に對する見通しがついたので、始めて五百萬圓支出に關して三邊市助役から支出額年度別、市の要求條項等を提示してその態度を明確にした、この結果兎角圓滿を缺くかに見えた組委會と東京市間のさぐり合ひも全く解消、オリビック諸懸案は一舉に解決される事となつた

副島伯歸朝

【六〇】去る六月上旬ワルソーで開催された國際オリビック委員會に出席、第五回冬季大會の日本招致を始め、大會開期旅費補償、その他鮮やかな外交手腕に數々の收獲を得た副島道正伯は隨員李相伯氏、令息種經氏と共に六日午前十時卅分横濱入港の平安丸で輝しく歸朝午後一時四十分入京して直ちに自邸に入つた

東京大會馬術候補馬決定

【六〇】東京大會馬術競技に使用される乗馬候補七頭が決定されたが、右は何れも若い國產馬で六日午後一時軍馬補充部日高種馬牧場から習志野騎兵學校に送られた

馬名	年齢	性別	産地
久博號	四歳	牝	三里塚
久櫻號	四歳	牡	三里塚
旺温號	五歳	牡	日高
仁波號	五歳	牝	日高
機王號	五歳	牡	奥羽
凌白號	五歳	牡	日高
方國號	四歳	牧	奥羽

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★

★



滿拓公社調印

新京(ハ) 滿洲拓殖公社設立に關する日滿兩國の協定は、二日午後三時より國務院國務總理室に於て植田全權、張總理間に正式調印行はれたが近く創立總會開催される。(産業行政欄参照)

暴利取締令公布

新京(ハ) 滿洲の日滿兩當局は三日附關東局令、經濟、治安兩部令及び日本領事館令を以て左記物品に對する暴利取締令を公布即日施行すると共に斯る事變勿々の際に乗じて暴利を貪り不意に買値を、買占め、價格釣上げ等の惡辣手段に出づるの徒に對し嚴罰を以て臨む事となつた

品名

米、小麥、小麥粉、燕麥、高粱、包米、粟、飲食料品、飼料、乾菓子、綿糸、綿布、生畜、被服、寢具類及びその材料、麻製品、皮革、皮製品、紙、藥品衛生材料、自動車その他車輛及び部分品

田場事務官等滿州遺贈

新京(ハ) 四日午後十時滿洲國外務局に達した報告によれば滿洲國通商特派員公署事務官元新聞聯合囑託田場義典(四四)(沖繩縣出身)同雇員昭和十一年京大法科出身藤澤平太郎(ハ)高松市出身)の兩氏は廿九日の保安隊叛亂に遭遇勇戦に應戦せざるも彈丸盡き今事件に於ける滿洲國最初の犠牲者となつた、なほ兩氏の遺外骨は務局影山事務官が携へて兩三日中に歸滿新京に於て局葬が営まれることゝなつた

建國大學令公布

ハ(ハ) 建國大學は建國精神の神髓を體たる建國大學は五日左の如く建國大學令を以て公布即日施行されることゝなつた

▲建國大學令

第一條 建國大學は建國精神の神髓を體得し學問の道奥を究め身を以て之を實踐し道義世界建設の先覺的指導者たる人材を養成するを目的とす

第二條 建國大學は國務總理大臣の管理に屬す

第三條 建國大學に關する重要事項に付諸議せしむる爲建國大學參議會を設く建國大學參議會に關する項は別に之を定む

第四條 建國大學に左の職員を置く

總長 特任

副總長 特任若し簡任

教授 簡任若し薦任

助教授 薦任

事務官 薦任

助手 委任

圖書 委任

教授は之を特任待遇となすことを得建國大學に顧問、名譽教授及講師を置くことを得

第五條 總長は學務を綜理し所屬職員を統督し高等官の進退に關しては國務大臣に具狀し委任官に關しては之を專行す

第六條 副總長は總長を輔佐し總長事故あるときは其の職務を代理す

第七條 教授は學生を教授訓育し其研究を指導す

第八條 助教授は教授を助け授業及訓育に従事す

第九條 教授及助教授の中より師導及副師導を選補し時に學生の訓育指導に當らしむ

第十條 理事官及事務官は上司の命を承け庶務及會計を掌理す

第十一條 助手は教授及助教授の指揮を承け教務並研究に従事す

第十二條 職員は上司の命を承け庶務及會計に従事す

第十三條 建國大學内に評議會を置き總長の諮問に應じ學務を審議す

第十四條 建國大學は之を前期及後期に分つ其の修業年限は各三年とす

第十五條 建國大學前期に入學し得る者は國民高等學校を卒業したる者又は總長に於て之と同等以上の實力ありと認むる者にして選拔試験に合格したる者とする

第十六條 建國大學後期に進學し得る者は前期を修了したる者とす但し總長に於て不適當と認めたる者は此の限に在らず學制に依る大學を卒業したる者又は總長に於て之と同等以上の實力ありと認むる者にして餘額試験に合格したる者は後期に入學せしむることを得

第十七條 建國大學に大學院を置く

第十八條 大學院に入學し得る者は後期を卒業したる者又は之と同等以上の實力を有する者にして總長に於て適當と認めたる者とす

第十九條 建國大學に研究院を置く

第二十條 研究院は教授及教授を以て組織す

第二十一條 建國大學の學生の在學中の費用は官費とす

第二十二條 建國大學を卒業したる者は官吏其の他の職務に服する義務あるものとす

第二十三條 建國大學の編制其の他本令施行に關し必要な事項は命令を以て定む

附則

本令は公布の日より之を施行す

星野總務長官東上

新京(ハ) 星野總務長官は六日突如朝鮮經由東上し、星野氏今回の東上は北支戰局の動向に伴ひ同方面の政治經濟金融治安等の諸問題に關する緊急對策並に之に伴ふ滿洲國總務事項に就き重要提案を携行東京に於て陸、外、對滿事務局など關係當局と隨意無き意見を交換の上日滿兩國間の北支工作に關する重大方針を決定せんとする意向と解される而して打ち合せ終了の上各方面の權威者を日滿兩國より現地に派遣するものと見られ今回の星野氏の急遽赴日は極めて重大視される

星野長官談

ハ(ハ) 星野滿洲國總務長官は八日午後三時廿五分東京驛着當土號で入京したが車中に於て左の如く語る

一 今度の入京は別段北支事變問題のみが主たる要務でなく日滿プロットの高度化を圖る爲め兩國の政策を緊密ならしめるべく、陸海軍、大藏其他各省と打合せを行ふ爲めである、勿論北支事變の動きと之が解決方法は滿洲國にとつても重大なる問題であるのでこの點滿洲國側の立場からもよく相談し度いと思つてゐる

一 日支兩國の間にかゝる事變が勃發したるが支那側の不誠意に依り一向解決の機運が見えない事は東洋平和の爲め甚だ遺憾なことである

一 滿洲國境問題は依然として緊張を解かれずにある

一 産業五ヶ年計畫は着々進んで豫定より早く完成する見込が十分たつて居り治安が漸く保持されると共に更に第二段の發展に向つて政策の樹立を急いでゐる

尙ほ東京には一週間滞在して首相、陸相海相と會見した上急いで歸ることになる

▲赤十字社創設進む

新京(ハ) 滿洲國皇帝陛下御登極御下賜金百萬圓を基金として創設された恩賜財團普濟會は民衆の更生機關として滿三年半の活動を續け多大の功績を上げ來つたが最近滿洲國政府首腦者間に日滿一德一心の精神に基き同會を改組して日本赤十字社滿洲支部と合體し新たに滿洲國赤十字社を創設すべしとの意見擡頭し既に日滿關係當局者は具體的に折衝を開始してゐる

産業・經濟

商工會議所法近く公布

新京(ハ) 滿洲國政府は日滿商工會議所の合理的統合をなす必要に迫られ近く滿洲國新商工會議所法を公布する事に決定した、よつて全滿商工業者は新機構に關する打合せのため近く全滿商工會議所會議理事會を開議準備を進める事となつた

滿鮮經濟會議

新京(ハ) 日滿を一體とする經濟産業計畫遂行のための中央經濟會議は來る十月東京に於て開議の模様であるがこれに備へる爲め滿鮮兩當局では九月初旬大連に於て滿鮮經濟會議を開催して接壤兩地の連絡の緊密化を計ることに決定した、右貿易統制法延期決定

新京(ハ) 滿洲國の貿易緊急統制法は來る八月十五日を以て期限満了となるので滿洲國政府は五日午後三時より國務院に於て關係官廳部の參集を求め協議の結果

本法を更に向ふ一ヶ年間その儘存續する方針を決定國務院參議府會議を経て八月十五日公布し即時實施することになった尙從來同法の適用品目は羊毛、小麦、小麦粉、外米等の四品目に限られてゐたが今回は國內農産物成の見地から更に若干品目を追加して之に貿易統制を實施することになった

近く保險業法制定

新京ハハハハ滿洲國政府では近く保險法を制定し保險會社の設立には許可制を布き外國會社の支店設置には條件を附し生命保險は滿洲生命保險會社に損害保險は藥法公布と同時に設立される滿洲火災海上保險會社により夫々事業の統一を行はんとし保險業法及び滿洲火災海上保險法の制定を急いでゐたが右に關し經濟部、金庫、法制處等の關係當局者は五六兩日に互に業法及び火災保險會社法に關する經濟部案を基礎に討議したが外國會社に對する條件に就いては議論有力で兩法案に就き再検討を加へることとなつた

滿洲合成燃料會社

新京ハハハハ滿洲合成燃料株式會社はその設立を見たので新京に本社を設置東京室町の三井鐵道内に支社を置き工場は阜新に設け阜新を原料として石炭液化事業及石油產物製造を行ふ工場施設及び販賣には三井が當り工場建設は今夏より直ちに着手來年末には三萬噸明後年には十萬噸の液化燃料を生産する豫定である、同社の出資内譯及び滿洲役員左の如し

資本金

(第一回拂込五分の一)

滿洲國	一千七百萬圓
三井	一千七百萬圓
滿炭	八百萬圓
滿鐵	五百萬圓

滿石 三三萬圓
常務理事 澤 芳一
產業部囑託 栗野 俊一
理事 佐藤 健三
滿炭常務 乾 事
滿石事務 滿鐵監査役 星野 龍男
元三江省廳長 趙 汝 樣

滿鐵貿易高

ベルリンハハハドイツ政府は七日一九三七年度上半期滿鐵貿易統計を發表したが之によればドイツの輸入額三千二百萬マークに對し同輸出額は四百萬マークの少額に止つた本統計は滿洲國を支那本土より分離した最初の滿鐵貿易統計である

鴨水發電設立決定

新京ハハハ鴨綠江水力發電所設置に就ては鮮滿當局に於て鋭意準備中であつたが會社名を滿洲國側は滿洲鴨綠江水力發電株式會社、朝鮮側は朝鮮鴨綠江水力發電株式會社と名付くるに決定來る十八日朝鮮總督府滿洲國政府間に右會社設立に關する覺書を交換八月末京城、新京兩地に於て創立總會開催の豫定である、同會社は鮮滿兩側とも各資本金五千萬圓で本年度中に工事に着手し取り敢へず廿萬キロワットの出力設備をなし五ヶ年後には四十萬キロワットを發電する豫定である

北鐵協定物資拂狀況

新京ハハハハ滿洲國外務局は七月末日現在迄の北鐵協定に依る物資拂狀況に關し十日次の如く發表した

一 承認件數	七三三件
二 承認總額	九〇、五五一千圓
內譯	
第一期	一三、二〇八千圓

第四期 一六、二二六
第五期 一五、三五七
第六期 一三、一七〇
三 七月中支拂總額 三、一六七、一二四四七錢
四 支拂總額 七四、八一九、四六八圓九〇錢

五 物資內譯	一八、四二六千圓
機械類	一八、一五二
船舶類	九、二三四
大豆及大豆油	八、五四五
銅線類	六、一四六
茶	五、八一〇
セメント	五、二三四
織物類	五、一六七
帶鐵及鐵板類	二、七二一
小麥粉	一、八五七
人絹	一、八〇五
其他	七、四六四
計	九〇、五五一

滿洲興銀半期決算
新京ハハハハ滿洲興業銀行では十日午前十時半より第一回定時株主總會を開催、今期決算報告並に利益金處分を左の如く附議可決した單位千圓

當期總益金	九、七七二
當期繰入金	八、七六九
差引當期純益金	一、〇〇三
內譯	
缺損補填積立金	二五〇
第二期	一六、七八四
第三期	一五、九〇六
配當平均積立金	五〇
行員退職慰勞積立金	五〇
株主配當金(年五分)	三七五
役員賞與金	五〇
後期繰入金	二二七
尙本年上半期業績損金約二億二千萬圓	

貸出約一億九千萬圓で損金貸出共に關東州を含む全滿總額の三分の一以上を占めてゐる

討 匪

合流匪を撃滅

新京ハハハハ(駐滿海軍部發表)

臨時海軍日本防備隊所屬艦艇は松花江沿岸一帯の警備任務に服し豫て行動中のごろ日本砲艦廣寧はハルビン下流五十六キロの柳家船口の對岸に蟄居中の合流匪約百五十名を攻撃すべく陸戰隊を上陸せしめ水陸兩方面より之を攻撃山藥多數及び通用船五隻を燒却匪賊に殲滅的打撃を與へ撃退した我に損害無し、尙防備艦は依然同江沿岸の警備に任じ隊員意氣軒昂が立たない

松浦部隊奮戰

哈爾濱ハハハ(岡村部隊本部發表)

松浦隊長の指揮する〇〇部隊は五日三江省方正縣腰嶺子附近に於て匪團百五十と遭遇激戦の後之に大打撃を與へて潰走せしめたが本戰間に於て一等兵菊地助七(福島縣那賀郡岩月村)、二等兵鈴木要人(福島縣那賀郡岩月村)は戦死、一等兵高木文吉、一等兵矢吹源吉は重傷、二等兵風崎吉は輕傷を受けた

牛島部隊も活躍

吉林ハハハ(〇〇部隊發表)

牛島部隊の聯絡兵〇名は去る六日午後三時頃京圖嶺嶺狀海北方四キロの地點に於て匪團卅と遭遇激戦の後之に殲滅的打撃を與へ潰走せしめた、この戰間に於て上等兵島田清吉(北海道沙流郡門別村出身)二等兵島田清吉(北海道沙流郡門別村出身)同僚喜治(北海道勇拂郡安村出身)二等兵宮野秀雄(札幌市出身)の三名は壯烈な戦死を遂げた

滿鐵隊匪團に襲はる

承德ハハハハ十日當地に達した特報によれば八日午前五時熱河省隆化縣南方十五キロの地點に於て滿鐵〇〇隊は突然數十名の匪團の襲撃を受け邦人五名、滿人四名は拉致されたと傳へられてゐるが詳細は不明である

雜

豪雨で滿鐵本線不通

新京ハハハハ滿鐵本線亂石山、得勝臺間が四日夜以來の豪雨のため線路上に約一米増水し幅五百米の廣さで氾濫し五日午後三時半頃から遂に不通となつたのが爲め滿鐵運轉時間は全く混亂狀態に陥り目下なほ降雨が續いてゐるので復舊の見込みが立たない

通州殉職者

新京ハハハハ滿洲電信電話會社の派遣員として通州在勤中慘死した支那兵のため悲壯な殉職を遂げた犠牲者氏名は左の如し

新京中央書記 吉田忠四郎(〇)
同技手 鈴木 樹一(〇)
冀東政府囑託大連中央電話局技手 松本嘉右衛門(〇)
同工務員 栗栖 義和(〇)

以上諸氏の遺骨は近く同僚の手により天津經由新京に歸り盛大な社葬が行はれる奉天ハハハハ豪雨の爲め不通となつた連京線の水害箇所は六日午後二時漸く下り線會議には滿鮮兩當局及び民間有力者を網羅し滿鮮双方に於て樹立せる産業開發計畫及び兩地の經濟事情を相互に説明諒解に努め今後の計畫遂行により滿鮮の一體化を圖る等々に附隨して政治的諸問題も歸着する筈である

電氣機械工業勃興

新京(ハルビン)滿洲産業開發計畫の進展に伴ひ機械工業勃興が促され滿洲炭坑用機械を製作する皇新製作所は既に設立具體化し又農具製作會社の設立も既に考慮されてゐるが最近滿洲國の發電設備大擴充の計畫樹立によつて電氣機械製作所設立の機運おこり内地の芝浦製作所、メトロ電氣、富士電氣の三社が滿洲進出を企て何れも滿洲國政府へ認可の申請準備を進めてゐる、右三會社とも滿洲國内の電氣の出力が目下少量なため採算上から最初は少規模を餘儀なくされ芝浦二百萬圓、メトロ五十萬圓、富士百萬圓等小資本で設立されるが電力設備擴充の進展に伴つて數年後には相當の増資を行ふものと見られる

工業設備増産立案

新京(ハルビン)滿洲國産業五ヶ年計畫の重要部門をなす工業設備の増産は一ヶ年八十萬キロ噸と決定されたが其の後日滿兩國に於て不足を叫ばれ一方錦州省一帶に優秀なる鹽田候補地の發見を見たので滿洲國政府は更に工業設備の増産を期する事となり五日關係機關代表が新京に參集して協議の結果五ヶ年後の年産九十一萬噸、内五十萬噸は日本へ輸出、九年後の年産額を百四十萬噸に増産の具體案を決定した尙工業設備の生産は滿洲國株式會社が現在の資本金を信託にして機構を擴大し之に當る事となつた

鴨綠江増水

安東(ハルビン)降り續く豪雨に鴨綠江は刻々増水し七日午前十時の水位は六米に達し濁流は江岸通りから六道溝にかけて浸水し浸水家屋三百五十戸、六道溝は百五十戸に上り後潮溝滿洲街堤防は決潰し當局は防水に必死の努力を續けてゐる

錦州流出三十戸
錦州(ハルビン)兩三日來の豪雨で錦州は市内の浸水甚しく五日午後より雨勢稍々衰へたが同夜半更に豪雨あり且小凌河は奥地水量を加へたため六日には前日より四尺増水市内の浸水家屋日滿人約一千戸、崩壊流出家屋卅戸である

臺南で國佳線不通

新京(ハルビン)圖佳線千振、彌樂間(集團移民地區)は近來頻々豪雨の爲去る四日路盤流出し不通となつてゐたが九日に至るも依然降雨やまず目下はつきりとした復舊の見込み立たぬ爲鐵道當局では急を要する北鮮北滿間の貨物引受は拒絕することゝなつた

安奉線開通

安東(ハルビン)過般の豪雨で不通となつた安奉線の水害箇所は鋭意復舊を急いでゐたが昨夜朝鮮〇〇隊の來援で頗る進捗し一般旅客列車は十日より運行を開始する豫定である、なほ錦縣を中心とする奉山線の不通箇所は九日午前十時半開通を見た

日滿關係

伊藤波蘭公使新京着

新京(ハルビン)シベリヤ經由歸朝の途にあるポーランド公使伊藤波蘭公使は二日後四時哈爾濱發飛行機で松岡滿鐵總裁と同道新京着日滿要人と會談した

關東軍新聞班

新京(ハルビン)關東軍は内外情勢の緊迫に鑑み八月二日から參謀部に從來より組

織内容共に擴大強化した新聞班を設置することゝなつた、新聞班によれば新聞班長は從來通り稻村中佐で柴野少佐、中島大尉が補佐する

伊藤公使大連發

大連(ハルビン)歸朝の途にある波蘭駐公使伊藤波蘭公使は五日大連出帆の熱河丸で日本に向つた

大相模協會獻金

新京(ハルビン)去る七月廿四日在滿皇軍慰問と角道普及の爲め來京した大日本相模協會は七日午後五時同協會友誼會の助等三理事が關東軍に東條參謀長を訪問、新京大場所の純益一萬五千圓を皇軍慰問金として獻納した

海外日本人

最初の邦人の墓

バリ(ハルビン)バリで死んだ最初の日本人の墓が奇しくも同人の孫によつて發見された、一八六七年(慶應三年)野中元右衛門は佐賀藩よりバリ博覽會參列のためフランスへ派遣されたが同人は遙々海を越へてバリに到着するや間もなく病を得て異郷にたはれて了つた、今同人の孫に當る阪井米夫氏によつて折柄萬國博覽會中のバリはバール・ランニエ墓地の一隅有名なアペラルとエロイーズ氏墓塚のすぐ傍にバリで客死した祖父の墓が見出されたのである

西郷武官送別會

ウイーン(ハルビン)オーストリア陸軍大官ウイール(ハルビン)ウエーナー將軍は三日午後ウイーン駐在陸軍武官西郷從軍大尉の轉任歸國を前に送別晚餐會を開催帝國公使谷正氏、陸軍武官若松只一、大佐初めオーストリア陸軍首腦多數出席して交誼を遂げた

比島邦人殺害犯人逮捕

ダバオ(ハルビン)比島カデシ高地で去る卅日殺害された沖繩縣久保田龜介一家三名の殺害犯人は二日比島警察の手によつて逮捕された、犯人はモノボ族番人二名で嘗て久保田氏に雇用され給料値上を要求して拒絶された恨を根に持つた兇行である

練習艦隊イスタンブール着

イスタンブール(ハルビン)古賀峰一中將麾下の帝國練習艦隊「八雲」の兩艦は無事印度洋、紅海の長旅を終へて地中海

に入り四日トルコの舊都イスタンブールに入港した、古賀司令官以下候補生一同元氣旺盛イスタンブールに四日間滞在の上イタリヤに向け出發する

天羽公使任地ハ

ニューヨーク(ハルビン)新任スイス駐劄帝國公使天羽英二氏は前「日本政府のスポークスマン」として米國各地で歡迎されたが四日午後キニナード・ホワイティング社汽船アクティニア號でニューヨークを出發歐洲へ向け赴任の途に就いた

高千穂丸釋放運動

ダーウイン(ハルビン)日本眞珠採取船第三高千穂丸は去る六月十日滿洲近海に於て漁撈中領海侵犯の嫌疑を以て沿岸監視船「ラキア」に拿捕されダーウイン港に曳航された儘未だに釋放されない、眞珠會社代表其の他日本關係者は同船釋放手續を取るため五日ダーウインに到着した

更に眞珠採取船二隻拿捕

ダーウイン(ハルビン)滿洲沿岸監視船「ラキア」は八日ダーウイン東方五百哩の海上に於て漁中の日本眞珠採取船第五大日本丸及び巴拉オ丸を領海侵犯の嫌疑で拿捕目下ダーウインへ護送中の旨報告した、右三隻は十二日ダーウインへ入港の豫定であるが日本南海眞珠採取組合では屢に拿捕された第三高千穂丸の釋放手續と共にシドニー駐劄帝國領事若松茂雄氏と打合せ兩船の釋放方を斡旋する管

英國・英帝國

新倫敦條約効力發生

ロンドン【二六】一九三六年ロンドン新海軍條約に對する英國、カナダ、澤洲、ニュージーランド及印度各政府の批准書は廿九日英國外務省に寄託されたので同條約は二十九日から効力を發生した、同條約第卅條第二項は締約國政府の批准書が一九三六年末迄に全部寄託されれば一九三七年一月一日より、出揃はぬ時は全部寄託を了した時より効力を發生する旨規定して居るが既に批准書を寄託したのは米佛兩國政府のみであつたため効力が遅れてゐたものである

英皇弟波蘭訪問

ワルシャワ【二六】英國皇弟セント公卿夫妻は目下非公式でポーランド旅行中だが三日ワルシャワ郊外ランクト城でポーランド外相ベツク氏と會談された

ワルシャワ【二六】セント公卿夫妻は六日午後ランクト城を出發ウィーンに向はれた

新駐日大使出發

ロンドン【二六】新任東京駐劄英國大使サ・ロバートクレギー氏は夫人同伴七日前サウザンブント出帆のキユーナード・ホワイトスター社汽船クイーン・メリー號でカナダ經由赴任の途に就いた

英老朽巨船買入説

ロンドン【二六】英國政府は越次大再軍備計畫に基き晝夜兼行で軍艦の建造に當つて居るが鐵不足のため米國ニューナイテッド・ステーツ社船レヴァヤサン號(四萬八千九百四十三噸、一九一四年ドイツで

建造)を買入れ建造材料に充てる意圖といはれる、英國政府代表はクイーン・メリー號で九日ロンドンからニューヨークに到着直ちに船舶會社の間に買入交渉を開始する段取だが交渉が纏まればレヴァヤサン號は英國へ廻航されることとなる

更に三萬五千噸級五隻建造か

ロンドン【二六】英國政府は現在三萬五千噸級主力艦五隻を建造中だが七日UP通信社によれば海軍省は一九三八年度建艦計畫中更に同級主力艦五隻の追加建造案を議會に提出する意圖といはれる

日本の備船需要激増

ロンドン【二六】四日付タイムズ紙の報道によれば最近日本の英國船舶に對する備船需要激増し英國海運界の注目を惹いてゐる、三日日本船から英國船舶一隻を極東貿易に従事させるため期限六ヶ月、備船料夫々十志半、十一志を以て備船したがこの日本からの備船需要が續けばロンドン市場の備船料は今後更に昂騰を續けるものと見られる、タイムズ紙は日本の船舶不足の原因について最近北支事件に關聯して日本の古船解體作業が活潑を極めて居ること及び日本が歐洲並に印度から鐵鋼を、又米國から屑鐵を多量に輸入する爲莫大なる輸送力が必要とする結果であるとしてゐる

パレスチナ問題

委任統治委員會審議開始

ジュネーヴ【二六】聯盟常設委任統治委員會は三日聯盟新會館に於て非公開を以て開會英國政府のパレスチナ分離統治案並

に一九三五年度、一九三六年度パレスチナ及びトランスヨルダンに關する統治年次報告の審議を開始した、パレスチナ問題に對しては二日委員會の準備會合に於て(一)英國委任統治維持案(二)委任統治修正案(三)聯邦制度採用案(四)分離統治案の四解決案が提言されたが委員會の空氣は以上の解決案の順次審議に有利で英國代表オームスビー・ゴア植民相の分離統治案即時審議論は影が薄い

イラク反對通告

ジュネーヴ【二六】イラク政府は三日聯盟事務總長ジョゼフ・アヴノール氏に對しイラク政府は英國政府のパレスチナ分離統治案に反對する旨通告した

シオニスト大會

チューリッヒ【二六】第廿回シオニスト大會は全世界のシオニ運動代表者六百餘名集合三日スイスのチューリッヒに於て開會英國シオン聯盟會長カイル・ワイズマン博士司會の下に英國政府のパレスチナ分離統治案の審議を開始したが四日の會議に於てワイズマン博士はパレスチナに於けるユダヤ人國家建設の立場から分離統治案には絕對反對する旨宣言し同博士に代つて議長席に對したジェルサレム・ユダヤ人國代表ウシシユキ博士も同様分離統治案を激しく下し理想實現のため飽迄アラビヤ人と闘争せよと演説をあげた

カナダ兵役中立確保

オタワ【二六】カナダ政府は中立確保のため三日兵役法及關稅法を改正布告した改正法は如何なる國へも政府の許可なくして軍需品輸出或は義勇軍参加を禁止するもので右はスペイン内亂不干渉協定が無効を曝露した爲の對策といはれるが日

支問題にも適用されると解される

新對支借款説

新對支借款二千萬磅

ロンドン【二六】國民政府財政部長孔祥熙氏は英國政府及財界方面と折衝の結果卅日廣佛、浦口、蕪湖、寧波、鎮江合計七百萬磅の新借款契約に調印したが更に活動を續け英國側を説得して近くロンドン市場に於て新借款總額二千萬磅の起債を原則的に同意せしめたといはれる、新借款の條件細目は追つて交渉の上決定されるが關稅收入を擔保としその手取金はロンドンに預金し今後支那内國債償換の必要に應じ使用される等といはれる

新借款説は宣傳か

ロンドン【二六】國民政府財政部長孔祥熙氏が四日出發に先立ち英國側と總額二千萬磅の新借款に成功したとの報道に關し當地消息通は孔祥熙が英國ロイテル通信社を通じて「ある支那一流の宣傳で取るに足らぬとして一笑に附してゐる、[シチー]筋では支那今日の狀態では到底かゝる巨額の起債實現の可能性無しと特に

一 支那公債類は北支時局を反映して最近急落を演じ過般成立を傳へられた鐵道借款の公募すら不可能の今日巨額の政治的新借款の起債など出来やう管がない

一 國際關係を考慮しても英國が單獨でかゝる政治借款に應ずる意向なく共同借款團殊に日本の同意がなくては不可能である

一 英國政界財界の有力者連は過般來暑中休暇でロンドンを離れて居りロンドンでは孔部長の起債交渉は事實上不可能である

等理由で新借款説を否定してゐる、タイムズ紙は四日の紙上で鐵道借款すら疑問として左の如く述べてゐる

支那公債類が低落してゐる今日更に新公債を募集するなどいふ言ひは問題にならぬ、新鐵道借款成立説も國民政府が將來に對して希望してゐる所を宣傳したのではない、支那新借款の如きは現状を以てしては時機尙早といふべきであらう

孔新借款を確認

ロンドン【二六】國民政府財政部長孔祥熙氏は四日夜ロンドン出發前に向つた、出發に際し孔部長は新聞記者團に左の如く語つた

ロンドン滞在中英國官民から非常な同情を得て余は満足に至りである、七月卅日發表した鐵道借款の細目條件も愈々最後の決定を見た、更に支那内國債借款のため二千萬磅借款を起すことになり余は國民政府を代表して英國の關係各方面との間に文書の交換を了した發行日其他細目條件は追つて決定することになつてゐる

米國も新借款を疑ふ

ニューヨーク【二六】ロンドン電報によれば米國の銀行家は二千萬磅の對支借款に關係してゐるといはれるが米國財界は右報道を疑問視してゐる、ニューヨーク銀行家の意見を綜合すれば次の通り

對支新借款の話などは何にも聞いてゐない直接銀行のクレディットにせよ一般募集の方法によるにせよ現在米國で對支借款を成立させることは出来まいと思ふ、若し英國財界が眞實支那に金を貸さうとしてゐるなら當然政治的考慮を拂ふだらうから何等か特別の保障取

極めが行はれるだらう、それにしても現在の不安状態に於て二千萬磅といふやうな巨額な金を支那に融通出来るかどうか多大の疑問である

新借款説と英紙

ロンドン(ハ) 二千萬磅の新對支借款成立に對し英國各紙は直ちに證券を發行するといふのでないが新借款の交渉が行はれたのは事實なりとして問題を相當大きく扱つてゐるため五日以來支那大使館と極東關係の銀行に各方面からの詳報問合せが殺到してゐる、各紙の報道を要約すれば次の通り

フアイナンシャル・ニュース紙
新借款の條件は極東の政治情勢がはつきりする迄は決定不可能である
フアイナンシャル・タイムズ紙
英國大蔵省は計畫中の新借款に對し深甚な關心を拂つてゐる様子である、新借款の一部分はリースロス氏が購立をした支那の幣制及び經濟改革に使用される見込みだが他の一部分は支那の交通開發費に當てられると見られる、交通開發は英國の機械類の對支輸出増加を意味しよう

フアイナンシャル・タイムズ紙
新借款説は米國を含む若干の國が今や支那に脚を興へるやう南京政府を實際的に援助しようとしてゐる証左であるそれは日本が好むと好まざるに關せず我々にとつて購買すべきである

英伊接近

英首相から伊首相へ親書

ローマ(ハ) 英國首相チエンバレン氏
がムツソリーニ首相に宛てた「親善の親

書」は廿一日イタリア外務省に到達、直ちにリミニのムツソリーニ首相の許へ送られた

英伊首相親善交換

ロンドン(ハ) ボールドウィン氏の後を受けて國際政局不安の眞只中に時局擔當の重任を帯びたチエンバレン英首相は先づ伊紛争以來歐洲政局の痛となつてゐる英伊關係の調整を企圖し最近ムツソリーニ首相に親書を送り兩國關係打開策に關する私見を披露したがイタリア大使

グランデ氏は二日午後三時首相官邸にチエンバレン首相を訪問し親書に對するムツソリーニ首相の返書を手交すると共に約四十分に亘り懇談を遂げた、當局では兩首相の親書は個人的書翰であるから當分公表されないだらうといつてゐるが確聞するに何れも兩國關係調整につき全般的の希望を表明したもので特にムツソリーニ首相の返書にはイタリア側について英國と同様兩國關係の調整を希望する空氣が濃厚である旨を強調したものといはれ局面打開は頗る有望化して來たと觀察される、チエンバレン首相とグランデ大使は右會談に於てチエンバレン首相がムツソリーニ首相宛て親書の中で述べた諸點につき檢討を加へたがその經過は大體左の通り

一 首相は先づイタリア政府が最近リビアに派遣した二個師團を本國へ撤收し且つ英領スーダン國境方面のイタリア軍隊集結を中止すれば英伊關係の調整は容易であらうと述べたが之れに對しグランデ大使はホア英海相の地中海觀察がイタリア政府の不安を惹起した事實を指摘した、二個師團撤收問題は更に今後の會議に殘された模範である一 次いでチエンバレン首相はイタリア新聞並にバリ放送局が最近反英宣傳を

行つてゐることは少からず英國民の感情を刺戟する旨を指摘しイタリア政府の反省を求めたが之に對してはグランデ大使も充分抑制に努力する旨約束したといはれる

一 最後は地中海殊にスペインのマルカ島の現状維持問題につき懇談したがグランデ大使は此の問題はスペイン内亂が終焉した後でなければ最後の解決は困難であると述べ明確な言質は與へなかつた模様である

結局以上の會談は具體的結論には達しなかつたが政界及び外交界で右會談を頗る重要視して居り近く英國關係がローマを訪問するか或はイタリアの關係がロンドンを訪問して英伊國交調整工作は注目すべき進展を示すであらうことを豫想してゐる、一方昨年來の懸案たる新ロカルン體制の運命並に西歐の危機緩和を目的として英國が十月頃開催せんと企圖するロンドン會議は果して實現の運びに至るや否やは將來に於けるイタリアの態度如何に關つてゐるが英伊兩首相の親善交換を契機として兩國關係の調整延いては歐洲政局建直しの工作は多大の期待をかけられるに至つた

伊外相英大使と會談

ローマ(ハ) 英國大使ドラモンド氏は二日午後イタリア外相チアノ伯を訪問し長時間に亘り懇談を遂げた、會談内容は發表されないがチアノ外相はドラモンド大使に對しチエンバレン英首相からムツソリーニ首相宛に送つた親書に對し厚く好意を謝し右に對するムツソリーニ首相の返書は二日グランデ大使より直接チエンバレン首相に手交した旨を傳へた後英伊關係調整に關し積極的な意見交換を遂げたといはれる

佛は英伊接近を歓迎

パリ(ハ) 英國政府の對伊接近工作に對しフランス外務省は極めて好意的にこれを迎へ英國政府の對伊親善確保により歐洲平和を脅威する猶が取除かれやうと觀察してゐる、フランス外務省の見解を綜合すれば左の通り

一 英國政府は歐洲平和と工作にムツソリーニ首相の支持を確保した曉更にドイツ政府に働きかけスペイン内亂から手を引かせて新ロカルン條約の締結促進を企圖しよう

一 英國政府の右工作が成功すれば来る十月頃には新ロカルン條約會議開催の運びに至るかも知れぬ

スペイン復辟案

ローマ(ハ) 英伊接近工作の内容につき種々の臆測が傳へられるがアヴァス通信社ローマ支局は次の如き報道を傳へて居る

一 一九三七年一月の英伊地中海協定はイタリアの對スペイン出兵により事實上空文に歸したが兩國はその復活について折衝することとならう

一 兩國はスペイン廢帝アルフォンソ十三世の第三子ドン・フアンを王位に就けてスペイン王政の復活を圖るのではないが、但しイタリアはスペイン王政が英國の勢力伸張の具と化するのを懼れて居り然も現在イタリアの支持するスペイン革命軍は王政反對であるといふ事實も考慮せねばならぬ

英紙論調

ロンドン(ハ) 英伊接近工作につき二日附英國各紙はそれ／＼論説を掲げてゐるが要旨次の通り

▲タイムズ
ムツソリーニ首相はチエン

バレン首相宛の親書に於て来る一月成立した英伊地中海協定の發展の可能性に言及したもので然しチエンバレン首相はこれに對し現在英伊間に介在する誤解を一掃すべしとの希望を表明したらしい

▲デーリー・メール
英伊接近の範圍は英國によるイタリアのニチオビア併合承認だがチエンバレン首相はムツソリーニ首相に對し英國政府は次期聯盟會議に於てイタリア帝國の正式承認を承諾する旨囑言したと信ぜられる

▲モーニング・ポスト
ニチオビア戰爭問題に關聯して今日尙若干の問題が存在するが今回の英伊接近こそ問題解決の絶好の機會であり之を逃すことは愚である

一 一 九三七年一月の英伊地中海協定はイタリアの對スペイン出兵によつて阻害されたのである、スペインに於けるイタリア軍駐屯こそ憂慮すべき論點であり英伊關係の恒久的改善はスペイン内亂の彼岸に於てなされるべき必要がある、英伊兩國には今や此の見方が有力化して來た

▲デーリー・ヘラルド
ムツソリーニ首相はバレスチナに對し陰謀を企てゐる、同首相はシリヤ、レバノン、バレスチナ、シナイを含む古代ローマ帝國時代のシリヤ國の再建を希望してゐるのだ

ベルチナクスの觀測

パリ(ハ) 英伊接近工作に對しフランス新聞界は種々の觀測を下してゐるが就中外交通として知られるエコド・パリ紙外報部長ベルチナクスは三日の紙上に於て次の如く論じて居る

英佛兩國政府の最高目的は西地中海からバレーリク諸島及びスペイン領モロッコ沿岸に蟠居する侵入者を一掃し英佛兩國交通路の自由を回復するにある、フアシスト・イタリアはスペイン問題に關し英佛兩國に對し挑戰的態度を取り北アフリカに於て兩國に對抗したが今や盟邦ドイツから無制限な援助を當てに出来ないといふことを悟るに至つた、然もイタリアは戰爭を仕掛けるだけの準備を持たず英國の海空軍備が自國を目標としてゐることに脅威を感じてゐる、英伊會議の結果實際にマヨルカ島並びにイビサ島に於けるイタリア軍撤収となればそれは重要な一歩を達することゝなる。

往復書翰は内容漠然

ローマ(ハ)・三 英伊兩首相の書翰往復は新ロカルノ體制確立の地均し工作として多大の注意を惹いてゐるがイタリア諸新聞は主としてロンドン、パリ、ベルリン各地特派員の報道に基き歐洲主要首都に於て一般の關心が惹起されてゐる旨を強調して居るだけで書翰の内容については何等言及せず意見も述べてゐない、一方イタリア政府當局も書翰の内容に觸れることは一切拒否して居るが消息筋は大體次の如き観測を下して居る。

一 英伊兩首相の書翰は兩國の傳統的親善關係復歸の必要を強調して居るが内容は漠然として居り親善再建に關する基礎については何等明示して居ない
一 結局兩國間に新たな交渉を開始するといふよりは寧ろ平和的協商關係の促進を目標とするゼスチニヤに過ぎぬと思はれる、但し何等か交渉が行はれるとすればエチオピア問題の處理がその出發點とならう

四國協定案復活説

ロンドン(ハ)・三 チェンバレン首相及びムツソリーニ首相の私信交換については外交界は其の眞意捕捉に懸命で殊にフランス方面では英伊接近工作が英佛離間に至らぬかと極力警戒して居る様子だが英國政府の目的は英伊兩國の緊密關係を緩和するにあり新しい友を求めて他の國との舊來の親善關係を破壊する意圖は毛頭ないといふと信ぜられる、ロンドンのイタリア大使館訪でモイタリヤは英佛離間を案する意思はなく英佛兩國間の完全な諒解がイタリアに迄延長されることを目的としてゐると強調して居るが英國政府の意圖については更に次の観測が行はれてゐる
一 イタリア政府は曾て提唱した四國協定案復活の底意があるのではないかと云はれるが四國協定案は歐洲の多數國政府が既に正式に反對を表明したものであり英國政府も其の復活には賛成しない、チェンバレン、ムツソリーニ兩首相の私信交換は要するに新ロカルノ會議に對する準備工作とみられる
一 英國政府はイタリア政府のエチオピアに對する主權を承認しその代償を求むるやうな取引の意圖はない、單に對エチオピア問題についてもつと實際的政策をとり聯盟に對するイタリアの協力政策を緩和せしめて以て聯盟に活を入れることを目的としてゐる

佛大使英外相代理訪問

ロンドン(ハ)・三 フランス大使コルバン氏は三日英國外相代理ハリアファックス卿を訪問懇談を遂げた、チェンバレン、ムツソリーニ兩首相の書翰交換による英伊接近問題及び五日開議協定の不干渉分科委員會議案につき意見を交換したとみられる

エチオピア問題解決困難

ロンドン(ハ)・三 チェンバレン、ムツソリーニ兩首相の親善交換による英伊の接近工作を契機としてエチオピア問題は再び新たな角度から歐洲外交界の重要問題となるに至つた、但しその最後の解決には依然幾多の困難が懸想され特に次の難點が擧げられてゐる

一 英伊交渉に於てはエチオピア問題の解決が主要題目の一つであるとのイタリア政府の主張は英國政府も之を認めてゐるがイタリアはエチオピア併合の正式承認を要求しロンドンのエチオピア公使館の撤去を主張してゐるから單にエチオピアを聯盟加盟國から除籍するだけでは問題は片付かない

一 結局英國政府はイタリアと聯盟双方の面目を立てる如き形式でエチオピア征服の事實を認めた意向と見られるが之にはフランスの諒解を必要とする
一 一方廢帝ハイレ・セラシエ一世は英國がイタリアのエチオピア征服を承認することに於ては勿論眞向から反對で右問題が表面化するに於ては最後の手段として自ら聯盟に臨み純理論を以て飽く迄エチオピアの主權擁護を要求するであらう、セラシエ一世は既にジエーズ教授をはじめ法律専門家と協働を開始してゐるといはれてゐる

ベルチナクス再論

パリ(ハ)・三 エコド・パリ紙外報部長ベルチナクスは四日の紙上更に英伊接近工作に關する英國政府の態度につき曰く英國國民は過去一年地中海に於て起つたあつた自國に不利な變化について漠とした見通しを保持したかつたが今や覺醒した、英國の態度は次の二原則に要約出来る

一 スペイン領土の完整を尊重すること
一 アラビアに對しては他國の侵入を許さぬ

この二原則は英伊會議の中樞とならう

獨伊兩首相親善交換説

ロンドン(ハ)・三 英首相チェンバレン氏は去る卅日ムツソリーニ首相に親善を送り英伊關係の改善を促進し歐洲外交界にセンセーションを起したがデーリー・テレグラフ紙四日の報道によればムツソリーニ首相は右に先立つ數日前ヒットラー總統に同機親善を寄せ

英國がイタリアを攻撃する場合ドイツはイタリアを支持するとの意向を闡明され度い

旨要請したと傳へられる、右ムツソリーニ首相の親善に對しヒットラー總統は折返し

少くともスペイン不干渉問題に關する各國政府の態度がはつきりせぬ間はかゝる意向闡明は不得策と考へる

旨回答したが更にヒットラー總統はチェンバレン首相の親善がムツソリーニ首相の許に届いた三十日新たな親善をムツソリーニ首相に送りドイツ政府は英伊兩國政府の緊密な接觸を歓迎する旨を精確したと傳へられる、一説によればチェンバレン首相のムツソリーニ首相宛親善は右ムツソリーニ首相のヒットラー總統宛親善に刺戟されて急遽送達されたものと傳へられるが諸般の新發展を綜合するに英佛兩國政府は新英獨佛四ヶ國條約による平和體制確立を企圖しこれがためには結局イタリアのエチオピア併合承認も已むを得ずとなすに至る形勢にあると解される

ローマでは否定

ローマ(ハ)・三 ムツソリーニ首相がヒット

ラー總統に親善を以て對英政策につき支持を要請したとの報道に關しローマ官邊は四日午後を全的に否定し次の意向を洩した

所謂ベルリン、ローマ編輯が順調な進展を示しつゝある時を好んでかゝる非常手段に出る必要があるか、所謂親善交換問題は全く新聞の捏造記事に過ぎない

ベルリンでは肯定

ベルリン(ハ)・三 ムツソリーニ首相の親善問題に付きベルリンの確實なる筋ではヒットラー總統が先週ムツソリーニ首相から親善を受領した旨確認した

英外交の再検討

ロンドン(ハ)・三 チェンバレン首相は英國外交の再検討に際し先づムツソリーニ首相と親善を交換他方ドイツ政府とも折衝して居る様子だがその打診工作は大體に於て順調に進捗し近々具體的展開を示すものと期待される、右につきUP通信社ロンドン支局は今秋早々ドイツ外相ノイラート男、イタリア外相チアノ伯のロンドン訪問により外交交渉の本格的火蓋を切るべく或はイーデン外相のローマ訪問も實現するものと見てゐる、英國政府の根本方針は對獨伊關係の改善より歐洲更に進んで世界平和の確保、殊に米國及び極東各國との關係調整にも乗出す意圖だと具體的に次の通り報じて居る

一 英伊兩國間の諍解を一掃し國交關係を改善する

一 英獨關係の緊密化を圖り新ロカルノ體制確立進んでドイツ政府の聯盟復歸問題等を論ずる

一 スペイン内亂を終結し平和の脅威を除去するため外國義勇軍を引揚げ革命軍に交戦團體を承認する
一 日支衝突は大して長引かぬものと見

られるが紛争一發落となり次第日英兩國政府間に政治的協定を遂げ極東安定の要因とする

一 英米兩國間の瞭解促進の第一歩として英米通商條約を締結する

英伊本格的交渉は九月

ローマ(ハム)駐伊英國大使ドラモンド氏は七日ローマを出發五週間の予定で休戦國の途に就くこととなつた、大使はロンドンに歸還の上イーデン外相以下外務省首脳と會談しチェンバレン首相の提唱した英伊關係調整案につき打合せを遂げた後九月中旬歸任イタリア政府との間に本格的折衝を開始する予定である、離間するにチェンバレン、ムツソリーニ兩首相の親善交換に基く英伊關係調整案に關し兩國政府の見解は原則的に一致してゐるが細目については未だ何等具體的の決定には到達してゐないと言はれる、調整案を繰る離間はイタリアのエチオピア併合承認問題でイタリア政府としてはいかなる協定を締結するにしても同問題の解決を圖る方針と傳へられるがイタリア政府は從來同問題の解決を急いだ爲め屢々失敗した事情あり九月の聯盟總會がエチオピア問題を處理する迄は最終的解決は不可能であるとの見透しの下に性急的態度には出ないと見られる

佛伊接近工作

パリ(ハム)駐佛イタリア大使チエリツチ氏は六日午後シヨータン首相を訪問英伊兩國接近工作に付き諒解を求めた、仄聞するにイタリア政府は對英接近工作と併行して對佛國交關係の調整に乗出すこととなり右席上チエリツチ大使は英伊接近の結果佛伊關係も亦改善されやうと言明した、佛伊交渉の前途は未だ豫測の限りではないがフランス政府は大體次の意向

を有して居るといはれる

一 フランス政府は佛伊接近の代償としてイタリア義勇兵がスペイン領バレーアリック諸島より撤退しフランス本國と其の 아프리카 領土間の交通線に對する脅威を排除することを要求する

一 以上の代償としてフランス政府はエチオピアに對するイタリア政府の主權承認問題を考慮する用意がある

エチオピア併合承認説否定

パリ(ハム) 英佛兩國政府はムツソリーニ首相の示唆に基き對伊關係の調整につき意見を交換してゐるが、右に關聯して一部外國ではイタリア政府のエチオピア征服を承認し進んで地中海の現状維持につきイタリア政府と交渉を行ふことに英佛兩國政府で意見一致したと傳へられてゐるに對しフランス當局は之を否定、十日次の如く語つた

英佛兩國政府は國際問題につき一般的緊密な協力を維持してゐることは事實だが一部で傳へられるやうにエチオピア問題、地中海現状維持問題の何れについても兩國間に交渉を開いた事實はない



單一労働者黨の提唱

パリ(ハム) 共產黨機關ユマニテ紙によれば共產黨は社會黨に對し着々合併工作を進め、單一なプロレタリア黨を締結する前提の下に次の提案をなした

一 社會黨執行委員會共產黨中央委員會は毎月二回合同會議を開き情勢を検討し對策を決定する、兩黨の地方組織も同様

一 全國に亘り宣傳活動を統一する

一 社會黨は共產黨機關ユマニテ紙に、共產黨は社會黨機關ボニレール紙に夫々協力する

社會黨提議を拒絶

【パリ(ハム)】 社會黨書記局は卅日共產黨の合同提議を拒否した旨發表した

豫算削減令公布

パリ(ハム) フランス政府は卅日休暇最後の國務會議を開催しフラン大統領領司會の下に豫算削減並に公共事業案を審議した結果次の緊急令を採擇直ちに公布することとなつた

△一九三八年度臨時支出削減に關する法令

- 一 明年年度臨時支出四百億フランを百七十億フランに減じ、國防費百十億フラン、公共事業費三十六億フラン、恩給基金廿四億フランとする
- 一 以上何れも公債で賄ふ
- 一 公共事業に關する法令
- 一 鐵道輸送と一般道路輸送との調整
- 一 八月卅一日迄に鐵道國有化を行ふ

ジョーレス記念日

パリ(ハム) 一九一四年七月卅一日非戰論を振かざして兇彈に斃れたフランス社會主義の父ジャン・ジョーレスを記念して卅一日左翼諸黨の示威行動がありジョーレスを祭るパンテオン前廣場でブルーム前首相、デルボス外相等が交々反戰平和を強調した

互戰デー

パリ(ハム) 大戰参加記念日の集會は平和擁護同盟の主催でパリ郊外ヴァンセンヌで行はれジャン・ゼイ文相、各黨代表の外元英閣僚サー・ハーバート・サミュエル氏、支那代表方振武等が演説した

ドリオ派落選

サン・ドニ(ハム) 新ファツシヨ派「フランス人民黨」總帥ジャック・ドリオ氏の議員辭任に伴ふサン・ドニ區下院議員補缺選挙は一日行はれたが人民戰線側の共產黨候補マルロニ氏が當選しドリオ派の候補マルロ氏は落選した、ドリオ氏はブルーム前内閣によりサン・ドニ市長を罷免されたのに對し抗議の意思表示としてサン・ドニ市會の自派議員を總辭職させ改選を行はせたがその結果人民戰線派が大勝したので自らも下院議員を辭したのである

フランス銀行利下げ

パリ(ハム) フランス銀行は三日公定割引歩合を五分から四分に引下げた、同行はシヨータン内閣成立前六月十四日四分から六分に引上げたが新内閣成立によりフラン貨も漸次落付いたので七月六日五分に引下げ今更に一分引下げたものである

パリ(ハム) パリ財界は佛銀公定割引歩合引下げにつき次の觀測を下して居る

一 公定割引歩合の引下は銀行専門家がフラン貨現在の水準を保持し得るとの確信がついた證左だ

一 一方シヨータン内閣の實施した財政經濟諸法令が國家財政の安定に向つて恒久的効果を示すだらうと確信せられるに至つたためである

CGT全國委員會

パリ(ハム) 労働總同盟は四日ジュネーヴ書記長司會の下に全國委員會總會を開き情勢を検討した結果

一 一年間に亘り獲得された社會改良の諸成果を飽くまで擁護する

孔祥熙パリに乘込む

パリ(ハム) 國民政府財政部長孔祥熙氏は五日早朝ロンドンからパリに到着六日は午前首相官邸にシヨータン首相を訪問北支の時局を中心に長時間に亘り懇談を遂げた、次いで米國大使ウイリアム・ブリット氏主催の午餐會に出席ブリット大使と同懇談した、孔祥熙氏は會談後新聞

對支特別借款

一 資本退縮乃至海外逃避の挑發行為を排撃し財政經濟の健全な恢復を要望する

一 特に勤勞者の生活引下による不法な經濟復興策に反對する

旨の決議案を可決し直ちに政府に通達した

人民戰線とシヨータン内閣

ベルリン(ハム) ナチス黨機關「フレイグ・ジャーナル」紙は人民戰線とシヨータン内閣との關係に付き左の如く論じてゐる

人民戰線は依然シヨータン内閣の外交をバリ・モスクワの線に沿つて指導する勢力を有してゐる、シヨータン首相は佛伊協力を英佛提携の下に維持しようとする意に努力しモスクワ・パリ・ヴァレンシア・羅馬の孤立防止に大奮力、かかる現状に於てはフランス共產黨が、ソボエ外交を攻撃し又デルボス外相はソボエ政府が不干渉委員會でムーア士民兵を外國義勇兵として取扱ふべしとの主張に不満であつてもこれらは一の証に過ぎずモスクワとパリは依然二人一役を演じてゐると見るのが至當であらう

記者團に對し語る

シヨータン首相並にブリット米國大使と懇談したが兩者共支那の實情をよく諒解し同情を示されたことは感謝に堪えない、八日夜パリを出發ベルリンに向ふ豫定だがその前にボンネ離相にもお目にかゝつて懇談するつもりである孔祥熙氏はロンドン退去を前に支那の關稅收入を擔保とする二千萬磅の對支新借款につき原則的瞭解に到達したと傳へられ更に右對支借款には米佛日各國銀行家の諒解ありと稱してあるが實情は最近北支に於ける事態に鑑み各國共對支經濟援助はこの際躊躇してゐるので孔祥熙氏は躍起となつて諒解運動に奔走してゐるものと見られる

對支特別借款に關印

パリ(ハ・ハ)孔祥熙氏はパリ到着以來フランス政府當局並にパリ銀行團に對し對支經濟援助を懇請連日懸命の折衝を續けてゐたが九日午後に至りフランス銀行團との間に特別クレデット設定契約に調印した旨發表した、新クレデット契約は「支那の在外資金充實を援助するため」といふのみで金額及び融資銀行等具體的内容は一切發表されないう、P 通信社パリ支局の聞知するところではクレデットの總額は四億フランで右金額は國民政府の在外資金としてパリに預金し必要に應じ引出すことになるものと見られる、孔財政部長は右契約調印を了し九日夜パリを出發ベルリンに向つた

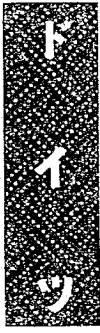
米國側の觀測區々

ワシントン(ハ・ハ)孔祥熙氏がパリ銀行團から對支特別クレデットを獲得したとの報道はワシントン官場でも興味を以て迎へられてゐるが今回の契約の意義に付ては種々の觀測が行はれてゐる、一部では

金額は四億法と稱せられるがこの程度の小額クレデットでは經濟的意味は殆んど認められないから寧ろ政治的動機に基くジエスチユアと思はれると見てゐるが、他の一部ではクレデットの詳細な條件は分らないが恐らくは支那の物品購入に對する短期的融資のやうなもので支那は今後對支輸出超過によつて蓄積するフラン貨を以て支拂ふことになるであらうといひ別段政治的意味はあるまいと見てゐる

クレデット總額二億法説

パリ(ハ・ハ)孔祥熙氏が九日パリ銀行團との間に調印した對支クレデット契約の内容は一切發表されず P 通信社パリ支局は總額四億法と報道したがアヴァス通信社の十日確報するところによれば總額二億法といはれる、新契約は「支那の在外資金充實を援助するため」フランス銀行團と中國銀行の間に締結されフランス側のクレデット許與に對し中國銀行は同額の銀塊を擔保として提供することになる模様である、尤も今回の契約は數ヶ月前から孔祥熙氏が躍起となつてフランス銀行團へ運動してゐたものが漸く話が纏り孔部長歸國の前に調印したもので特に政治的意味はないと云はれる



キュンメル博士渡日

ベルリン(ハ・ハ)日本美術の權威として知られるベルリンの國立博物館長オットー・キュンメル博士は駐日ドイツ大使デイルクセン氏の斡旋で近く日本に赴くことになつた、博士はドイツで日本古典美

術展覽會を開催する計畫につき日本當局と種々打合せを遂げる筈

オシツキー轉向説

ベルリン(ハ・ハ)一九三五年度ノーベル平和賞受領者カール・オシツキー博士は昨秋肺患のため政治犯收容所を釋放されベルリン郊外のサトリウムで病氣療養に努めてゐたが D・N・B 通信社によれば最近健康回復したので今後の方針について種々考慮の結果従来の平和運動を清算して醫學寫眞技師として餘生を送るに決意したといはれる、右轉向決定により問題のノーベル賞金全額九萬七千マルクはオシツキー博士に手渡されこれを資金に同博士は新生活に入る譯である

獨外相煥外務次官懇談

ウィーン(ハ・ハ)ドイツ外相ゾラート男は目下外務次官マツケンゼン博士等と共にオーストリアフォラルベルグの山地に避暑してゐるが九日オーストリア外務次官シュミット博士の訪問を受け獨外關係につき種々懇談した

廢物利用委員長

ベルリン(ハ・ハ)ドイツ政府は經濟四ヶ年計畫を樹立以來自給自足經濟の確保に邁進してゐるが四ヶ年計畫總司令ゲーリング將軍は十日ウィルヘルム・チーグラー氏を廢物利用委員長に任命大々的廢物利用運動に乘出すこととなつた

新聞記者追放

ドイツ新聞記者追放
ロンドン(ハ・ハ)英國内務省は七日ロカルナンツァイガー紙特派員フオン・クロ

ームス助手レデー氏、グラフ・ライヒスジヤハ通信社特派員ランゲン氏の三ドイツ新聞記者の滯英許可證再下附を拒絶し二週間内に英國退去方を要求した、但し理由は明示されな

ドイツ抗議

ロンドン(ハ・ハ)ドイツ代理大使ヴェーレルマン氏は九日午前英國外務省を訪問しドイツ新聞記者三名の國外退去に對し抗議した、但し抗議の内容は確健だと信ぜられる

タイムス記者の退去を要求

ベルリン(ハ・ハ)ドイツ政府は十日午前駐英ドイツ代理大使ヴェーレルマン博士を通じて英國政府に對してロンドンタイムス社がベルリン安局長ノーマン・エバツト氏を二週間以内にベルリンから召還する豫必要手段をとられたい旨要請した、ドイツ政府の要請内容と解される所左の通り

一 ノーマン・エバツト氏は數年來ドイツ政府の好意を無視して反獨的報道を續けて來た

一 よつてドイツ政府はロンドン・タイムス紙がエバツト氏を召還することを要求するが若しこれに應じない場合ドイツ政府は進んで同氏のドイツ滯在許可を取消せざるを得ない

ドイツの報復手段

ベルリン(ハ・ハ)ドイツ政府がロンドンタイムス社ベルリン支局長エバツト氏のベルリン退去方に付き正式外交手續を取つた結果本問題は果然ベルリン外交界の話題となつて居るがベルリナー・ペルゼン・ツァイトウング紙はドイツ政府の立場を代辯し十日次の如く報じて居る
エバツト氏は常にドイツ生活の悪い反

面のみを狙ひタイムス紙の讀者に對しドイツについて好くない印象を與へるやうな噂や話題を報した、ドイツ政府は爾來必要な手段をとる考であつたが英國兩國關係に紛糾を來すことを懼れ躊躇して來た、然るに今や英國政府が三人のドイツ記者にロンドン退去を命令した以上ドイツ政府としても最早猶豫する理由はない、唯ドイツ政府が英國人記者三人に退去を要求せず單に一人としたのは寛大と節度を示したものである

英國強硬

ロンドン(ハ・ハ)ドイツ政府は英國内務省がロンドン駐在ドイツ新聞記者三名に對し國外退去方を要求したのに對抗、報復手段としてベルリン駐在ロンドン・タイムス紙特派員ノーマン・エバツト氏の更迭を要求して來た結果新聞記者團の召還を繞つて英國兩國間に泥試合が演じられやうとしてゐるが消息通によれば英國政府は飽く迄強硬態度で押通す意向と言はれ一方タイムス紙もエバツト氏の更迭を拒絶してゐるから問題は相當紛糾を免れまいと見られる、因にドイツ政府はリッベントロップ氏がまだ無任所大使だつた當時同氏を通じてエバツト特派員の更迭を要請して來たがタイムス社は斷乎之を拒絶した

孔祥熙獨支提携に狂奔

ベルリン(ハ・ハ)國民政府財政部長孔祥熙氏はロンドン、パリにおける使命を終へて十日パリよりベルリンに到着午後直ちにベルリン近郊ブノウの別荘にドイツ經濟相シヤハト博士を訪問し長時間に亘り協議を遂げた、席上孔祥熙氏は極東の情勢を説明した後獨支經濟提携の緊密

化、相互貿易の増進及び一九三六年獨支武器借款補充を要求したが一方シヤハト博士から國民政府の容共政策對日政策等につき辛辣な質問を浴びた模様である。孔祥熙氏は五日間ベルリンに滞在ドイツ政府當局者と會談し極力獨支接近に努めると見られるがドイツ政府は英米佛三國の對支態度を注視殊に北支事變に對しては嚴正中立の建前を堅持し來つた關係上此の際武器借款補充には反對するのではないかと見られる。然し武者小路大使は近くドイツ政府に對し國民政府の現状を指摘し防共協定の精神に基き注意を喚起すると豫想される。

孔祥熙語る

ベルリン(ハル) 孔祥熙氏がロンドン、パリで行つた借款交渉の成果につき十日同氏側近者は「極東の情勢に鑑みロンドンで今直ちに二千萬磅借款を担保する意思はなく更に事態の好轉を俟つことゝなる」と語つた、一方當の孔氏は借款並に極東の事態につき次の通り語つた。ロンドンで廣海鐵道借款三百萬磅、浦蘆鐵道借款四百萬磅の契約に調印したことは事實である。又パリに於てフランス銀行團との間に支那幣制援助のため特別クレディット契約に調印したことは余の最も満足とする所である。支那國民は元來平和を愛するが獨立と國權擁護のため暴力に對し暴力を以て應へざるを得ぬ破目に立至つたのである。



英國新聞の輸入解禁

ローマ(ハル) 英國の新聞雜誌は「反伊宣傳をなす」との理由で去る五月來イタリア

國內への輸入を一切禁止されてゐたが六日イタリア宣傳省は右禁止を解除する旨發表した、最近英伊關係改善の結果とみられる。

伊首相シチリア島へ

ローマ(ハル) ムツソリーニ首相は九日午後ガエタ軍港を出發、軍艦でシチリア島に向つた、ムツソリーニ首相は来る十二日より十八日までシチリア島を中心として行はれるイタリア陸海空軍合同の大演習を統裁する。

大演習の意義

ローマ(ハル) イタリアの陸海空軍合同大演習は愈々十二日エマヌエル三世親臨を仰ぎムツソリーニ首相統監の下にシチリア島を中心として舉行されるがイタリア各紙は十日一齊に大演習の意義を強調英伊接近工作の進められてゐる折柄注意を惹いてゐる、ジョルナル・デ・イタリア紙は曰く「シチリア島はイタリア本國とアフリカ大陸とを繋ぐ見事なる橋とならう、更にガゼタ・デル・ポホロ紙は地中海制覇の夢を述べて曰く「今や我々は地中海沿岸諸國の指導者たるの地位に立たんとしてゐる、スペインでは復活を目指す流血の闘争が行はれてをり我等が背後には一路獨立に邁進するエヂプト、新生活に發足した全アラビヤ同胞が控へてゐるではないか」



ドイツ出動艦隊入替

ベルリン(ハル) ドイツ戦艦アドミラル・シニエア號巡洋艦ケルン號並に第二水雷艇隊はスペイン近海出動中の艦艇と交替

するため卅一日根據地を出發スペイン方面に向つた尙出動艦隊司令官フオン・フイツシャー中將もカールス大將と交替することゝなつた。

ベルリン(ハル) スペイン近海に出動中のドイツ戦艦アドミラル・クラウフ・シニエ一號は四日巡洋艦ニールンベルグ號及び第四水雷艇隊を從へキール軍港に向け歸還の途についてた。

新サラマンカ駐劄伊大使

サラマンカ(ハル) 新任サラマンカ駐劄伊大使は大使ヴィオラデイカナルト氏は一日革命政權總統フランコ將軍に對し信任狀を捧呈した。

教皇國革命政權承認

サラマンカ(ハル) ローマ教皇國アントニツチ師は過般來サラマンカに於てフランコ將軍との間に教皇國と革命政權の接近策について協議してゐたが四日フランコ將軍はダイシエマ侯バプロテユルカ氏を教皇駐劄革命政權代表に正式任命したが右は教皇國が革命政權を實質上承認した證左と見られる。

革命政權駐獨大使

ベルヒステスガデン(ハル) スペイン革命政權の新任駐獨大使アントニオ・デ・マガス侯は六日正午バイエルン地方ベルヒステスガデンの山莊に於てヒトラー總統へ信任狀を捧呈した、席上マガス侯大使は革命政權に對するドイツの友情を感謝した後

フランコ將軍はボルシエヴィズム排撃のためドイツと共同戦線を張る決心であるナチス第三國家の諸原則はスペイン獨特の傳統を加味した上スペインに於て實現せられよう

と述べこれに對しヒトラー總統は革命政權が共產主義打倒に拂ひつゝある努力に對し深甚な敬意を表した。

英伊佛商船を空襲
アルジェ(アルジェリア) 英國油槽船ブリチッシュ・コノポラル號六九七二噸はベンチン油を積んで英國へ歸航の途六日アルジェに去る卅五連の沖合で所屬不明のスペイン飛行機三臺が一時間内に互り約四十彈の爆撃を受けた但し無電機を破壊したのみで命中しなかつた續いて午後六時同所を航行中のイタリア商船モンゴリア號(一三三噸)も數臺の飛行機から爆撃並に機關銃射撃を受け船長は重傷を負つた最後にフランス貨物船ジユベール・アムール號(一九〇八噸)も同所で數臺の飛行機から機關銃射撃を受けた。

佛國革命政權へ抗議
パリ(ハル) フランス政府はアルジェリヤ沖合でフランス商船ジユベール・アムール號がスペイン軍飛行機の襲撃を受けた事件につきスペイン革命政權に嚴重抗議することゝなり九日その旨出先フランス領事に訓令を發した。

スペイン人民戦線内訌
パリ(ハル) スペイン前首相ラルゴ・カバリエロ氏は党内不統一の責を負ひ去る五月桂冠しがホアン・ネグリン氏を首魁とするヴァレンシア政府の無政府主義者トロツキースト派彈壓工作に憤慨共和派分子を組織して内亂當初に於けると同様な色彩の政府樹立を主張政府との間に確執を生じて居り問題は相當重大化してゐるといはれる。

不干渉委員會

局面稍々好轉
ロンドン(ハル) 英國政府の不干渉協案は諸事手續に關するソウエトと獨伊兩國の對立意見で行儀に状態に陥つてゐたが議長アリマス卿は四日午後フランス大使コルバン氏、イタリア大使グランデ伯、ソウエト大使マイスキ氏と會見局面打開策につき協議を遂げた、その結果事態は稍々好轉した模様でソウエト政府の再訓令到着を待つた五日に開く協定の分科委員會を六日に延期することゝなつたソウエト大使マイスキ氏はアリマス卿との會見に於て交戦團體權承認問題は義勇軍撤收後討議すべきだとの主張を繰返したがアリマス卿が妥協的態度をとるやう説得に努めた結果モスクワへ再訓令を仰ぐことを受諾した、モスクワから訓令到着迄に二日間を要する見込みもなつた分科委員會は一日延期することゝなつたのである、一方イタリア大使グランデ伯はアリマス卿に對しイタリア政府は不干渉委員會の困難を増大せしめやうとする意思はない旨確言したと傳へられ不干渉委員會の前途は稍々樂觀されるに至つた英國政府は此の機を把へて各國に英國案を受諾せしめた上アリマス卿をして専門委員會と協力の下に具體案を作成せしむる意圖と見られる、かくして各國代表が修正の權利を留保しつつも妥協案に同意すれば具體案の作成は専門委員會の手に委ねられ不干渉委員會は一旦休暇に入るものと見られ結局最終解決には更に時日を與へるのが最良の方策と見られてゐる。

ソウエトの態度緩和
パリ(ハル) フランス外相デルボス氏はロンドンに於けるイーデン外相の努力と相呼應して四日ソウエト大使スーリツツ氏と會見不干渉問題に關しソウエト政府の

態度緩和を求めたがデルボス外相の既得奏効ソヴェト側は著しく譲歩するに至つたといはれる、ソヴェト政府の新方針として傳へられる所左の通り

一 交戦國體權承認の前提としてムーア士民軍を含む全外國義勇軍を撤収せよとの要求を撤回し英國政府の提唱する「實質的撤収案」に同意する

一 但しその場合獨逸獨伊兩國政府が義勇兵撤収に關する意圖を明確に表明し且實質的撤収の意義が正確に規定されることを要求する

不干渉分科委員會はソヴェト政府の訓令を待つため五日開會の予定を變更して六日開催されるがソヴェト政府の妥協的態度により事態好轉を豫想される

不干渉妥協案又々失敗

ロンドンハム・不干渉分科委員會は六日午後三時十五分英國外務省に開會議長プリマス卿司會の下に不干渉體制維持案に付き討議を再開した、劈頭プリマス議長は英國妥協案に關し先來各國代表と種々折衝を續けたが結局意見の一致を見るに至らなかつた旨を報告、息抜き案として國際監視隊本部長ヴァン・ドールム提督に監視報告書の起草を依頼する提言をした、次いで討議に入りソヴェト代表マイスキー大使は從來の態度を幾分變更し交戦國體權承認問題の討議を必ずしも拒否するものでない旨強調して左の如く述べたソヴェト政府は外國義勇軍の撤収、海陸監視の設置、陸上監視制の復活等不干渉維持に關する英國妥協案の中一切の項目を受諾するが他方同案中には交戦國體權賦與の如く不干渉問題とは全然關係なく然も他の項目と人爲的に結びつけられてゐる部分のあることを看過することは出来ぬ、交戦國體權を認容する如きは結局嚴正中立たるべき

不干渉委員會が叛軍を援助するに等しい然もかゝる不當極まる交戦國體權賦與案をもソヴェト政府は事態の圓滿收拾の爲には將來これを棄權する機會を拒否するものではない但し獨伊葡三國代表は未だ義勇軍撤収案に對しその態度を闡明してゐない、三國代表は交戦國體權承認問題と切離して無條件に義勇軍撤収に應ずるかどうか明確な返答を承りたい

次いでドイツ代表ヴエールマン代理大使はソヴェトの挑戰に應じて曰くソヴェト代表の主張は當面の問題とは全く關係なく見當違ひも甚だし、獨伊兩國が海上監視隊から脱退した今日英佛兩海軍が依然海上監視を續けることは不公平であり即時廢止されるべきであらう、然しながらドイツ政府はプリマス卿の要請に基きヴァンドールム報告が作成される迄右問題に觸れることは留保せしめ

續いてポルトガル代表モンテテロ大使はポルトガル政府は義勇軍撤収問題を含め英國妥協案を全的に受諾するがソヴェト代表の主張する如く妥協案中の一項目を他項目から切離してこれを検討することに賛成出来ぬ

と應酬しドイツ代表ヴエールマン博士、イタリ代表グランデ大使は又々ポルトガル代表の見解に支持を表明した、これに對しマイスキー大使再び起つて獨伊葡三國代表が齊しく余の質問に回答を拒否したことは三國政府が自國義勇軍撤収を全然考慮してゐない證左である

とやり返し購場は全く白けわたつた、こゝに於てプリマス議長は英國妥協案はその全部を同時に検討すべきものである、現在の狀態を以てしてはこれ以上討議を續けることは無益であらう

と結び結局プリマス議長の國際監視報告書起草案を採擇して午後六時十五分散會した次回開會は報告書の脱稿を俟ち約二週間後となる見込でその間現狀維持を以て進む

一 英佛兩國艦隊は海上監視を
一 不干渉監視隊は歐洲各港の軍需品積出監視を
一 國際監視員はスペイン向け船舶に搭乗を

續ける筈である但し英國妥協案の實現は最早殆ど望み薄となつた尙散會に先立ち不干渉委員會計係は各國代表部中分擔金持納者多き旨を指摘し至急拂込まれたき旨督促した

フランス側の見解
パリハム・ソヴェト代表が不干渉分科委員會に於て從來の強硬態度を緩和したことに對しフランス政界は満足を表明し右はデルボス外相不干渉委員會プリマス議長、コルバン駐英大使等の斡旋の結果であるとして確信するにソヴェト政府は五日獨伊兩國のスペインからの義勇軍引揚げ誓約と實質的引揚げの意義の明確化を條件として革命政權の交戦國體權承認先決案を受諾するに決定したと云はれる英國政府の妥協案が流産に歸した原因としてパリ消息筋の指摘する所は

一 ソヴェト政府は義勇軍引揚げを強調し過ぎて交戦國體權承認問題を忘れた
一 獨伊兩國政府は交戦國體權承認を要求し過ぎて義勇軍引揚げ問題を忘れたといふにありフランスとしてはソヴェト政府が参加しない限り交戦國體權承認案を考慮することは出来ずオーストリア及びチエツコスロヴァキアに對するナチスの侵出が懸念される折柄ソヴェト政府を除外して交渉を行ふは不可能としてゐる



保衛人民委員新任
モスクワハム・聯邦中央執行委員會幹部會は先頃罷免したグレゴリー・カミンスキー氏の後任としてボルディレフ氏を聯邦保衛人民委員に任命した

駐日ソヴェト大使赴任
モスクワハム・新任東京駐劄ソヴェト大使ミハイル・スラウツキー氏は六日午後モスクワを出發單身シベリア經由赴任の途に就いた、八月下旬東京着の豫定である

北極越冬班動靜
モスクワハム・ソヴェト北極探險隊越冬班ババニン班長以下無機技師クレンケル氏、水生物學者シルシヨフ氏、天文學者フョードロフ氏一行は極地のキャンピングを續けてゐるが五日モスクワへ達した無電報告によれば全員元氣旺盛引續き各種の観測に従事して居る、目下キャンプ内の温度は零下二度前後、無機技師クレンケル氏はホルルのアマチュア無線家との間に無電連絡に成功した

肅正工作

共青の肅正續く
パリハム・アヴァス通信社モスクワ來電に依れば最近スターリン書記長の肅清工作の手は共産黨員の間に伸ばされ多数の異分子が逮捕され或は自殺したといはれる、獨立航空隊司令官シュニャービン將軍、陸軍航空科學研究所長ボメラントフ將軍も逮捕され共産青年同盟執行

委員會第二書記リュキアノフ及び共青コミンテルン代表フラインベルグ兩氏は自殺したと傳へられる、なほウクライナ地方共産青年同盟でも多数の同盟員、主として新聞記者を人民の敵として共産黨から追放した

ウクライナで八名處刑
ベルリンハム・ウクライナ地方ノボスシチクよりの報道に依れば四日同地官營ソーセージ工場の支配人以下使用人八名は反革命運動の罪で逮捕審判された結果三名は死刑四名は禁錮十年一名は禁錮七年を言渡された處罰の理由は犯人等が情を知つて毒入りソーセージを販賣したためにノボスシチク市民百廿二人が中毒したといふにある

コカサス鐵道従業員處刑
モスクワハム・A B 通信社が六日コカサスのオルジョニキーゼ市から得た報道によれば同市鐵道従業員十八名は反革命及び間諜行為の罪で一括處刑された

辭典編纂者糾彈
モスクワハム・ブラウダ紙は七日の紙上に於て「科學辭典」の主任編纂者デルジャヴィン氏並びにオプノルスキー教授等に對し「政治的不忠者、トロツキスト思想の傳播者」の烙印を押し槍玉に擧げて居る、理由はこれら編纂者が辭典編輯に當りバイブル或はカール・ラヂツクは豊富に引用したにも拘らずカール・マルクス或はマキシム・ゴルキイからの引用は全然見られず辛うじてレーニン並にスターリンの引用があるに過ぎないからだと

對支工作

外蒙軍強化説

ベルリン【ハル】ドイツ新聞アングラ紙は五日の紙上モスクワよりの報道としてソヴェト政府の外蒙軍強化指導につき大々的に報じ、中國共產黨の大立物毛澤東氏及び共產黨書記長スターリン氏の會見等につぎ次の如く傳へて居る

極東の事態はソヴェト政府當局の中心關心事であり既にスターリン黨書記長は中國共產黨の首魁毛澤東氏及び國防人民委員部長朱德氏を招致極東に於けるソヴェト政府の軍事計畫につき熟議した、毛澤東氏は右協議を終飛行機で蒙古人民共和國首都ウラバートルに赴いたが同地には目下ソヴェト極東軍司令官ブリュツヘル將軍も滞在である、蒙古軍は特科隊、裝甲車隊及び空軍部隊等全面的に強化された、ブリュツヘル將軍は蒙古軍を再組織し其の戰鬥力を擴充するため自ら閣兵に乘出したのである、一説には廣東及び武漢革命政府時代のソヴェト政治顧問ボロヂン氏も極東に向つたといはれる、ボロヂン氏は茲數年來支那を共產化するため種々畫策して居た

ブリュツヘル支那出動か

パリ【ハル】パリ・ミデイ紙は五日の紙上リガ特派員の報道としてソヴェト政府が極東司令官ブリュツヘル將軍に對し急遽某方面に赴き支那軍隊の對日抗戰を指揮するやう指令したと傳へてゐる、リガ特派員の報道内容次の通り

ソヴェト政府はブリュツヘル將軍に對し支那の抗日を組織化するため至急出動し且國民政府との間に對支軍需品輸出に關するソ支協定を締結する機指令した、茲數日間モスクワ市内各工場は盛んに大衆集會を開き對支積極援助を

決議してゐる、尤もソヴェト政府當局は北支事態の惡化を好まず出来れば日支双方の平和的解決を要望してゐるが斯る希望實現の可能性は益々薄らぐ一方である、一方スターリン黨書記長はブリュツヘル元帥が一時極東軍を去つたのを機會に今迄ゲ・ベウの爲し得なかつた極東軍に對する徹底的肅正工作に乘出す意向だともいはれ近く極東軍首腦部に大手入れがある模様である

モスクワでは否定

モスクワ【ハル】赤軍極東軍司令官ブリュツヘル將軍が蔣介石氏との間に軍事通商協定締結の使命を帯びて支那方面に向つたとの外國各紙の報道に對しソヴェト政府筋では五日事實無根として之を否定した、モスクワ駐支次大使將廷藏氏も同じく右報道を否定次の如く述べた

ソ支軍事通商協定締結説が外國で流布されてゐる模様が通商協定交渉は別に新しいことではなく過去二年來續けられてゐる、支那は現在自己防衛の爲め全精力を集中して居りソヴェト民衆の對支同情が如何に昂まらうとも外國の援助に頼る積りはない

主力艦注文説

米國へ主力艦數隻注文か

ニューヨーク【ハル】ソヴェト政府が米國で戰艦艦の大買込を交渉中とのセンセーショナルな風説が入りニューヨークで傳へられた、即ちソヴェト政府は最近ニューヨークにカーブ輸出會社なるものを設立右會社を通じて三萬五千噸級新式主力艦二隻乃至三隻の建造注文を發すべく目下米國商社との間に交渉を進めてゐるといはれる、カーブ輸出會社所屬

艦士は八日同會社はモロツコフ人民委員會議長の義弟サミュエル・カーブ氏を社長とし軍艦購入の目的でニューヨークに設立されたものである旨言明したが問題の主力艦注文交渉細目に付ては「未だ言明の時期でない」と逃げを打つた、但し米國海軍消息通は米國造船界が現に手不足で自國艦船の建造にさへ支障を來してゐる現在艦士ソヴェト軍艦の建造迄引受ける筈は又五萬一引受けることとして主力艦一隻の費用四五千萬弗としてその二、三倍の巨額の代金を一體何うして支拂ふかといふ問題もあり恐らくソヴェト一流の宣傳としてゐる

英國注視

ロンドン【ハル】ソヴェト政府と米國會社との間に十六時を搭乗する三萬五千噸の主力艦二隻乃至三隻の建造契約につき交渉が進められてゐるとのニュースに基づき英國海軍省筋では若し之が事實とすれば甚だ困つたものだとし眞相の判明を囑首してゐる、然し同時にソヴェト政府が斯る大型の主力艦を造るのは作戦技術上策を得たものでないといはれてゐる、英海軍筋の意見を経合すれば次の通り

若し報道が事實とすれば日本がそれを凌駕する戦艦を建造することは誰も予想する所であり、又ドイツも困難な交渉を重ねた上漸く締結した英獨海軍協定を再考しなければならぬこととなる、斯くて建艦競争は新たな刺激を受ける虞がある、然し技術的に見てドイツが制海権を握つて居るバルチック海に於て三萬五千噸といふやうな大戦艦はドイツの潜水艦の攻撃を避ける爲に全く立往生の状態に陥るから餘り役に立つまい、極東に於ては有効かも知れないがそれはソヴェトが日本と同程度の軍艦を持つことを條件とする

ワシントンでは疑感説

ワシントン【ハル】ソヴェト政府の戰艦建造契約交渉説は相當注目されて居るが國務省に對し未だ軍需品統制法に基き許可申請が提起されてをらず一部では此の噂は肩摩物と見て居る、其の理由として挙げられて居る所は次の通り

一 造船業者にとつては額が大きいだけに大きな誘惑だが一方假令建造を完了してもその當時の事態によつては引渡し出来ず代金が取れぬ事態が生ずることと考慮に入れなければならない

一 建造費の最も高い米國に注文を發するの疑問である

一 米國の造船業者は優秀職工に不足を來してをり技術的に注文に應じられない、尤も一隻位なら兎も角それ以上は米國の建艦計畫を阻害する虞がある

一 武器の輸出は既に各方面に反對があり相當問題になる可能性がある

一 ソヴェト政府の主力艦注文説は既に數ヶ月以前噂に上つたもので當時國務省へは米國の商社から假説的基礎の下に問合せがあつたがこれは主力艦の部分品の注文に關するものでその後話は立ち消えとなつた、要するにこの噂は對日牽制のための宣傳的意味が多分に含まれてゐるのだらう

北樺太油送管設置問題

モスクワ【ハル】タス通信社は日本の北樺太石油會社の油送管敷設問題につき六日左の如く發表した

北樺太石油會社は過般樺太東北海岸カタングリ附近に油送管を敷設する件につきソヴェト政府へ許可を申請して來たが右は既に敷設済の油送管の事後承諾を求むるもので違法である、最近頻

々たる條約違反行為に鑑み北樺太自治當局は北樺太石油會社に對し條約義務並にソヴェト法律を遵守せしむる模範當の措置を講じつゝあり



モロツコ治外法權撤廢さる

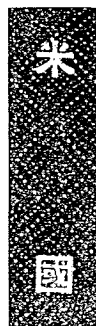
ロンドン【ハル】英佛兩國政府は一九〇四年の英佛共同宣言に基き佛領モロツコに於ける外人治外法權制度を撤廢するに意見一致、駐英フランス大使コルバン氏は廿九日英國外務省に於てイデーデン外相との間に右に關する協定に調印を了した協定要旨次の通り

一 モロツコに於ける英國人並に英國政府の保護を受ける外國の法律的特權を廢止し爾後フランス、モロツコ共同裁判の管轄に屬せしむ

一 モロツコに於ける英國人に有利な一切の法律を撤廢す

一 モロツコに於ける英國駐兵權を撤消す

一 以上の代償としてフランス政府は英領ザンジバルに於けるフランス人の特權的地位を撤廢す因みに右特權制度は一八五六年英國ウィクトリア女皇とモロツコ太守との間に締結されたタンジール條約に基くものであるが今回の協定により英國人はフランス人と全く同等の地位に立つに至つた、新協定成立に次ぎ兩國政府は近くモロツコに關する通商協定締結の交渉を開始する筈である



新労働法案上院通過

ワシントン(ハ・ロ)米國上院は廿一日の本會議に於てルーズヴェルト大統領の特別敎書の趣旨に基き四十時間労働制並に最低賃銀制を規定する労働法案を可決直ちに下院に回附した、同案の要旨次の通り

一 労働時間並に最低賃銀の水準を決定するため五人の委員よりなる労働水準委員會を組織する

一 委員會は各産業個々の事情に應じ労働條件を決定する、但し最低賃銀は一時間四十仙以上、最短労働時間は一週四十時間以下に及ぶことを得ず

同案は殆ど全米労働者の六割に適應されるもので上院通過はルーズヴェルト政権の一勝利と見られる

▼下院外交委員會可決
ワシントン(ハ・ロ)下院労働委員會は四日上院から回附された新労働法案を可決した

政治ゴロ取締法案
ワシントン(ハ・ロ)米國上院外交委員長キー・ピットマン氏は二日上院に對し「政治ゴロ取締法案」を提出した、右法案の目的はワシントンの各國公使館附近を徘徊する政治的示威運動者を輕罪の罪で懲罰せんとするものである

確定ダンピング問題
ワシントン(ハ・ロ)米國財務省は輸入日本確定にダンピング條項を發動すべしとの國內當業者の要請は理由なきものとしてこれを拒否するに決した廿一日發表した

右に關し財務長官代理ステープン・ギボンス氏は語る

米國確定業者は過般來日本確定の米國向輸出はダンピングなりとして關稅法にダンピング條項の發動方を要請してゐたが國務省當局は調査の結果ダンピングの事態を認めず右要請は理由なしとしてこれを拒否するに決定した

米國武器輸出統計

ワシントン(ハ・ロ)米國國務省は七月中の米國對外武器輸出統計を六日發表したが對支輸出が六十萬三千非で第一位を占めてゐる主なる輸出先並に内譯は次の通り(單位千非)

支 那	六〇三
內 譯	
軍用機	二九四
小銃、ピストル、彈藥其他	三〇九
日 本	二〇三
メキシコ	二〇〇
ヴェネズエラ	一七一
アルゼンチン	九〇
ブラジル	二八

下級裁判所改革案上院通過

ワシントン(ハ・ロ)ルーズヴェルト大統領の大憲院改革案は米國政界に異常な反響をよび起し約半歳改革案を繞つて激烈な論争が續けられたが大統領の初志遂に成らず七日米國上院は大憲院改革案に代る骨格案、下級裁判所改革法案を可決した、大憲院は今後立法による急激な大憲院改革を避け徐ろに老齡判事の引退を待つ方針に出るものといはれる、上院は休會を急ぐため同日更に數個の法案を一括可決したが上下兩院は大體二週間休會に入る豫定である

驅逐艦貸與案

伯國(軍艦六隻貸與決議)

ワシントン(ハ・ロ)マサチューセツ州選出民主黨上院議員デヴィッド・ウォルシュ氏は七日上院に「ブラジル政府に對する驅逐艦六隻貸與決議案」を提出した、ウォルシュ議員の提案は國務省の要請に基くもので同議員は提案理由を次の如く説明した

ブラジル政府は最近の國際情勢を顧る懸念し同國の實力に相應する海軍力の建設を計畫して居る、米國國務省としては他國がブラジル援助に乘出す前に米國から軍艦を貸與してブラジルを援助した方が賢明であるとの意見である

貸與を豫定されて居る艦は全部驅逐艦超過の退役艦だといはれる

日本も關心
リオデジャネーロ(ハ・ロ)米國上院議員ウォルシュ氏の老齡驅逐艦六隻貸與問題はブラジル全國の注意を喚起してゐるが特に貸與問題が聯盟主權資源問題委員會に於ける日本の態度に脅威を感じたブラジル政府が國防強化の意味から行つた提案であつたため日本出先當局でもこれを重大視してゐる、但し九日リウーケン海相及び軍令部長が何れも海軍側の本問題につき何等知る所なしと宣言したのでブラジル政府の要求なるものが海軍側の意圖でないことだけは判明した

ハル長官宣明

ワシントン(ハ・ロ)米國國務省がブラジル政府の申込みに基きウォルシュ議員をして七日上院へ提出せしめた「ブラジル政府に對する驅逐艦六隻貸與決議案」に對しアルゼンチン各紙は連日反對論を唱へてゐるがハル國務長官は十日新聞記者團との會見に於て決議案の趣旨を闡明して左の如く述べた

ブラジル政府に對する驅逐艦六隻の貸與案は一九三六年ロンドン海軍條約を初め如何なる國際條約にも抵觸するものでない、更に右決議案は其他の米洲諸國と絶對平等に取扱ふことを條件とし米國政府が適當と認めた時には何時でも當該驅逐艦の返還を要求し得る權利を留保してゐる、それに右老齡驅逐艦六隻は軍事的目的に使用されるのではなく單に訓練用に使用される筈だ

國 防

米國アジア艦隊歸航

浦羅(ハ・ロ)司令官ヤーネル少將麾下の米國アジア艦隊オーガスティス號及び驅逐艦四隻は去る十八日浦羅を公式訪問したが四日間碇泊の後一日午後浦羅を拔錨し一路歸航の途に就いた

米艦隊訪日無期延期

ワシントン(ハ・ロ)浦羅を訪問したヤーネル提督麾下の米國アジア艦隊巡洋艦オーガスティス號以下五隻は歸途日本諸港を訪問する豫定であつたが米國海軍省は九日日本訪問は無期延期に決した旨發表した、延期の理由は發表されないが極東の情勢緊迫の結果急遽根據地へ歸還するためと見られる

驅逐艦衝突

ヴァレジョヨカリフォルニア州(ハ・ロ)米國海軍驅逐艦ウォーデン號(一、三九五噸)は艦尾に七呎の穴を明け三日ヴァレジョへ入港した、海軍當局は發表を避けてゐるが二日サンフランシスコ南方百五十哩の海上に於て演習中驅逐艦レイド號(一、三九五噸)と衝突したものでレイド號も吃水線上の舷側を破損修理のためメリアイランド造船所に曳航されてゐるといはれる

明年度主力艦建造り聲明

ワシントン(ハ・ロ)米國政府は海軍無條約時代に對應既に一九三七年度に於て三萬五千噸級主力艦二隻の建造を開始したが海軍作戰部長リ提督は四日新聞記者團に對し米國海軍は一九三八年度に於て更に新主力艦二隻を建造する計畫ある旨次の如く述べた

海軍は次期議會に對し新主力艦二隻及輕巡洋艦二隻の建造費を要求する方針である、新艦は艦齡超過艦の代換を目的とし舊ロンドン條約の制限を遵守しようとするに外ならない、現在就役中の主力艦七隻は既に艦齡を超過して居るが海軍としては舊ロンドン條約の規定する主力艦保有最大限十五隻迄近代的新艦を建造して代換補充を行ふ方針である、巡洋艦についても同様の方針である

驅逐艦進水

ボストン(ハ・ロ)米國海軍驅逐艦マクフォード號は七日ボストン海軍造船所に於て進水した、同號はクレープン級驅逐艦で千三百九十五噸である

勞 働

絹業總罷業を決議

バタソン(ニュー・ジャージー州)(ハ・ロ)C.I.O.指導下の米國絹業界は愈々險惡化し七日午後バタソン絹業労働者約一千名募集の下に開かれた労働者大會は遂に絹業總罷業を決議する九日を期し一

齊に罷業を開始する旨指令を發した。C I.O 指導者カール・ホルダーマン氏は語る。

我々の要求が容れられない場合ニュー ジャーシー、ニューヨーク、ペンシルヴァニア各地區並びにニューヨーク、ペンシルヴァニア各地區の絹業労働者は愈々来る九日を期し一齊に罷業に入るであらう。パタソン市のみでも絹業労働者は六千名に達してゐる。

一方これに對抗し絹業資本家側も七日ニューヨークに全國代表者六十七名を招集協議の結果 C.I.O の手による全國的絹業罷業は不正極まるものとして資本家側の戦線を統一強化斷乎反駁に出ることとなつた。

米ソ通商協定

米ソ新通商協定成立

ワシントン(ハセ) 米國政府は豫てソヴェト政府との間に米ソ通商協定改訂の交渉を進めてゐたが此の程協定成立ルーズベルト大統領は六日午前十時新協定を公布した。新通商協定は去る七月十二日滿期失効した協定に代位するもので期限は僅か一年であるが米國がソヴェト聯邦に對し初めて關稅上の利益を與へたのみならず他國に許してゐる通商上の特權を悉く許與してゐる點は注目される。新協定の要旨次の通り。

一 米國は一切の關稅事項に關しソヴェト產品に對して無制限且無條件最惠國待遇を供與する。

一 ソヴェト聯邦は米國に於ける買付額を増加し少なくとも年額四千萬ドルの米國製品を輸入することを約す。(前行協定では三千萬ドル)

一 有効期限は一ヶ年とす、延長のため

には期日滿卅日前に交渉開始するを要す。

ソヴェト政府發表

モスクワ(ハセ) 米ソ新通商協定に關しソヴェト政府は六日タス通信社を通じ次の如く發表した。

リトヴィノフ外務人民委員は去る四日米國大使ジョセフ・デーヴィス氏との間に米ソ新通商協定に關する慶書を交換ソヴェト聯邦人民委員會は六日右交換慶書を批准し同日ルーズベルト米國大統領は新協定を公布した。從つて新協定は一九三七年八月六日より實施されるが兩國間の輸出入品に對し無條件最惠國待遇が保障される。

ソヴェト新聞有頂天

モスクワ(ハセ) ソヴェト黨機關アラウダ紙政府機關イズヴェスチヤ紙は七日八日の紙上に夫々社説を掲げ米ソ新通商協定を禮讚し米ソ親善強化の途を拓くものだとしてゐる。

中南米諸國

ボリヴィア大統領更迭

ラ・パス(ボリヴィア) (ハセ) ボリヴィア大統領ダウイド・トロ大佐は七月十三日辭職し代つてボリヴィア陸軍參謀總長ヘルマン・ブッシュ・ペセラ大佐が大統領に就任した。

コスタリカ訪日使節團

サンノゼ(ハセ) 近くコスタリカ經濟使節團長として渡日する薩相ラウル・グルデアン氏は四日突如職相の職を辭した但し訪日の豫定には變更なく經濟使節團一行と共に八月十五日日本に向け出發する。

管

サルヴァドル聯盟脫退

ジュネーヴ(ハセ) サルヴァドル政府は十日國際聯盟事務局に對し正式に聯盟脫退を通告した。脫退理由は「經濟的理由」に依るとされてゐる。因みにサルヴァドル政府の聯盟加入は一九二〇年三月十日である。

アジア

シヤム政變

曼谷(ハセ) ビヤ・パホル・ボラバヌハセナ大佐を首班とするシヤム内閣及びアデイチャ・デイラプハムを議長とする攝政會議は國王所有地賣却に終る醜聞に關し議會で攻撃的となり廿九日遂に總辭職した。

國際平和工作

新ロカール打診工作

ロンドン(ハセ) 英伊兩首相の親書交換を契機として新ロカール體制再建に關する打診工作が再び活潑を呈するに至つたが五日ロンドン外交界消息通の傳へる所に依れば英國政府は今秋ロンドンに専門委員會を召集、新ロカール會議の準備工作を遂げる方針の下にベルリン・ローマ駐劄自國大使を通じて打診した結果獨伊兩國政府とも大體賛成の意圖を表明したといはれる。但し専門委員會の權限に就いて未だ必ずしも意見一致せず英國政府は

委員會の討議を純然たる技術的事項に限定したい方針でありドイツ政府もこれを支持して居るのに對しイタリア政府は次の條件を提起して居ると傳へられる。

一 英國政府が先づイタリア政府のエチオピアに對する主權を承認することを前提條件とする。

ハル平和聲明の反響

四十餘國ハル聲明に賛成

ワシントン(ハセ) ハル國務長官は七月十六日世界平和維持に關する聲明書を發表し各國の「國際的自制を希望したが七日迄に英佛ソヴェト聯邦、スカンディナヴィア諸國、中南米諸國等四十餘國よりハル長官の聲明に賛成の旨米國務務省に通過してきた。右ハル長官の聲明は特定國に宛てたものでなく米國の外交方針を一般的に闡明したものに過ぎないが聲明前後の事情から見て日支紛争並にスペインの内亂を目標としたものと見られ、從つて何等意思表示のない國々の中には日本支那、イタリア、ドイツ、スベイン等が含まれてゐる。以上回答の中廿七國は文書を以て其他は大公使を通じ口頭を以て、國務省に通告したが何れも抽象的に平和論を述べ日支紛争に言及したものは一つもない。文書を以てしたものは中イデン英外相の回答は最も簡單で百語を出でず單に

ハル長官の聲明を衷心より歓迎すると共に長官の述べられた見解には全く同意である。

フ氏の回答は約五百語で例によつてソヴェト政府の平和的努力について手前味噌を並べてゐる。最も長文のものはハンガリー政府の回答で同政府はこの機を利用して歐洲の若干國がトリヤノン平和條約の義務を無視してゐる事實を續述してゐる。

ソヴェト歡迎

モスクワ(ハセ) ソヴェト聯邦外務人民委員部はハル國務長官が行つた世界平和維持に關する聲明につき七日次の如く發表した。

米國政府は七月十六日ハル國務長官が新聞に發表した世界平和増進聲明をモスクワ駐米國大使ジョセフ・デーヴィス氏を通じてリトヴィノフ外務人民委員に通報して來た。右に對し同月廿三日リトヴィノフ外務人民委員も全く賛成支持する旨の回答をデーヴィス米國大使に手交した。

世界平和會議の氣運

ワシントン(ハセ) ハル國務長官が去る七月十六日中外に發表した米國の外交政策に關する一般的聲明に對しては既に世界四十餘國が賛意を表明して居り且世界の重要首脳に於ては早くも活潑な樂屋裏の折衝が行はれてゐると傳へられルーズベルト大統領は機會を見て世界平和會議を提唱するのではないかとこの觀望が有力となつて來た。日獨伊西の諸國は未だ態度を明確にしてゐないが廣田外相、ヒトラー總統、ムソッリニ首相は皆て平和會議開催に原則的賛意を表してをり會議招集に支障を來すこととはあるまいと見られる。勿論會議開催の時期は今の所全然豫想を許さないが現在ロンドンで行はれてゐる戰役並に通商問題に關する英米間の非公式交渉を近くリースロス氏の渡米を機としてワシントンに移し戰役賦拂の

復活、賠償不拂に對する調停を禁ずる
ジョンソン法の廢止延いては大規模の國
際金融の復活を促し以て平和會議招集の
機運を醸成するに至るものと観測される

ドイツも支持

ベルリン(ハ)ドイツ政府はハル國務長
官の聲明に對し今日迄沈黙を守つてゐた
が九日非公式に同聲明に原則的賛意を表
し左の如く言明した
ドイツ政府の根本方針は平和的手段に
より國際關係の調整を目的とするもの
であつてハル國務長官の見解と完全に
一致する

平和を希望するもの

ワシントン(ハ)ボルチモア・サン紙は
九日平和を希望するものと題する論説
を掲げハル聲明の反應につき次の如く述
べた
七月十六日ハル國務長官は中外に對し
國際平和に對する米國政府の方針を明
かにした聲明を發し大いに列國の良心
と道義心に訴へたがこれに對する列國
の反應は頗る興味深い對照を示してゐ
る英佛ソ以下大多數の諸國はハル聲明
に對し滿腔の賛意を表して來た、ハン
ガリー、ブルガリア、南阿聯邦は原則
として賛成だが大戰の結果戰敗國に課
せられた不當な條約の存続する限り永
久平和は望みがないと一本釘を打つて
ゐる支那とスペインは現に戰亂の渦中
にあり到底かゝる高遠な問題に關つて
ある進がないため未だ何等回答を寄
せてゐない、同様に同答組の中に目下
支那及びスペインで戰つてゐる日、獨
伊の三國が額を並べてゐるもの面白い
組合せである

國際雜誌

航空

性病撲滅大會

ケルン(ハ)第三回國際性病撲滅聯盟大
會は日本以下十五ヶ國代表出席の下に一
日西獨ケルン市に於て開會ジュネーヴ醫
科大學のデューボア教授議長に推され討議
に入つた

ノルマンディ號新記録

ニューヨーク(ハ)フランスの豪華船ノル
マンディ號(八二七九噸)は去る廿九日
午前五時五十七分シエルブル港を出港
ニューヨークへ向け往航の途についたが
一日午後十一時五十九分ニューヨーク港
外アンブローズ燈臺を通過シエルブル
と同燈臺間二千九百六十七哩を三日廿三
時二分で航破し本年三月廿二日ニューヨ
ークからシエルブルに向ふ歸航に於て
同船の作つた四日六分二十七秒の記録を
更に一時間以上短縮し大西洋西向け横斷
のブルー・リボンを獲得した、平均時速
は三〇・五八節であつた

ノルマンディ復航にも新記録

パリ(ハ)ノルマンディ號は八日ニュー
ヨークよりフランスのシエルブル港に
到着したがこの復航に於て去る三月十八
日に樹立した、大西洋横斷航新記録四
日六分を破り三日廿二時七分といふ驚異
的新記録を樹立したこれにより一日往航
の隙作つた西航新記録三日廿三時間二分
と共に大西洋横斷東西兩航路のブルー・
リボンを完全に獲得した譯である復航の
平均時速は三二・二〇節大西洋横斷の汽
船が平均時速卅一節以上を以て航行した
のは今回を以て最初とする

大西洋空路

▼カンブリア號

フォインズ(ハ)英國インビリアル航
空會社のカンブリア號はグリーニツヂ標
準時廿九日午後六時北アイルランドのフ
ォインズを出發、第二回大西洋横斷試飛
飛行の途に上つた
ボトウッド(ハ)カンブリア號は米國
東部標準時卅日午前十一時四十八分ニ
ューファウンドランドのボトウッドに着水
した

▼クリツパー機歸航

フォインズ(ハ)汎米航空會社のクリ
ツパー機は第二回大西洋横斷試飛飛行の
往路飛行に成功七月卅日正午アイルラン
ドのフォインズに到着して以來機翼を休
めてゐたがグリーニツヂ標準時六日午前
四時十九分フォインズを出發ニューファ
ウンドランドのボトウッドへ向け歸還飛
行の途についた

▼クリツパー機歸航

ボトウッド(ハ)クリツパー機は六日
午後四時五十分フォインズよりボトウ
ドに到着七日午前六時卅五分更にボト
ワシントンへ向つた
ボートウシントン(ハ)クリツパー機
はボトウッドよりの最終コースを一氣に
翺破七日午後三時三十分根據地ボート・
ワシントンに歸着した

「空の三銃士」將校に任命

モスクワ(ハ)聯邦國防人民委員ワラ
シロフ元帥は北極圈空路開拓に輝しい
功績を顯はした「空の三銃士」チカロフ氏
を陸軍大佐、バイツコフ氏を陸軍少佐、
ベリアコフ氏を陸軍技師に三日夫々任命
した

米國旅客機墜落

バルボア(ハ)汎米グレース航空會社
の定期旅客機シヨルススキー水陸兩用「サ
ンタ・マリア」號は旅客十一名乗員三名を
乗せて三日未明パナマのクリストバル附
近上空を飛翔中豪雨に遭遇行方不明とな
つた、急報に接し潜水艦その他艦艇を現
場に急派附近海上一帯を捜査せしめた結
果サンタ・マリア號がパナマ運河地帯バ
ルボアの甘涅沖合海上に墜落して居るの
を陸軍機が発見直ちに急報したので驅逐
艦「ベイツ」號「テラー」號は救助のため現
場に急航した、但し乗組員一同は斃死を
遂げた模様である

ソヴェト旅客機墜落

アカレスト(ハ)モスクワ、ブラハ間ソ
ヴェト定期旅客機は六日午後ルーマニア
のトランシルヴァニア地方サラツェル附
近上空を飛行中火を發して墜落チコス
ロヴァキア人の乗客二名及びソヴェト人
乗組員四名斃死した

北極圈經由飛行記録公認

モスクワ(ハ)ソヴェト中央航空協會
スポート委員會は八日既に北極圈通過モ
スクワ、ヴァンクーヴァー間飛行に成功
したチカロフ、バイツコフ、ベリアコフ三
鳥人の直線飛行距離八千五百八十二キロ
を「ソヴェト」記録に公認した、但し三飛
行士の實際に翺破した距離は約一萬キロ

以上に達して居る

ソヴェト三番機縦育へ

モスクワ(ハ)最近二ヶ月間に二回に
亘り北極圈經由米ソ連絡飛行に成功した
ソヴェト政府は引續き「スターリン空路」
の商業化計畫を進めつゝあつたが愈々第
三回試験飛行にはソヴェト名飛行家シギ
スムント・レヴァネフスキー氏が乗出す
ことになり近日中にモスクワを出發北極
經由ニューヨークに向ふことになつた、
レヴァネフスキー氏の使用機は發動機四
基前四人乗全重量卅五噸の大型機である
今回の飛行は前二回と異なりアラスカの
フェアバンクスに一旦着陸、同地で給油
の上シカゴ經由ニューヨークへ向ふもの
である、この航空路は前二回に比し距離
は長いがより安全だといはれ従つてレヴ
ァネフスキー氏の意圖は無着陸飛行記録
の樹立ではなくて全く米ソ連絡商業航空
路の開拓にあると見られる

訂正

第三號「三四頁」科學欄「ビ教授の壯
舉又失敗」本文八行迄を左の如く訂正し
ます

ビ教授の壯舉失敗

ランシング(アイオワ州)【七六】有名な
ブリュッセル大學物理學教授オーギニス
ト・ビカール博士の弟でこれも成層圈研
究家として知られるジャン・ビカール博
士は過般來新氣球の製作を急いでゐたが
愈々完成したので(以下米國中報標準時
……と讀く)

北支と同盟社報道陣の躍進

報
道
報
國
精
神

七月七日夜半、蘆溝橋事件勃發を梗概に、我が皇軍は暴戻支那軍膺懲の師を進める事となつた。然して我が皇軍の向ふところ敵なく、事變發生以來三旬にして、宋哲元麾下の廿九軍は掃滅せられ、北支治安は確立の曙光を認められるに至つたが、自らの非を顧ることなき中央軍は、なほ對日決戦を豪語して抗日戦備を進めつゝあり、戦雲更に擴大を思はしめるものがある。

我が同盟通信社においては、北支事變勃發と同時に、その事態の容易ならざるに鑑み、通信報國の實務を完了するため、直ちに現地は固より全支に亘る支社局、通信員を總動員して、正確なるニュースの敏活報道を期したのであるが、更らに本社より特派記者、寫眞班員、映畫班員等の特派し、もつて、報道陣容の強化完璧を期した。

これら通信報國の重點を擔つて第一線に活躍するものは、酷烈百度を越ゆる焦熱地帯にあつて、皇軍と伍し、或は硝煙彈雨の中に身を曝し、或ひは不眠不休の奮戦を續けてゐるのである。

武器こそ執らね、そのペンとカメラによる報道
報國精神は、忠勇義烈なる我が皇軍の魂と、相對
比すべきものがあるであらう。

われらは茲に、今次事變に従軍せる新聞特派員の報道報國を永久に記録するために、七月廿六日皇軍の北平廣安門入城に從つて廿九軍の不法射撃をうけ、死生の巷に身を曝した本社特派員川崎正雄記者の手記と、同月廿九日通州城内にあつて保安隊の叛亂に遭ひ、萬死に一生を得た北平支局勤務安藤利男記者の脱出記を輯録する事とする。

こは、よく身命を賭して報道報國の使命を果した新聞通信記者の、貴重なる戦史であることを信ずるものである。

北支報道陣

特派員		整理部長	社會部長	政治部	同會部	同政部	同文部	外信部	聯絡部	滿洲國通信社	同同同同同	特派寫真班員	特派映畫班員	北平支局	天津支局	支局長	通信部長																														
松方義三郎	岡村俊二郎	塚村伸二	中村康郎	齋藤辰助	高崎雄馬	川崎正雄	三久武雄	近藤精一	坂下健司	茂木學惠	水村正樹	相澤敬信	佐伯留吉	小堀道夫	梧井修治	田口貞一	牧島和男	川口貞一	田中嘉次郎	菱刈隆文郎	八住紫郎	佐々木健兒	安藤利郎	山本榮太郎	津川不可止	鮎川正敏	木下正敏	小出利男	松村利男	猪股芳雄	阿部孫三郎	伊藤喜三郎	大原安四郎	高橋定光													
濟南支局		支局長	中南支報道陣										本社特派員					上海支社					漢口支局										南京支局					廣東支局					香港支局				
友松傲夫	廣瀬正助	竹中三郎	勝下虎彦	長谷川才次	松尾哲夫	半谷高雄	鵜澤邦男	大星石松	松本重治	奧宮正澄	高見達夫	石口貞一	堀口邦典	二瓶瑞雄	松尾信穆	荒川之助	今川鮎二	稻津武喜	江藤石松	大輪主子	菊地太一郎	葛岡常治	小寺巖	相良一雄	佐々木稜一	白坂正男	杉下武夫	田中盛文	張昭銘	長池正義	松代問次	松代問次	松代問次	松代問次													
青島支局		支局長	伴野韶光	坂本末松	山本秋實	福成秋實	戶井田耕	本多靜枝	村上末新	蕭百根	張龍儒	步啓儒	梶原國生	川股三郎	小久保丈夫	中村豐夫	磯田小四郎	李正隆	奧宮正隆	坂田寬藏	白倉寬藏	高島光子	久木和雄	吉井政司	曹頌平	白倉清一郎	牛島俊作	石橋岩藏	李文龍	松代問次	松代問次	松代問次	松代問次	松代問次	松代問次												

廣安門生還記



特派員 川崎正雄手記

七月廿六日我が廣安門隊は警察當局との協定に基いて北平北在留邦人保護の任に當るべく豊臺を出発トラク○臺に分乗して廣安門より入城することとなり川崎特派員は廣安門隊の入城を迎へべく城内支所を出て、國通三木眞班員、J○トキー八住映畫班員、東京日々新聞石川特派員等と共に廿九軍顧問櫻井中佐に隨行城門際に到つて我が軍の到着を待受けた。

然るに暴虐なる廿九軍は約に反して城門を鎖し迫撃砲、機關銃、小銃等の一齊射撃を浴せた、時既に日は没して咫尺を辨せず暗闇を突裂く十字閃光の中に機關員ならぬ新聞記者團は破邪の銃火を酬ゆることも出来ず生死の巷を彷徨する一時間半を経過した。

斯くて戦闘が止んだ時には三木國通眞班員は敵弾のために重傷、八住映畫班員は輕傷を負つてゐた。幸にして無事なるを得た川崎特派員は廣安門隊と共に交民巷の我が兵營に入り直して左の手記を本社に打電したのである。

◆…事前の奸計…◆

記者はいま、極度の興奮と憤激に燃えながら筆を運んでゐる。餘りにも不法なる支那軍の計畫的射撃は、惡鬼の行爲以外の何物でもない。

記者は廿六日午後六時半、國通三木、J○八住君と共に櫻井顧問に隨行して、廣安門に赴いたのであるが、不誠意極まりなき支那側は事前の諒解あつたにも拘らず、城門を固く鎖して土簾を積み、形勢全く不穩なるを思はせた。

いまだに思へば、この時既に支那軍は、皇軍を奸計に陥れるあらゆる準備を完了してゐたのである。

城門を開くに先立つて、廣安門に通ずる大道街の各民家の表戸を悉く閉鎖せしめ、日頃繁華な附近は早くも無氣味な静けさに陥つてゐたのだ。廿九軍兵を除く人影は、僅かに城壁上に登つた櫻井顧問と、城門外の路上に残された日本人新聞記者、及びその運轉手等十

數名に過ぎなかつた。

◆…暴戾一齊射撃…◆

午後七時十分、豊臺からのトラクが、何等の狐疑するところもなく一臺また一臺、スピードを落して廣安門を通過しはじめた。三臺目が城門を通過した途端、パンパァンと、突如！ 全く突如！ 三發の銃聲が響いた。續いて起る機關銃の掃射！

堅固な城壁から二十メートル直下にある皇軍の先頭部隊及び無抵抗の記者團、並に眞班員は、眞向から暴戾極まりなき支那軍の猛射を浴びたのだ。ハツと思ふ暇もあらず迫撃砲、手榴彈、機關銃小銃の亂射は、夕闇漸く濃い廣安大路に閃光を交錯させて物凄く限り！ 記者は城門に據る敵を僅々二十メートルの目前に眺めて全くなすところを知らなかつた。

◆…僚友倒る…◆

次ぎの瞬間國通眞班三木君は「アツ」と叫んで敵弾に倒れてしまつた。ニュース映畫班八住君も、遂に負傷したらしく起てない。折悪しく來合せた邦人二名も傷ついた。

記者は僅かの掩護物を發見して辛くも身を隠したが、驟雨の如く落下する敵弾に全く生きた心地もない。

敏捷果敢なる皇軍は、このとき早くも城門を距たる數百メートルの地點に、間髪を入れず散兵線を展開、直ちに支那軍層戀の機關銃猛射を開始してゐた。

兩軍の間に挟まつた記者の進退は全く合まつた。いまはたゞ皇軍に對して、不法なる支那兵の徹底的憎惡を發露するのみであつた。

記者は心中遙かに故國に残した家族に、そしてまた朋友に訣れを告げた。

大陸の晝は長いと言へ、午後八時ともなれば日はつづりと暮れ果てた。掩護物に隠れて機を待つこと一時間半、夜と共に戦闘は休止した。

◆…漸く本營へ…◆

このとき突然、コツ／＼と軍靴の音がした。支那兵の來襲と背直感したが、いとも沈着なる我が看護兵が負傷者を探ね廻つてゐるのであつた。

記者は鮮血淋漓たる重傷の三木國通眞班員を背負ひながら次第に後方に退つた。

そのなかにも敵はなほ執拗に射撃を浴せる。

だが嗚呼、漸く百メートル程後退したとき、三木君は「もう駄目

だ」とぼつたり倒れてしまつた。記者は萬策盡きて應援を求めつゝ危險を侵して更に後退を續け、漸く我が散兵線が布かれてある地點に到達した。

そして三木君の手當を軍醫に依頼し、三四名の記者と協力して三木君を擔架に載せ、午後十時頃漸く王子校の我が主力部隊迄運ぶことを得た。

◆…悲壯な叫び…◆

此處では敵弾に負傷した我が兵士が三名手當を受けてゐた。九死に一生を得た各社記者眞班員は此處に一應集合して、互に手を取りあつて心から無事を祝した。

然しいまだ安心を許される状態ではない。廣安門の敵は益々増加する形勢にある。後方は戒嚴嚴重を極め、城内には一歩たりとも踏み入れることが出来ない。

記者等非戦闘員一同は、いづれも北支特有の塵埃をなめながら、軍用トラクの下に潛り込んだ。

午後十時半頃と覺し頃、敵の手榴彈が落下○隊長は悲壯な叫びを擧げた。

多勢をたのむ支那軍は既にこの邊りにも潛入してゐたのだ。

全將兵の憤慨はいまや頂點に達し、最惡の場合を豫想して記者達は無理矢理軍用トラクの上に押上げられてしまつた。

平素澄みわたる大陸の月も、今宵ばかりは無氣味な雲に掩はれて、やがて雨さへ落ちはじめて來た。

◆…漸く生還…◆

この頃漸く心の平靜を取戻した記者はたゞ人間の運命を考へるだけで、死なば全將兵諸共と思へば、かへつて安らかな心境であつた。遠く聞く敵味方を辨せず軍用列車のひびきも、機關銃の銃聲も今は何等氣に思ひにならない。

かくする内に特務機關と警察側の交渉は漸く成立、我軍はこゝに初めて散兵線を除いた。時正に廿七日午前一時。

我々は全將兵と共に軍用トラクに搭乗して、戒嚴線を突破、宣武門から西軍碑横、長安街を経て漸く兵營に到達するを得た。時に午前一時半。交民巷には一行の安否を氣遣つた今井武官及駐屯軍首脳部がわざわざ兵營内まで我々を出迎へ、涙と共に我等の無事歸還を祝してくれた。

虎口を逃れ得た記者等は實に戦死者の靈に對し獻禮を捧げて、午前二時過ぎ兵營を辭去したのであつた。

通州脱出記



特派員 安藤利男 手記

支那側の煽動に乗って七月廿九日叛亂を起した通州保安隊の惨劇は、後から〜と鬼畜にもまさる彼等の非人道的行為が傳へられ、全國民の憤慨の血を沸かせた。

我が國民は、未だ嘗て斯の如き暴虐を他國民から加へられたことはいふであらう。

さう〜と鬼神も哭するであらう、通州の巷には、抵抗しなげな婦女子に至る迄青龍刀の刃に血塗られて、夏草を赤に染めた阿修羅繪卷が繰廣げられたのだ。

悲憤の癡性に驚れたものの我が特務機關長以下二百有餘名！我が安藤利男記者は報道の任務を帯びてこの巷にあり、辛くも奇蹟に恵まれて九死一幸、萬死に一生を得た。

通州警備の報一たび傳はるや、我が駐北平及び天津支局は固より武官室、特務機關はじめ關係方面においては多大なる好意を寄せられ、百方搜索の手を盡したのであるが、最早絶望と諦められてゐた八月一日午後三時過ぎ、本社北平支局の電話がけたまはしく鳴つた。僕は、いま朝陽門外の支那商店自興號に居る。戸外には敗殘兵がワロ〜してゐる。危険と見たら陸軍墓地に身を隠す心算だが、兎も角も迎へに來て呉れ！その聲は正しく安藤記者の肉聲であつた。憲兵隊、警察當局では直ちに救援隊を派遣の勢をとられたが門外には敗殘兵が數を増して治安の維持上朝陽門を開くことは出来なかつた。

やむなく窮蹙の一策として城壁上からロープを降され、これによつて救はれた安藤記者の口から最初に漏された言葉は「彈丸つて、案外當らぬものだ」の一語であつた。

頸筋には拳銃の掠り傷さへうけてゐた安藤記者は直ちに同仁病院に收容手當をうけたが、報道任務に忠實な安藤記者はベットに横りつゝ恐怖奇譚の脱出記を綴つたのである……。

一 熟睡を破る銃聲

記者は萬死に一生を得た歡喜と、不幸な運命に遭つた同胞に對する哀悼の悲しみと、全く相反する二つの感情に混亂しつゝこの手記を綴る……。

記者は去る七月廿七日午後八時、某部隊のトラックに同乗を許されて天津より通州に入つた。廿八日戰役者の告別式に參列し、同夜は日本人旅館近水樓に投宿した。事變突發以來、連日の活動に疲れ切つてゐた記者は、同旅館の二階の一室で熟睡してゐると、廿九日拂曉一午前四時頃でもあつたらうか、戸外の銃聲に熟睡を破られた一發、二發……銃聲は劇しくなる一方だ。何事？と飛び起きた記者は、直ちに電話機にとびついたが、時既に電線は切断されてゐるらしく、全く不通であつた。

程なく西門、南門の方向に當つて股々たる砲聲が起つて只事ならぬ氣配を感じた。宿泊人や、女中等を合せて十九名は、一團りとなつて不安に懷き乍ら戸外を窺へば、濛々たる硝煙が渦巻いてゐるのが暗闇に仄かに見える。記者は廿九軍の逆襲が保安隊の叛亂か或は藍衣社、共產黨の仕業か？などと考へてゐると、旅館の附近にも彈丸が雨のやうに落下し始めた、庭の池の直く向ひ側に在る冀東政府の廳舎とも、最早連絡がとれなくなつた。我々一同は完全に離話にされて了つた。

二 學生團藍衣社の掠奪

夜も全く明け放れた午前七時半頃、我軍の飛行機が一機飛來するのを認めた。一瞬救はれたやうな安堵を覺つたが、同機はそのまゝ飛び去つて了つた。まだ我軍は、變事の突發を知らぬのだと直感した。

その中にも砲聲は益々激しくなつてくる。遂に近水樓の五六間先の邊りにも拳銃の音が聞えて來た。……と思ふうちに、隣家にも拳銃の音が起る、不安の裡にも耳を澄ませて聞くと、聞き覚えのある保安隊の拳銃の音だ。之で漸く事態を覺つた。

窓硝子を透して戸外を窺ふと、保安隊だけでなく黒服黒帽の學生團も混つて、拳銃をこころ餘はす發射してゐる。

午前九時半頃一時銃聲が止み、一安心した處へ入つて來た近水樓子飼のボーイが、第一報を齎した。聞けば、邦人の居留する北平館旭堂の前には日鮮人が多數彈丸に撃たれて、鮮血に塗れた屍が累々としてゐるとのことである。一同危険の迫るのを覺悟してゐると、十時頃から又復銃砲聲が轟き始めた。一體それは何處から何處に向けて撃つてゐるのやら、全然判別が付かない。

やがて冀東政廳の邊りから盛んに帽子に白線を付けカーキ服を着た保安隊がやつて來る。一撃つな、撃つな」と頻りに學生團、藍衣

社を追つてゐるらしい、併し、一向肯き入れる様子もなく、黒服の學生隊が近水樓の近くに押寄せ、笛を合圖に拳銃を發射しながら、掠奪を開始し、遂に彈丸が家の中へ飛んで來る。一同二階に脱れて疊を上げ、心細い防禦陣を構へたが、危険極まりないので「屋根裏へ上らう」との提議に基いて、十九名の内十一名は屋根裏へ上つた記者もその中の一人であつた。聲を呑んだ沈黙の時間を過こし乍ら小窓から外を見ると學生が掠奪する有様が手に取る様に見える。椅子、机、お客さんの鞍等、なんでも手當り次第に持つて行く……。

三 遂に！風前の燈火

そのうちに、最初は仲間に加はらなかつた保安隊までが、掠奪を開始した。すると、一階、二階に残つた人々の處にもピストルの音が聞え始め、駭然として來たので、全く生きた心地もなかつた。只管呼吸を呑んで小さくなつてゐた。

その内に、板戸や唐紙を外す音が聞えてきた。今まで侵入の目的は掠奪だとはかり思つてゐたが、何ぞ圖らん、殘酷な非人虐殺がその目的であつたのだ。我々の生命は遂に「風前の燈火」になつて了つた。併し幸なる哉、彼等は我々の存在に氣付かず、一旦引上げて行つたのだ。その代りに、青服を着た股長官の衛隊が陸續として入つた來た。彼等は遂に我々の屋根裏に氣がついて了つた。駄目だ！もうすつかり諦めた隊長らしいのがつと首を出して、ピストルを突きつけ乍ら「我々は君等を保護するから金を出せ」と言ふなり、屋根裏に飛び上つて、女中一人を抱き降ろした。そして、その指輪をもぎとる様に奪つた。みんなが五圓十圓と金を出した。

すると、今度は我々が屋根裏から降りる手傳ひをして呉れた。然し彼等は、我々を降しておいて、その次には身の廻りの物を剥ぎとり始めた。

記者は腰に付けた寫眞機、ボケツトの中の百圓許りの金、シャーペンシル、ハンケチまで取上げられたが、中でも一番開口したのには、眼鏡をとりあげられた事で、近眼の記者には致命的な打撃であつた。また息を殺しつゝそれまでの経過を記した手記や、若し殺された場合に！と書きつづつた遺書等も悉くとられて了つた。但し、不思議に洋服やネクタイだけは残されてゐた。

それから片手を繩で縛りあげられて十一時頃じつと繋ぎになつて二階から下へ降されたが、入口のところで多數の邦人の死體を見て、戦慄すべき運命の迫つてゐるのを直覺した。

四 銃殺臺上に立つ

真に引つり出されて隊長が「決して心配するな、生命を救ふ方法がある」と言ふので、半信半疑乍ら外に手段とてなく萬事を任かせることとした。

勿論周囲には護衛隊が銃剣を磨いてゐて、逃げる隙は無いので、一同大きな茶碗に水を汲んで次々にのんだ。末期の水の心持ちなのである。

それが済むと引立てられて、官廳の軒下に通れて行かれて、腰を下させられた。其處には主として鮮人が七、八十人、我等と同じ運命を待つてゐた。見れば西脇義東教官の女秘書その他、可憐な子供達も混つてゐた。一體どうなることか見當も付かぬが、奴等の話を聞いてゐると「結局射たれる」等と言つてゐる。また隊長が現れて「城門内の銃殺場へ連れて行く」と宣告した。

「愈々死刑だ、銃殺をやるんだな」と覺悟を決めた。引き立てられて行く途中、朝鮮人の中には聲を上げて泣くものもあつたが、日本人はお互に「みんな覺悟しませう」と云ひ合つて、最後の決心を固め、肅然と歩いた。

路地を幾つも曲つて愈々銃殺場へ着いた。銃殺場には十間位の堀が掘つてあり、これを渡る銃殺されるものゝ立つ臺が幾つもある。四邊にはグロテスクな洞穴があつて、全く陰鬱を極めてゐる。

記者は先頭立つて、總勢十一人が登つた。全部かたまつて土手の内際立つた。すると矢庭に向ふ岸の廿名ばかりの敵が銃を構えて、狙撃の姿勢をとつた。その瞬間誰か判らぬ女の聲で「逃げませう」と絶叫した。その途端ハット我に返つた記者は、豫めゆるめて置いた手の縛を外して四五尺の城壁の上に躍り上つた。パン、パン、パンと虚ろな音が追ひかけて来る……。

記者は向ふ側の城壁の端に飛び付き、二丈餘の石壁を夢我夢中で攀のやうに這り降りた。

銃聲は猛烈に追ひかけて、逃げ遅れた邦人の運命が閃光の様に記者の脳裡を一閃した。

五 風聲に脅め逃避行

午後二時半頃でもあつたらうか……かくて記者は脱出行の第一歩を踏み出したのだ。

許りの川が流れて居る。ドンブリ飛込んで五六間滑つた。頭を上げると銃聲は間近に聞えるので、またもくつた儘泳ぎ續けた。

對岸に泳ぎついてまた走る……つづ濡れの服が重い……。夢中で草臥天走りを續ける事四五十分、銃聲はなほ追つかける様に斷續する、その内に村落らしい處に來ると、村民が「やあ逃げる奴があるぞ」と追つかけて來る、その中に「ものを置いてゆけ」といふ聲も聞える。村民はどん／＼追ひかけて來る。ネクタイを投げ、續いてズボンを呉れてやつた。すると追つて來るのを止めた。

次の村に入るとまた追はれた。今度は上衣を脱いでやつてしまつた。

それから盲滅法約二時間、シャツと、パンツの裸體姿で小山を越え、河を渡り、藪をくぐり、惡戰苦闘を續けた。渴を醫するために泥水を呑み、一直線に走るうち、午後六時近く、恐ろしい水溜りの藪の中に入つた。追手が來る様子もなく、このあたりなら先づ大丈夫と、藪の中で始めて一休した。

少し落ち付いてからソツト藪の中から出て、通州の方を眺めるとなほ黒煙が濛々と立ち昇つてゐた。通州に残つてゐる邦人の安否を氣遣ひ、通州一帯の混亂を想像しながら、更に足に委せて午後八時頃までびた走りにつつたが、遂に眞暗間となつたので、止むな／＼その夜は附近の高梁畑の中に潜り込んで、眠られぬ連綿一夜を明した。身體は綿のやうに疲れてゐるが、昂奮の爲めに眠れず、細を渡る風の音、高粱の葉音まで、身邊眞近に追手が追つたやうに感じられて、一睡もせず朝を迎へた。

六 保安隊の狙撃に遭ふ

記者は、昨日までは北へ北へと走り續けたが、夜の中に出來るだけ早く北平に入つて、第一報を送らうと決心した。そして第二日の卅日は西にコースを變更して、前日同様高粱畑の中を強行軍を續けたが、如何にせん前日から既足で走り通したため、足の裏はササクレ立ち、猛烈な痛みを覺えたが、そんな事に弱つては居れずびた走りに走り續けた。何分地理不案内なので、部落民にソツト聞き度いのだが、冀東區域内では直ぐ自分の身元が判る惧れがあるので、聞くわけにも行かず、そのため道の分岐點に來る度毎に頭を捻つた。特に困つたのは本道を歩けないので、間道から間道を抜けるため、一層方角の判斷に迷つたことである。

芋を掘つて來て食つた。水も河の水や溜り水を飲んで辛うじて喝を醫したが、氣が振つてゐたので別に苦痛も覺えなかつた。

二日も絶へず追跡されて居る様な心地は去らず、不安のドン底にあつた時、ヒョッコリ畑の中で保安隊と出遭ひ、突然に發砲された。

第一彈は左耳を掠め、第二發目は右耳を掠めたが、幸にして命中を免れ、盲滅法に逃げ伸びた。

斯くて第二夜も高粱畑のなかで眠つた。數度の猛襲には閉口した黄金蟲の飛んで來るのが飛行機の爆音のやうに聞えたり、高粱の風にそよ／＼姿が支那兵に見えたり、神經は針の様に尖るばかり……。殆んど眠らず夜を明した。

七 燃ゆる報道精神

三日目は朝からの豪雨にづ／＼濡れになり乍ら、丘陵を下つて來ると、間近に一軒の小屋があるのを見付けた。様子を窺ふと、池の鯉を獲つて暮してゐる漁夫の親子三人の様家で、脱出以來人間に逢つたのはこれが始めてであつた。

おつかなびつくりで話し掛けると、ず／＼濡れの記者を見て同情し五尺四方位の小屋の中に棲かせてくれた。パンと粟飯を御馳走になつたが、生れてからこんなうまい飯は喰へたことがない。

鰯腹喰ひだめして午前十時頃漁夫の親子に感謝の別れを告げて、再び教へられた通り通州街道の方に向つて雨の中を出發した。雨は降るし、眼鏡がないので視野が利かず、忽ち道を間違つて彷徨状態に陥り、全く絶望を感じた。

九死に一生を得たのだから何んとかして北平に辿りついて、通州事件を報道せねばならぬと、勇氣を振ひ起し、やつと或る村落に出た。その入口のところで百姓に遭つたので、危いとは思つたが道を訊ね、漸く通州街道らしいところに出た。めめたと思つてその方に曲らうとすると、突然傘をさした二人から「誰か」と呼び止められた。保安隊とは知らず近づいた時は既に遅く、銃を握せられて、「これまでの努力も水泡か」と觀念した。

彼等は、通州附近の部落を占領してゐた叛亂保安隊の中でも、最も癡猛な兵變の中心部隊だつたのだ。記者は有無を云はせず兩手を後手に縛り上げられて、引立てられた。

八 三度び暴戻の魔手に

足が滑るので時々轉んで頬や顎を泥の中に叩きつけられる。選いとて銃の臺尻で尻を殴られ、拳銃で背中を突つかれ、散々に虐待され乍ら、保安隊が七八十名屯してゐる食料品店らしい所に引摺り込まれた。

それから後等は記者に對して「お前は敵人と言ふ事を知つてゐるか命は貰ふから」と宣言した後、荒縄を稍々緩めて幾分か手の自由を與へ、食物を呉れたり、御湯を飲ましたりして呉れたが、一體彼等がどんな氣持を持つて居るのか、それを聞き出さうと色々話かけて見たがどうもこれ等が通州兵變の有力分子らしく、言ふ事は共產黨の指令で動いてゐるのではないと思はれるかと思へば「蔣介石が總動員令を下して鄭州で指揮してゐる」とか、正體は判らなかつたが兎に角抗日意識は熾烈であつた。

記者はなほ職業とか、年齢とか、或は「何處から來たのか等と聞かれたが、最後に何事か長い相談の結果、午後四時頃になつて、彼等は悉く記者を銃殺するに決したらしく、中の一人が「お前は三十三で最後だ、懺悔をしな」と言渡した。

十數名の射撃隊の案内で、農民に引き立てられて約十丁程離れた高粱畑の傍に連れて行かれた。彼等の話を聞いて居ると、「日本人が直ぐ後ろの山まで來て居るので銃聲を聞かれては都合が悪い、それと反對の方に連れて行つて銃聲により自分等の位置が分らぬ様にならない」と氣を配つて居るらしい。

九 ズブ濡れの儘眠る

斯くて記者は、高粱畑の角から後向きに、道に沿つて歩けと言ひ渡された。手は縛られてゐたが射撃に自信のある彼等は綱をはなして四五間遅れて歩いて來る、途端にズドンと一發發射された。

記者は無意識に身體を揺つて見たが當つて居ない。射つた方は一發でやつゝけたものと思つたらしく、もう彈丸は來なかつた。氣が付いた時彈丸はやつぱり當つて居ないことが判つたので、後向きのまゝ高粱畑の中へ向つて第二の逃亡を開始した。後からは「跑す、(逃けた)」と言ふ大聲が自分を追ひかけて來る。

彈丸の音は物凄く音を立てゝゐるが記者の體には一發も當らない「彈丸には當るものではない」と言ふことが、一つの信念となつてしまつた。

例によつて約二時間位一直線に走つた。機關銃の音は執拗につけまはるし、犬までが追かけて來るには參つた。

「高粱畑に逃げ込めばつかまらぬ」と考へて、またも高粱畑に潜んで夜に入つた。

雨は愈々激しく、シャツとパンツでは寒く膝はガク／＼と震へ、足先はシビレ切つてしまつた。

どうしても「雨は防がねばならぬ」と考へて、玉蜀黍の幹を四方八方から寄せ集め、これをスツボリと被り、にはか作りの今宵の我家を作つた。濡れては居るが高梁を敷いて、豆の葉を足の方に掛けて、ズブ濡れのまゝ疲れて居るので、何時のまにかうとうと眠り込んでしまつた。

一〇 變装して北平入り

四日目の朝は太陽はキラ／＼と輝いて、眩しい位に目を射つて來る。

我軍の飛行機が悠々朝空の靜寂を破つて飛來する。すつかり氣強くなつて、夜營に馴れて熟睡したので元氣も恢復した。

今日こそはへまをやらないで、一氣に北平に入城したいと覺悟を決めて、小高い丘の上に登り、高粱畑の上を越して遙かに西山方面へ目標を定め、最後のファンバリを見せて眞直ぐに歩き出した。

人聲がしたり、人影が見えたりする方は危險で近付けないので、迂回しなければならぬ必要上、ともすれば目標を誤り勝ちだ。

かくてやつと通州街道を五里位辿つて、趙家莊に着いた頃には流石足の裏の痛みも激しく、連日の疲れも手傳つて、どうにも進めなかつた止むなく農家に忍る／＼近づいて救ひを求めた。犬には近散くさいと見られて吠えられる、婆さんには「何をあつちへ行け」と怒鳴られて、散々目に遭つたが、人だかりのしてゐる他の百姓屋に辿りついて、暴動、殺害、脱走の模様を告げ「三日も食物をとらなかつたから何とかしてくれ」と頼み込んだところ、大いに歡迎され、十數人の部落民がボロ／＼の粟餅、大根漬玉蜀黍等を持つて來てくれた。記者は夢中で食ひ留めをした。それから百姓の奇習でほんとの農人姿に變装することになり、汚い綿子ズボンに穴の開いた袖無しを引つけて、嚮目のある古帽子をかぶり、支那靴を穿いて道案内までつけてもらつた。記者は勇んで出發した。

この姿で廿分程歩いたが、足の痛みが募つてどうにも歩けないので無一文であつたが巧みに南方人になり済まして、車を雇ひ込んだ。

一一 感激！萬死に一生

斯くて漸くのことに北平城外に辿り着くことが出來た。記者は平生から城外最先端の電話の所在を知つて居たので、直ぐ撥れ込んで、同盟支社の避難所である正金銀行を呼び出し、先づ「生きて居る」ことを第一報として告げた。

電話口に出て來たのは津田記者であつたが「生きてゐるのだ」との一言にすつかり昂奮してしまつたらしかつた。受話機をガチャリと下した後の氣持は何とも言はれなかつた。

城門通過の交渉が續まるまで保安隊の目を避けるために、陸軍臺地に入り、其處で事情を話したら、朝陽門外は案外危險がないことを聞いてはつとした。が然し相當テロに脅やかされてゐることを直感した。

大使館の自動車が來たことを丸腰の保安隊員が通知してくれたが「これは一寸着細くなるか」と心配であつた。然し今までの百姓服を脱ぎ棄て新に與へられた長い支那服に着換へて保安隊員の肩にもたれ乍ら城門に向つた。

來て見れば瞭つきりとは見えないが懐しくも同僚小出君の聲が聞えるのでホツとした。城壁の上からは萬端々々の喚聲！記者の名を連呼してゐる。

「助かつた！」萬感交々胸に迫つてはふり落ちる涙を止めることが出來ない。

城門は土義で固められてゐるのでロープで引上げてもらふことになり、特務機關員の堀内氏におぶさつて愈々待望久しかりし北平入りの目的がやつと達せられたのだ！

聲を抑えて引き上げてくれる感激の響を次第に身近に聞乍ら「彈丸に當らなかつたことは兎に角、貧弱な體で萬難を排しよくもこれまで來られたものだ、これは決して自分の力だけではない、記者の安否を氣遣つてくれた皆んなの加護があつたればこそだ」と感激の念に打たれつゝロープに握まつて、城内に入ることが出來た。

記者は本當に九死一生ではない、萬死に一生を得たのだ！待ちに待つた北平入りが出來たのだ！

法人國 同盟通信社國內支局一覽

東京本社

東京區銀座西七丁目
電話 銀座 二二二〇
電話 銀座 六六一一 (8)(5)日

大阪支社

西區江戸橋上通一丁目
電話 土佐堀五五五二番

名古屋支社

中區南大津町二ノ一
電話 中局 七六〇番

關門支社

門司市港町海岸通
電話 門司 六五二番

福岡支社

天神町四二
電話 福岡 一六二五番

函館支局

仲濱町一八五
電話 函館 二〇二八番

青森支局

大町四丁一目
電話 青森 三四一〇番

仙臺支局

東三番丁一五九
電話 仙臺 一七四四番

桐生支局

永樂町三三丁目
電話 桐生 二〇五一番

足利支局

雲輪町二四八二番
電話 足利 八八二番

前橋支局

相生町三一
電話 前橋 一八四四番

新潟支局

西大新三〇六六番
電話 新潟 二〇六六番

富山支局

總曲輪二二五一
電話 富山 二二四九番

長野支局

南條町六五四
電話 長野 二二一九番

甲府支局

二十人町七六
電話 甲府 二〇七六番

岡谷支局

岡谷市本町通二四四六
電話 岡谷 三〇五九番

松本支局

仲電話 松本 二九八一番

横濱支局

中區南仲通り三ノ二六
電話 本局 二四二九番

濱松支局

元城町二二五
電話 濱松 二二四六番

聖橋支局

花田町石
電話 聖橋 五四六〇番

福井支局

佐久良上町九八
電話 福井 二七七〇番

金澤支局

高同町一〇二一
電話 金澤 一〇五四番

京都支局

上京區船場通五
電話 上局 五八四五番

和歌山支局

南町一四七
電話 和歌山 四七八番

神戸支局

神戶區海岸通五
電話 三宮 一〇二三番

姫路支局

東紺屋町三
電話 姫路 二二三番

岡山支局

東中山下二一五
電話 岡山 五〇九番

尾道支局

十日町六八二
電話 尾道 八八二番

高松支局

外磨屋町二一五
電話 高松 三九〇九番

高知支局

本町四丁目三七五
電話 高知 七六〇番

廣島支局

上流川町二丁目
電話 廣島 五六四八番

松山支局

西松町一六三九番
電話 松山 一六三九番

下關支局

東南町三三七
電話 下關 三六〇七番

大分支局

荷揚町一一二〇
電話 大分 六五六番

佐賀支局

松原町三三五
電話 佐賀 九一〇番

長崎支局

千馬町二二丁目
電話 長崎 二二二番

熊本支局

行幸町一六二番
電話 熊本 一六二番

鹿児島支局

泉町九九二番
電話 鹿児島 二二二番

臺北支局

大和町三三九六番
電話 臺北 三三九六番

釜山支局

大倉町四四〇六番
電話 釜山 四四〇六番

京城支局

明治町一八八〇番
電話 本局 四八八〇番

同盟通信社 海外通信網

支局所在地

歐羅巴

倫敦

巴林

莫斯

羅馬

紐約

北米

華盛頓

紐約

南米

新嘉坡

南洋

桑港

羅府

晚香

ホノルル

リオ・デ・ジャネーロ

ブエノスアイレス

マニラ

ダヴァオ

同盟通信社 東亞通信網

支社

上海

哈爾濱

大連

天津

北平

濟南

南京

漢口

廣州

香港

滿洲

海拉爾

齊齊哈爾

牡丹

龍井

延吉

安東

山陽

錦州

承慶

同盟旬報

(毎月三回發行)
定部 卅五錢 送料一部
一ヶ月分前納 壹圓 壹錢五厘
半年分同五圓五十錢 (國內長期)
壹年分同拾圓 (社費減)

編輯發行 大川幸之助
印刷所 濱中製版所
東京市京橋區銀座西七丁目一番地
發行所 法人 同盟通信社

營業所 法人 同盟通信社出版部
電話 銀座 (57) 一三五五番
振替貯金口座東京八五〇〇〇番

同盟旬報 綴込表紙

黛藍色布製 金字入

一部金廿五錢

半年分以上前金拂
讀者には無代贈呈
します

御申込みは「出版部」

國際經濟週報

本社に入電した外電、國內經濟「ニュース」を編輯し、之に時事關係記事を盛つた週刊經濟雜誌。毎週木曜日發行、一部金貳拾五錢。一ケ年金拾圓。

經濟パンフレット

毎年四、五回發行する世界經濟問題の解説。四六版七、八十頁内外。定價金五拾錢。最新刊『大英帝國の經濟』

同盟パンフレット

時事問題解説書。四六版七、八十頁内外。隨時發行定價金貳拾錢。最新刊『増税整稅は國民にどう響くか』『世相から見た新時代のソ聯邦』

ジャパン・トレイド・ガイド

日本商品を全世界に紹介する目的で發行する英文貿易年鑑我生産品數百を網羅して解説す。四六倍判七百頁定價金貳拾五圓也。

國際寫眞新聞

本社の世界「ニュース」網から集る内外寫眞を中心とした寫眞畫報。毎月二回發行。全アト菊倍判五十二頁。一部金五拾錢。一ケ年金九圓也。

英文寫眞年鑑

(ピクトリアル・ニュース・オブ・ジャパン) 全國各新聞社寫眞班の手になるニュース寫眞中心の寫眞年鑑毎年一回十一月發行、菊倍判、總アト二百頁。定價金五圓也

人絹年鑑

レイヨン、ステープル・ファイバー、バルブに關する綜合辭典で企業家は素より全商業家の好伴侶を以て任ずる毎年一回四月發行、菊判千五百餘頁、總布表紙、定價金五圓也。

◎御申込は振替口座東京八五〇〇〇番又は本社各地支社局御利用を!

「同盟」に繼承更新された

時事年鑑十三年版發行

時事年鑑

四六倍判八百頁
定價金貳拾五圓
九月中旬出來

!! 鑑年なの實用 ◇ 一第擇選 ◇ 鑑年るあ用信

- ◇ 最優越の誇り—政治、經濟、外交、軍事、勞働統計、人名、教育、工業演藝の諸年鑑が一丸となつて渾和されて居る本書は實に日本に於てのみならず世界、如何なる年鑑と雖ども此以上多方面に且つ精細懇切に最新且つ最有益の記録を持つものは存在せぬ事を斷言致します
- ▽ どの頁を開いてもな取材の斬新、精確、親切な、年鑑!!
- ▽ 趣味と實益とを兼ね誰にも分り易い重寶な年鑑!!
- ▽ 他どの年鑑に比べて最大の内容を有する時事年鑑!!
- ▽ どんな疑問でも之さへあればすぐ氷解する年鑑!!
- ▽ まだ御利用のない方は是非一度御覽下さる

【內容見本進呈】

東京 銀座 同盟通信社出版部

專用电話銀座座三八五番(振替口座東京八五〇〇番)